

## 第2章 保護者票集計結果

### 1 調査対象者の属性

#### (1) 回答者の続柄

回答者の、宛名のお子さんからみた続柄を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「母親」の回答割合が81.8%と最も高く、次いで「父親」の回答割合が17.8%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「母親」の回答割合が91.3%と最も高く、全体と比べて高くなっている。

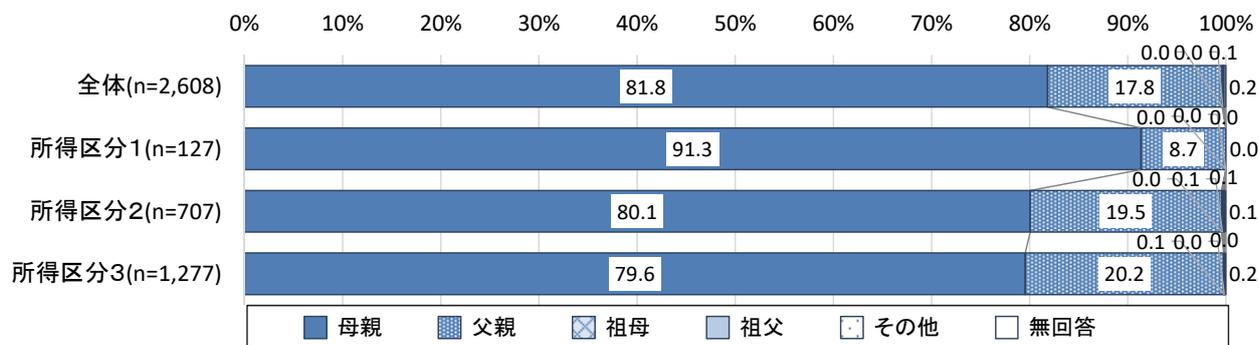
小学5年生の保護者全体では、「母親」の回答割合が82.1%と最も高く、次いで「父親」の回答割合が17.3%となっている。また、「母親」の回答割合は所得区分1では92.6%、所得区分2では84.7%であり、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「母親」の回答割合が81.6%と最も高く、次いで「父親」の回答割合が17.3%となっている。所得区分1では、「母親」の回答割合が82.4%と最も高く、次いで「父親」の回答割合が15.1%となっている。

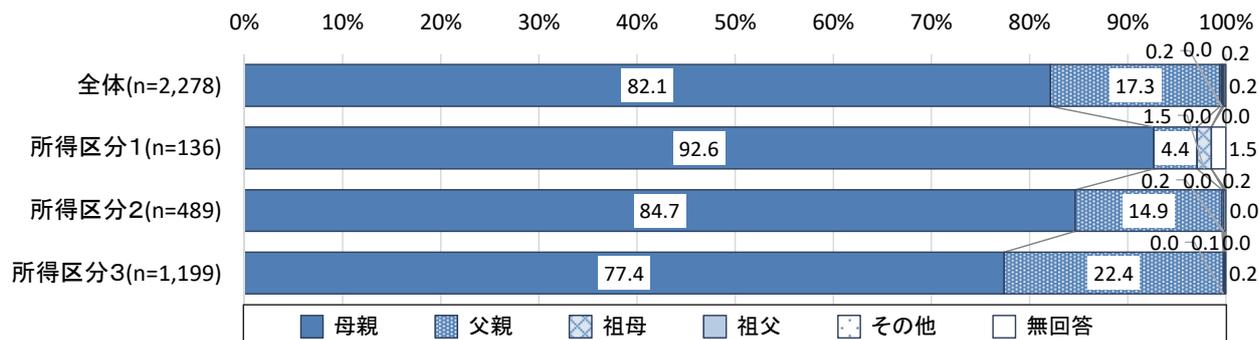
【保護者票問2】 この調査に回答いただいている方(あなた)の、宛名のお子さんからみた続柄について教えてください。

図表 2-1-1 回答者の続柄 (所得区分別)

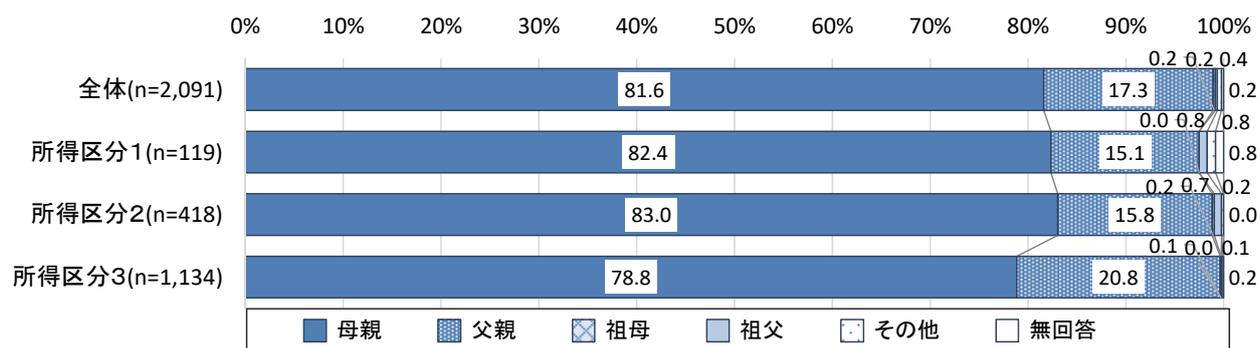
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## 2 世帯の状況

### (1) 世帯員人数

#### ア 世帯員人数(あなたを含めて)

普段一緒に住んでおり、生計を共にしている方(世帯員)の人数を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「4人」の回答割合が54.4%と最も高く、次いで「3人」の回答割合が20.8%、「5人」の回答割合が18.1%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「4人」の回答割合が38.6%と最も高く、次いで「3人」の回答割合が23.6%、「5人」の回答割合が18.1%となっている。

小学5年生の保護者全体では、「4人」の回答割合が49.3%と最も高く、次いで「3人」の回答割合が29.5%、「5人」の回答割合が13.3%となっている。所得区分1では、「4人」の回答割合が41.2%と最も高く、次いで「2人」の回答割合が22.8%、「3人」の回答割合が20.6%となっている。

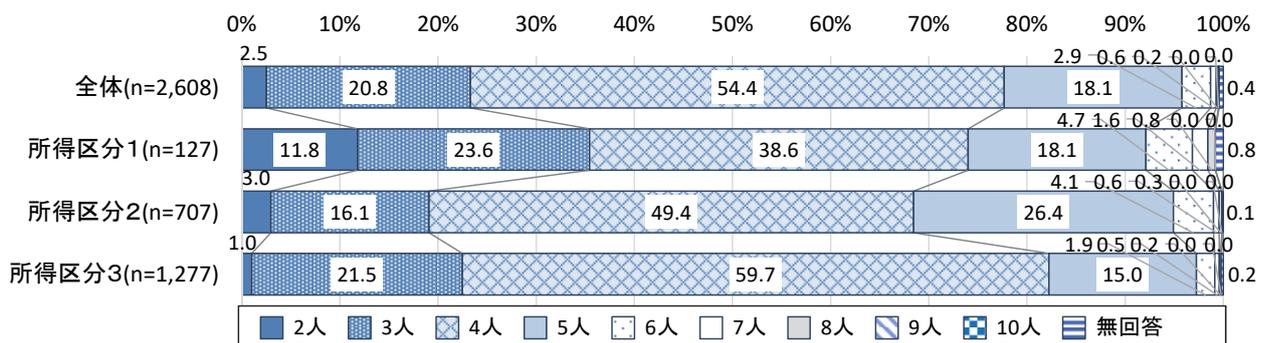
中学2年生の保護者全体では、「4人」の回答割合が48.2%と最も高く、次いで「3人」の回答割合が32.5%、「5人」の回答割合が11.3%となっている。所得区分1では、「3人」の回答割合が36.1%と最も高く、次いで「4人」の回答割合が33.6%、「2人」の回答割合が17.6%となっている。

【保護者票問4】 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。また、世帯員のうち、現在の子どもの人数は何人ですか。

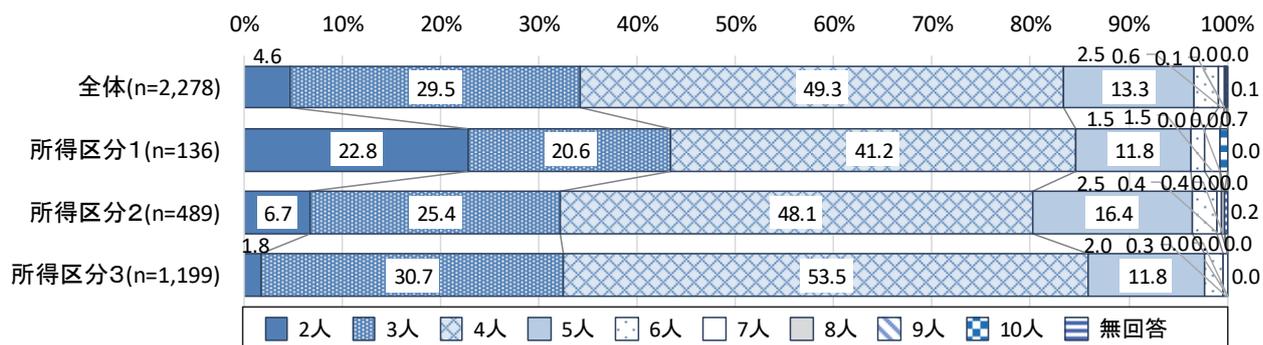
(1 世帯員人数(あなたを含めて))

図表 2-2-1 世帯員人数(所得区分別)

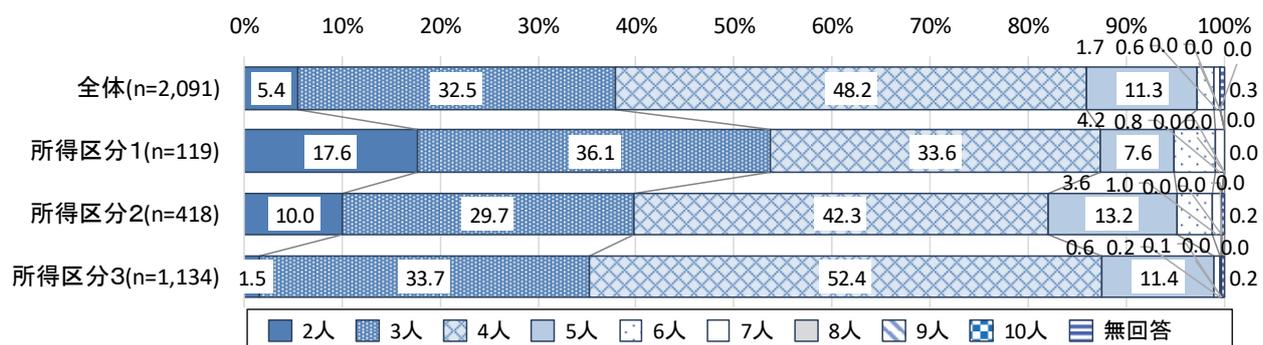
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 世帯の子どもの数

普段一緒に住んでおり、生計を共にしている方（世帯員）のうち、現在の子どもの人数を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「2人」の回答割合が56.5%と最も高く、次いで「1人」の回答割合が22.9%、「3人」の回答割合が17.7%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「2人」の回答割合が51.2%と最も高く、次いで「1人」の回答割合が23.6%、「3人」の回答割合が20.5%となっている。

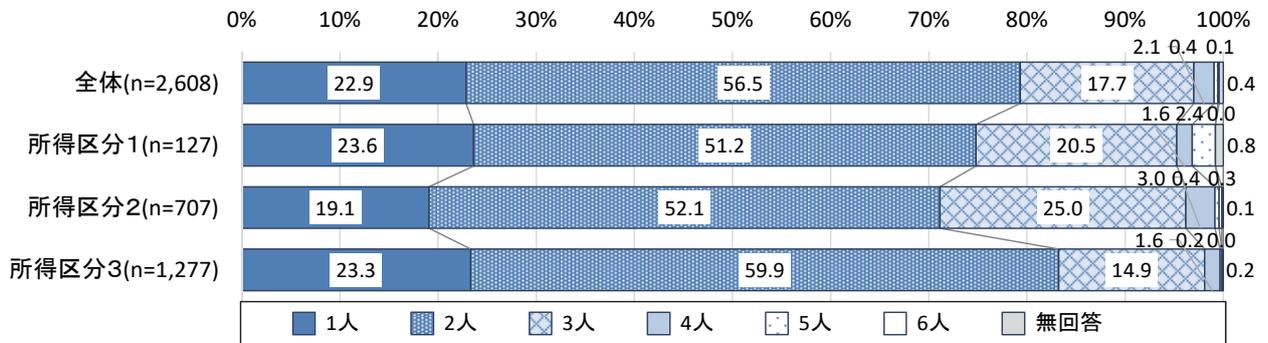
小学5年生の保護者全体では、「2人」の回答割合が52.9%と最も高く、次いで「1人」の回答割合が32.7%、「3人」の回答割合が12.4%となっている。所得区分1では、「2人」の回答割合が44.9%と最も高く、次いで「1人」の回答割合が32.4%、「3人」の回答割合が19.9%となっている。

中学2年生の保護者全体では、「2人」の回答割合が52.9%と最も高く、次いで「1人」の回答割合が35.4%、「3人」の回答割合が10.1%となっている。所得区分1では、「2人」の回答割合が46.2%と最も高く、次いで「1人」の回答割合が37.8%、「3人」の回答割合が9.2%となっている。

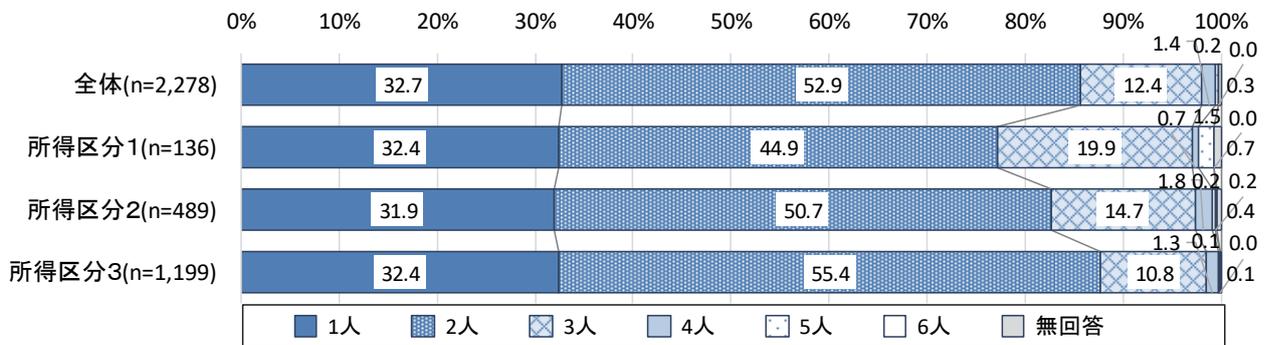
【保護者票問4】 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。また、世帯員のうち、現在の子どもの人数は何人ですか。  
(2 世帯員のうち子どもの人数)

図表 2-2-2 世帯の子どもの数(所得区分別)

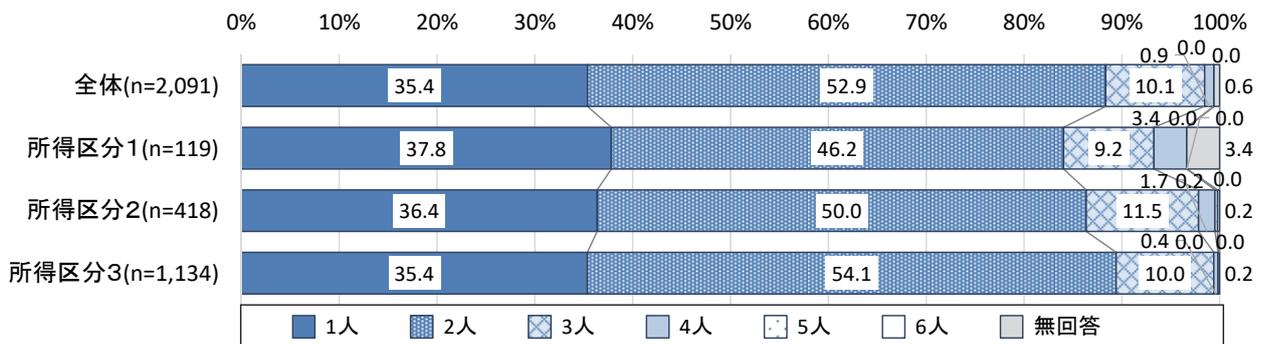
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (2) 同居者の続柄

世帯に含まれる方全員の、宛名のお子さんからみた続柄を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「母親」の回答割合が95.9%と最も高く、次いで「父親」の回答割合が89.5%、「兄弟姉妹」の回答割合が69.6%となっている。所得区分別にみると、所得区分1では、「母親」の回答割合が96.1%と最も高く、次いで「父親」「兄弟姉妹」の回答割合が59.1%となっている。

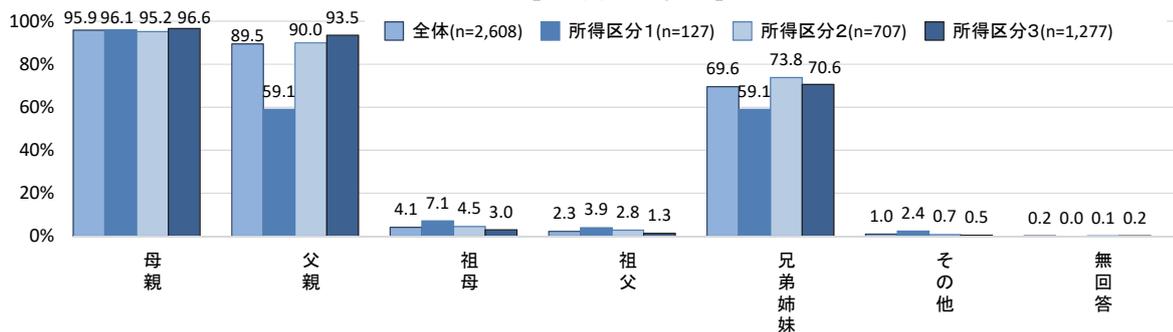
小学5年生の保護者全体では、「母親」の回答割合が94.9%と最も高く、次いで「父親」の回答割合が84.0%、「兄弟姉妹」の回答割合が58.9%となっている。所得区分1では、「母親」の回答割合が90.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の回答割合が55.9%、「父親」の回答割合が47.1%となっている。

中学2年生の保護者全体では、「母親」の回答割合が94.5%と最も高く、次いで「父親」の回答割合が82.0%、「兄弟姉妹」の回答割合が58.9%となっている。所得区分1では、「母親」の回答割合が91.6%と最も高く、次いで「父親」の回答割合が47.1%、「兄弟姉妹」の回答割合が46.2%となっている。

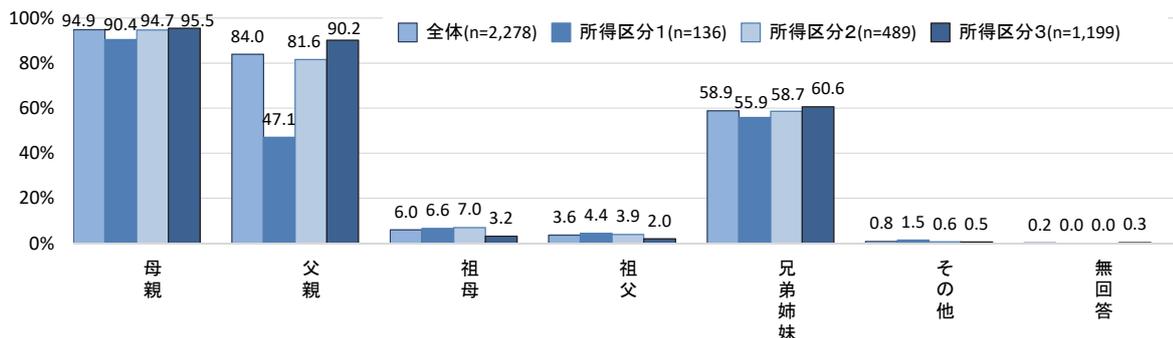
【保護者票問5】 あなたの世帯に含まれる方全員の、宛名のお子さんからみた続柄について教えてください。

図表 2-2-3 同居者の続柄（所得区分別）

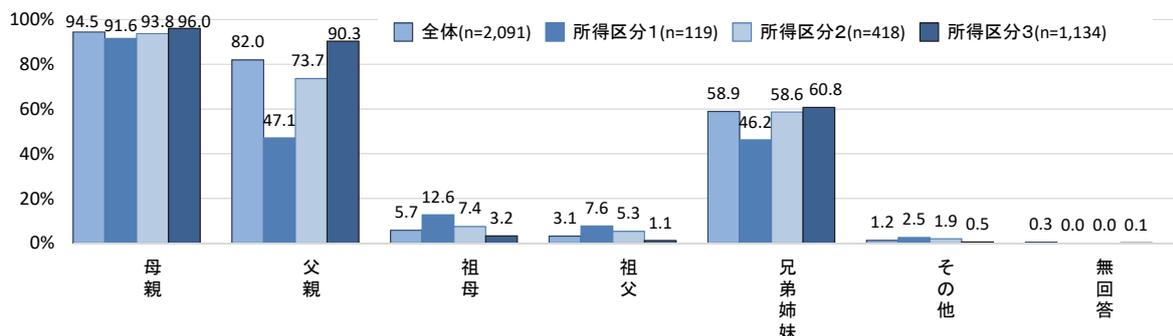
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



### (3) 保護者の婚姻状況

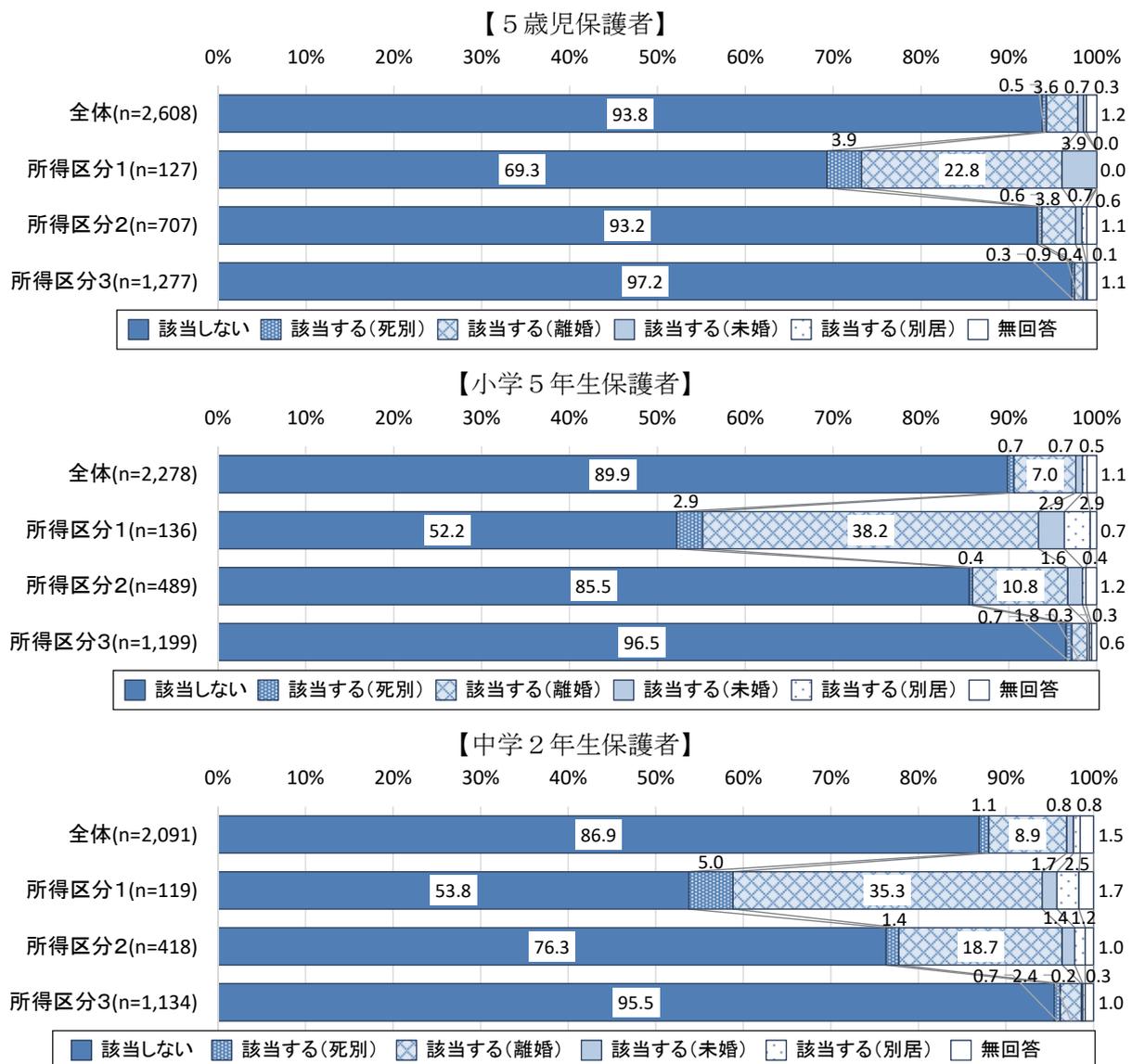
「ひとり親世帯」に該当するかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「該当しない」の回答割合が93.8%と最も高く、次いで「該当する（離婚）」の回答割合が3.6%となっている。所得区分別にみところ、所得区分1では、「該当しない」の回答割合が69.3%となっており、全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「該当しない」の回答割合が89.9%と最も高く、次いで「該当する（離婚）」の回答割合が7.0%となっている。所得区分1では、「該当しない」の回答割合が52.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「該当しない」の回答割合が86.9%と最も高く、次いで「該当する（離婚）」の回答割合が8.9%、「無回答」の回答割合が1.5%となっている。所得区分1では、「該当しない」の回答割合が53.8%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問6】 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。

図表 2-2-4 保護者の婚姻状況（所得区分別）



## (4) 養育費

### ア 養育費の取り決め・受け取り状況

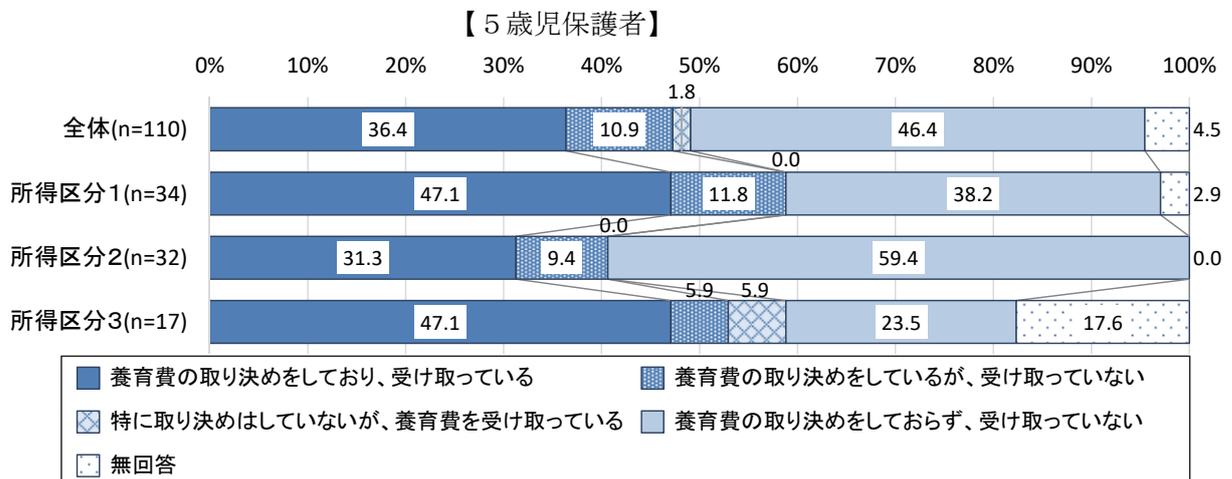
ひとり親世帯に「該当する（離婚）」または「該当する（未婚）」を選んだ方に対して、宛名のお子さんの親（相手方）との間での、お子さんの養育費の取り決めや現在の受け取り状況を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の回答割合が46.4%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしており、受け取っている」の回答割合が36.4%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の回答割合が10.9%となっている。所得区別にみたところ、所得区分1では、「養育費の取り決めをしており、受け取っている」の回答割合が47.1%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の回答割合が38.2%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の回答割合が11.8%となっている。

小学5年生の保護者全体では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の回答割合が42.9%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしており、受け取っている」の回答割合が31.6%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の回答割合が16.4%となっている。所得区分1では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の回答割合が44.6%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしており、受け取っている」の回答割合が32.1%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の回答割合が16.1%となっている。

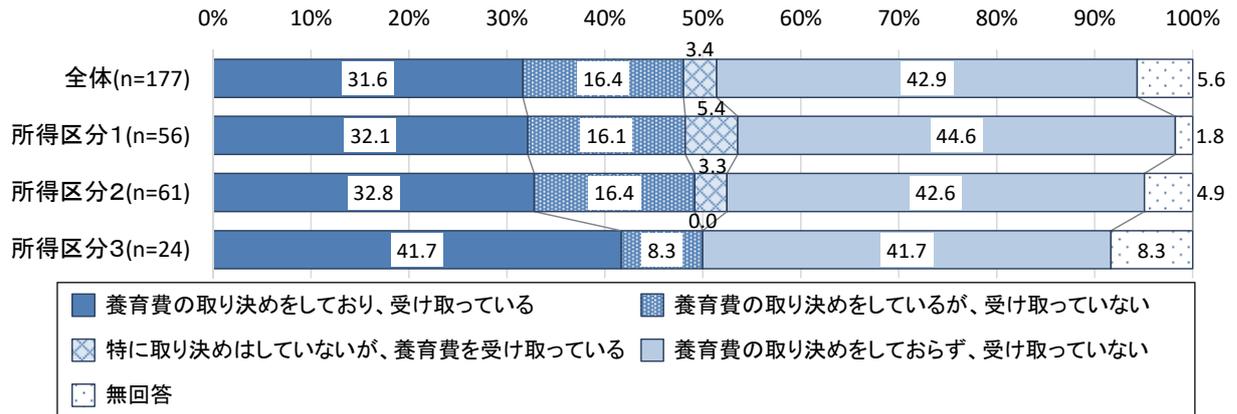
中学2年生の保護者全体では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の回答割合が41.6%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしており、受け取っている」の回答割合が35.1%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の回答割合が14.9%となっている。所得区分1では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の回答割合が40.9%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしており、受け取っている」の回答割合が31.8%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の回答割合が20.5%となっている。

【保護者票問7】 宛名のお子さんの親(相手方)と、お子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

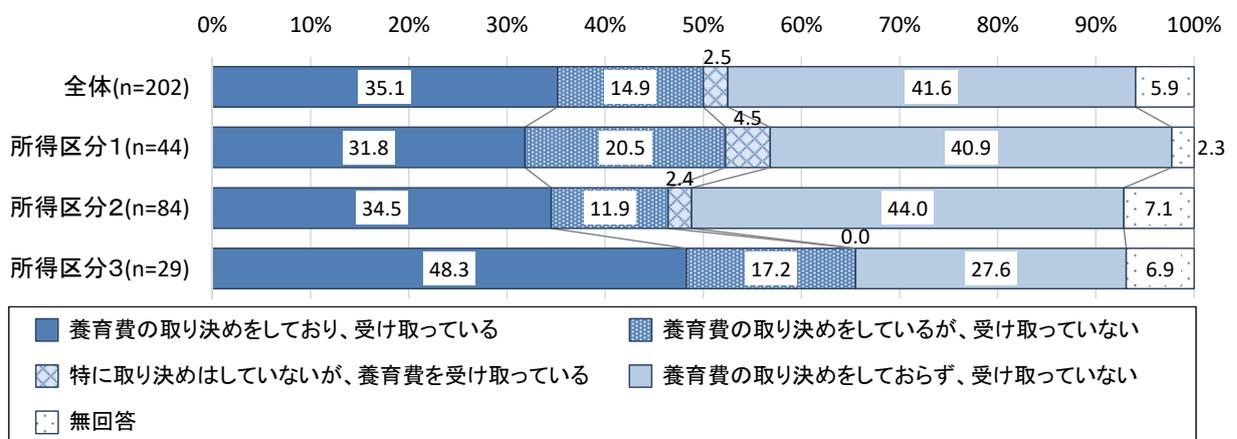
図表 2-2-5 養育費の取り決め・受け取り状況（所得区分別）



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 養育費の取り決め意向

養育費について「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」を選んだ方に対して、養育費の取り決めをしたいと考えているかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「したくない」の回答割合が41.5%と最も高く、次いで「必要がない」の回答割合が26.4%、「したい」の回答割合が24.5%となっている。所得区分別にみところ、所得区分1では、「したくない」の回答割合が53.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

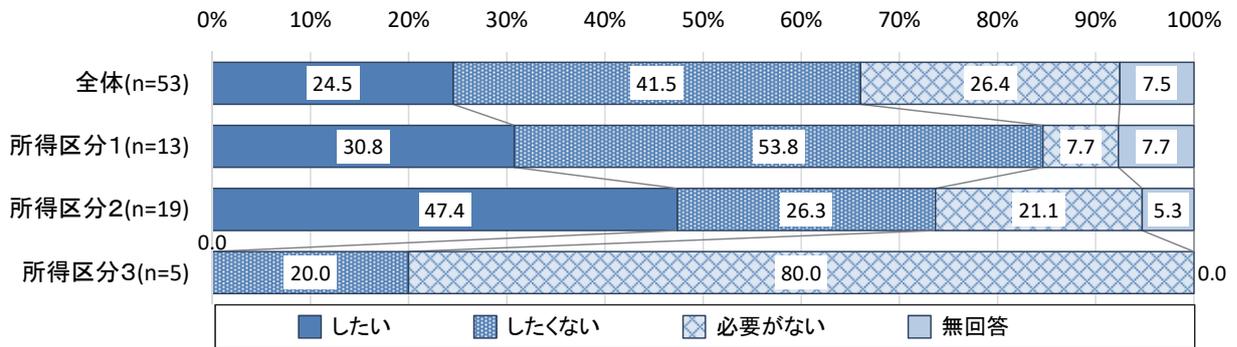
小学5年生の保護者全体では、「したくない」の回答割合が46.3%と最も高く、次いで「したい」の回答割合が26.8%、「必要がない」の回答割合が18.3%となっている。所得区分2では、「したくない」の回答割合が53.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「したくない」の回答割合が39.3%と最も高く、次いで「したい」の回答割合が29.2%、「必要がない」の回答割合が27.0%となっている。所得区分1では、「したくない」の回答割合が55.0%と最も高く、次いで「したい」の回答割合が35.0%、「必要がない」の回答割合が10.0%となっている。

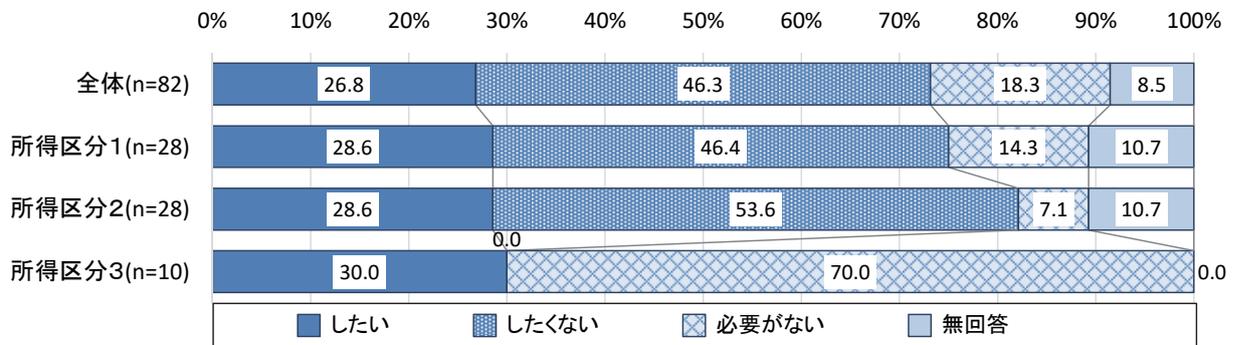
【保護者票問7-1】 養育費の取り決めをしたいと考えていますか。

図表 2-2-6 養育費の取り決め意向（所得区分別）

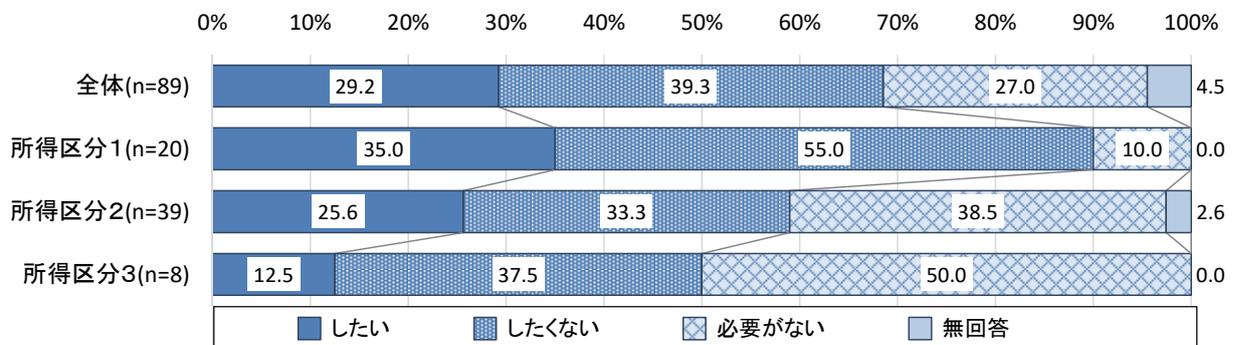
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (5) 日本語以外の言語の使用

家庭での日本語以外の言語の使用状況を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「日本語のみを使用している」の回答割合が88.0%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」の回答割合が5.3%となっている。所得区別にみたら、所得区分1では、「日本語のみを使用している」の回答割合が73.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

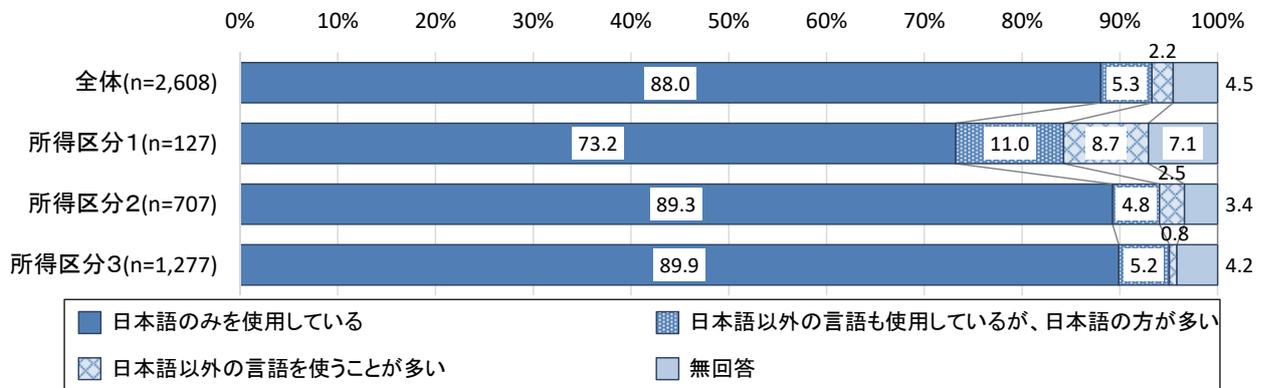
小学5年生の保護者全体では、「日本語のみを使用している」の回答割合が91.3%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」の回答割合が3.7%となっている。所得区分1では、「日本語のみを使用している」の回答割合が80.9%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「日本語のみを使用している」の回答割合が91.8%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」の回答割合が2.7%となっている。所得区分1では、「日本語のみを使用している」の回答割合が87.4%となっており、全体と比べて低くなっている。

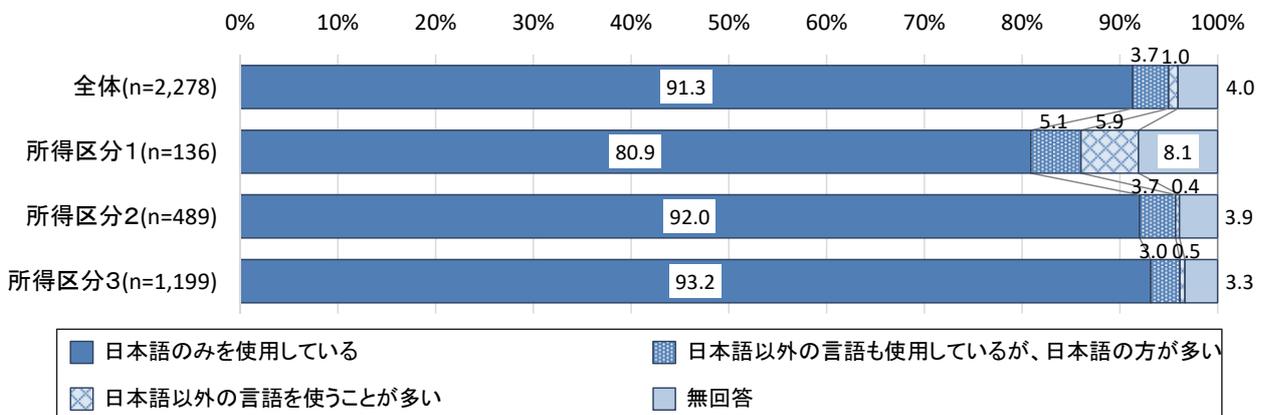
【保護者票問8】 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

図表 2-2-7 日本語以外の言語の使用（所得区分別）

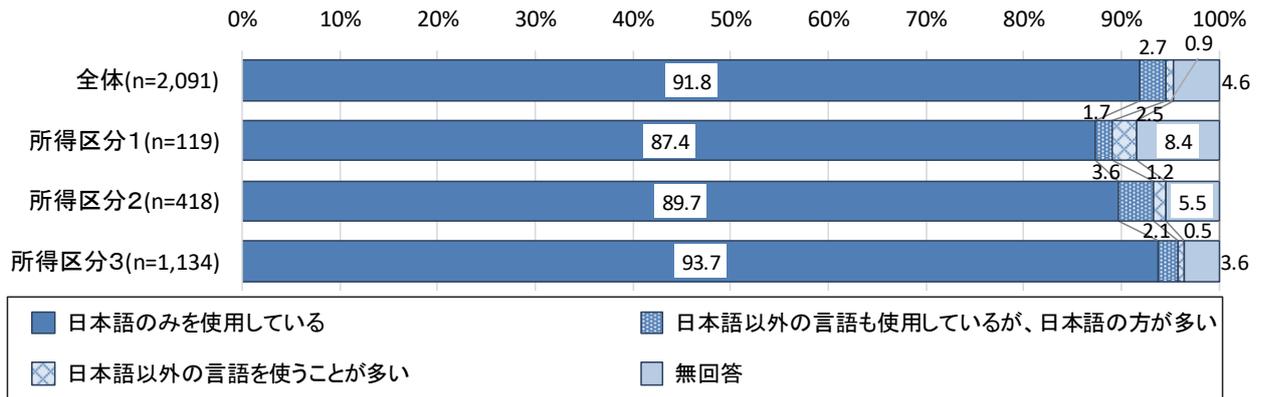
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



### 3 母親と父親の就業状況

#### (1) 仕事の有無

##### ア 母親の仕事の有無

宛名のお子さんの母親が現在収入をともなう仕事をしているかを尋ねた設問<sup>7</sup>について、5歳児の保護者全体では、「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が61.6%と最も高く、次いで「していない」の回答割合が34.1%、「している（複数の仕事をしている）」の回答割合が3.0%となっている。所得区別にみところ、所得区分1では「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が68.5%となっており、全体と比べて高くなっている。また、所得区分2では「していない」の回答割合が39.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が70.0%と最も高く、次いで「していない」の回答割合が23.5%、「している（複数の仕事をしている）」の回答割合が4.9%となっている。所得区分1では、「している（複数の仕事をしている）」の回答割合が8.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

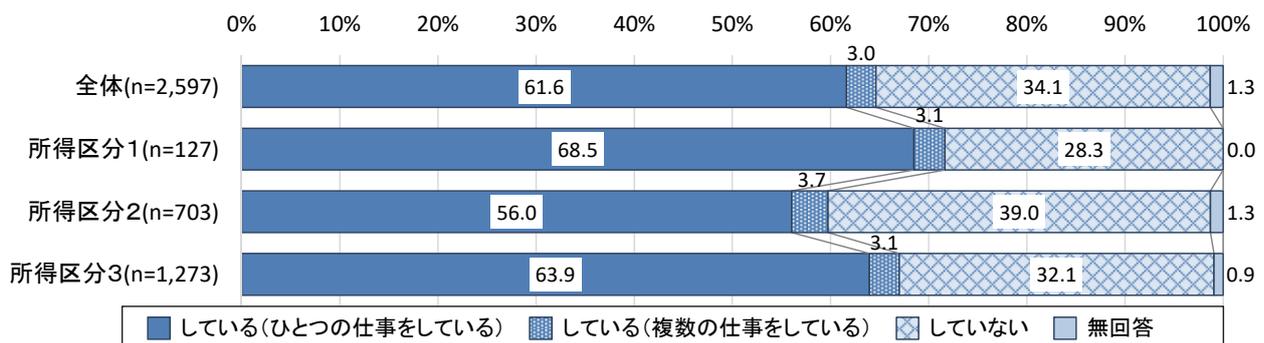
中学2年生の保護者全体では、「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が73.4%と最も高く、次いで「していない」の回答割合が18.8%、「している（複数の仕事をしている）」の回答割合が6.0%となっている。所得区分1では、「している（複数の仕事をしている）」の回答割合が12.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問9】 宛名のお子さんの母親と父親は、現在収入をともなう仕事をしていますか。

(A 母親)

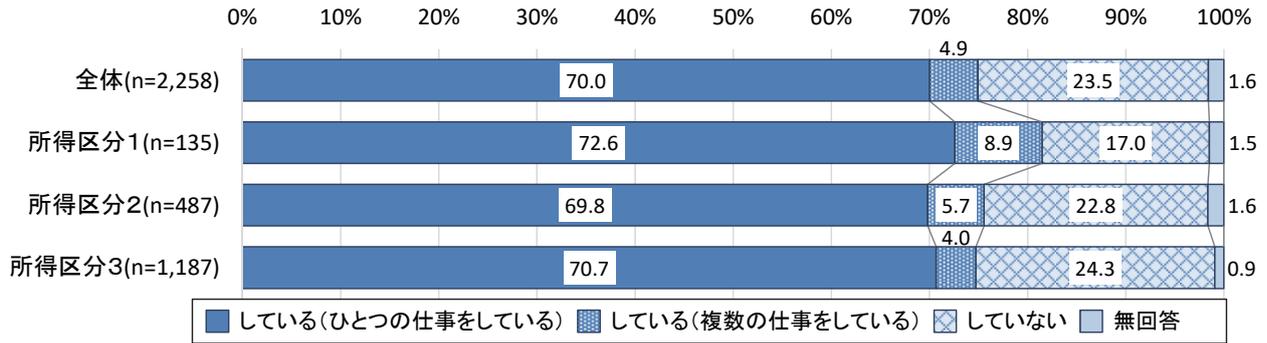
図表 2-3-1 母親の仕事の有無（所得区分別）

【5歳児保護者】

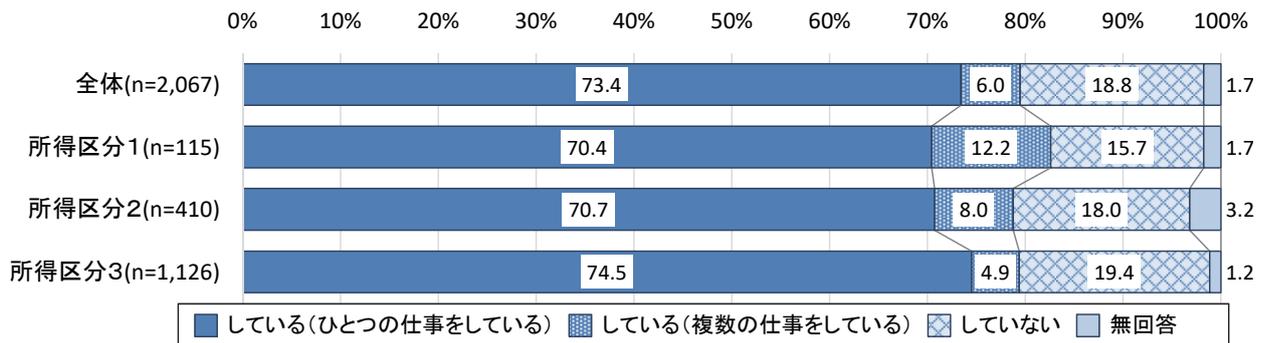


<sup>7</sup> 母親がいる場合のみ回答する設問。

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



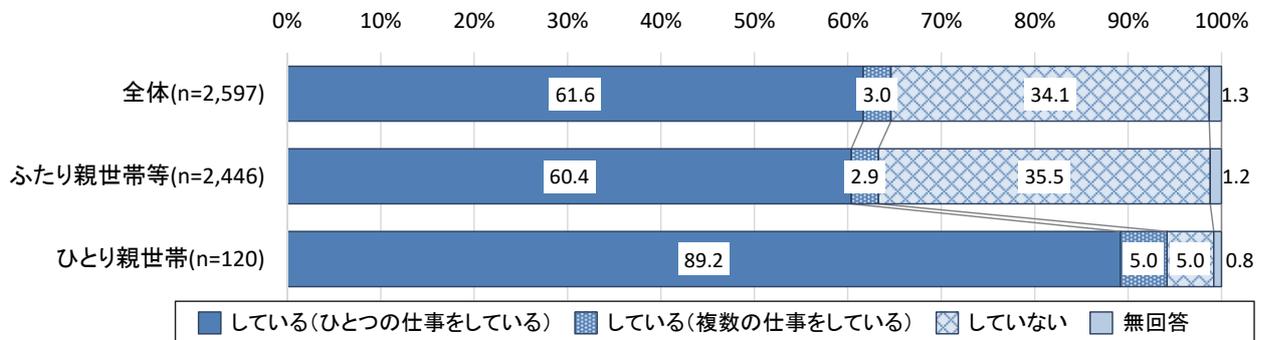
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「している(ひとつの仕事をしている)」の回答割合が89.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「している(ひとつの仕事をしている)」の回答割合が77.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

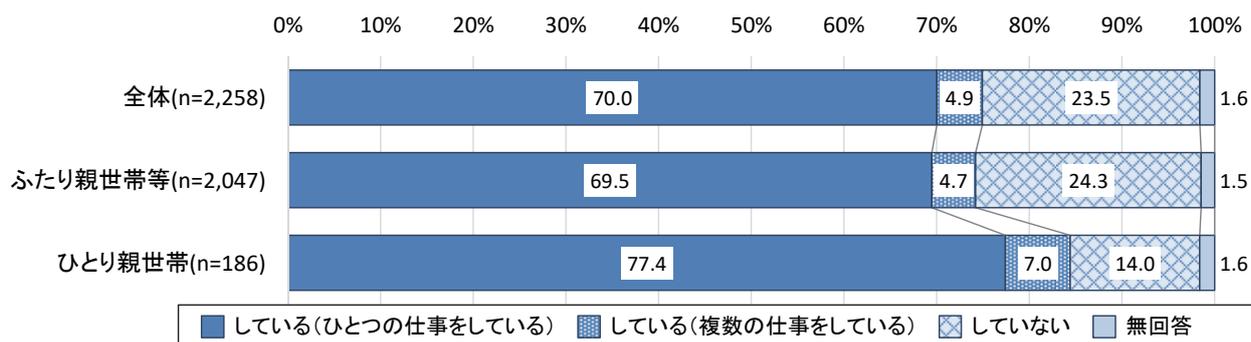
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「している(ひとつの仕事をしている)」の回答割合が81.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-3-2 母親の仕事の有無(世帯類型別)

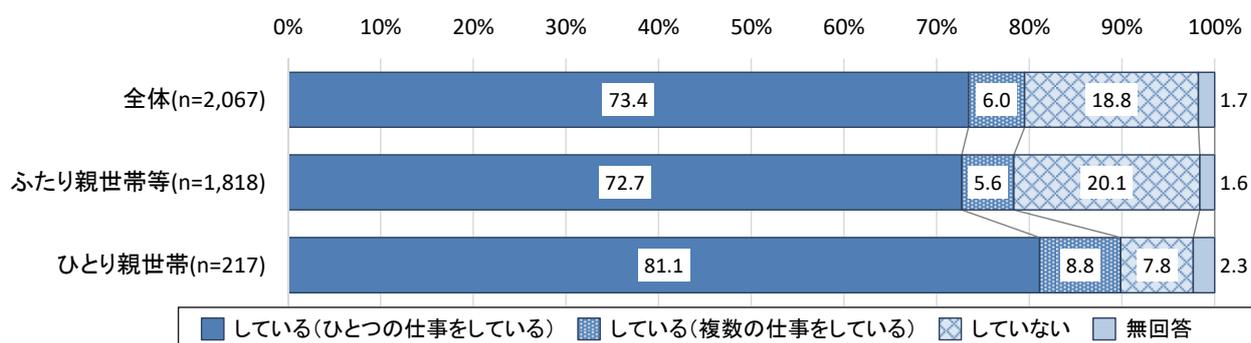
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 父親の仕事の有無

宛名のお子さんの父親が現在収入をとまなう仕事をしているかを尋ねた設問<sup>8</sup>について、5歳児の保護者全体では、「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が95.5%と最も高く、次いで「している（複数の仕事をしている）」の回答割合が2.7%、「していない」の回答割合が1.0%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「していない」の回答割合が11.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が96.3%と最も高く、次いで「している（複数の仕事をしている）」の回答割合が1.7%となっている。所得区分1では、「していない」の回答割合が8.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が94.5%と最も高く、次いで「している（複数の仕事をしている）」の回答割合が2.2%となっている。所得区分1では、「していない」の回答割合が5.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

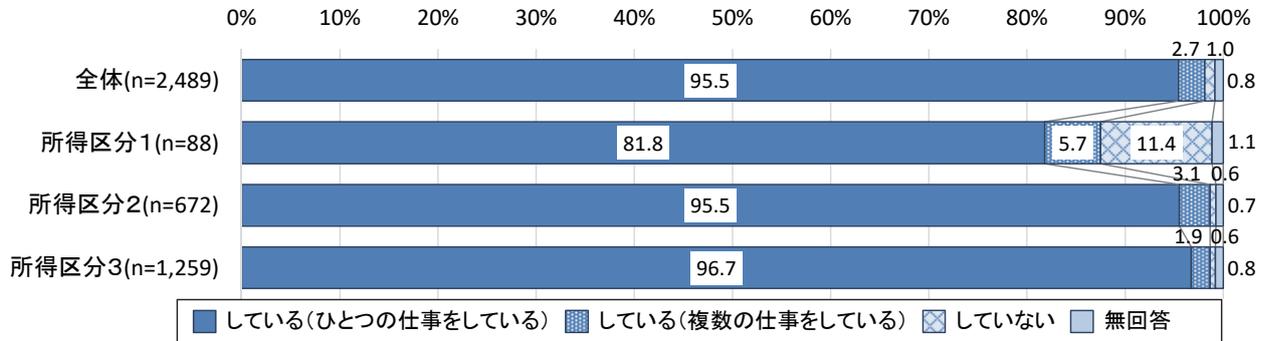
<sup>8</sup> 父親がいる場合のみ回答する設問。

【保護者票問9】 宛名のお子さんの母親と父親は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。

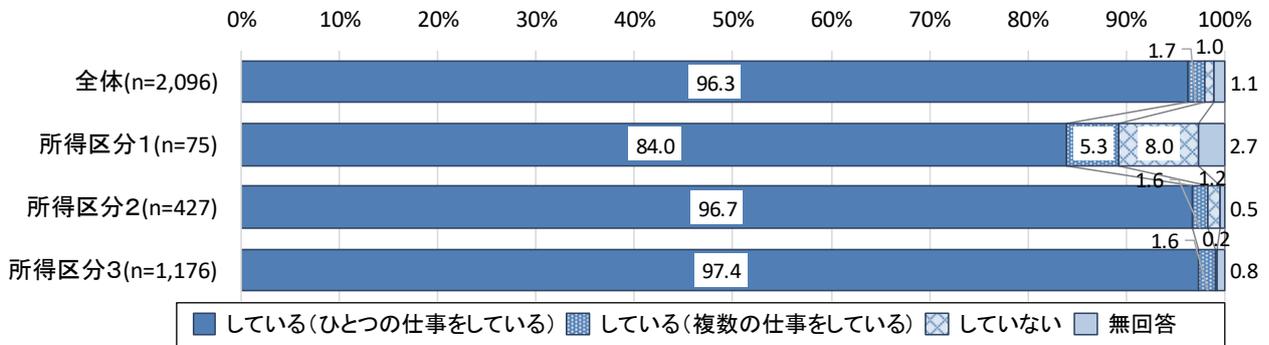
(B 父親)

図表 2-3-3 父親の仕事の有無（所得区分別）

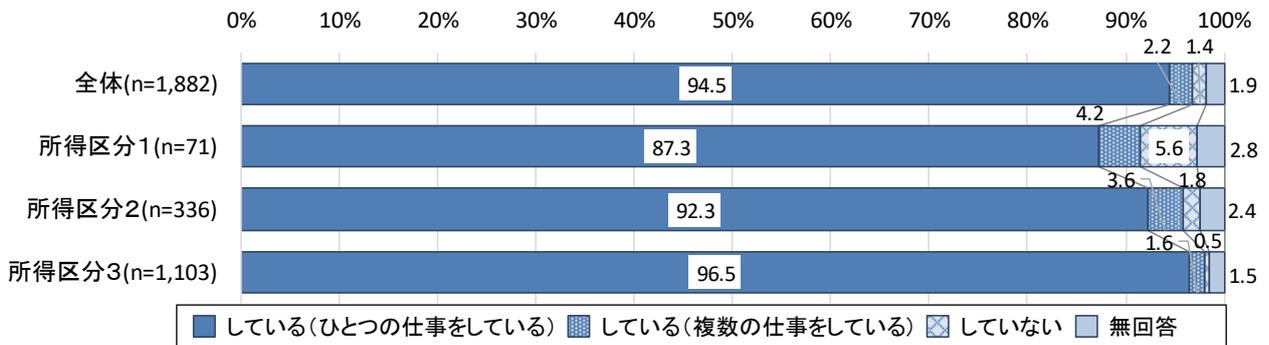
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】

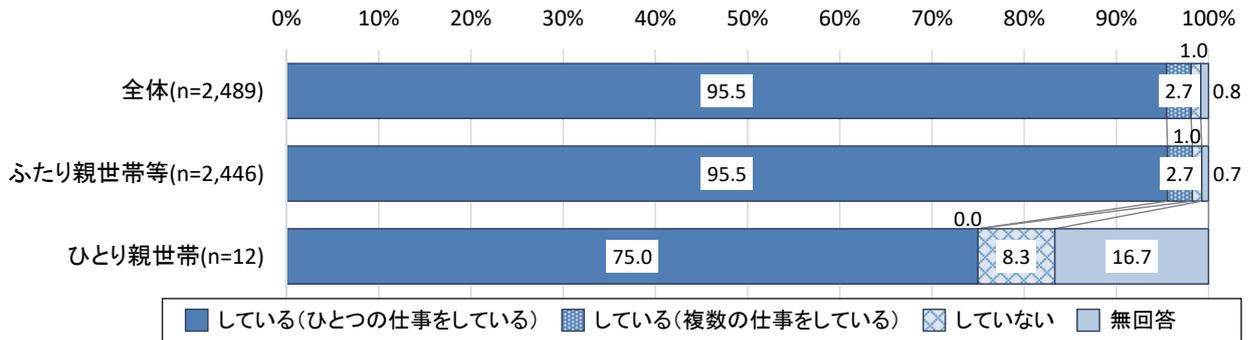


世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が75.0%となっており、全体と比べて低くなっている。

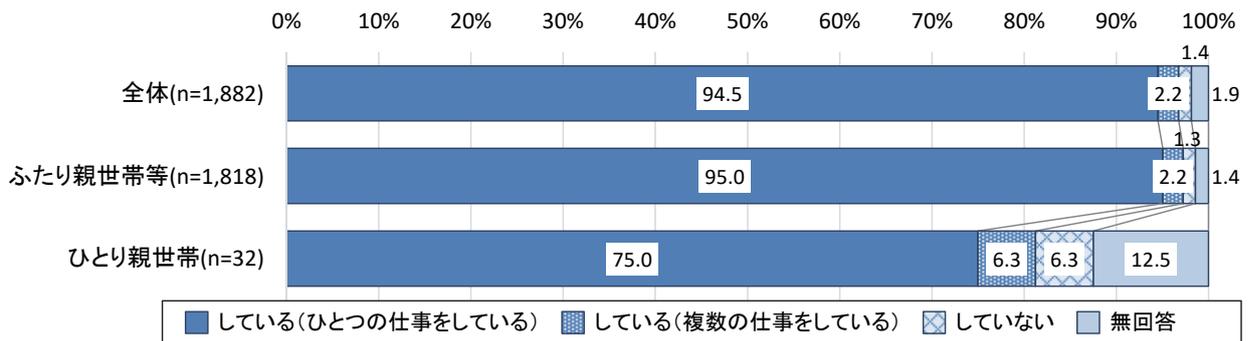
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「している（ひとつの仕事をしている）」の回答割合が75.0%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-3-4 父親の仕事の有無（世帯類型別）

【5歳児保護者】



【中学2年生保護者】



## (2) 就業形態

### ア 母親の就業形態

現在収入をとまなう仕事を「している」母親の就業形態を尋ねた設問<sup>9</sup>について、5歳児の保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が48.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の回答割合が36.1%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」の回答割合が4.7%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が27.5%となっており、全体と比べて低くなっている。

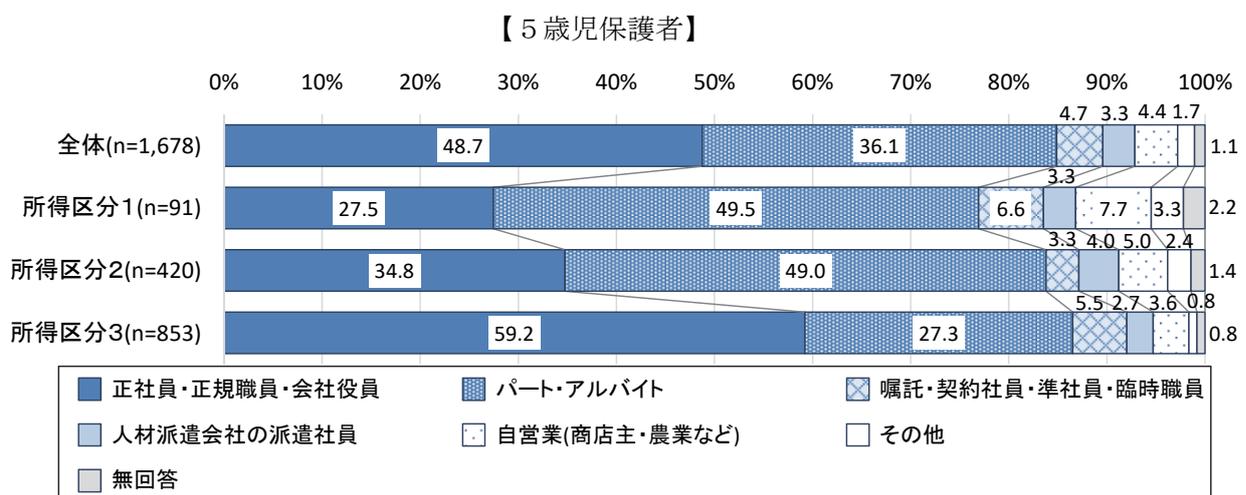
小学5年生の保護者全体では、「パート・アルバイト」の回答割合が55.1%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が29.1%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」の回答割合が6.3%となっている。所得区分2では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が20.9%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「パート・アルバイト」の回答割合が54.0%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が28.5%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」の回答割合が7.1%となっている。所得区分1では、「パート・アルバイト」の回答割合が55.8%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が23.2%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」の回答割合が6.3%となっている。

【保護者票問9-1】 宛名のお子さんの母親と父親の就業形態は次のどれにあてはまりますか。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。

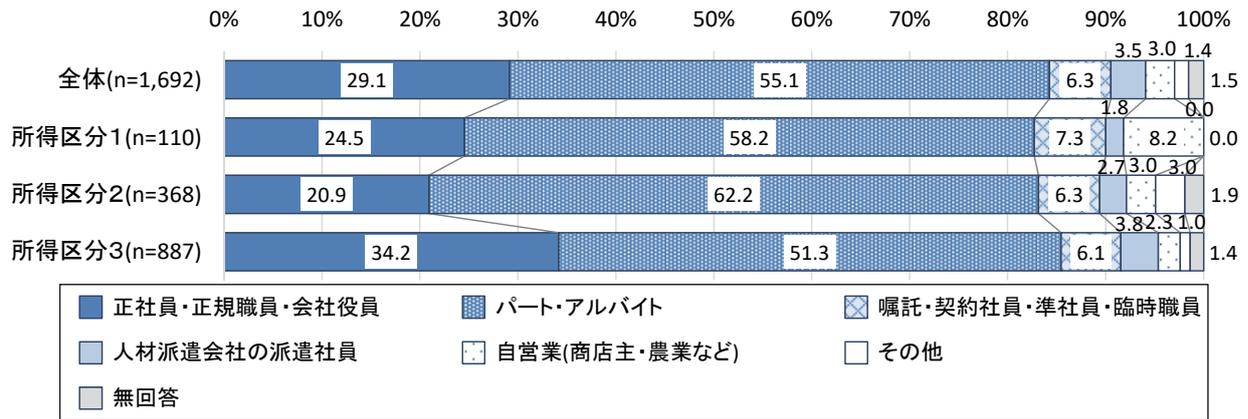
(A 母親)

図表 2-3-5 母親の就業形態（所得区分別）

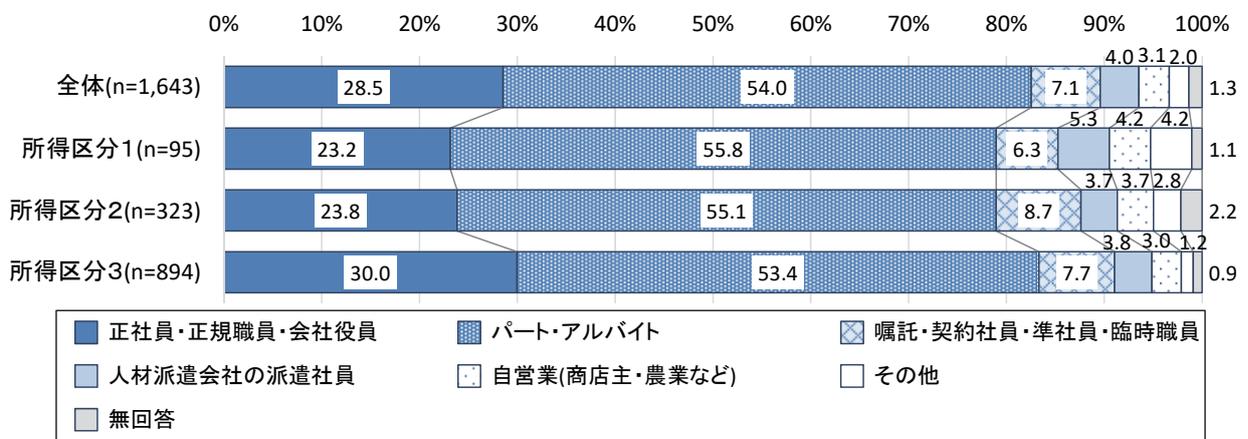


<sup>9</sup> 複数の仕事を持っている場合は、主な仕事について回答するよう案内した。

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】

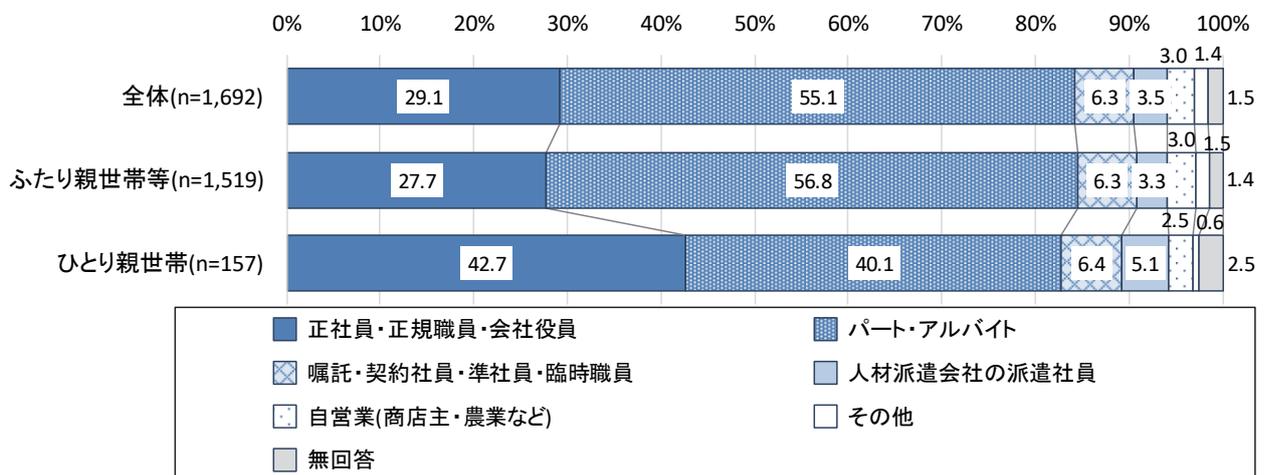


世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が42.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

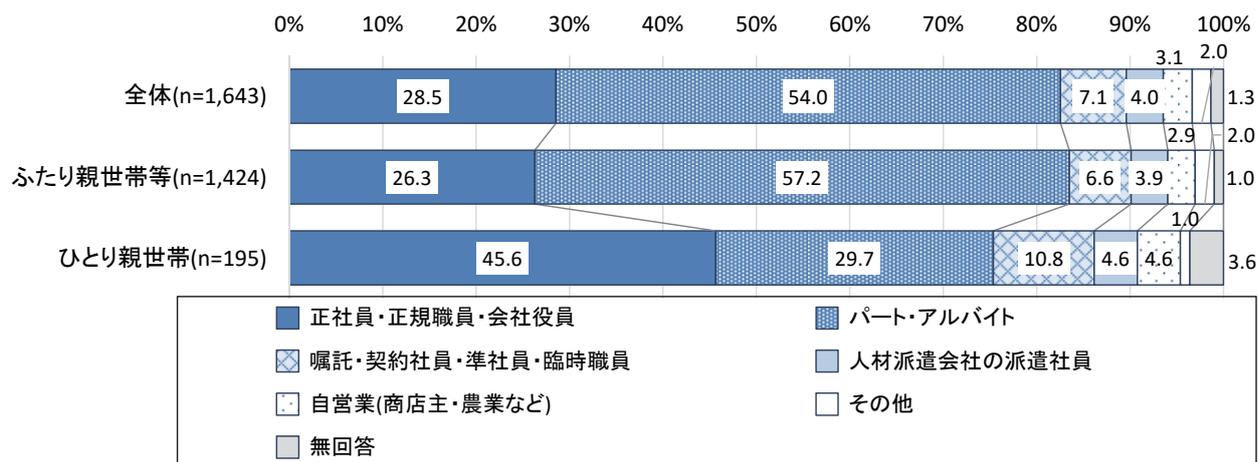
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が45.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-3-6 母親の就業形態（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 父親の就業形態

現在収入をとまなう仕事を「している」父親の就業形態を尋ねた設問<sup>10</sup>について、5歳児の保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が91.3%と最も高く、次いで「自営業(商店主・農業など)」の回答割合が5.8%となっている。所得区別にみたら、所得区分1では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が77.9%となっており、全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が90.4%と最も高く、次いで「自営業(商店主・農業など)」の回答割合が6.3%、「パート・アルバイト」の回答割合が0.9%となっている。所得区分1では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が59.7%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が90.0%と最も高く、次いで「自営業(商店主・農業など)」の回答割合が6.6%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」の回答割合が1.8%となっている。所得区分1では、「正社員・正規職員・会社役員」の回答割合が60.0%となっており、全体と比べて低くなっている。

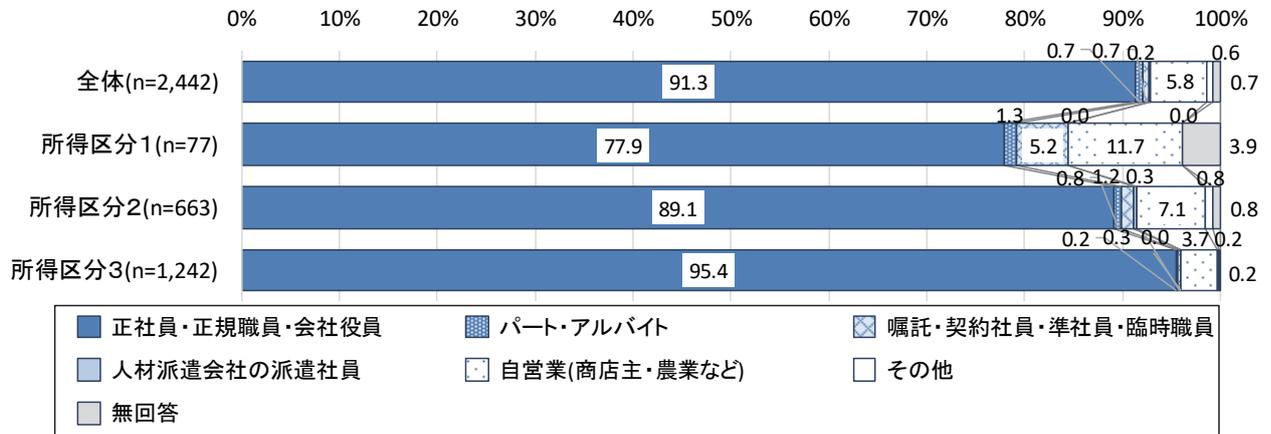
<sup>10</sup> 複数の仕事を持っている場合は、主な仕事について回答するよう案内した。

【保護者票問9-1】 宛名のお子さんの母親と父親の就業形態は次のどれにあてはまりますか。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。

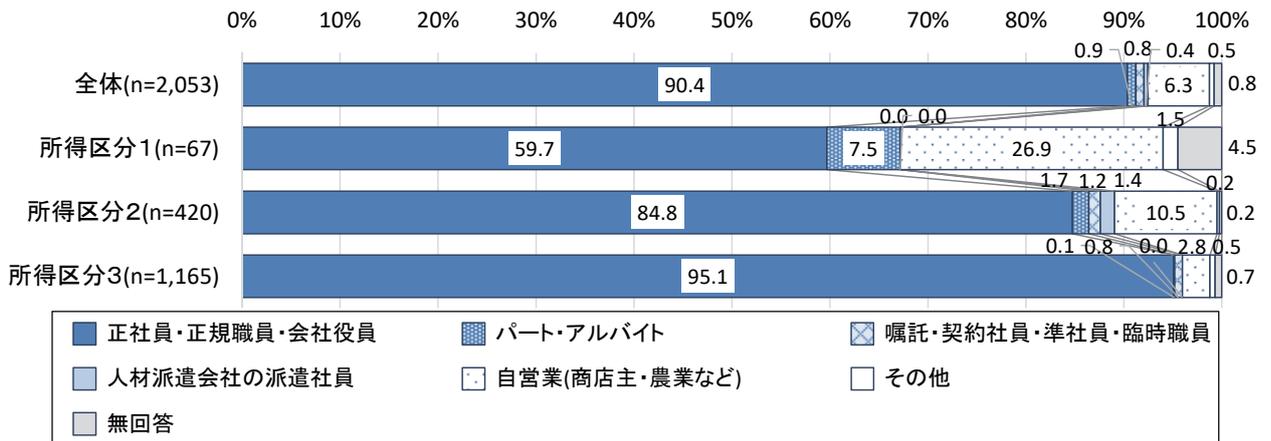
(B 父親)

図表 2-3-7 父親の就業形態（所得区分別）

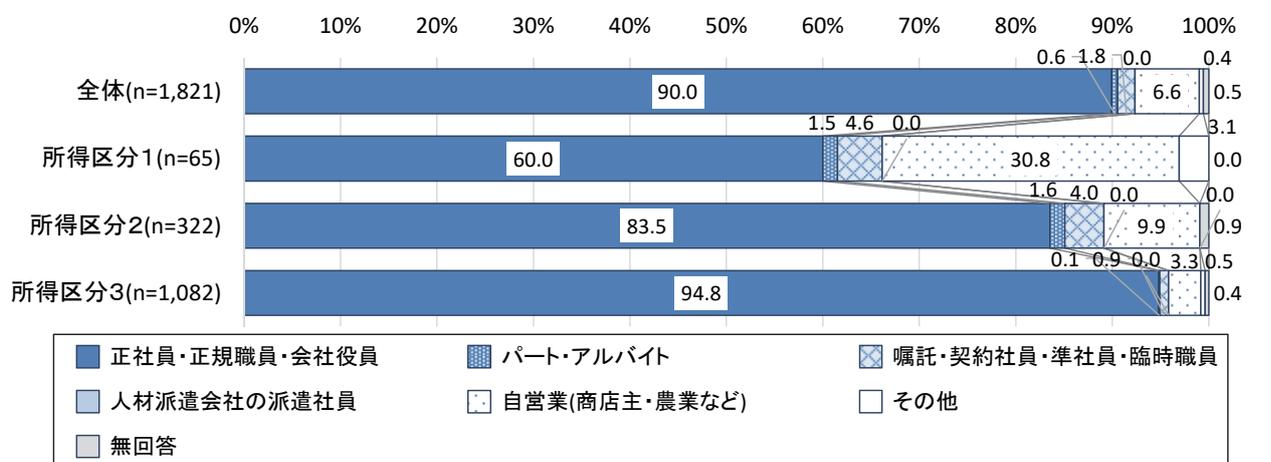
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



### (3) 平日日中以外の勤務の有無

#### ア 母親の平日日中以外の勤務の有無

現在収入をともなう仕事を「している」母親に関して、平日の日中以外の勤務があるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が57.6%と最も高く、次いで「土曜出勤」の回答割合が33.3%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が19.8%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が47.3%と全体と比べて低くなっており、また「土曜出勤」の回答割合が40.7%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が28.6%と全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が57.4%と最も高く、次いで「土曜出勤」の回答割合が32.6%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が23.3%となっている。所得区分1では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が42.7%と全体と比べて低くなっており、「土曜出勤」の回答割合が48.2%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が33.6%と全体と比べて高くなっている。

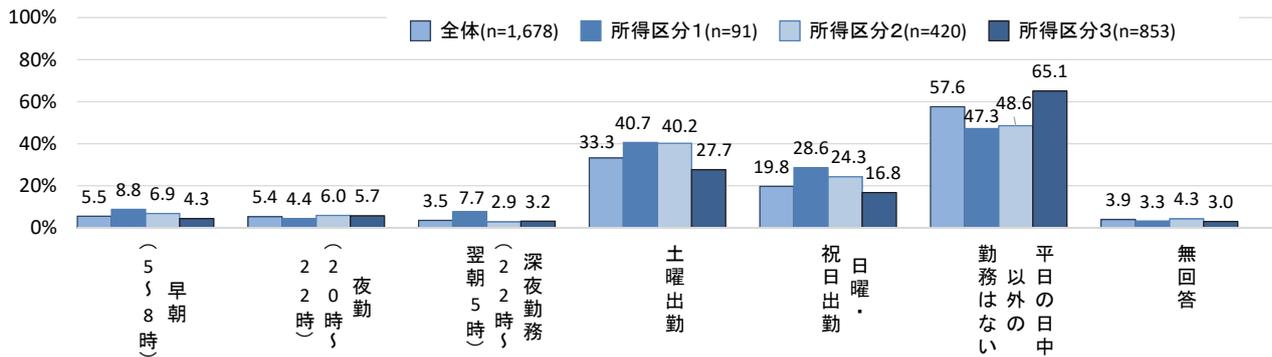
中学2年生の保護者全体では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が51.5%と最も高く、次いで「土曜出勤」の回答割合が37.9%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が28.4%となっている。所得区分1では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が44.2%と全体と比べて低くなっており、それ以外の回答割合が全体と比べて高くなっている。

【保護者票問9-2】 宛名のお子さんの母親と父親は、平日の日中以外の勤務がありますか。

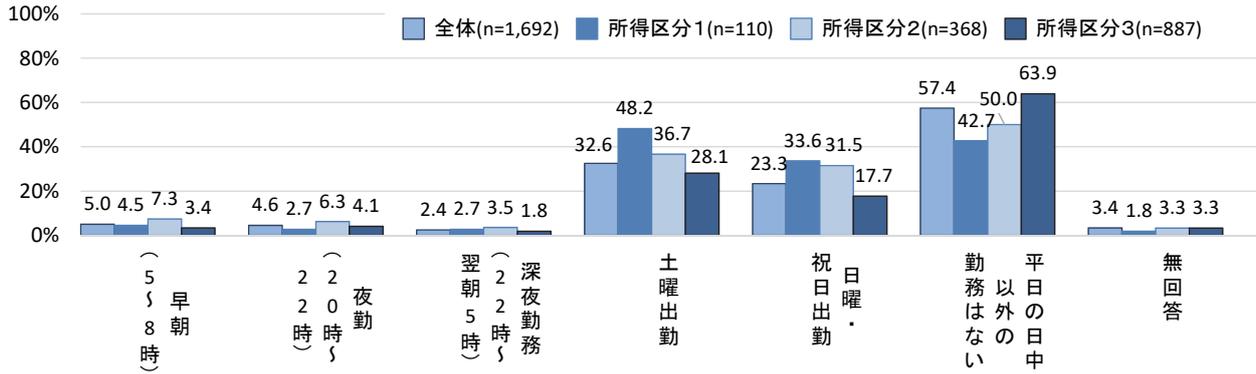
(A 母親)

図表 2-3-8 母親の平日日中以外の勤務の有無（所得区分別）

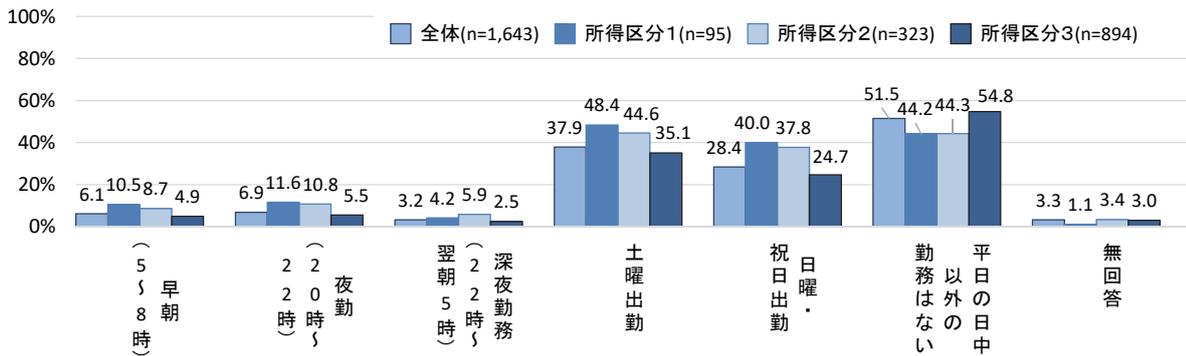
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



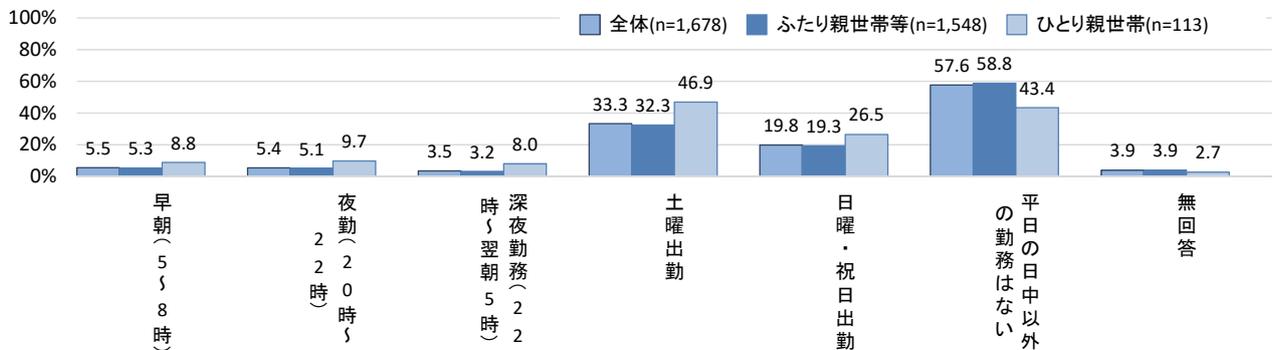
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「土曜出勤」の回答割合が46.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「土曜出勤」の回答割合が44.6%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が40.8%、となっており、全体と比べて高くなっている。

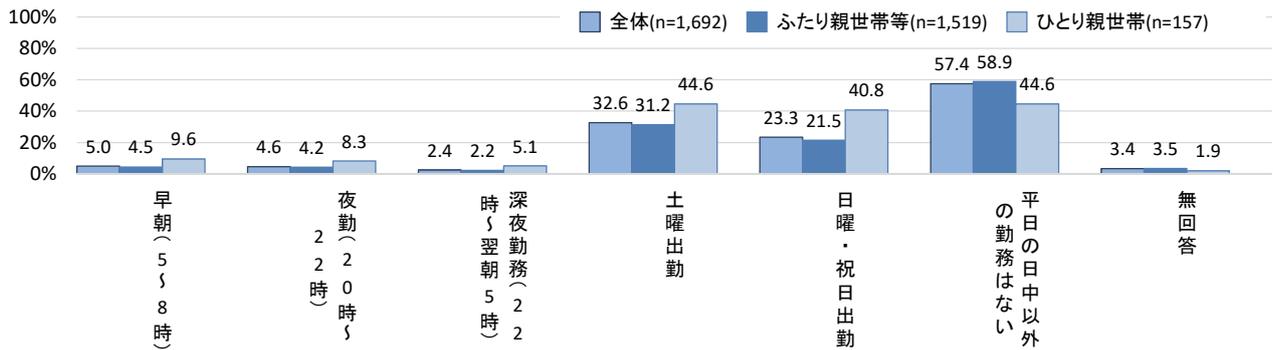
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「土曜出勤」の回答割合が51.3%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が44.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-3-9 母親の平日日中以外の勤務の有無（世帯類型別）

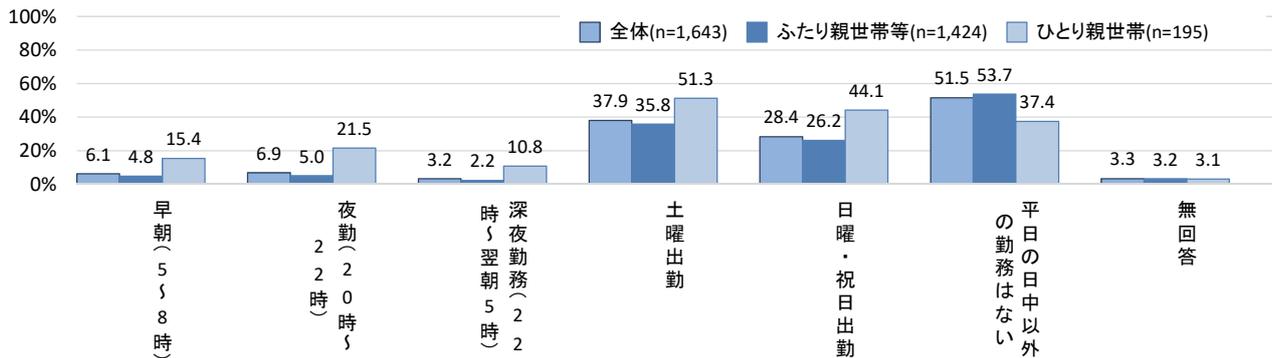
【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



## イ 父親の平日日中以外の勤務の有無

現在収入をとまなう仕事を「している」父親に関して、平日の日中以外の勤務があるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が44.1%と最も高く、次いで「土曜出勤」の回答割合が44.0%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が36.5%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「土曜出勤」の回答割合が58.4%、「早朝(5~8時)」の回答割合が26.0%と全体と比べて高くなっており、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が33.8%と全体と比べて低くなっている。

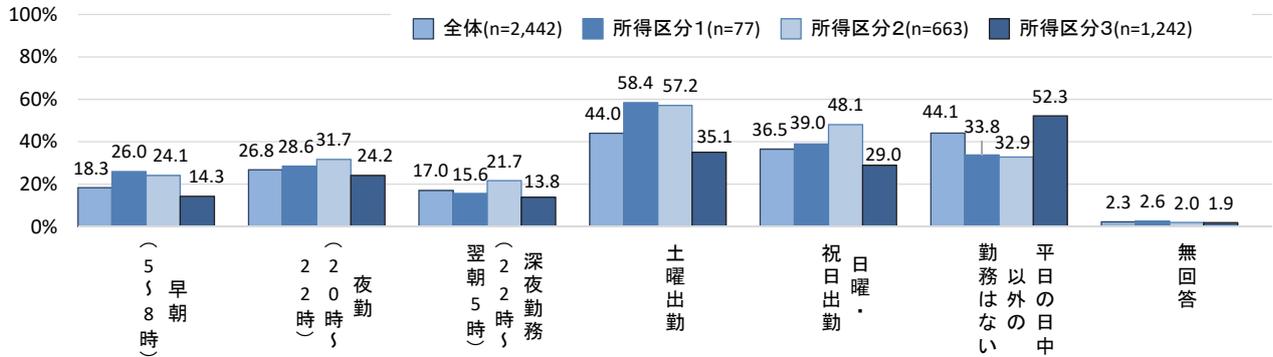
小学5年生の保護者全体では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が48.4%と最も高く、次いで「土曜出勤」の回答割合が40.0%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が32.4%となっている。所得区分1では、「日曜・祝日出勤」の回答割合が43.3%と全体と比べて高くなっており、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が29.9%と全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が48.3%と最も高く、次いで「土曜出勤」の回答割合が40.5%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が30.9%となっている。所得区分1では、「土曜出勤」の回答割合が61.5%、「夜勤(20時~22時)」の回答割合が29.2%と全体と比べて高くなっており、「平日の日中以外の勤務はない」の回答割合が29.2%と全体と比べて低くなっている。

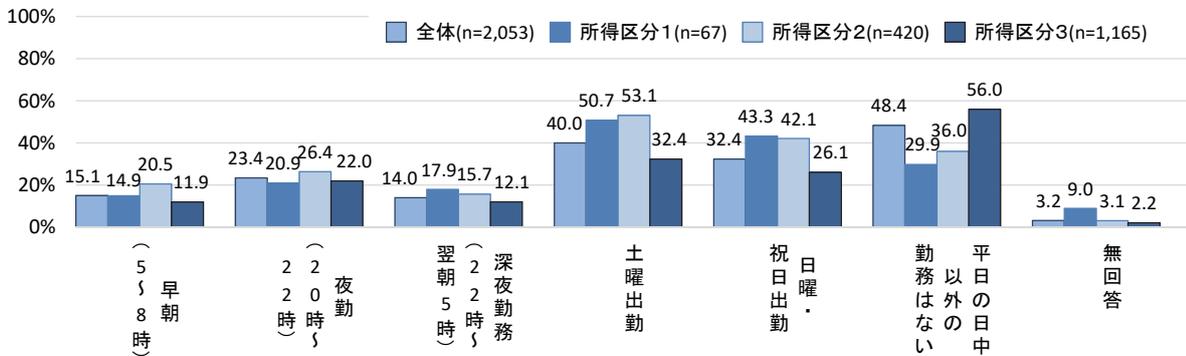
【保護者票問9-2】 宛名のお子さんの母親と父親は、平日の日中以外の勤務がありますか。  
(B 父親)

図表 2-3-10 父親の平日日中以外の勤務の有無（所得区分別）

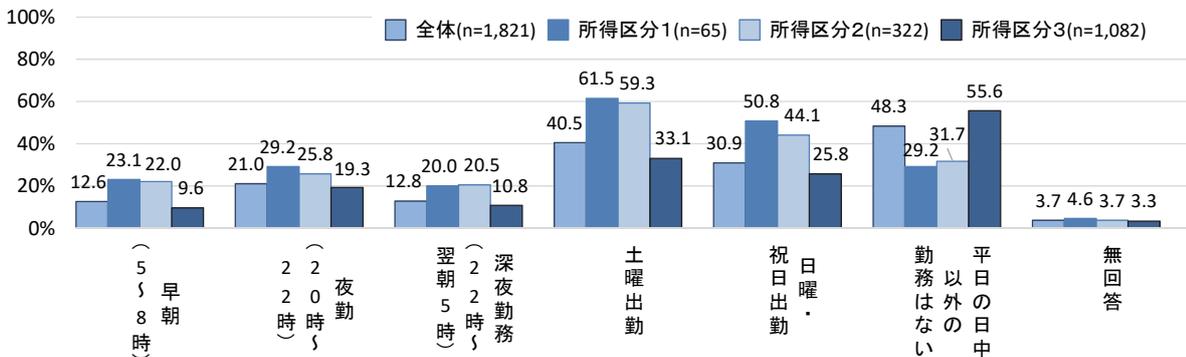
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



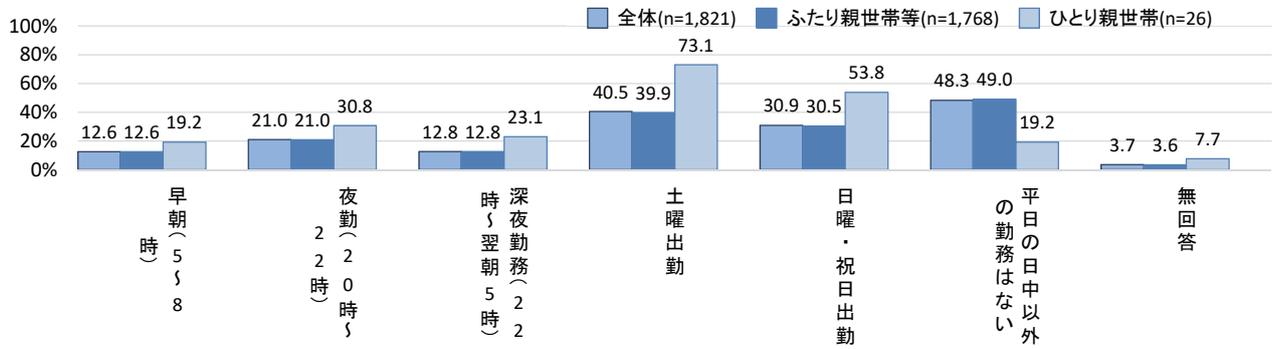
【中学2年生保護者】



世帯類型別にみたところ、中学2年生のひとり親世帯では、「土曜出勤」の回答割合が73.1%、「日曜・祝日出勤」の回答割合が53.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-3-11 父親の平日日中以外の勤務の有無（世帯類型別）

【中学2年生保護者】



#### (4) 仕事をしていない理由

##### ア 母親の仕事をしていない理由

現在収入をとまなう仕事を「していない」母親に関して、仕事をしていない理由を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「子育てを優先したいため」の回答割合が81.6%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の回答割合が26.0%、「その他」の回答割合が7.3%となっている。所得区別にみたら、所得区分1では、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」の回答割合が16.7%と全体と比べて高くなっている。

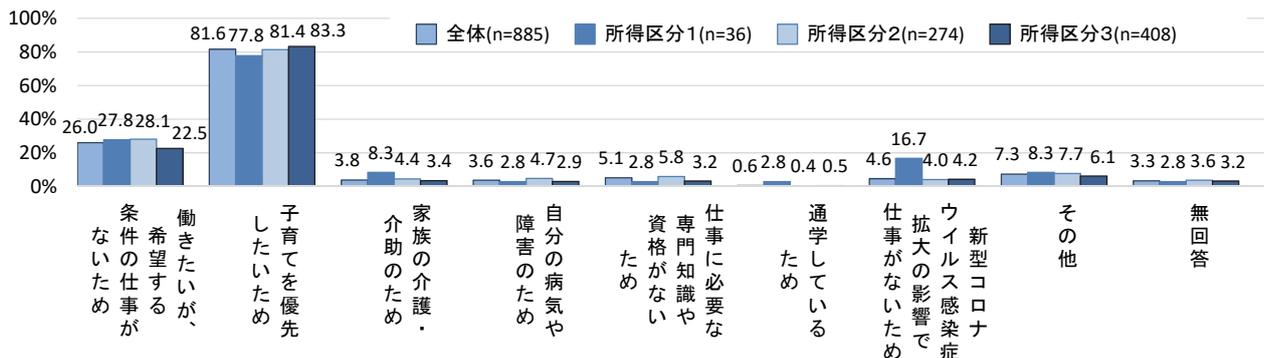
小学5年生の保護者全体では、「子育てを優先したいため」の回答割合が65.5%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の回答割合が25.5%、「その他」の回答割合が11.3%となっている。所得区分1では、「子育てを優先したいため」の回答割合が43.5%と全体と比べて低くなっており、「自分の病気や障害のため」の回答割合が30.4%、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」の回答割合が17.4%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「子育てを優先したいため」の回答割合が50.5%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の回答割合が31.4%、「自分の病気や障害のため」の回答割合が13.9%となっている。所得区分1では、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」の回答割合が44.4%、「自分の病気や障害のため」の回答割合が38.9%と全体と比べて高くなっている。所得区分2では、「子育てを優先したいため」の回答割合が35.1%と全体と比べて低くなっている。

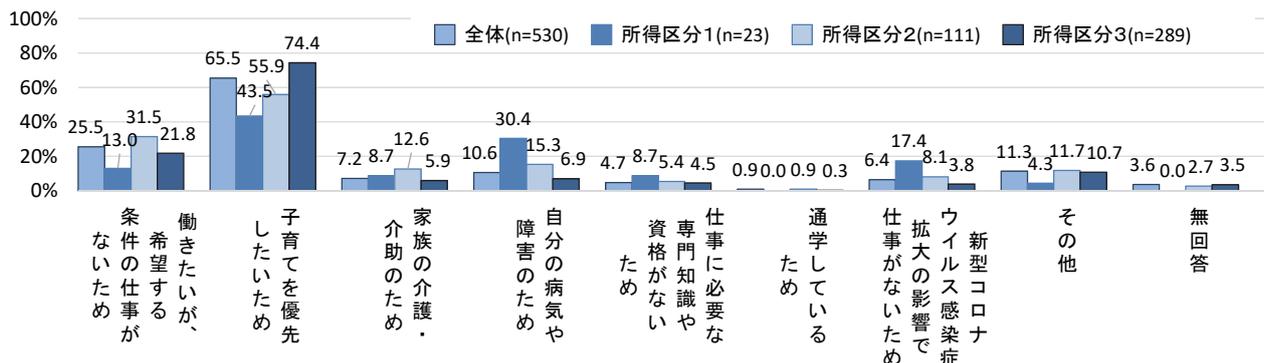
#### 【保護者票問9-3】 現在収入をとまなう仕事をしていない理由は何ですか。

(A 母親)

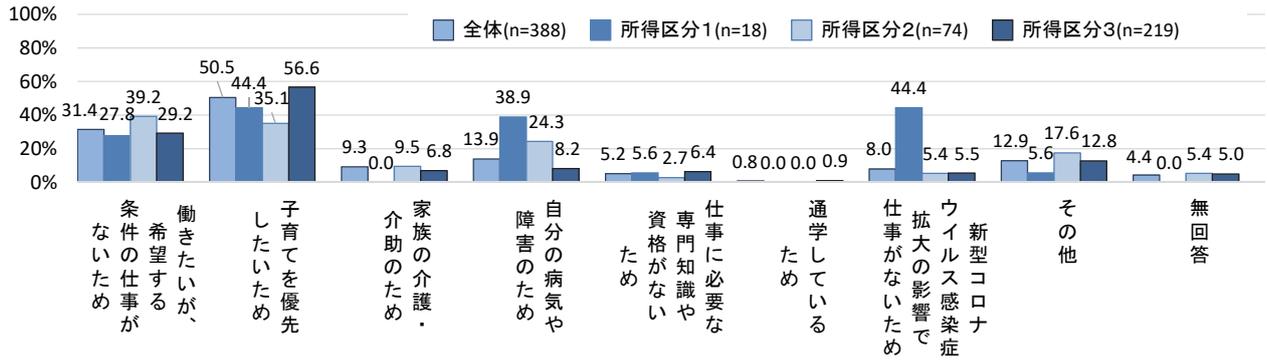
図表 2-3-12 母親の仕事をしていない理由（所得区分別）  
【5歳児保護者】



##### 【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



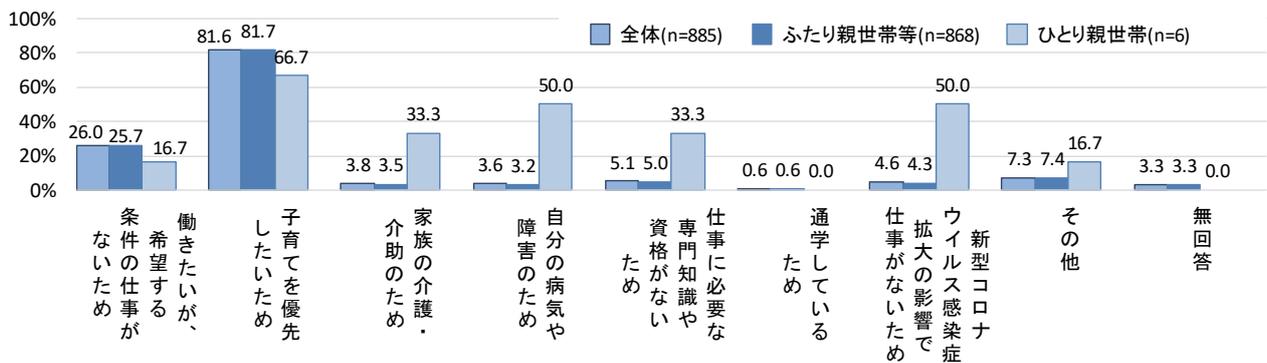
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「自分の病気や障害のため」「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」の回答割合がそれぞれ50.0%、「家族の介護・介助のため」「仕事に必要な専門知識や資格がないため」の回答割合がそれぞれ33.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「自分の病気や障害のため」の回答割合が38.5%、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」の回答割合が19.2%、「通学しているため」の回答割合が7.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

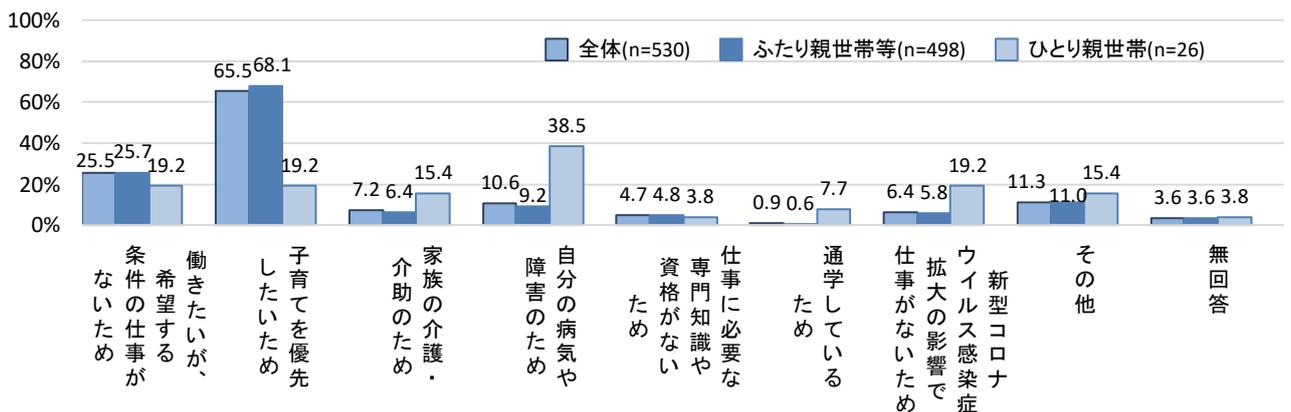
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「自分の病気や障害のため」の回答割合が52.9%、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」の回答割合が29.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-3-13 母親の仕事をしていない理由（世帯類型別）

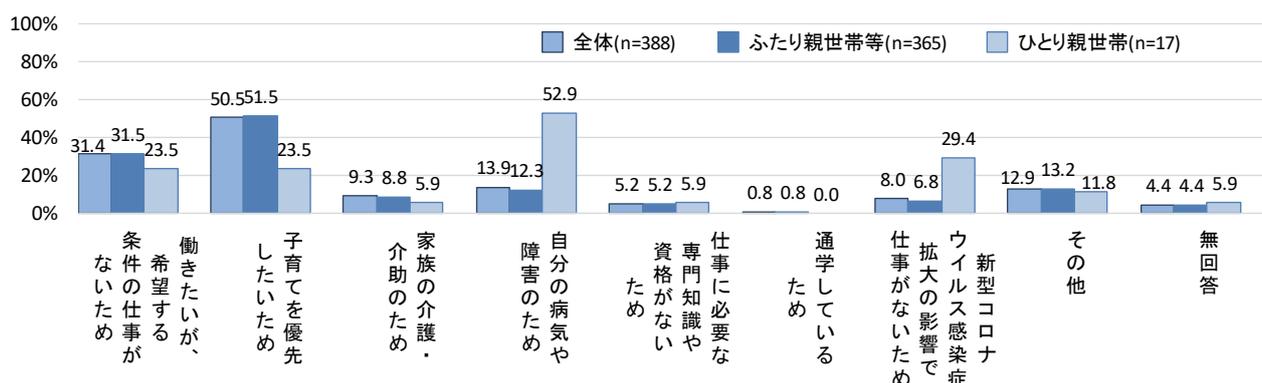
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



## 【中学2年生保護者】



## イ 父親の仕事をしていない理由<sup>11</sup>

現在収入をとまなう仕事を「していない」父親に関して、仕事をしていない理由を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「自分の病気や障害のため」「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」の回答割合が23.1%と最も高くなっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「仕事に必要な専門知識や資格がないため」「通学しているため」の回答割合が0.0%と全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「自分の病気や障害のため」の回答割合が40.0%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」の回答割合が25.0%、「家族の介護・介助のため」の回答割合が15.0%となっている。所得区分1では、「自分の病気や障害のため」の回答割合が50.0%と最も高く、次いで「家族の介護・介助のため」の回答割合が33.3%、「仕事に必要な専門知識や資格がないため」の回答割合が16.7%となっている。

中学2年生の保護者全体では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の回答割合が34.6%と最も高く、次いで「自分の病気や障害のため」の回答割合が26.9%、「その他」の回答割合が19.2%となっている。所得区分1では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「家族の介護・介助のため」「自分の病気や障害のため」「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で仕事がないため」「その他」の回答割合が25.0%と最も高くなっている。

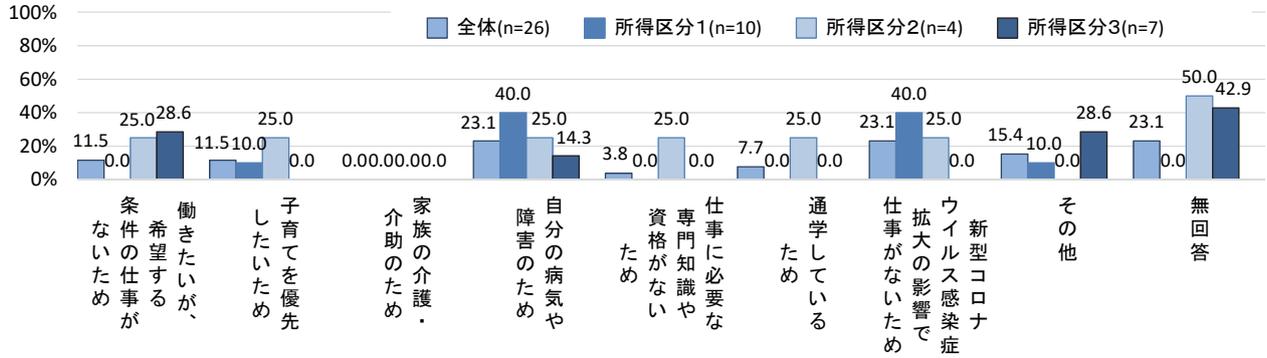
<sup>11</sup> 全体について、5歳児保護者ではn=26、小学5年生保護者ではn=20、中学2年生保護者ではn=26である点、また、各所得区分についてもn値が小さい点には留意が必要である。

【保護者票問9-3】 現在収入をとまなう仕事をしていない理由は何ですか。

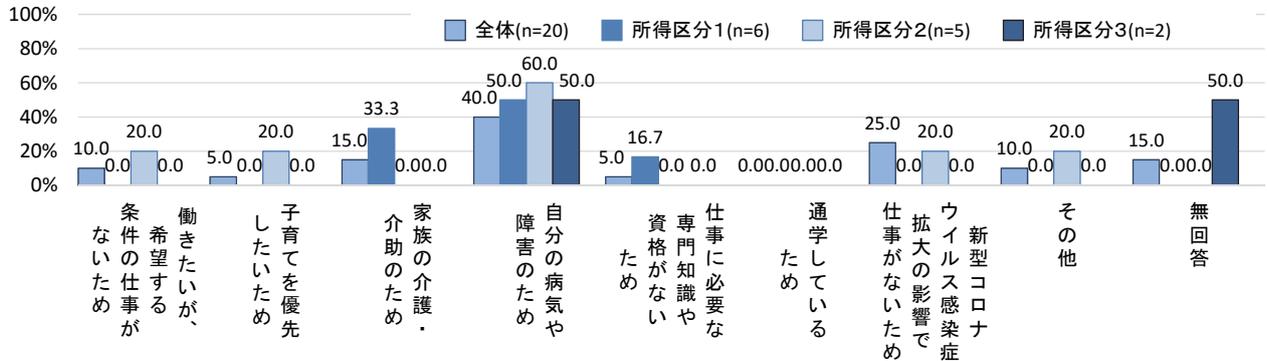
(B 父親)

図表 2-3-14 父親の仕事をしていない理由（所得区分別）

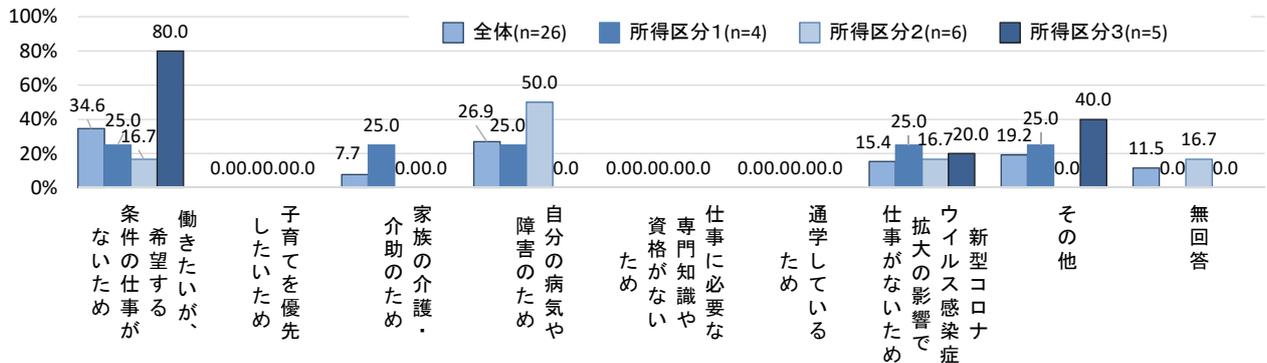
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



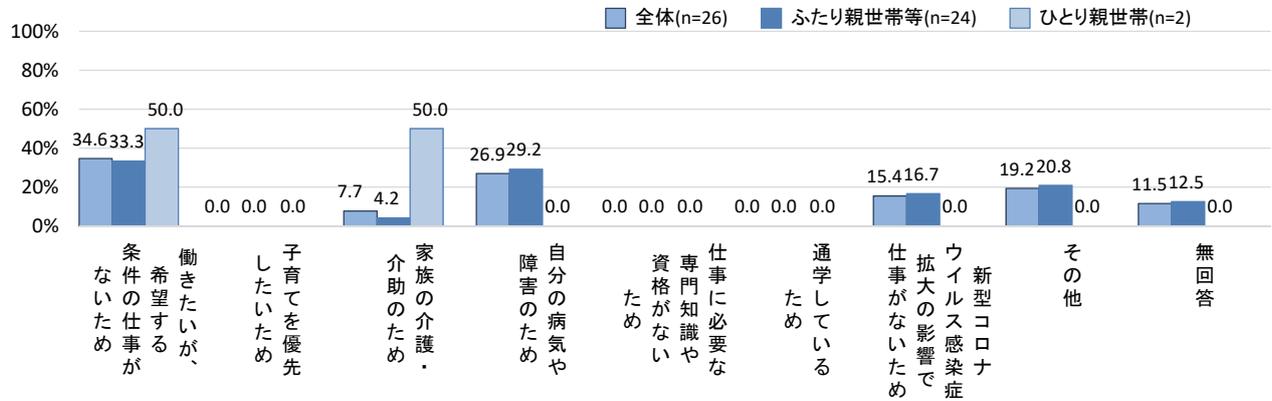
【中学2年生保護者】



世帯類型別にみたと、中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「家族の介護・介助のため」の回答割合が50.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-3-15 父親の仕事をしていない理由（世帯類型別）

【中学2年生保護者】



## (5) 新型コロナウイルス感染症拡大による就業上の影響

### ア 母親が受けた新型コロナウイルス感染症拡大による就業上の影響

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、宛名のお子さんの母親が経験したことを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が65.6%と最も高く、次いで「収入の減少」の回答割合が14.5%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が45.7%と全体と比べて低くなっており、「収入の減少」の回答割合が26.8%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が14.2%と全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が66.0%と最も高く、次いで「収入の減少」の回答割合が16.5%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が10.1%となっている。所得区分1では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が42.2%と全体と比べて低くなっており、「収入の減少」の回答割合が43.0%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が27.4%と全体と比べて高くなっている。

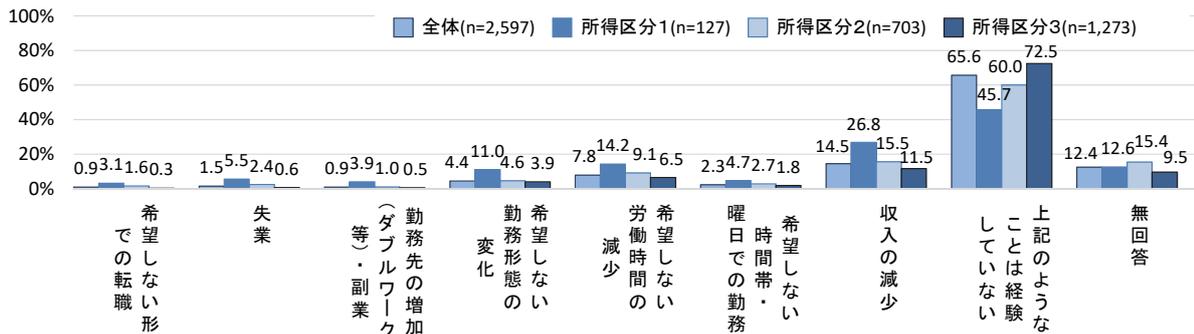
中学2年生の保護者全体では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が66.2%と最も高く、次いで「収入の減少」の回答割合が18.3%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が9.7%となっている。所得区分1では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が50.4%と全体と比べて低くなっており、「収入の減少」の回答割合が33.0%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が17.4%と全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 10】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、宛名のお子さんの母親と父親は次のようなことを経験しましたか。

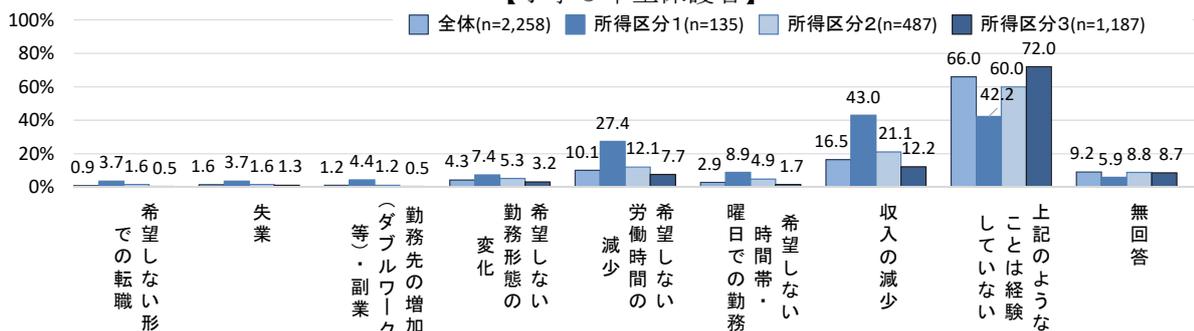
(A 母親)

図表 2-3-16 母親が受けた新型コロナウイルス感染症拡大による就業上の影響（所得区分別）

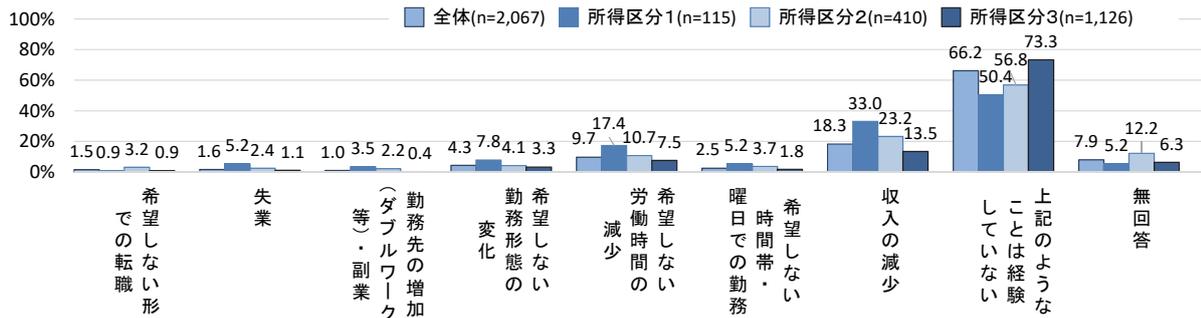
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



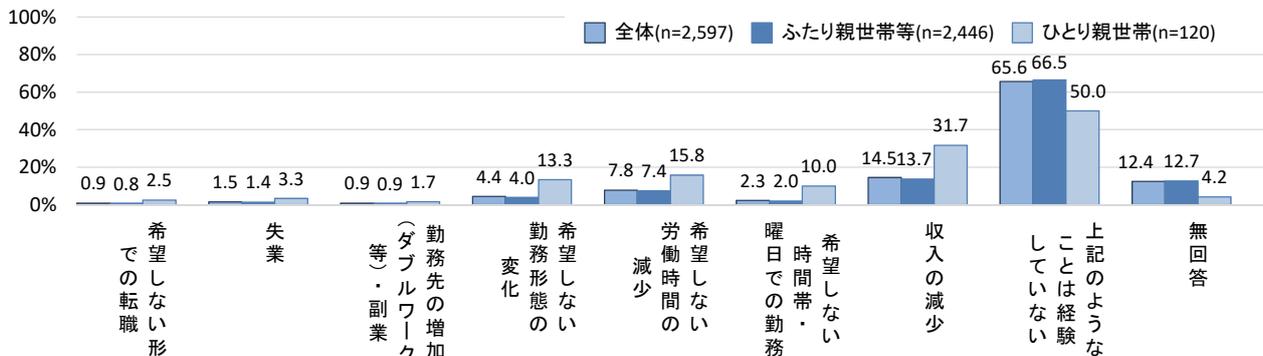
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「収入の減少」の回答割合が31.7%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が15.8%、「希望しない勤務形態の変化」の回答割合が13.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「収入の減少」の回答割合が34.9%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が19.4%、「希望しない時間帯・曜日での勤務」の回答割合が5.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

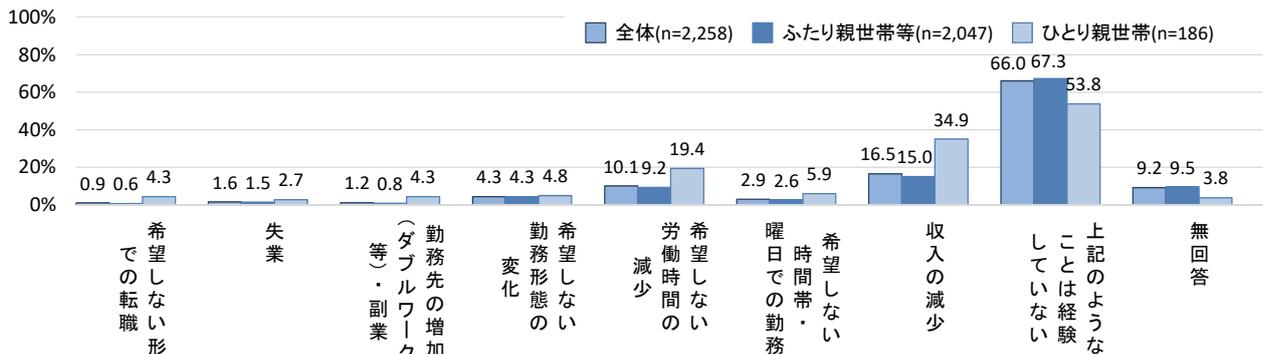
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「収入の減少」の回答割合が32.7%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が16.1%、「希望しない勤務形態の変化」の回答割合が10.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-3-17 母親が受けた新型コロナウイルス感染症拡大による就業上の影響（世帯類型別）

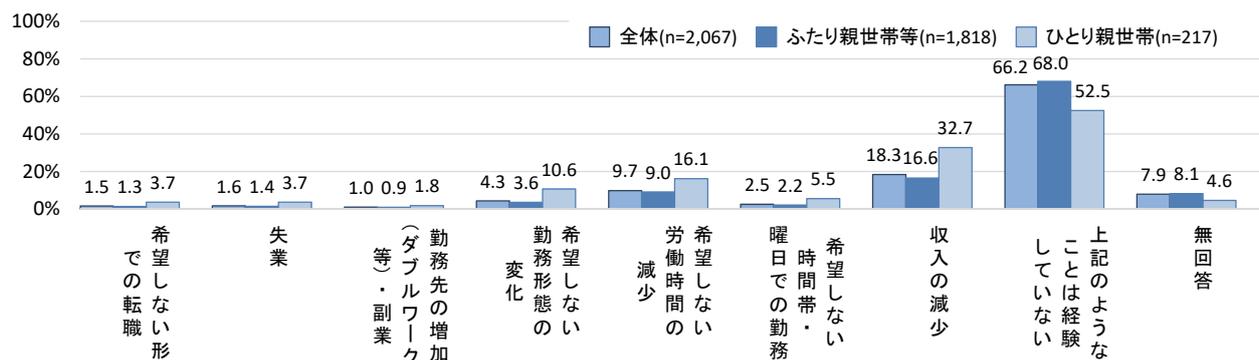
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



## イ 父親が受けた新型コロナウイルス感染症拡大による就業上の影響

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、宛名のお子さんの父親が経験したことを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が64.3%と最も高く、次いで「収入の減少」の回答割合が24.3%、「希望しない勤務形態の変化」の回答割合が8.4%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分2では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が53.3%と全体と比べて低くなっており、「収入の減少」の回答割合が33.6%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が12.4%と全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が68.8%と最も高く、次いで「収入の減少」の回答割合が21.3%、「希望しない勤務形態の変化」の回答割合が6.9%となっている。所得区分1では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が40.0%と全体と比べて低くなっており、「収入の減少」の回答割合が42.7%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が16.0%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が66.6%と最も高く、次いで「収入の減少」の回答割合が22.5%、「希望しない勤務形態の変化」の回答割合が7.3%となっている。所得区分1では、「上記のようなことは経験していない」の回答割合が47.9%と全体と比べて低くなっており、「収入の減少」の回答割合が39.4%、「希望しない労働時間の減少」の回答割合が16.9%と全体と比べて高くなっている。

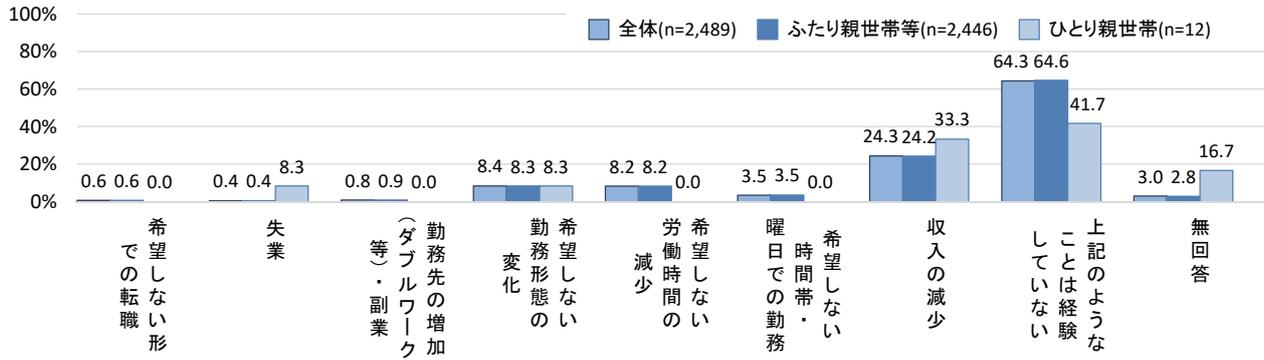


世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「収入の減少」の回答割合が33.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

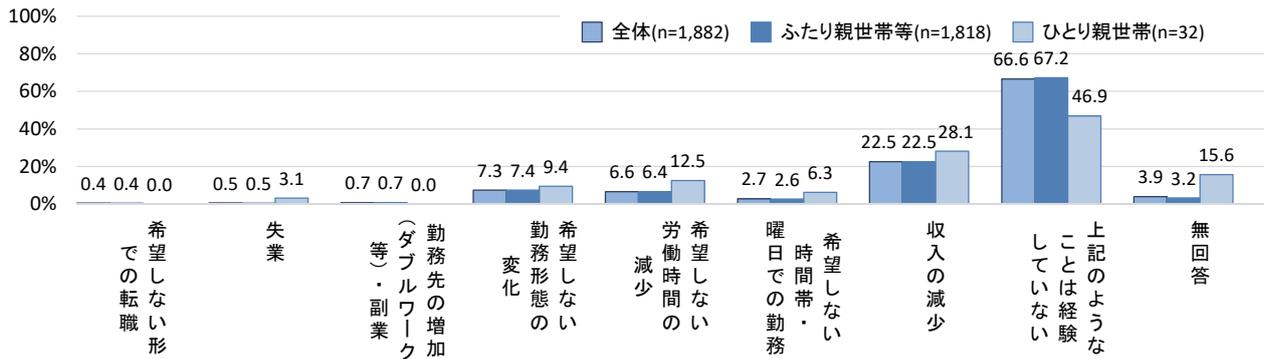
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「収入の減少」の回答割合が28.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-3-19 父親が受けた新型コロナウイルス感染症拡大による就業上の影響（世帯類型別）

【5歳児保護者】



【中学2年生保護者】



## (6) 最終学歴

### ア 母親の最終学歴

宛名のお子さんの母親の最終学歴を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が47.8%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の回答割合が33.4%、「高校（高等部）まで」の回答割合が15.2%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が26.8%と全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の回答割合が42.4%と最も高く、次いで「大学・大学院まで」の回答割合が35.9%、「高校（高等部）まで」の回答割合が17.9%となっている。所得区分2では、「大学・大学院まで」の回答割合が23.0%と全体と比べて低くなっている。

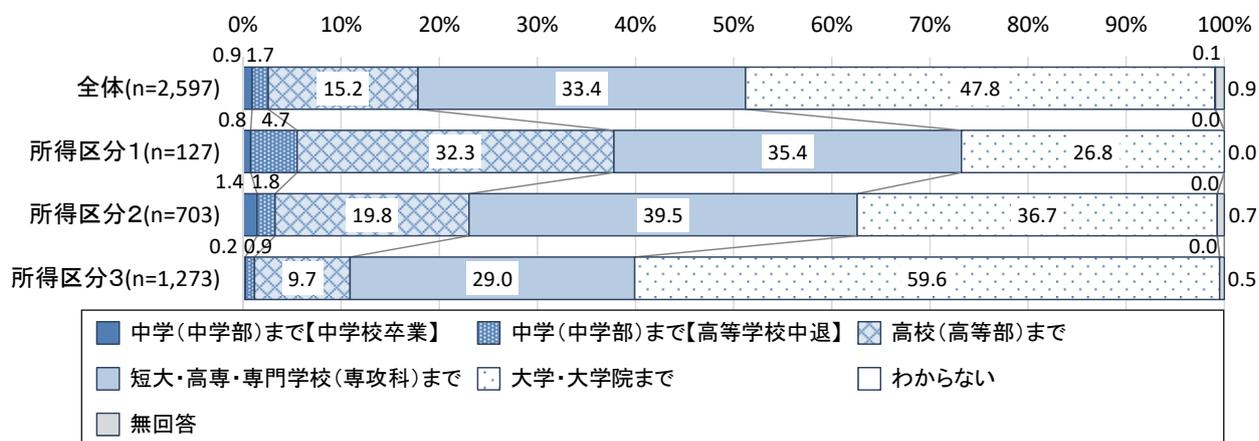
中学2年生の保護者全体では、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の回答割合が44.5%と最も高く、次いで「大学・大学院まで」の回答割合が30.1%、「高校（高等部）まで」の回答割合が21.1%となっている。所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が15.7%と全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 11】 宛名のお子さんの母親と父親の最終学歴は次のうちどれですか。

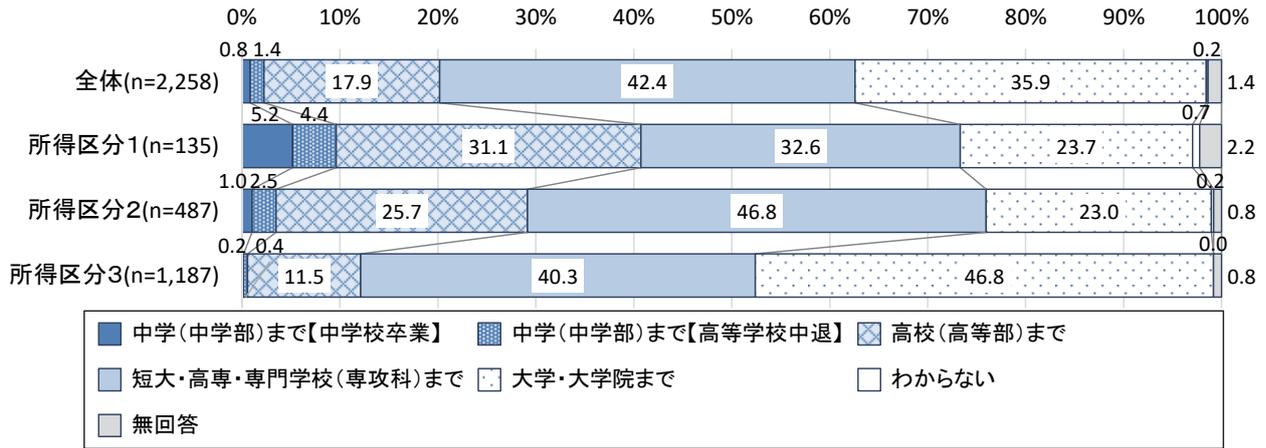
(A 母親)

図表 2-3-20 母親の最終学歴（所得区分別）

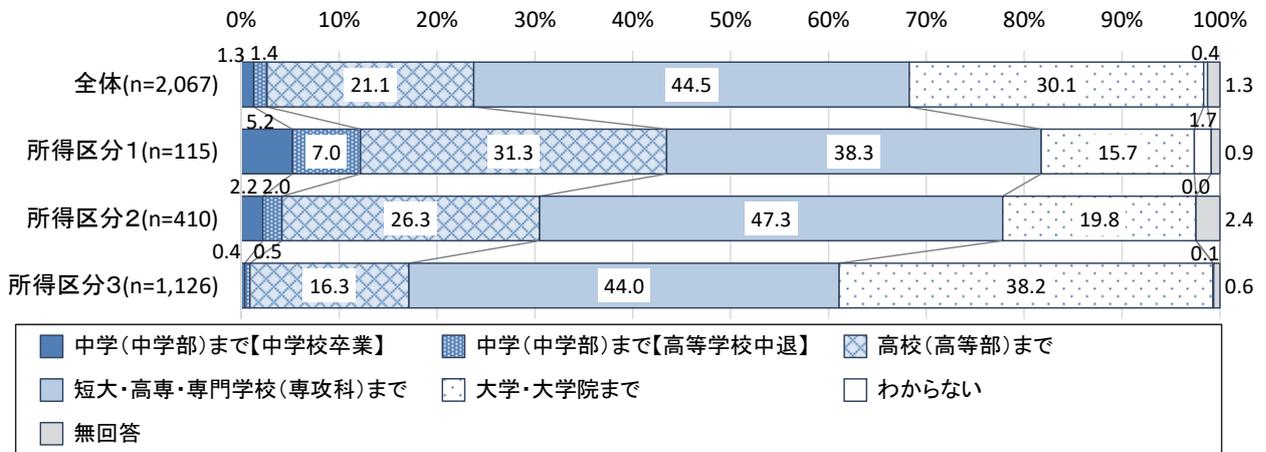
【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



## イ 父親の最終学歴

宛名のお子さんの父親の最終学歴を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が65.9%と最も高く、次いで「高校（高等部）まで」の回答割合が15.6%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の回答割合が14.6%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が45.5%と全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が63.5%と最も高く、次いで「高校（高等部）まで」の回答割合が17.3%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の回答割合が15.0%となっている。所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が33.3%と全体と比べて低くなっている。

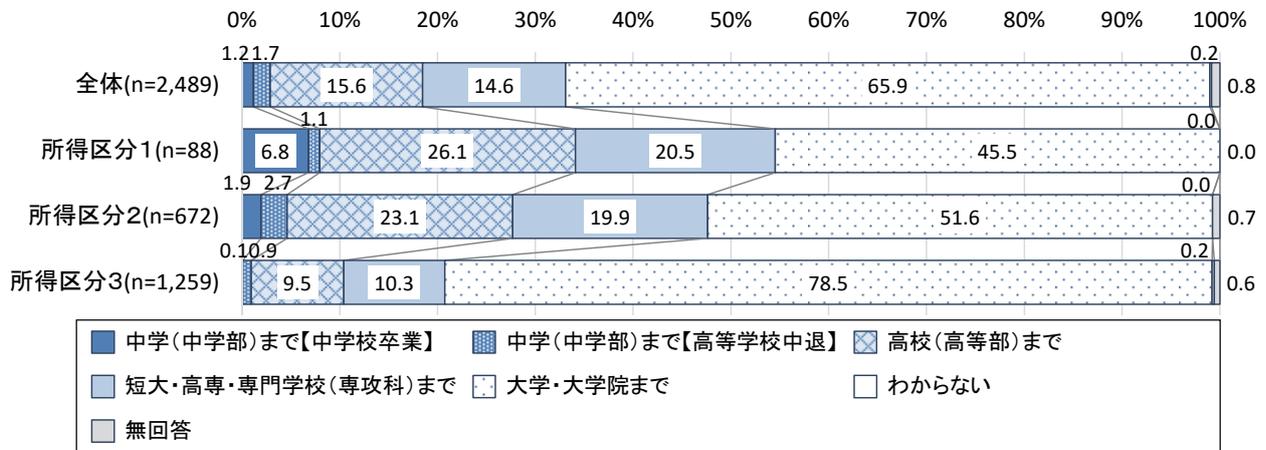
中学2年生の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が60.3%と最も高く、次いで「高校（高等部）まで」の回答割合が21.0%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の回答割合が13.9%となっている。所得区分2では、「大学・大学院まで」の回答割合が36.6%と全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 11】 宛名のお子さんの母親と父親の最終学歴は次のうちどれですか。

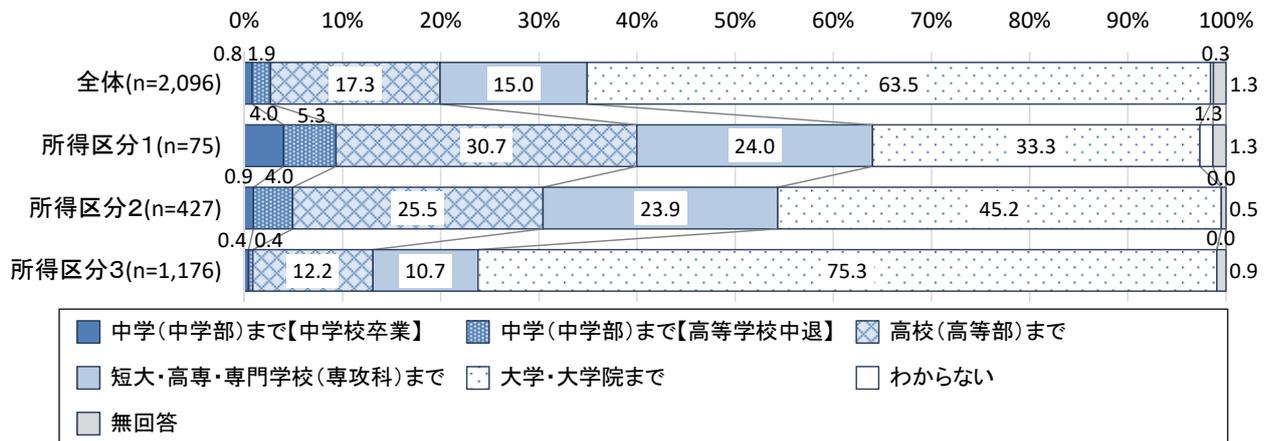
(B 父親)

図表 2-3-21 父親の最終学歴（所得区分別）

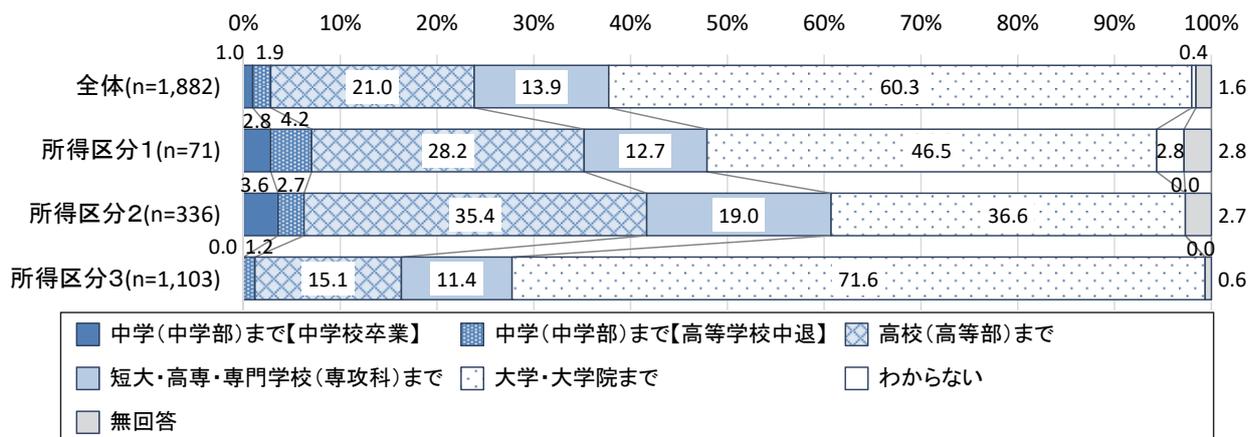
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## 4 健康状態

### (1) 健康状態

#### ア 母親の健康状態

宛名のお子さんの母親の現在の健康状態を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると71.9%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると59.1%となっており、全体と比べて低くなっている。

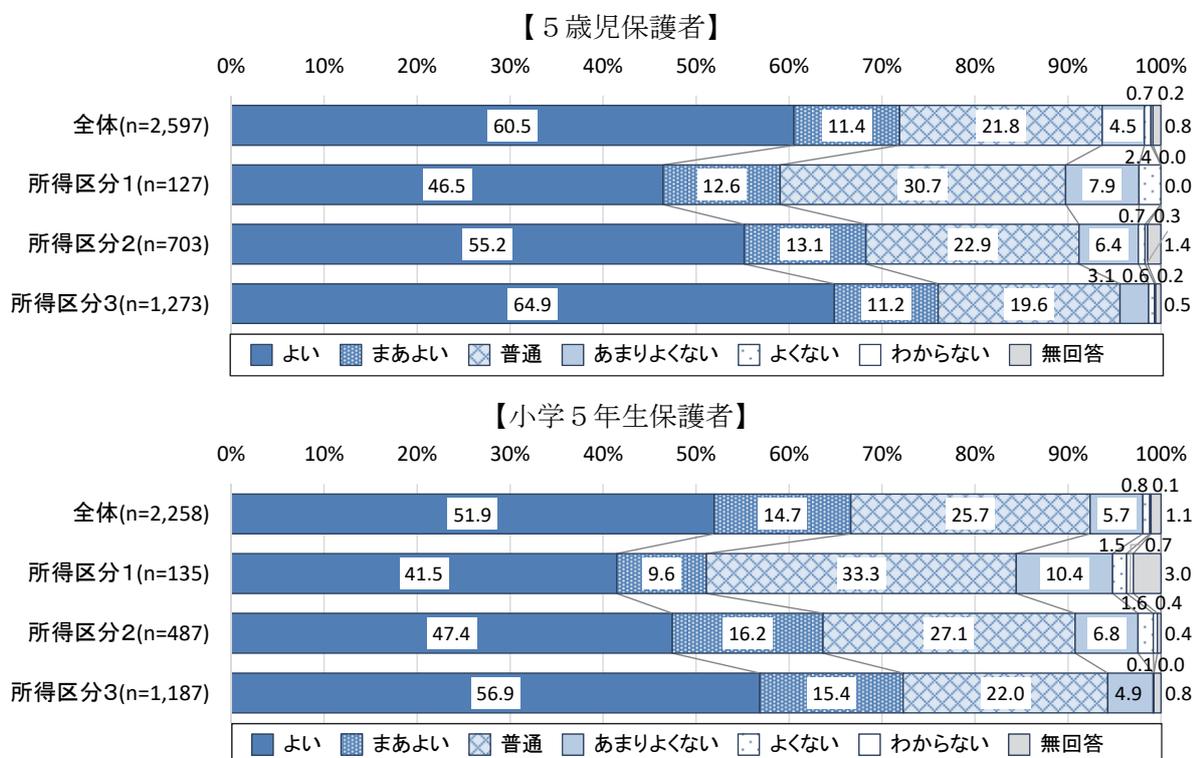
小学5年生の保護者全体では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると66.6%となっている。所得区分1では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると51.1%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると62.7%となっている。所得区分1では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると48.7%となっており、全体と比べて低くなっている。

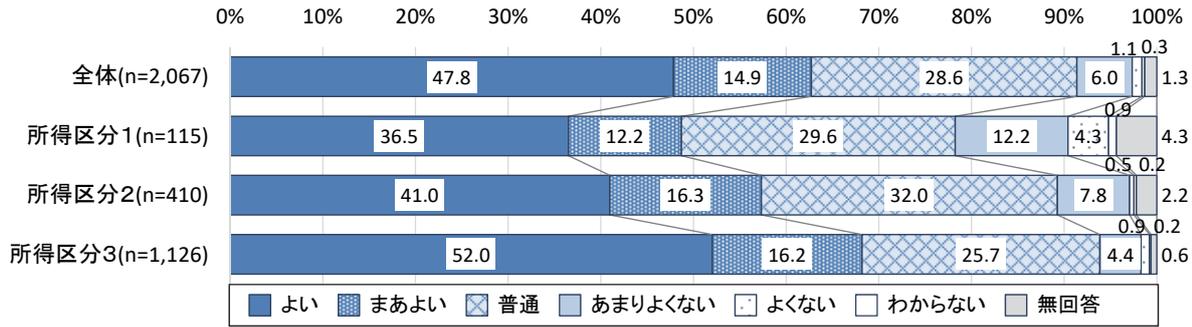
【保護者票問12】 宛名のお子さんの母親と父親の現在の健康状態はいかがですか。

(A 母親)

図表 2-4-1 母親の健康状態（所得区分別）



【中学2年生保護者】



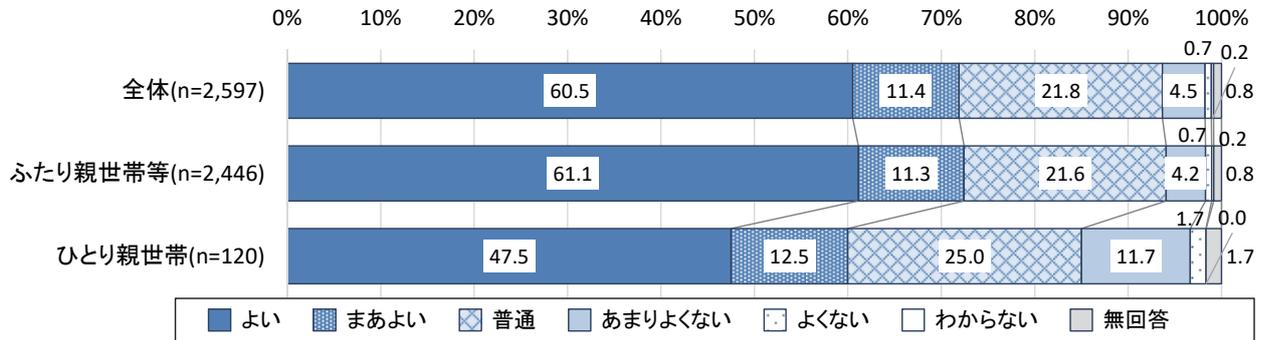
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると60.0%となっており、全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると51.1%となっており、全体と比べて低くなっている。

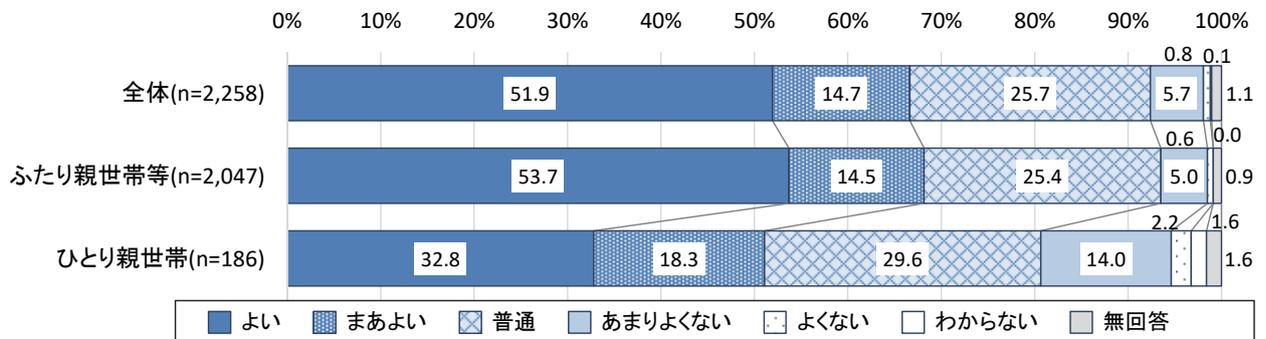
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると46.5%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-4-2 母親の健康状態（世帯類型別）

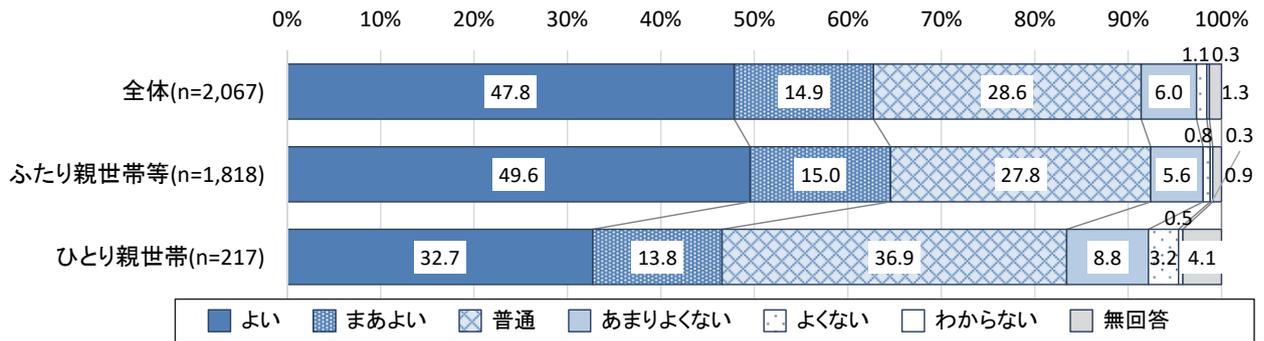
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 父親の健康状態

宛名のお子さんの父親の現在の健康状態を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると71.3%となっている。所得区別にみたら、所得区分1では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると59.1%となっており、全体と比べて低くなっている。

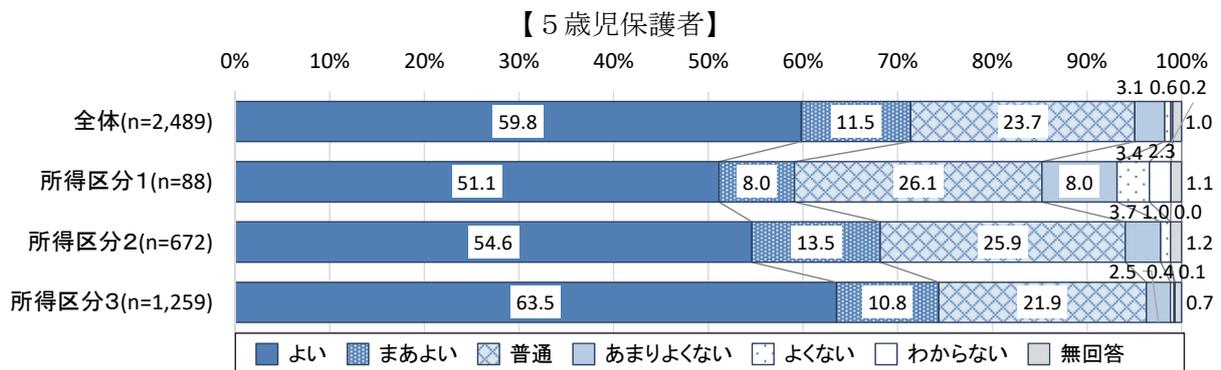
小学5年生の保護者全体では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると68.3%となっている。所得区分1では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると50.7%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると64.6%となっている。所得区分1では、「よい」と「まあよい」の回答割合を合わせると47.9%となっており、全体と比べて低くなっている。

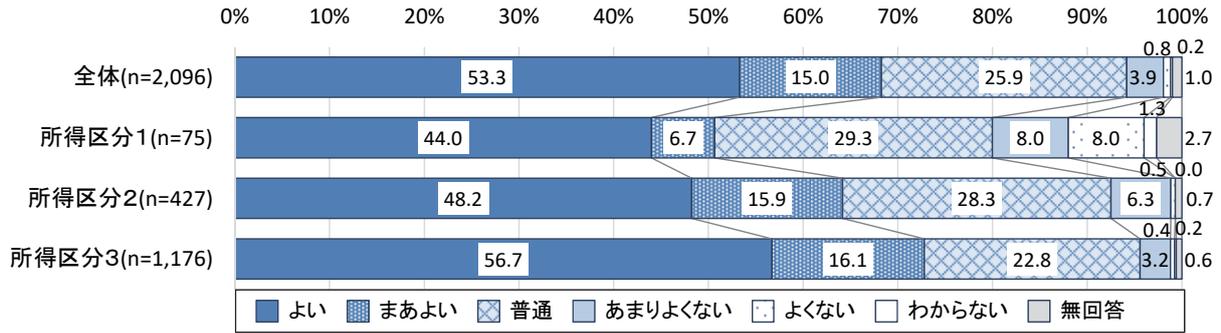
【保護者票問 12】 宛名のお子さんの母親と父親の現在の健康状態はいかがですか。

(B 父親)

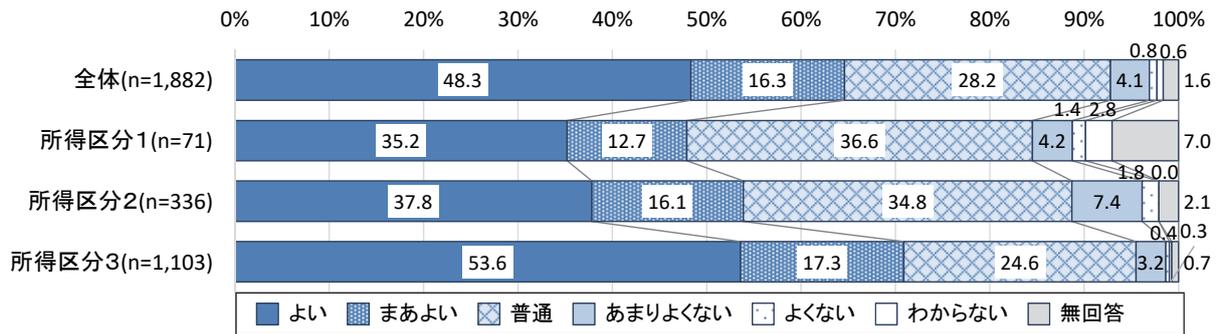
図表 2-4-3 父親の健康状態（所得区分別）



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (2) 病気・障害等に関する経験

### ア 母親の病気・障害等に関する経験

宛名のお子さんの母親の過去1年間の病気・障害等に関する経験を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「いずれも経験していない」の回答割合が74.9%と最も高く、次いで「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が12.2%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が11.5%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「いずれも経験していない」の回答割合が66.1%と全体と比べて低くなっており、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が20.5%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が18.9%と全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「いずれも経験していない」の回答割合が73.5%と最も高く、次いで「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が13.3%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が11.0%となっている。所得区分1では、「いずれも経験していない」の回答割合が49.6%と全体と比べて低くなっており、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が25.2%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が23.7%と全体と比べて高くなっている。

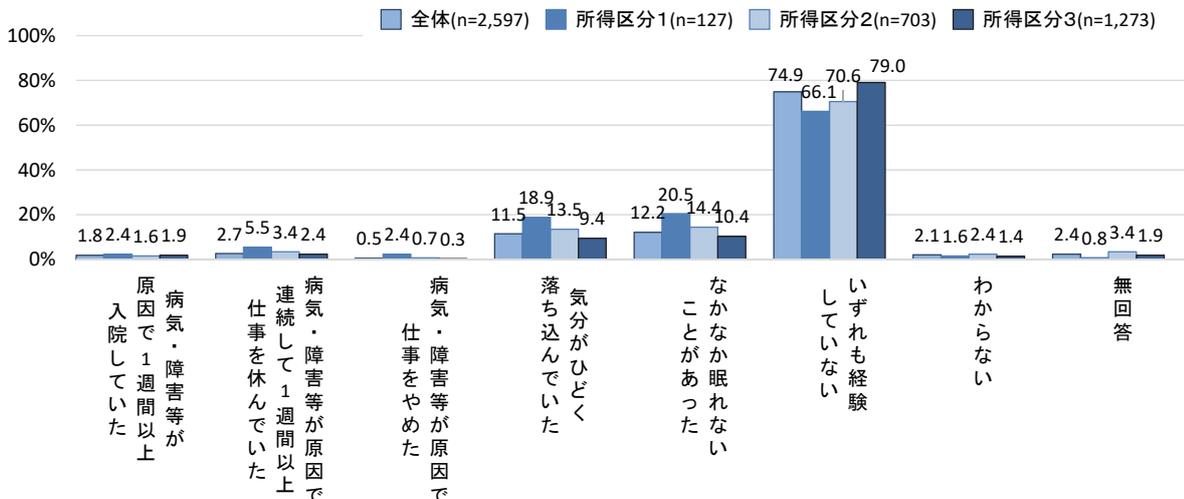
中学2年生の保護者全体では、「いずれも経験していない」の回答割合が72.1%と最も高く、次いで「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が13.4%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が10.8%となっている。所得区分1では、「いずれも経験していない」の回答割合が51.3%と全体と比べて低くなっており、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が30.4%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が24.3%と全体と比べて高くなっている。

【保護者票問13】 宛名のお子さんの母親と父親は、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。

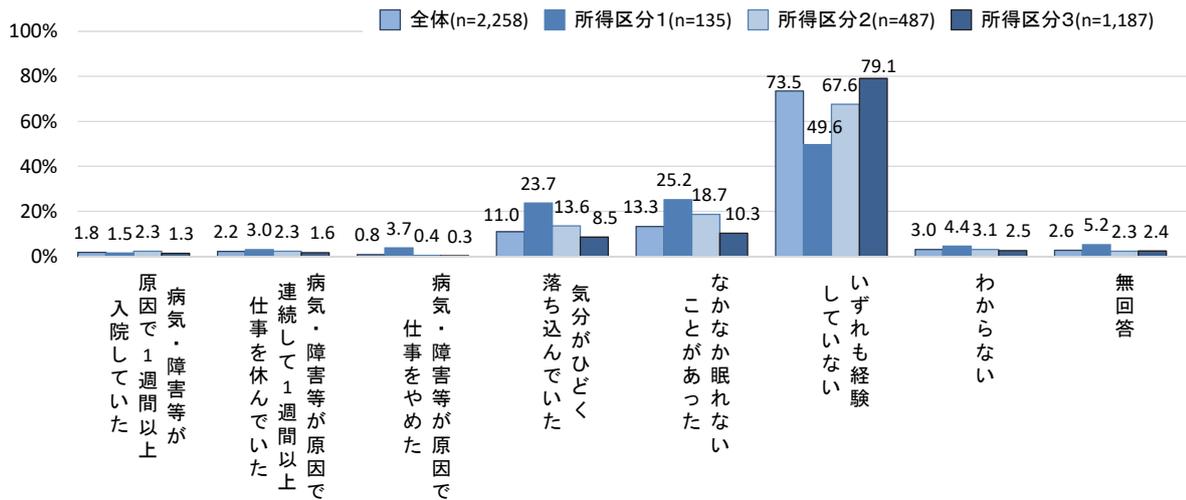
(A 母親)

図表 2-4-4 母親の病気・障害等に関する経験（所得区分別）

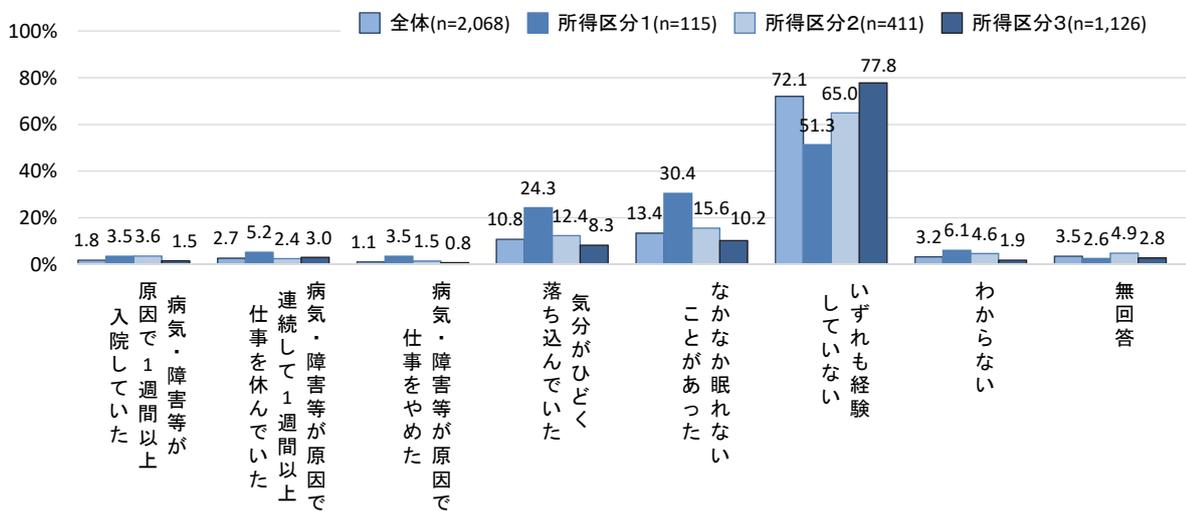
【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



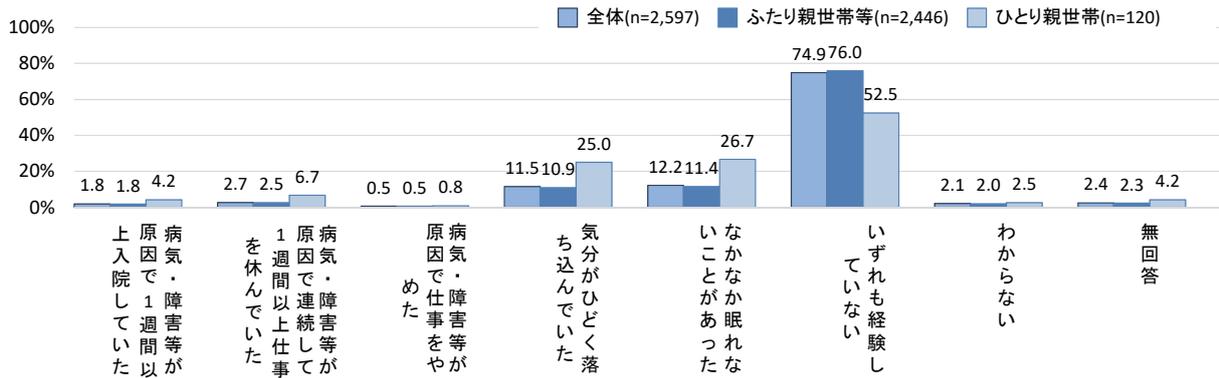
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が26.7%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が25.0%、「病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた」の回答割合が6.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が33.3%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が22.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

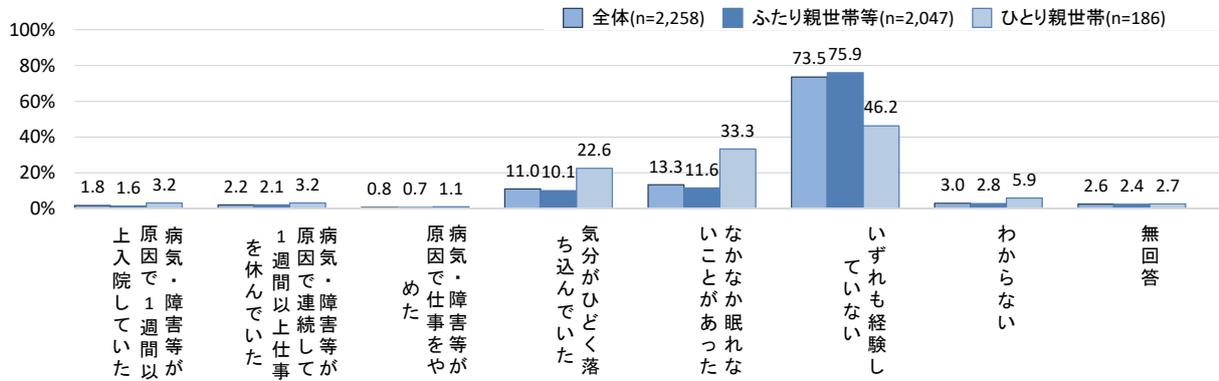
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が28.4%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が25.2%、「病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた」の回答割合が5.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-5 母親の病気・障害等に関する経験（世帯類型別）

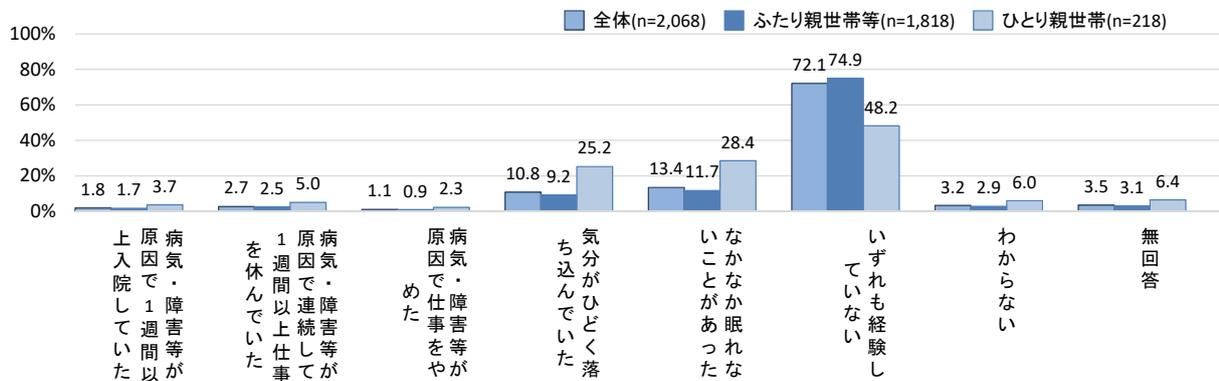
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 父親の病気・障害等に関する経験

宛名のお子さんの父親の過去1年間の病気・障害等に関する経験を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「いずれも経験していない」の回答割合が77.5%と最も高く、次いで「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が9.6%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が6.1%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「いずれも経験していない」の回答割合が72.7%と全体と比べて低くなっている。一方、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が14.8%、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が9.1%と全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「いずれも経験していない」の回答割合が77.6%と最も高く、次いで「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が8.8%となっている。所得区分1では、「いずれも経験していない」の回答割合が60.0%と全体と比べて低くなっており、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が20.0%と全体と比べて高くなっている。

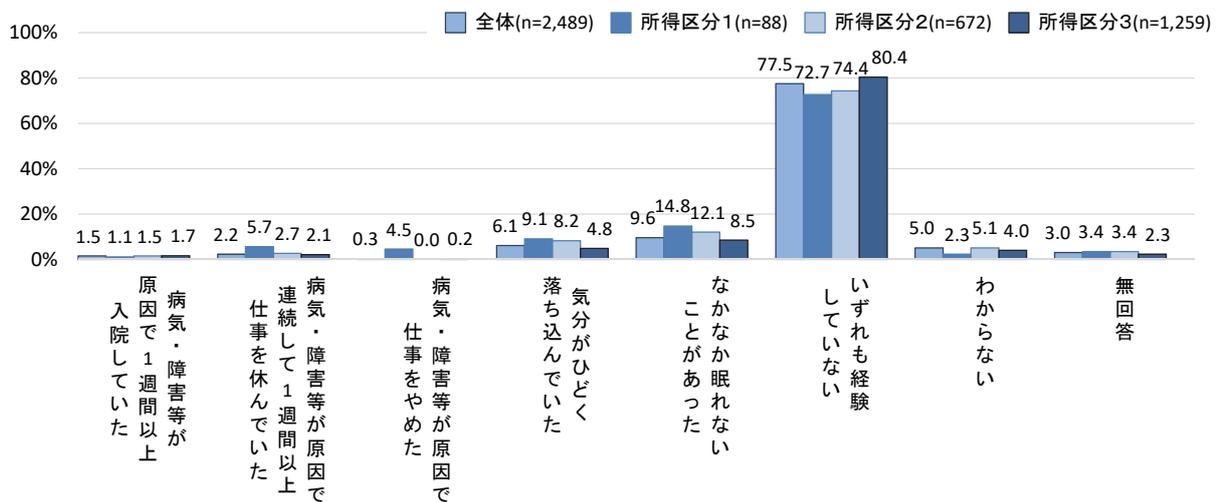
中学2年生の保護者全体では、「いずれも経験していない」の回答割合が75.3%と最も高く、次いで「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が8.0%となっている。所得区分1では、「いずれも経験していない」の回答割合が56.3%と全体と比べて低くなっている。

【保護者票問13】 宛名のお子さんの母親と父親は、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。

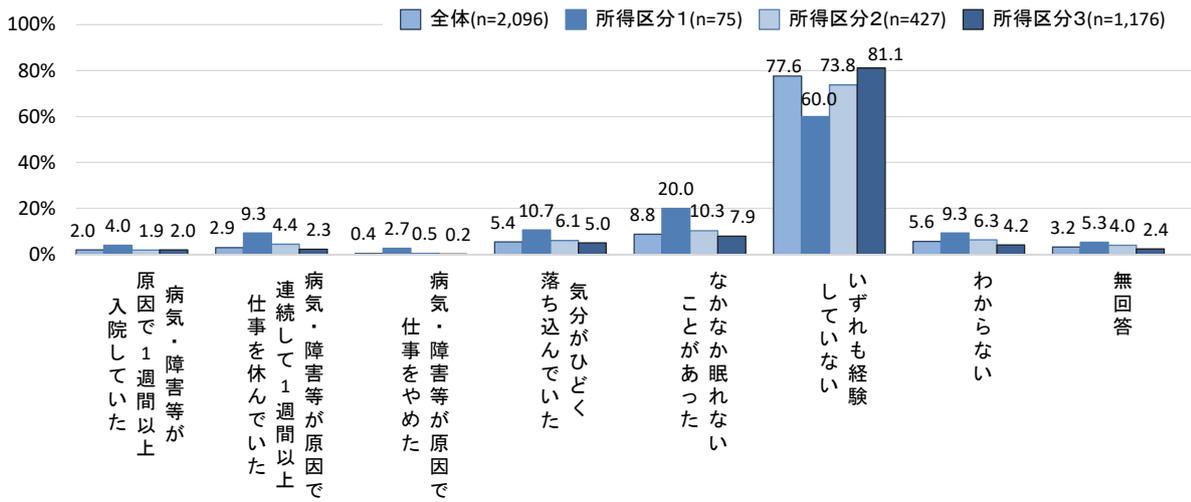
(B 父親)

図表 2-4-6 父親の病気・障害等に関する経験（所得区分別）

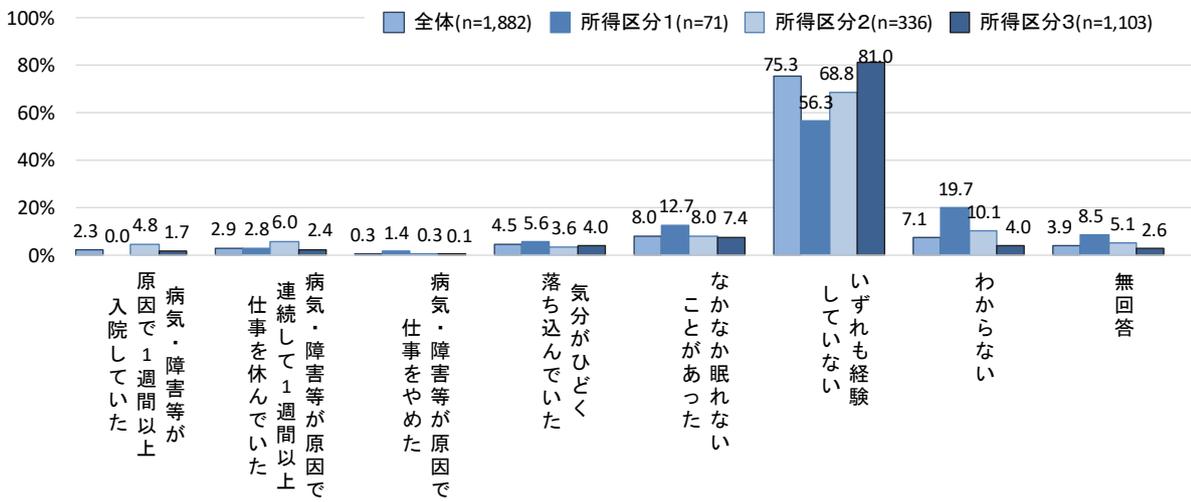
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】

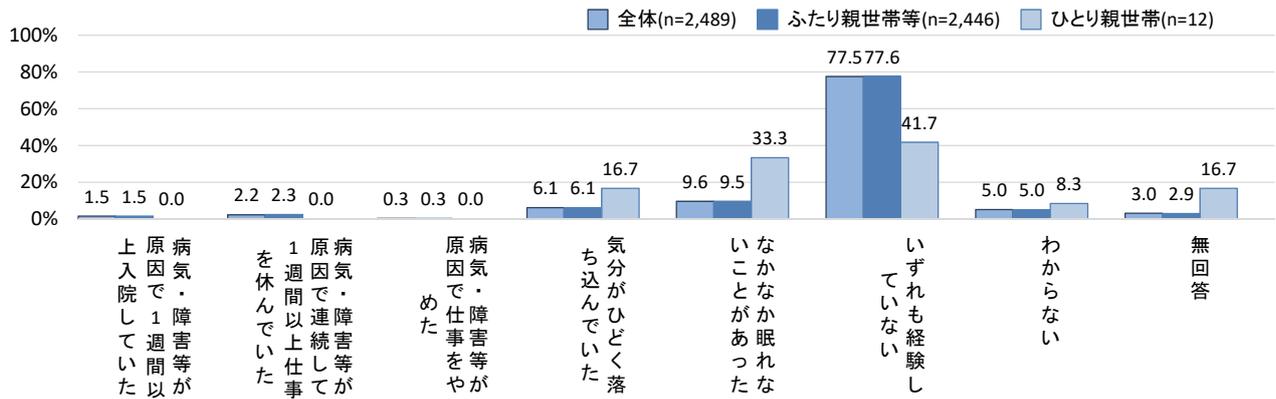


世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「なかなか眠れないことがあった」の回答割合が33.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

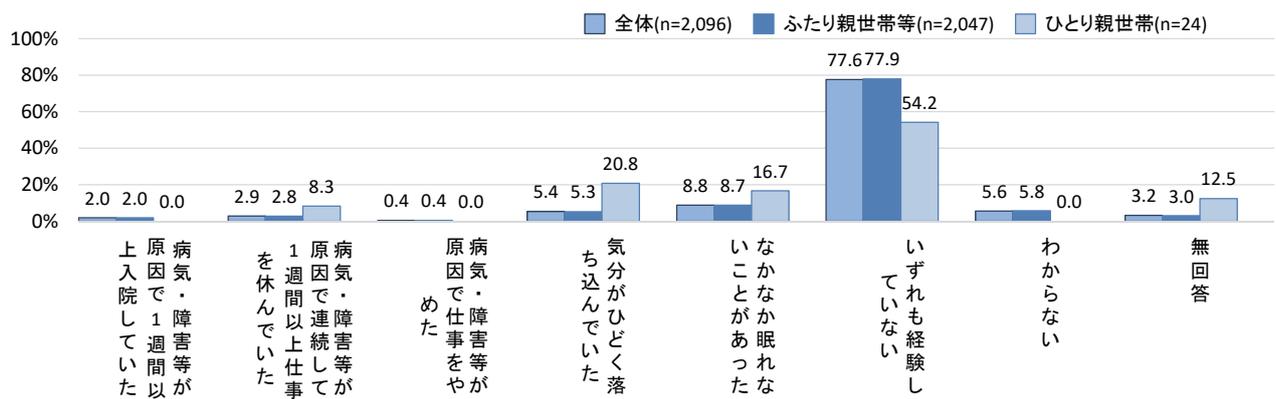
小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「気分がひどく落ち込んでいた」の回答割合が20.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-7 父親の病気・障害等に関する経験（世帯類型別）

【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



### (3) あなたの気持ちについて

#### ア 神経過敏に感じた経験

直近1か月間で「神経過敏に感じた」ことがあるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では32.0%、所得区分別にみたところ、所得区分1では43.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

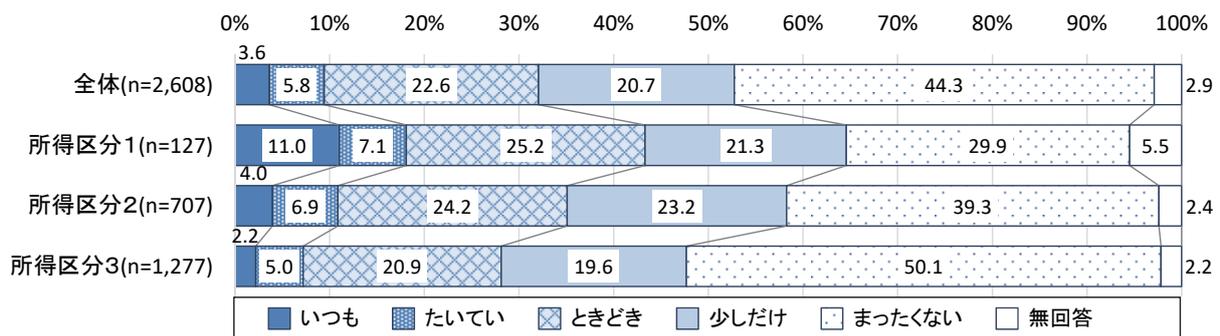
小学5年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では29.4%、所得区分別にみたところ、所得区分1では43.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では28.3%、所得区分別にみたところ、所得区分1では49.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

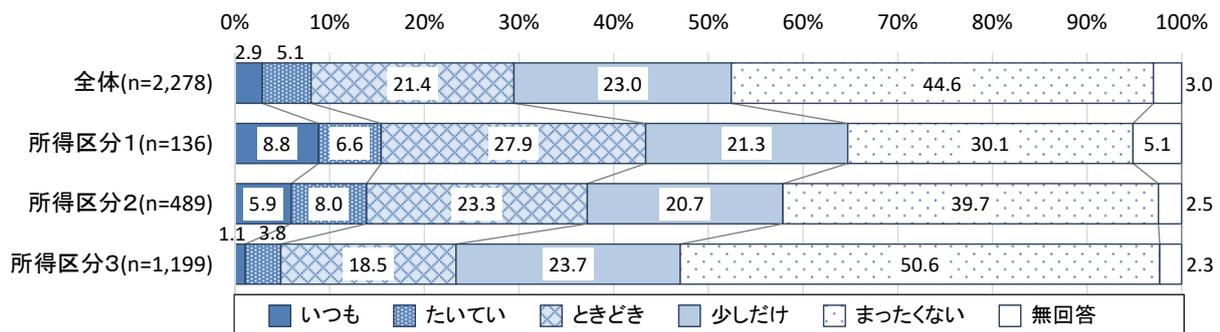
【保護者票問14】 次のA～Fそれぞれについて、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
(A 神経過敏に感じた)

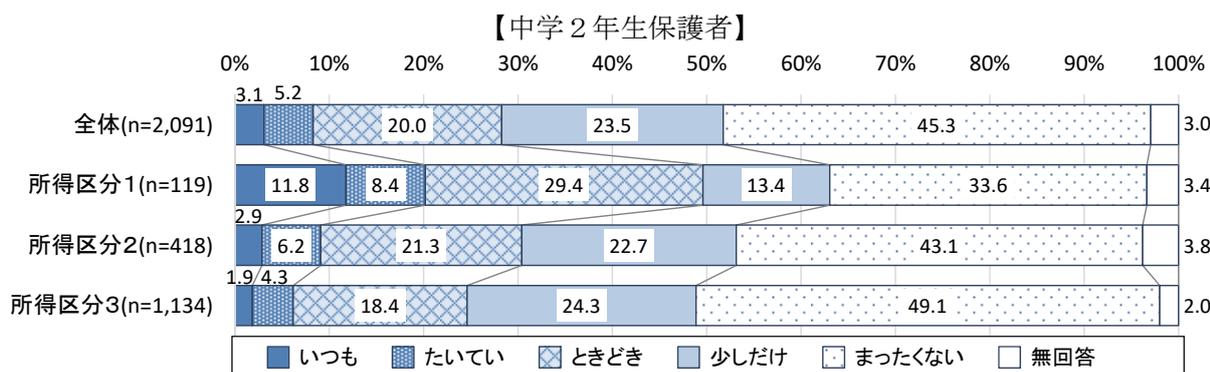
図表 2-4-8 神経過敏に感じた（所得区分別）

【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



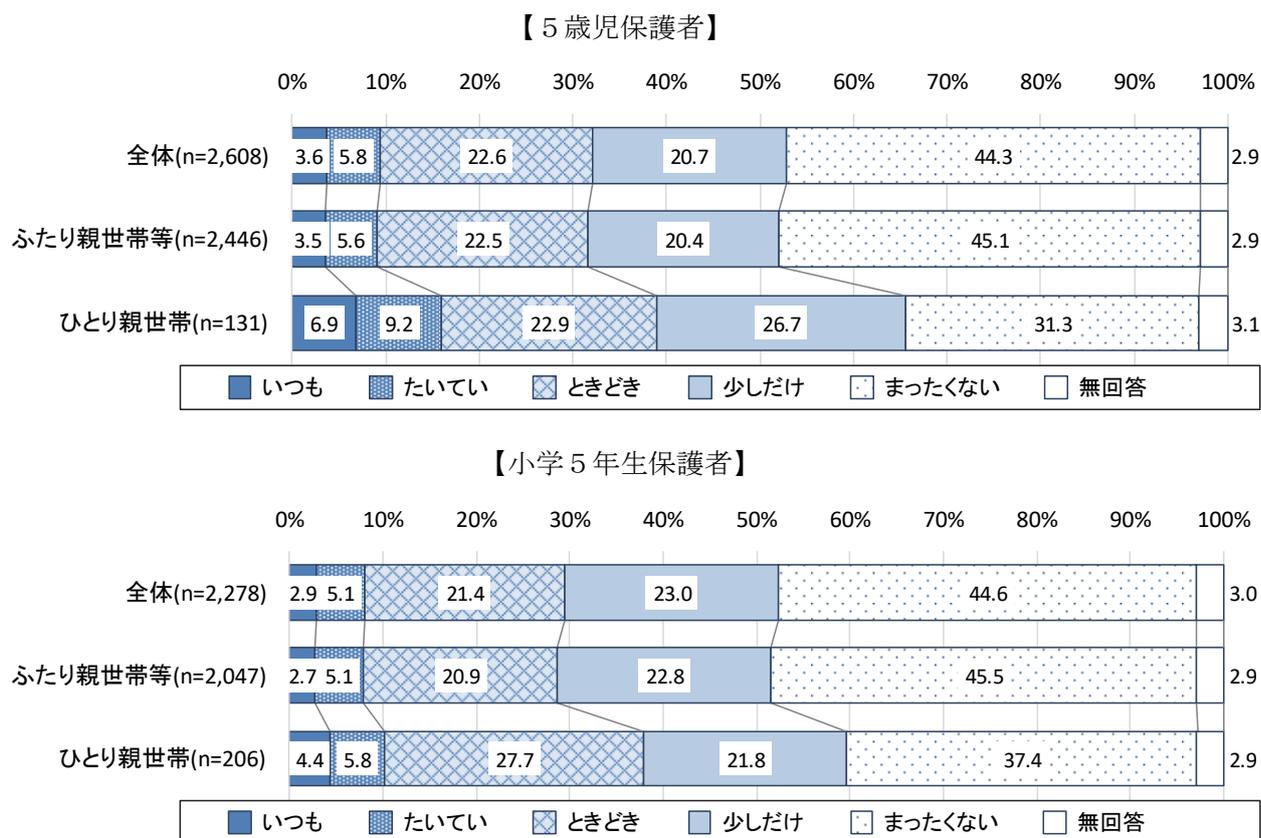


世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると39.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

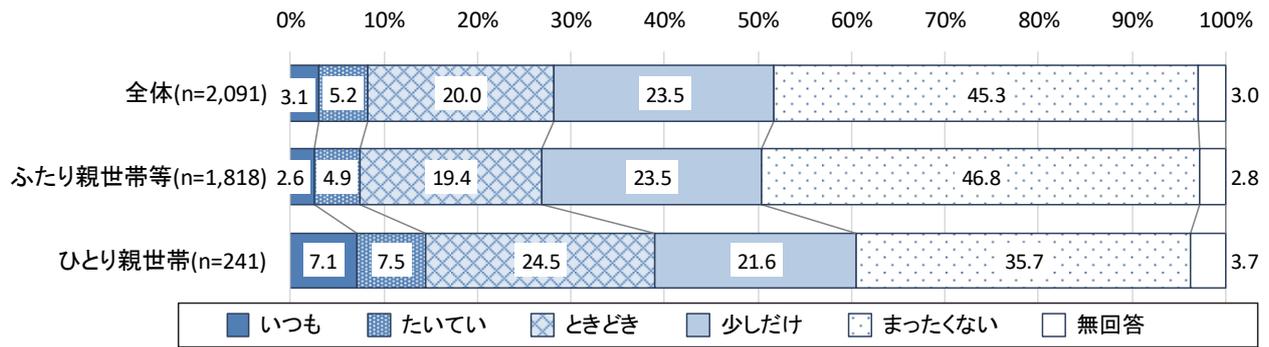
小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、37.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、39.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

**図表 2-4-9 神経過敏に感じた（世帯類型別）**



【中学2年生保護者】



## イ 絶望的だと感じた経験

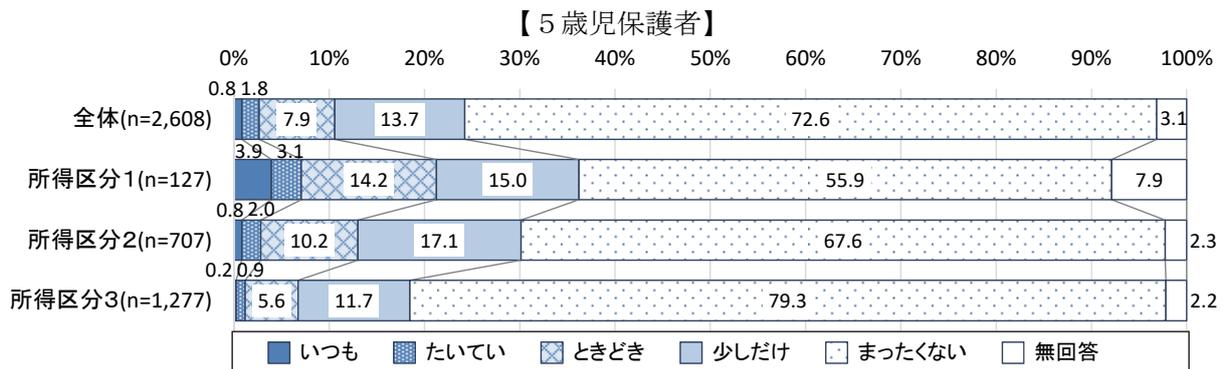
直近1か月間で「絶望的だと感じた」ことがあるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では10.5%、所得区別にみたとところ、所得区分1では21.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では10.8%、所得区別にみたとところ、所得区分1では28.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

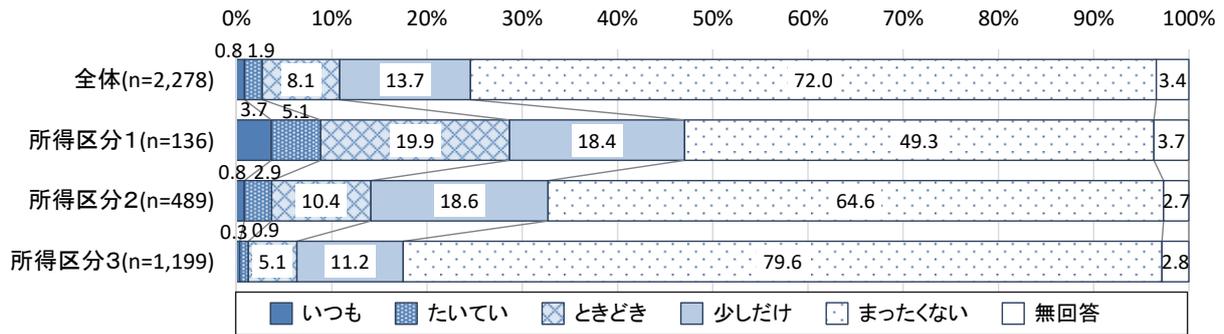
中学2年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では9.8%、所得区別にみたとところ、所得区分1では22.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問14】 次のA～Fそれぞれについて、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
(B 絶望的だと感じた)

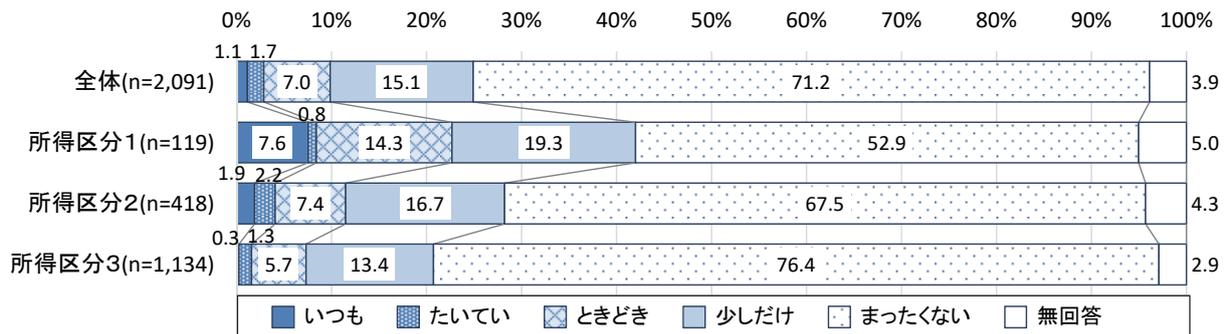
図表 2-4-10 絶望的だと感じた (所得区分別)



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



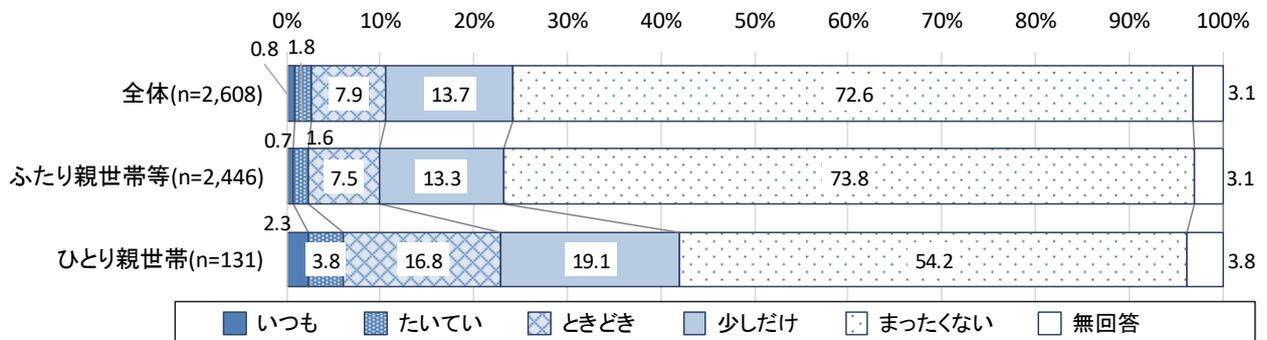
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると22.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、21.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

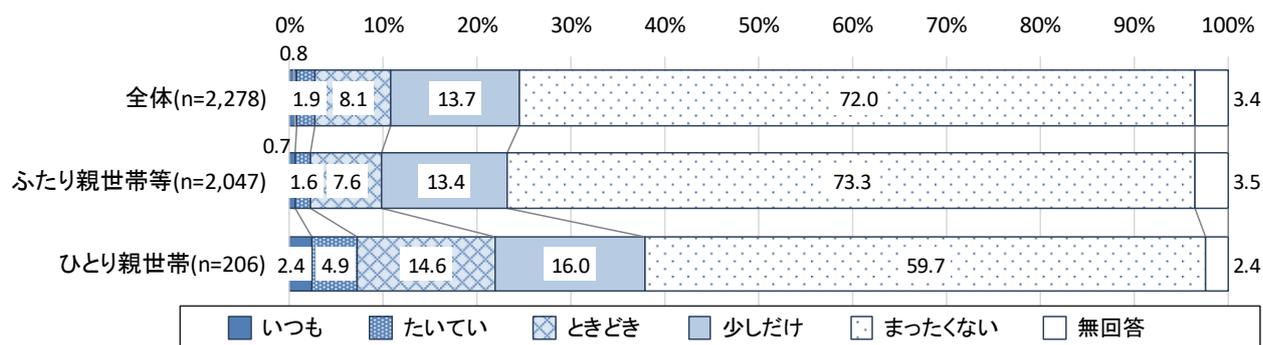
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、19.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-11 絶望的だと感じた（世帯類型別）

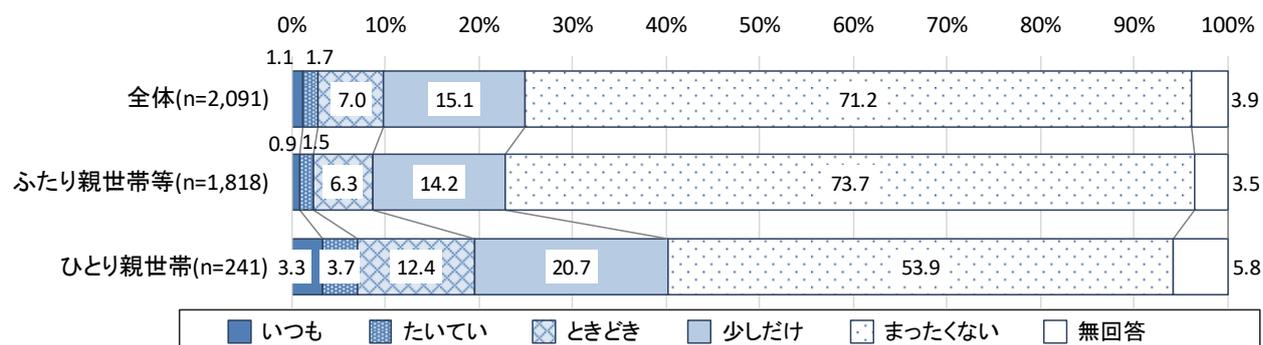
【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



## ウ そわそわ、落ち着かなく感じた経験

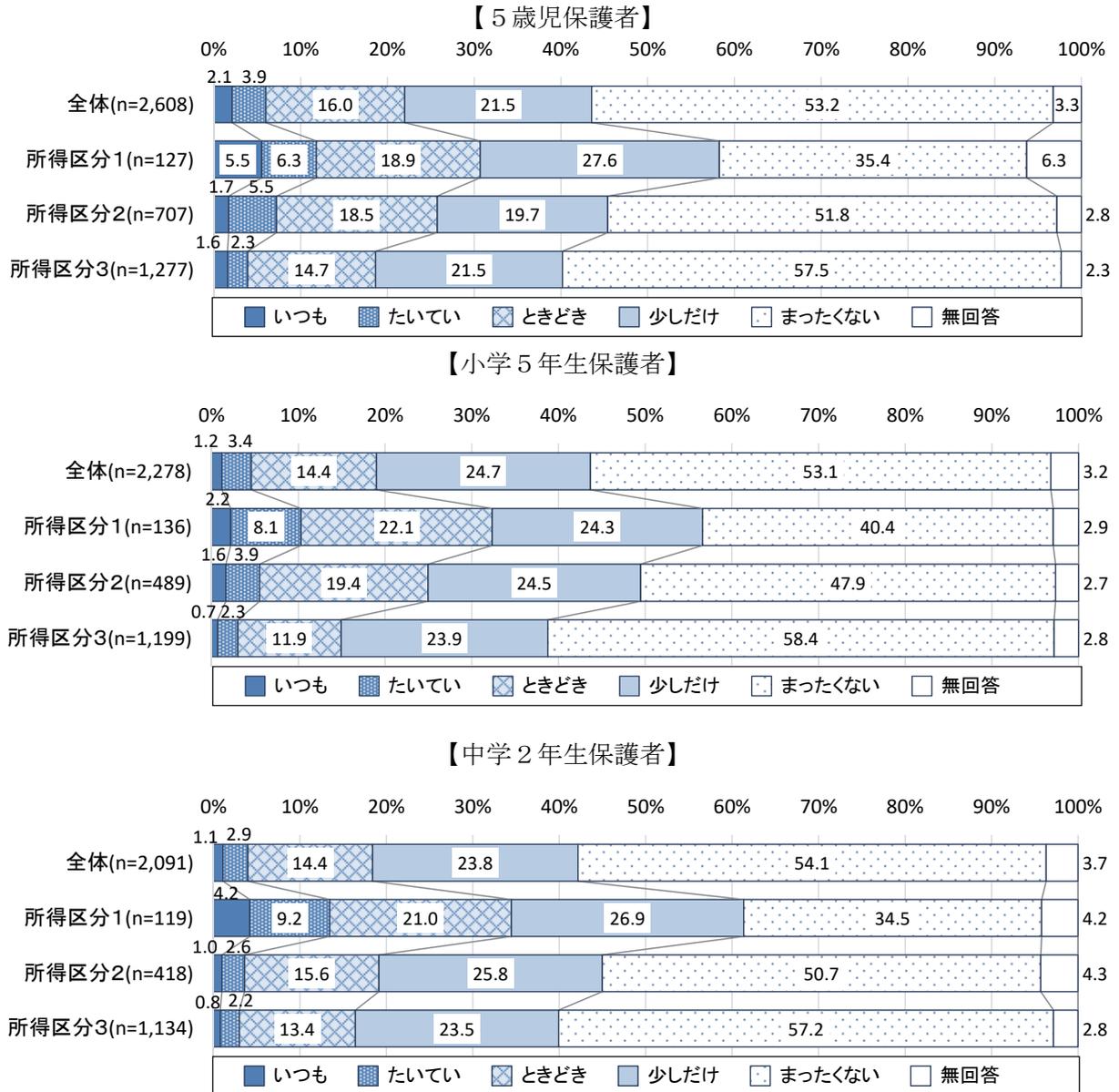
直近1か月間で「そわそわ、落ち着かなく感じた」ことがあるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では22.0%、所得区分別にみたところ、所得区分1では30.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では19.0%、所得区分別にみたところ所得区分1では32.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では18.4%、所得区分別にみたところ所得区分1では34.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 14】 次のA～Fそれぞれについて、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
 (C そわそわ、落ち着かなく感じた)

図表 2-4-12 そわそわ、落ち着かなく感じた（所得区分別）

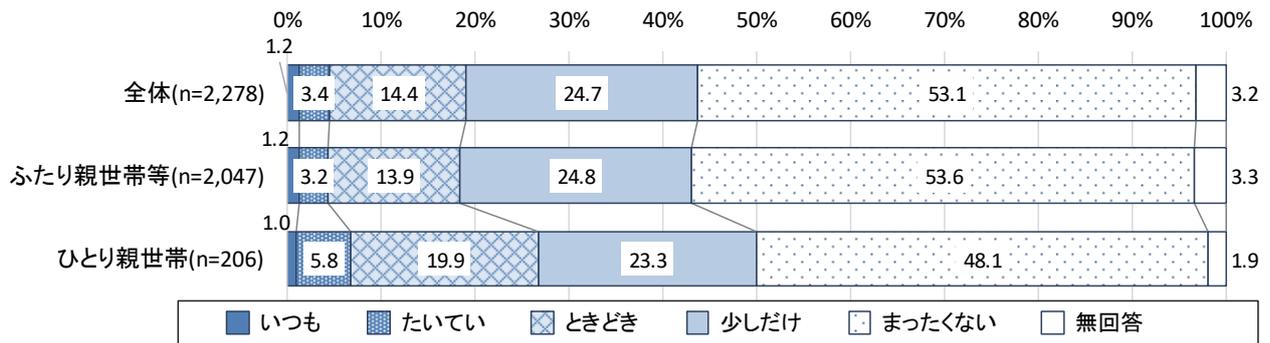


世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、26.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

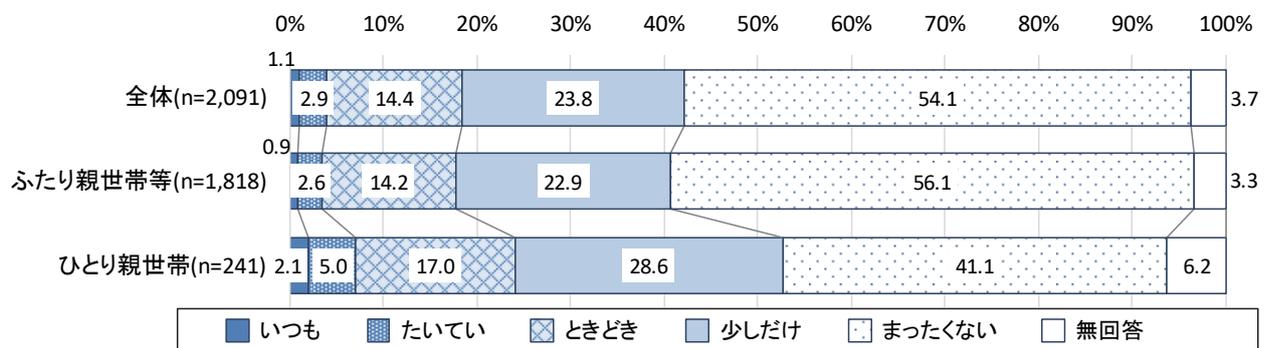
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、24.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-13 そわそわ、落ち浮かなく感じた（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## エ 気分が沈み込んで、落ち着かなく感じた経験

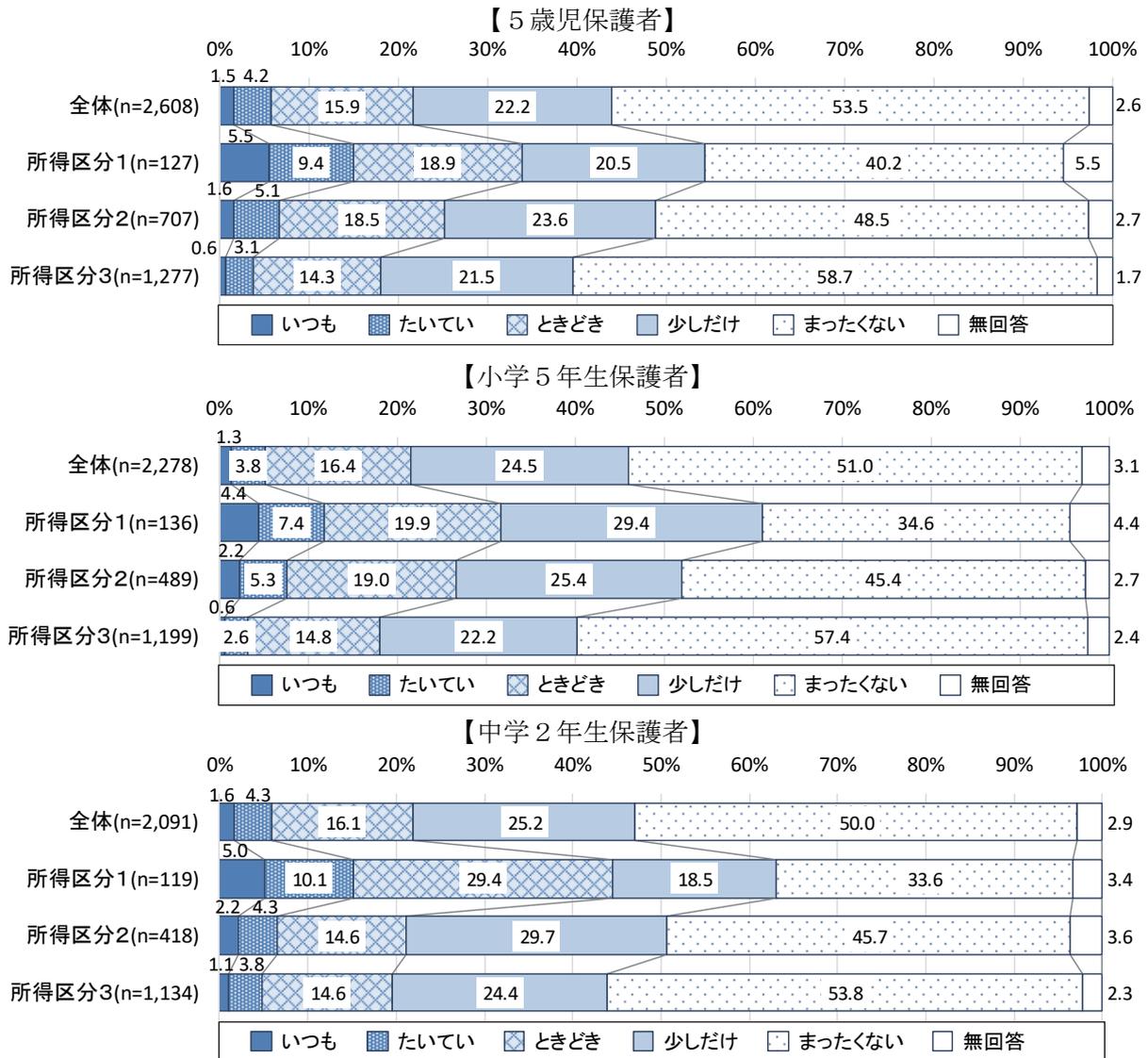
直近1か月間で「気分が沈み込んで、落ち着かなく感じた」ことがあるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では21.6%、所得区分別にみたところ所得区分1では33.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では21.5%、所得区分別にみたところ所得区分1では31.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では22.0%、所得区分別にみたところ所得区分1では44.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 14】 次のA～Fそれぞれについて、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
 (D 気分が沈み込んで、落ち着かなく感じた)

図表 2-4-14 気分が沈み込んで、落ち着かなく感じた(所得区分別)



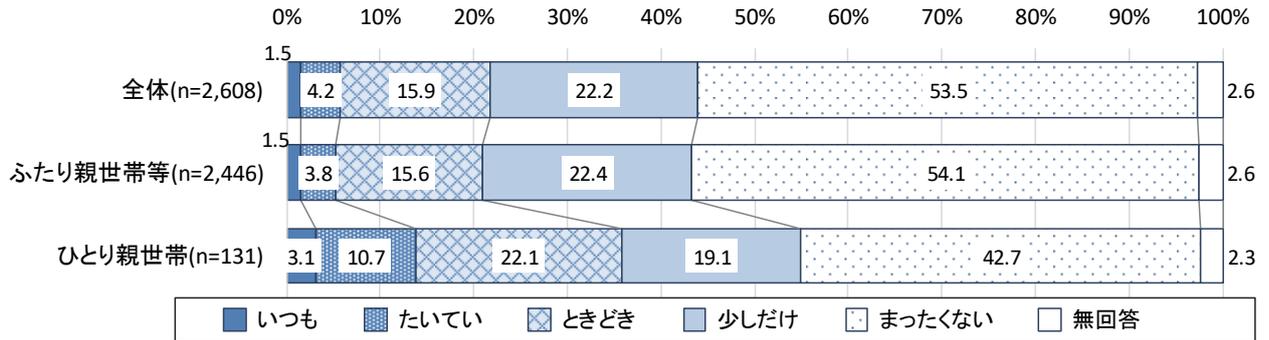
世帯類型別にみところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると35.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、29.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

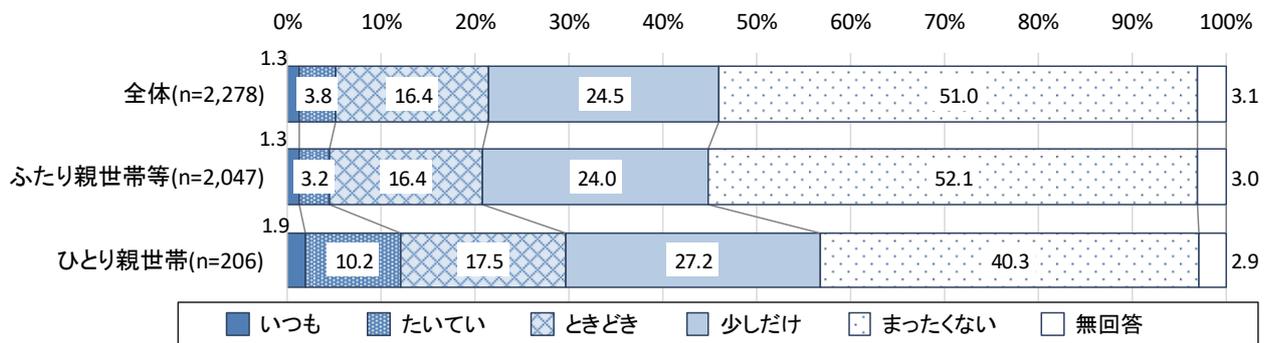
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、34.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-15 気分が沈み込んで、落ち着かなく感じた（世帯類型別）

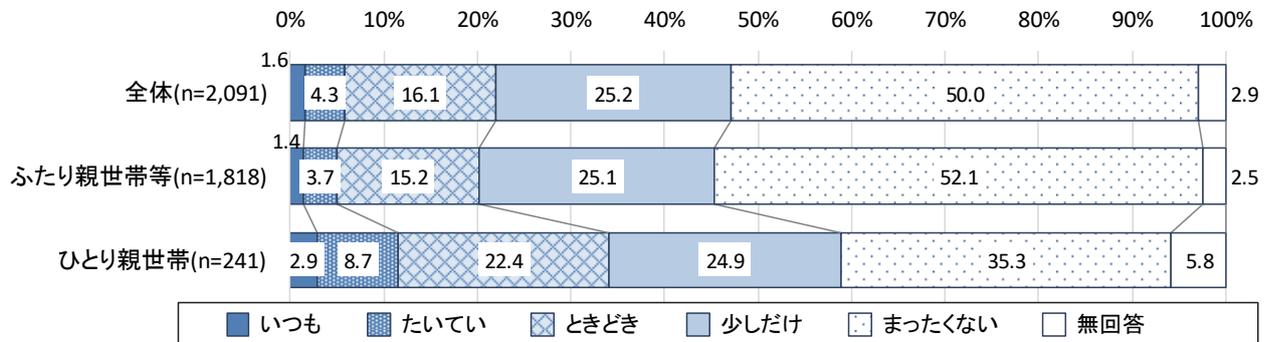
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## オ 何をするのも面倒だと感じた経験

直近1か月間で「何をするのも面倒だと感じた」ことがあるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では30.4%、所得区別にみたら、所得区分1では41.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

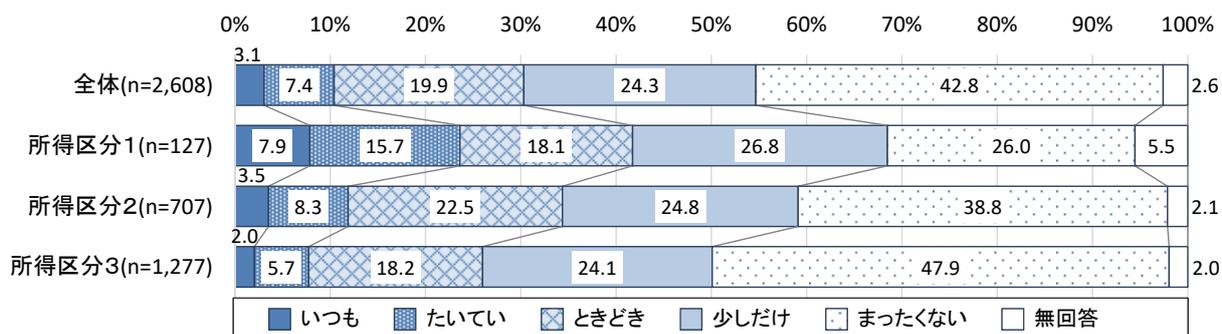
小学5年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では28.4%、所得区別にみたら、所得区分1では37.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では30.2%、所得区別にみたら、所得区分1では42.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

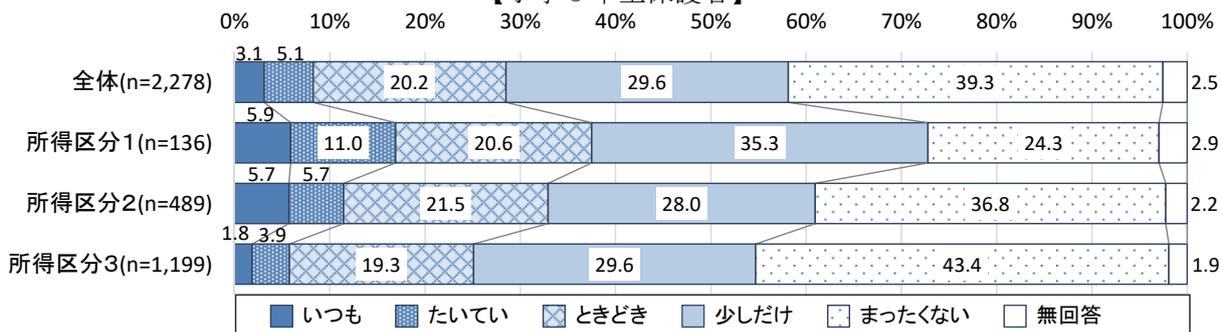
【保護者票問 14】 次のA～Fそれぞれについて、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
(E 何をするのも面倒だと感じた)

図表 2-4-16 何をするのも面倒だと感じた (所得区分別)

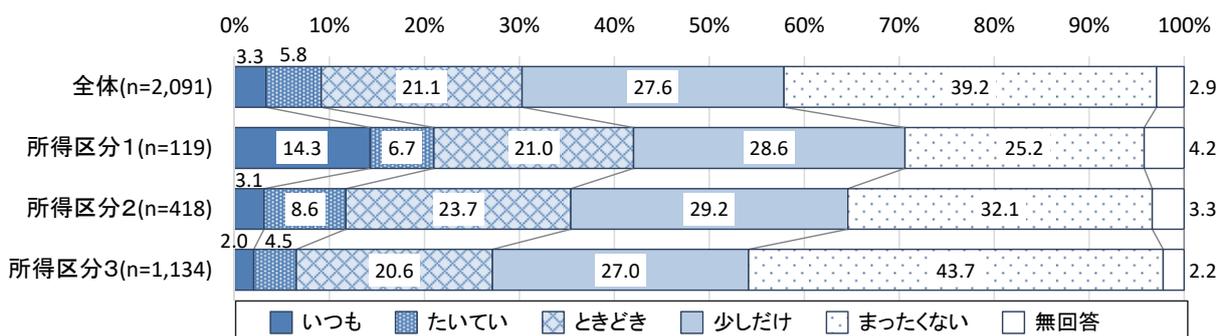
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



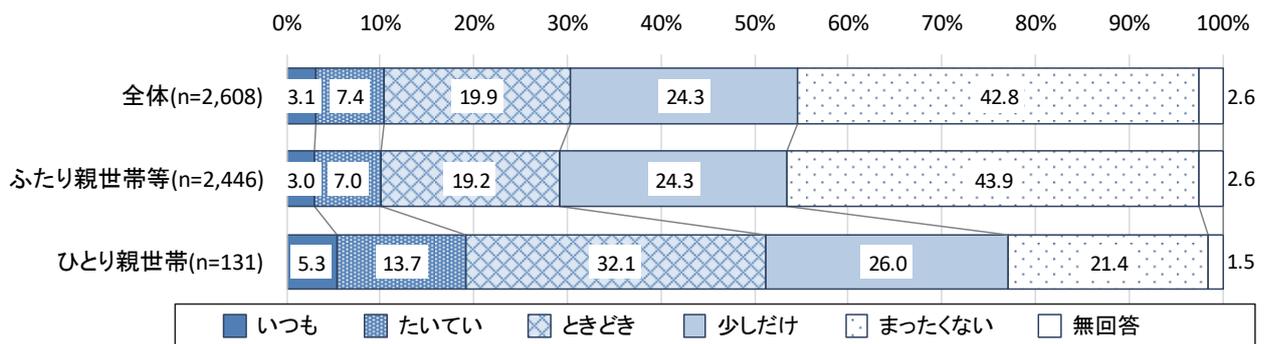
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると51.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、33.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

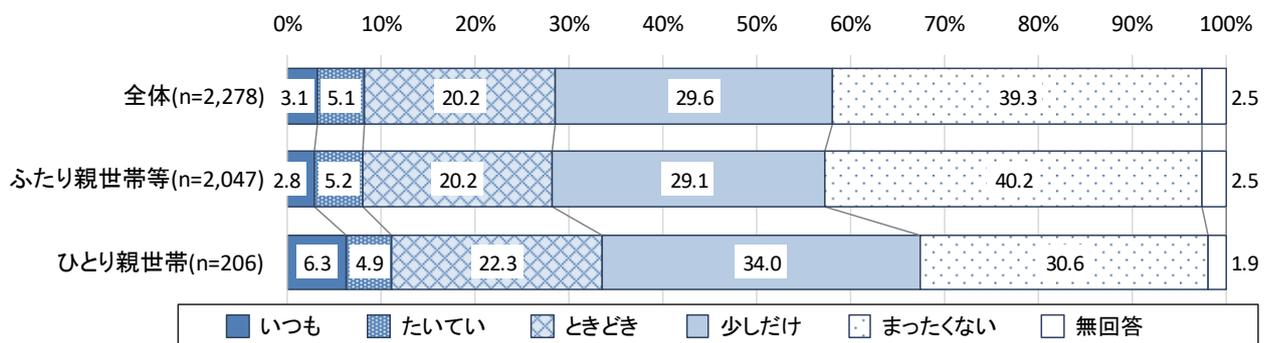
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、38.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-17 何をするのも面倒だと感じた（世帯類型別）

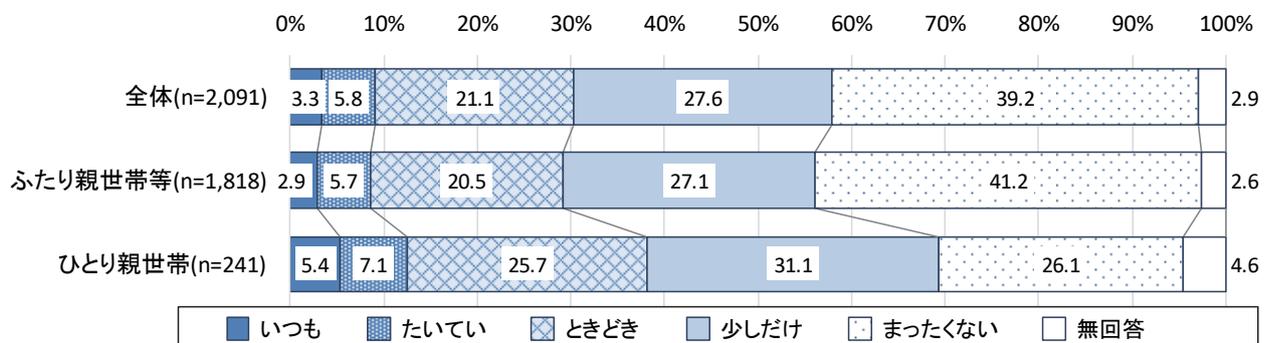
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## カ 自分は価値のない人間だと感じた経験

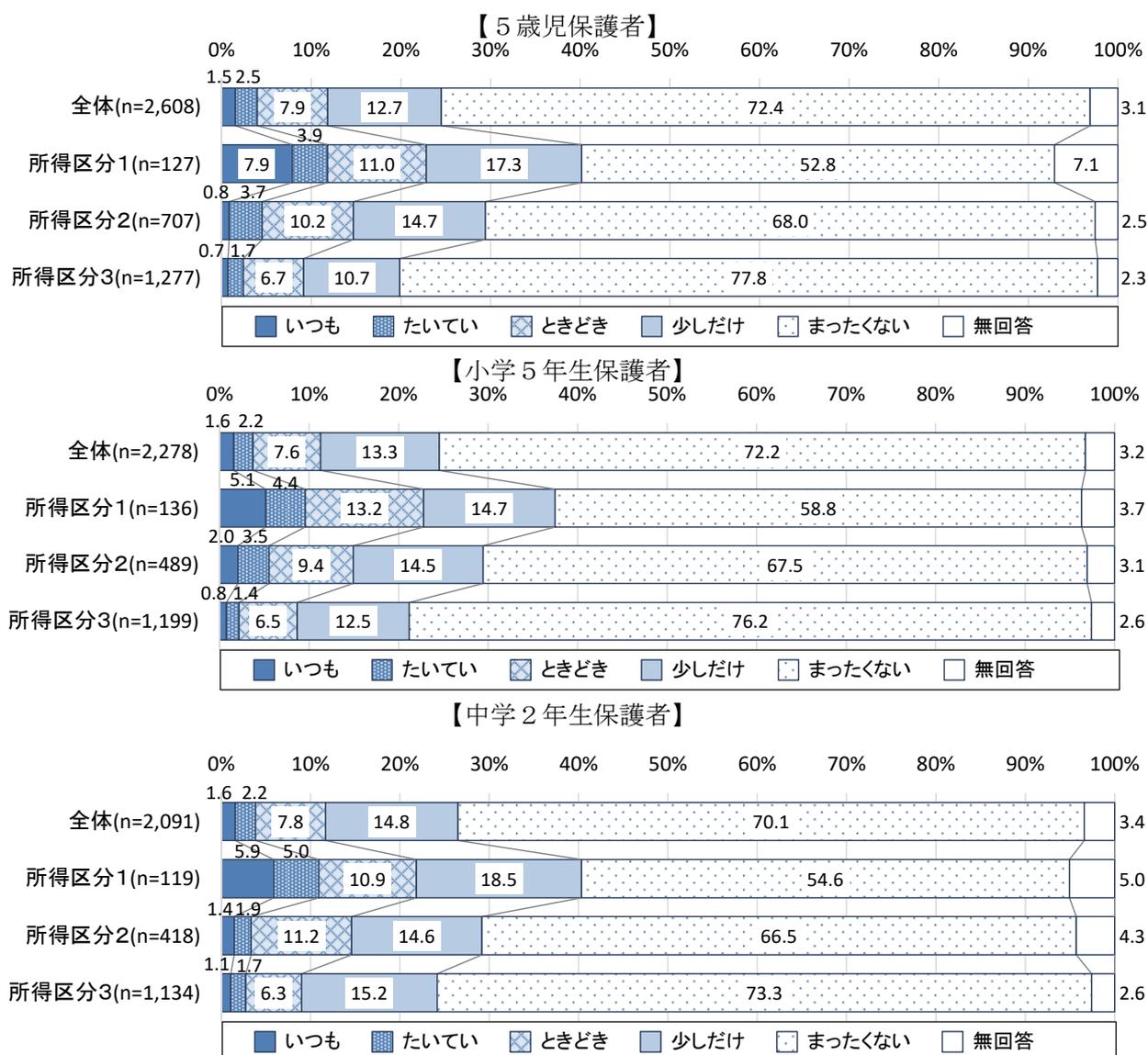
直近1か月間で「自分は価値のない人間だと感じた」ことがあるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では11.9%、所得区別にみたところ、所得区分1では22.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では11.4%、所得区別にみたところ、所得区分1では22.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、全体では11.6%、所得区別にみたところ、所得区分1では21.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問14】 次のA～Fそれぞれについて、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
(F 自分は価値のない人間だと感じた)

図表 2-4-18 自分は価値のない人間だと感じた（所得区分別）

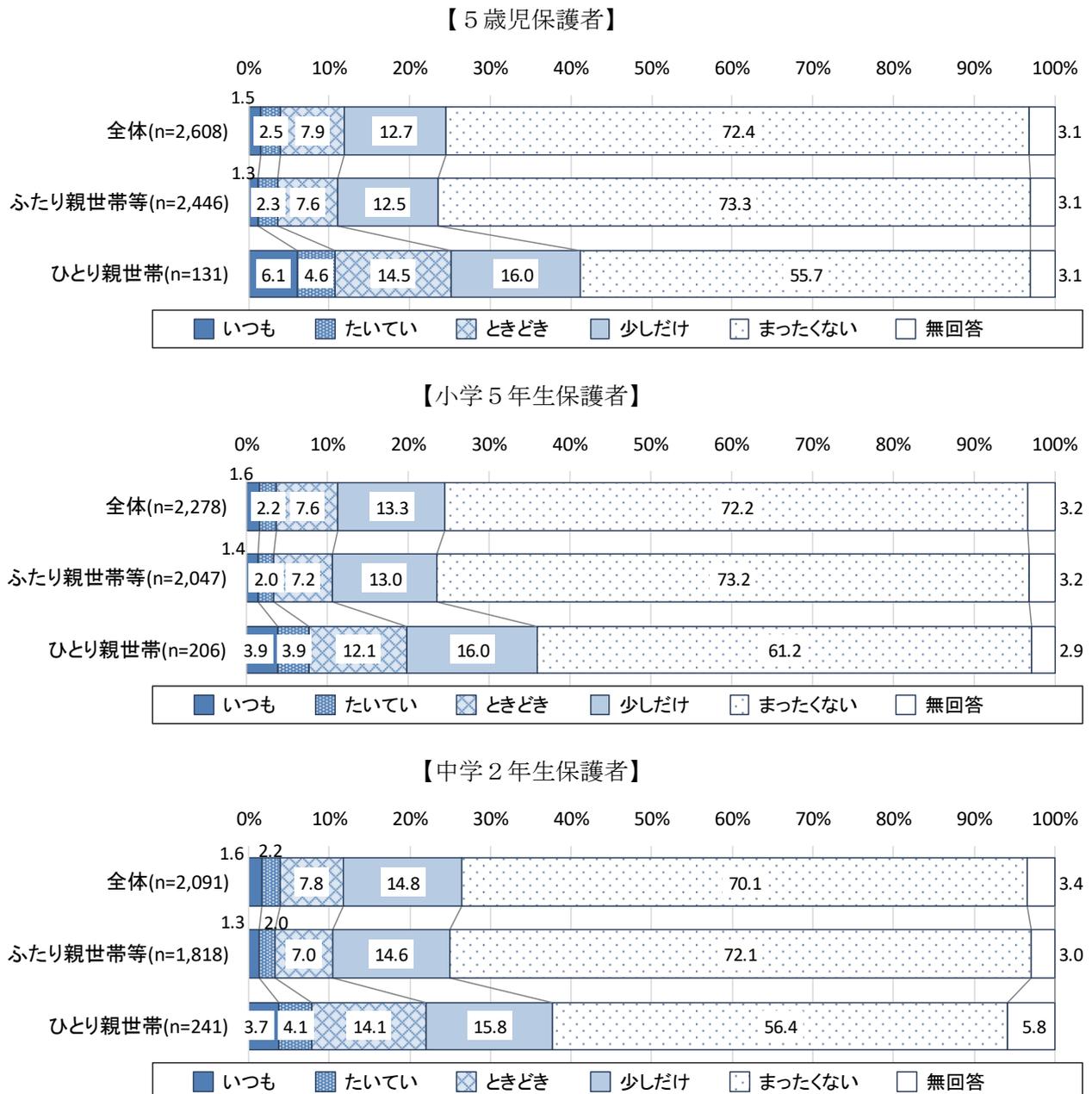


世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると25.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、19.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「いつも」「たいてい」「ときどき」の回答割合を合わせると、21.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-19 自分は価値のない人間だと感じた（世帯類型別）



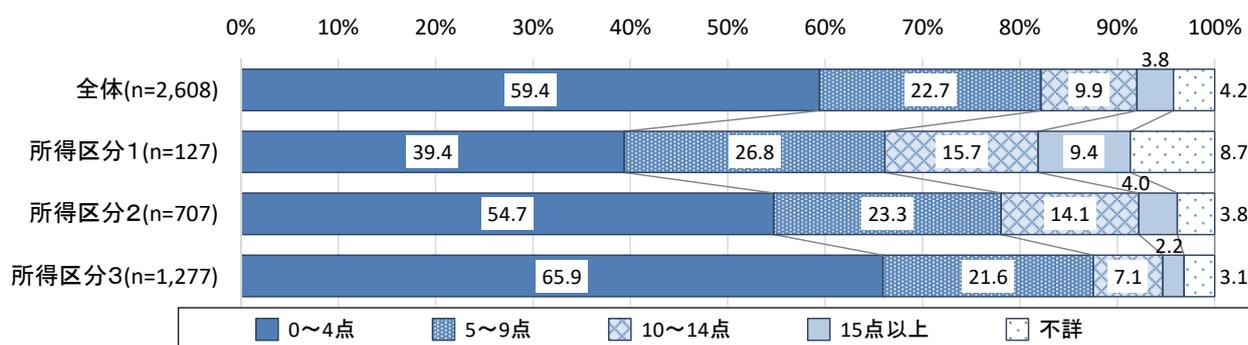
## キ 抑うつ傾向

直近1か月間での「神経過敏に感じた」から「自分は価値のない人間だと感じた」までの6項目の回答者の気持ちから、抑うつ傾向を測定する指標（K6）<sup>12</sup>を作成して集計<sup>13</sup>したところ、5歳児の保護者全体では、「0～4点」の回答割合が59.4%と最も高く、次いで「5～9点」の回答割合が22.7%、「10～14点」の回答割合が9.9%となっている。所得区分別にみると、所得区分1では10点以上が合計25.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

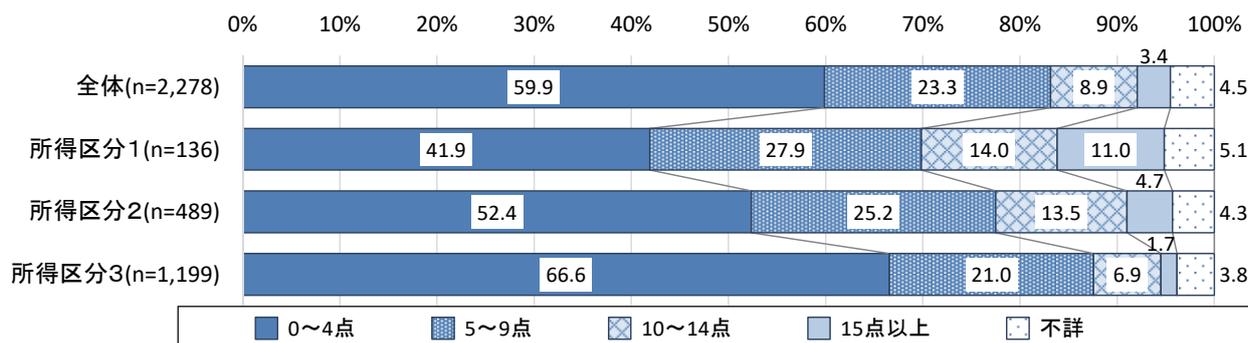
小学5年生の保護者全体では、「0～4点」の回答割合が59.9%と最も高く、次いで「5～9点」の回答割合が23.3%、「10～14点」の回答割合が8.9%となっている。所得区分1では、10点以上が合計25.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「0～4点」の回答割合が59.9%と最も高く、次いで「5～9点」の回答割合が23.5%、「10～14点」の回答割合が8.6%となっている。所得区分1では、10点以上が合計31.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-20 抑うつ傾向指標（K6）（所得区分別）  
【5歳児保護者】



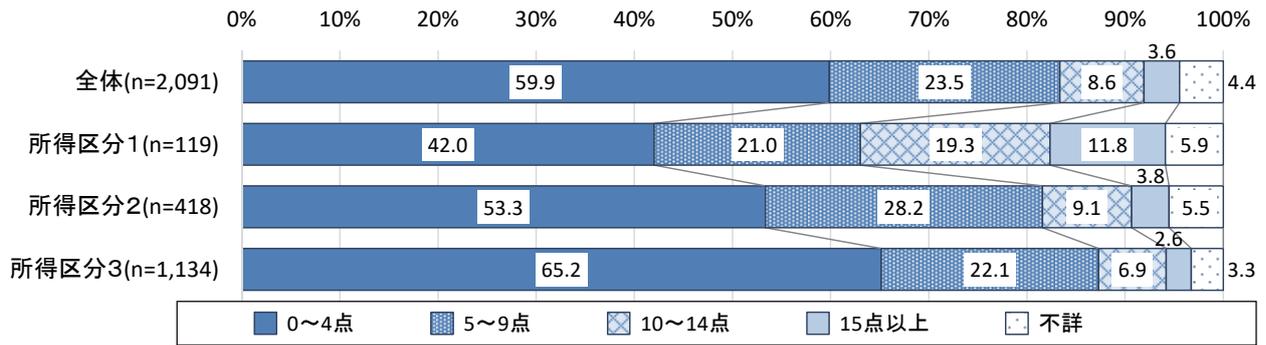
【小学5年生保護者】



<sup>12</sup> 厚生労働省「国民生活基礎調査」の用語集によれば、「K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。（中略）合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性がある」とされている。

<sup>13</sup> 「自分が神経過敏になっていると感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわしたり、落ちつきなく感じたりしましたか」「気分が沈みこんで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をしても骨折れだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6項目それぞれについて、「まったくない」を0点、「少しだけ」を1点、「ときどき」を2点、「たいてい」を3点、「いつも」を4点とし、すべてを足し上げて0から24点の指標を作成した。なお、厚生労働省「国民生活基礎調査」では、10点以上を「気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者」として取り上げている。

【中学2年生保護者】



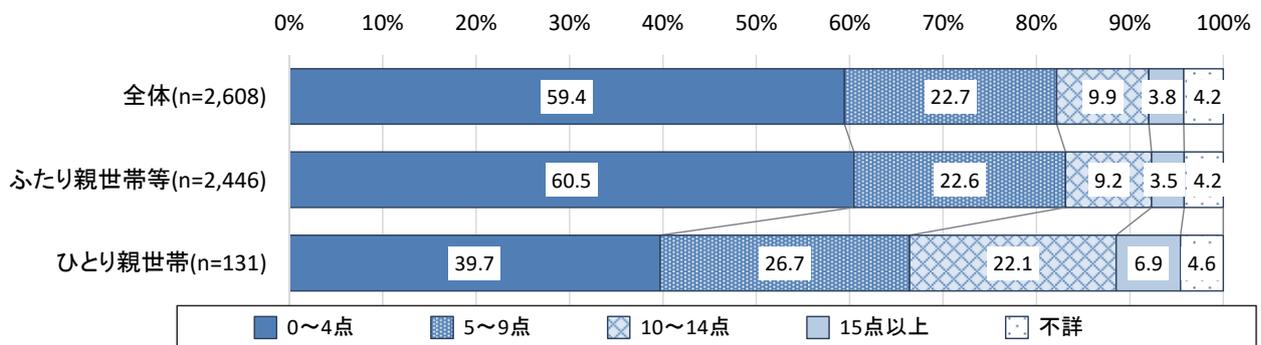
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、10点以上が29.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、10点以上が21.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

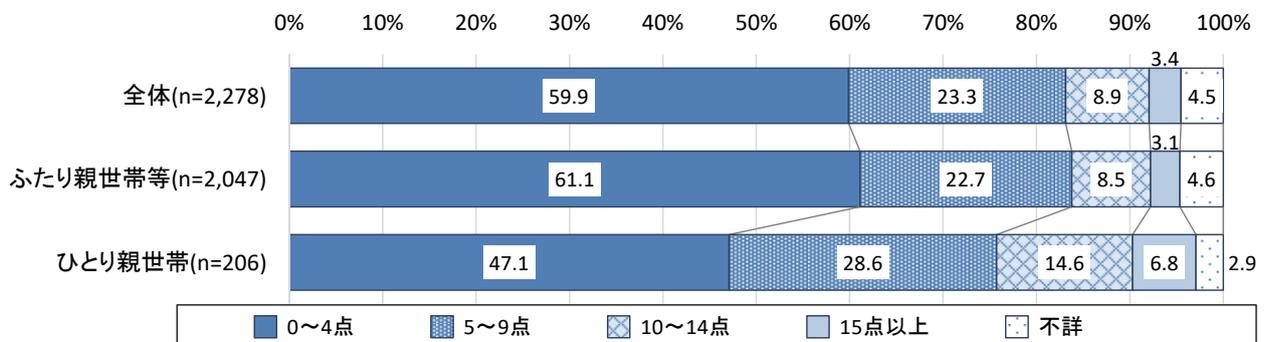
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、10点以上が23.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-4-21 抑うつ傾向指標（K6）（世帯類型別）

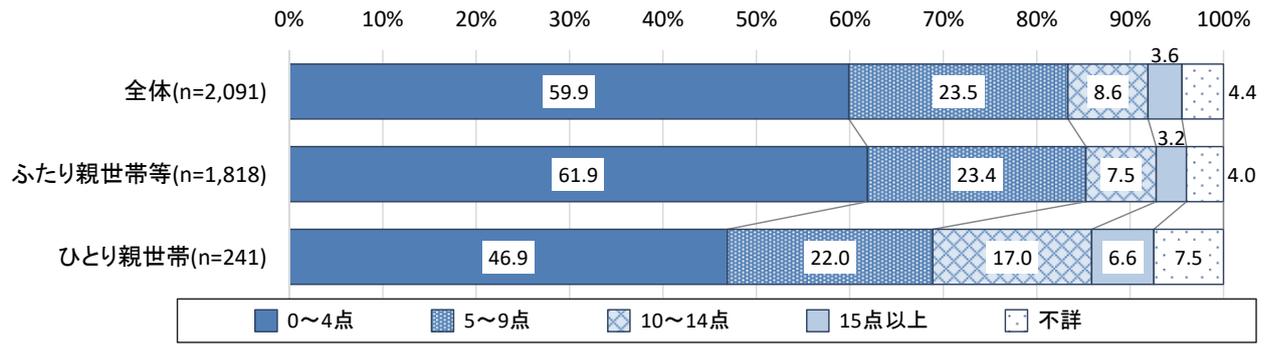
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



#### (4) 子どもの医療機関の非受診経験

過去1年間に、子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがあるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「ない（病院や診療所を受診した方がよいと思った場合は、必ず受診した）」の回答割合が65.3%と最も高く、次いで「ある（新型コロナウイルス感染症の流行の影響で外出を控えたため）」の回答割合が23.0%、「ある（最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため）」の回答割合が17.3%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「ない（病院や診療所を受診した方がよいと思った場合は、必ず受診した）」の回答割合が55.9%となっており、全体と比べて低くなっている。

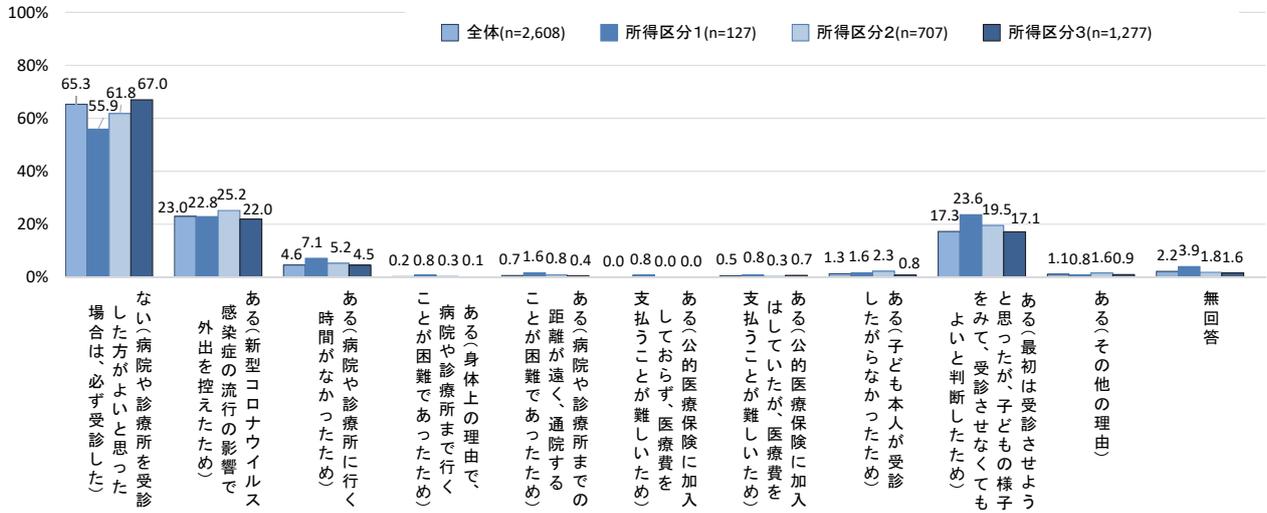
小学5年生の保護者全体では、「ない（病院や診療所を受診した方がよいと思った場合は、必ず受診した）」の回答割合が71.2%と最も高く、次いで「ある（新型コロナウイルス感染症の流行の影響で外出を控えたため）」の回答割合が16.4%、「ある（最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため）」の回答割合が12.1%となっている。所得区分1では、「ない（病院や診療所を受診した方がよいと思った場合は、必ず受診した）」の回答割合が61.0%と全体と比べて低くなっており、「ある（新型コロナウイルス感染症の流行の影響で外出を控えたため）」の回答割合が23.5%、「ある（病院や診療所に行く時間がなかったため）」の回答割合が11.8%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「ない（病院や診療所を受診した方がよいと思った場合は、必ず受診した）」の回答割合が74.5%と最も高く、次いで「ある（新型コロナウイルス感染症の流行の影響で外出を控えたため）」の回答割合が11.7%、「ある（最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため）」の回答割合が9.2%となっている。所得区分1では、「ない（病院や診療所を受診した方がよいと思った場合は、必ず受診した）」の回答割合が63.0%と全体と比べて低くなっており、「ある（新型コロナウイルス感染症の流行の影響で外出を控えたため）」の回答割合が16.8%、「ある（最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため）」の回答割合が16.0%と全体と比べて高くなっている。

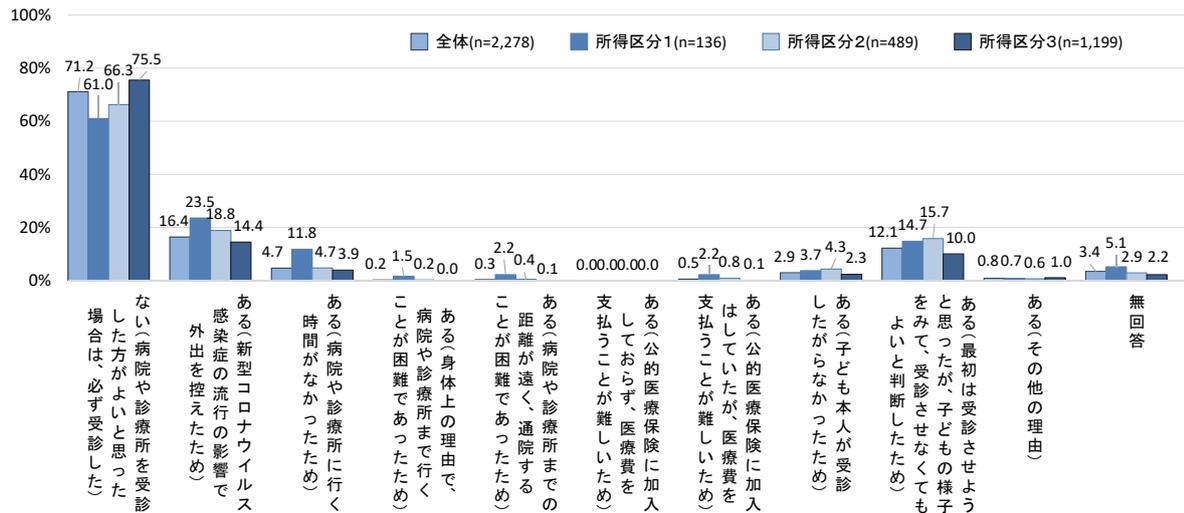
【保護者票問 15】 あなたの世帯では、過去1年間に、子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。

図表 2-4-22 子どもの医療機関の非受診経験（所得区分別）

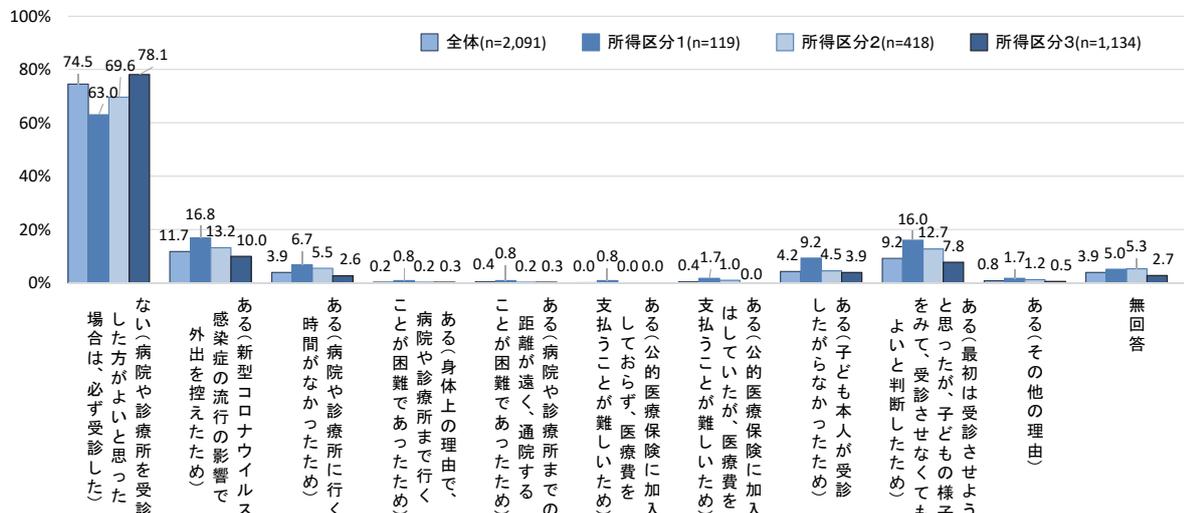
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (5) 障害等がある子どもの有無

世帯のお子さんに障害等がある方（疑いを含む）がいるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「特にない」の回答割合が81.9%と最も高く、次いで「発達障害」の回答割合が11.1%、「知的な遅れ」の回答割合が3.9%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分2では、「特にない」の回答割合が76.5%と全体と比べて低くなっており、「発達障害」の回答割合が14.6%、「知的な遅れ」の回答割合が5.1%と全体と比べて高くなっている。

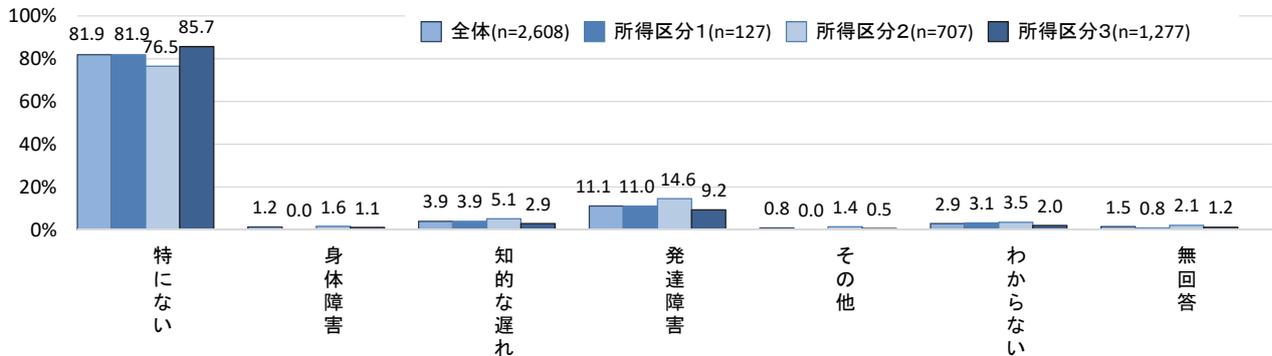
小学5年生の保護者全体では、「特にない」の回答割合が84.8%と最も高く、次いで「発達障害」の回答割合が9.0%、「知的な遅れ」「わからない」の回答割合が2.5%となっている。所得区分1では、「特にない」の回答割合が75.0%と全体と比べて低くなっており、「発達障害」の回答割合が15.4%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「特にない」の回答割合が84.9%と最も高く、次いで「発達障害」の回答割合が8.0%、「わからない」の回答割合が3.1%となっている。所得区分1では、「特にない」の回答割合が73.9%と全体と比べて低くなっており、「発達障害」の回答割合が12.6%、「知的な遅れ」の回答割合が7.6%と全体と比べて高くなっている。

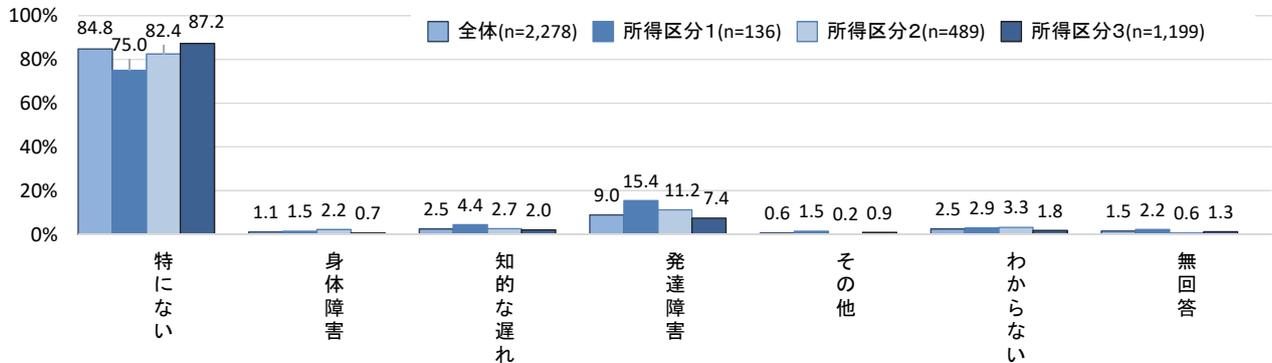
【保護者票問16】 あなたの世帯のお子さんについて、障害等がある方（疑いを含む）はいらっしゃいますか。

図表 2-4-23 障害等がある子どもの有無（所得区分別）

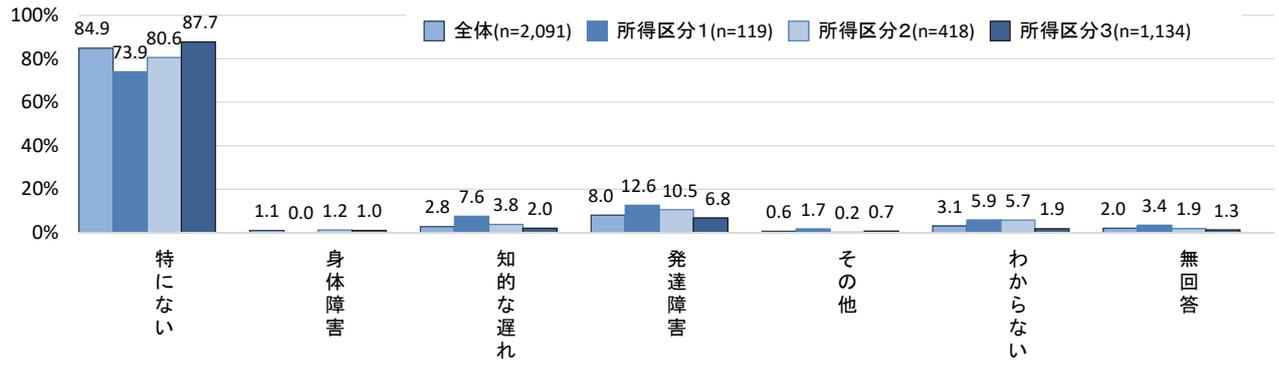
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## 5 保護者と子どもの関わり方

### (1) 子どもの経験

#### ア 海水浴に行った経験

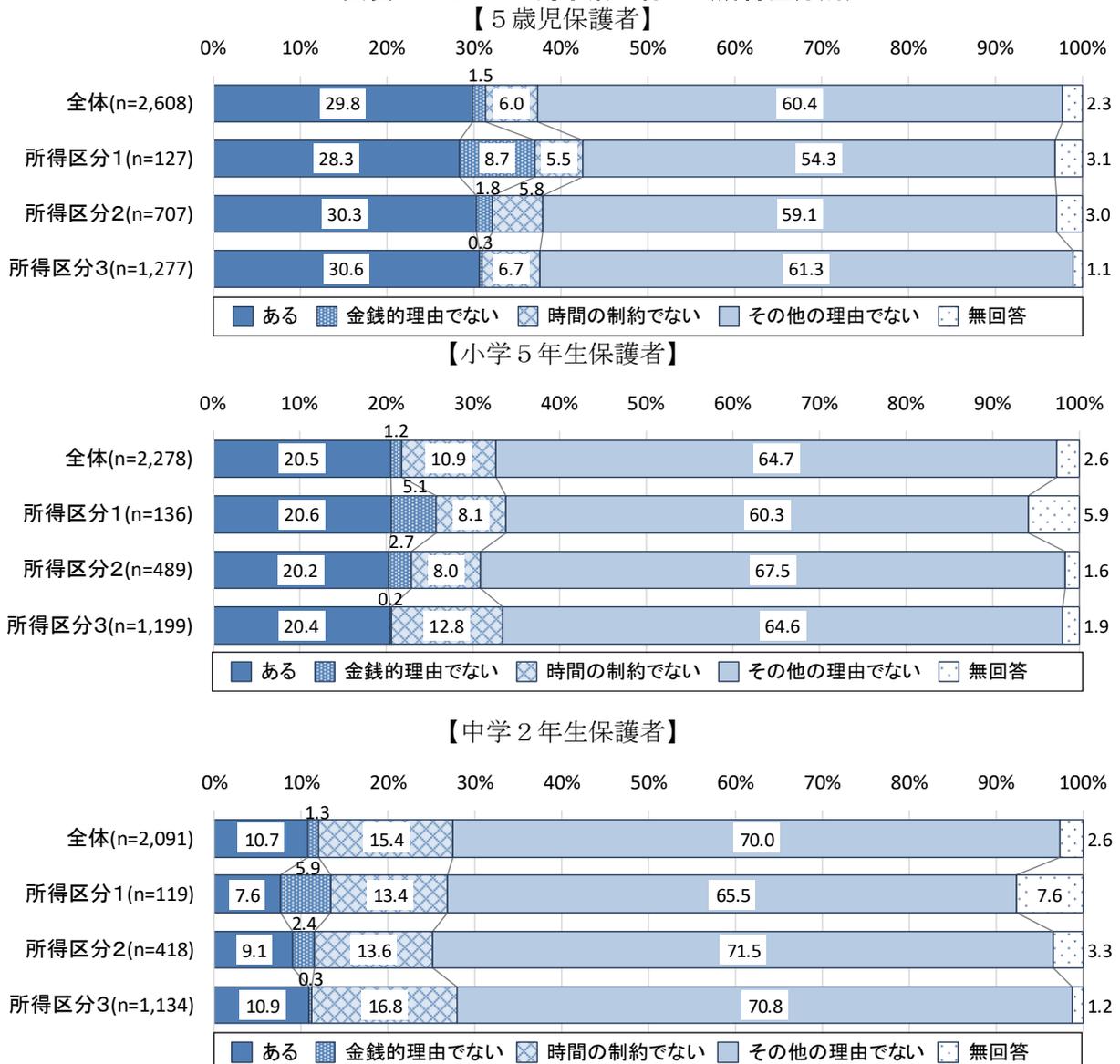
過去1年間に、宛名のお子さんと「海水浴に行く」ことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では1.5%、所得区別にみたら、所得区分1では8.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では1.2%、所得区別にみたら、所得区分1では5.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では1.3%、所得区別にみたら、所得区分1では5.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 17】 あなたの世帯では、過去1年間に、宛名のお子さんと次のA～Eのような体験をしましたか。  
(A 海水浴に行く)

図表 2-5-1 海水浴に行く（所得区分別）



## イ 博物館・科学館・美術館などに行った経験

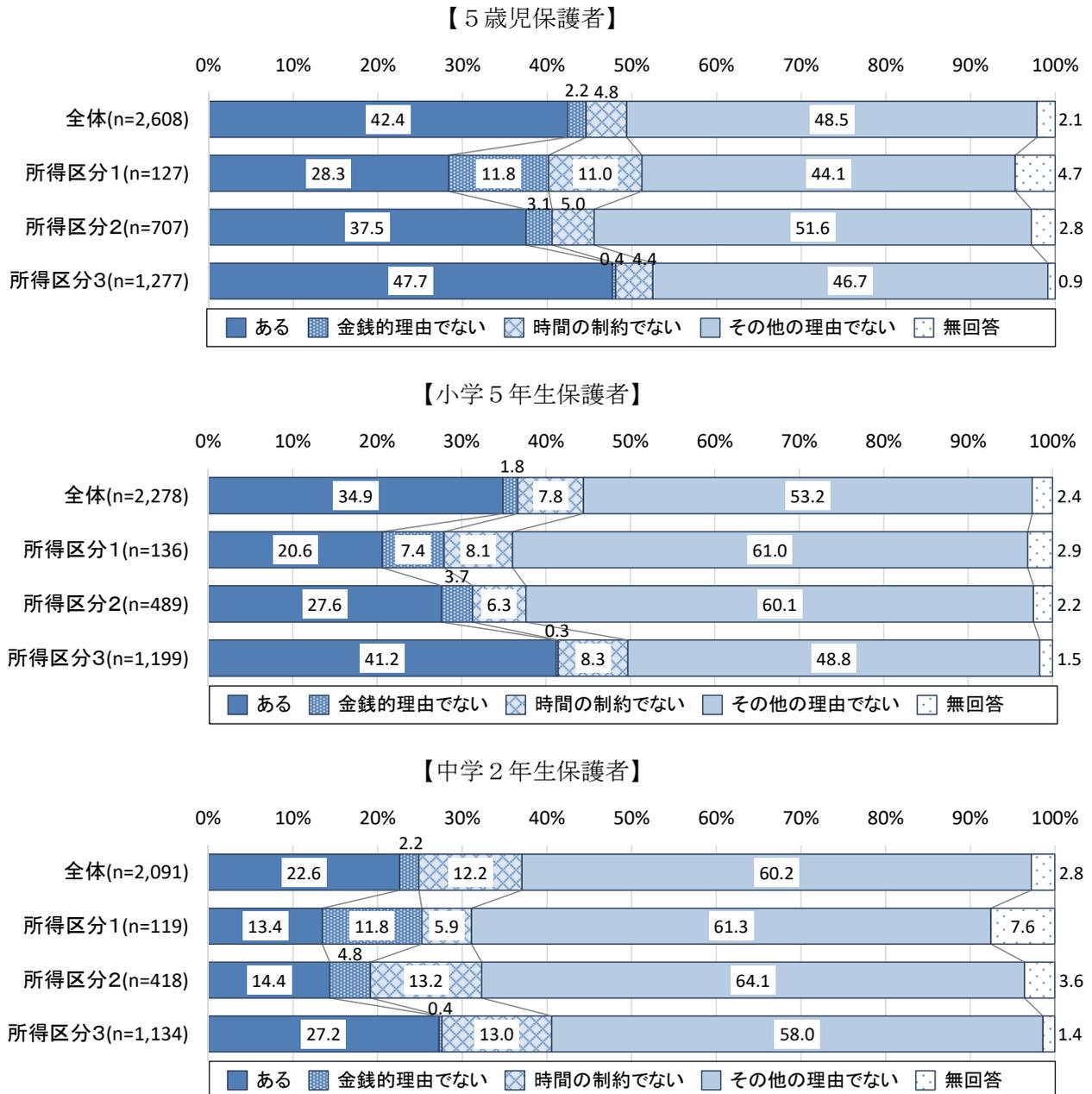
過去1年間に、宛名のお子さんと「博物館・科学館・美術館などに行く」ことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では2.2%、所得区別にみたら、所得区分1では11.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では1.8%、所得区別にみたら、所得区分1では7.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では2.2%、所得区別にみたら、所得区分1では11.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問17】 あなたの世帯では、過去1年間に、宛名のお子さんと次のA～Eのような体験をしましたか。  
(B 博物館・科学館・美術館などに行く)

図表 2-5-2 博物館・科学館・美術館などに行く（所得区分別）



## ウ キャンプやバーベキューに行った経験

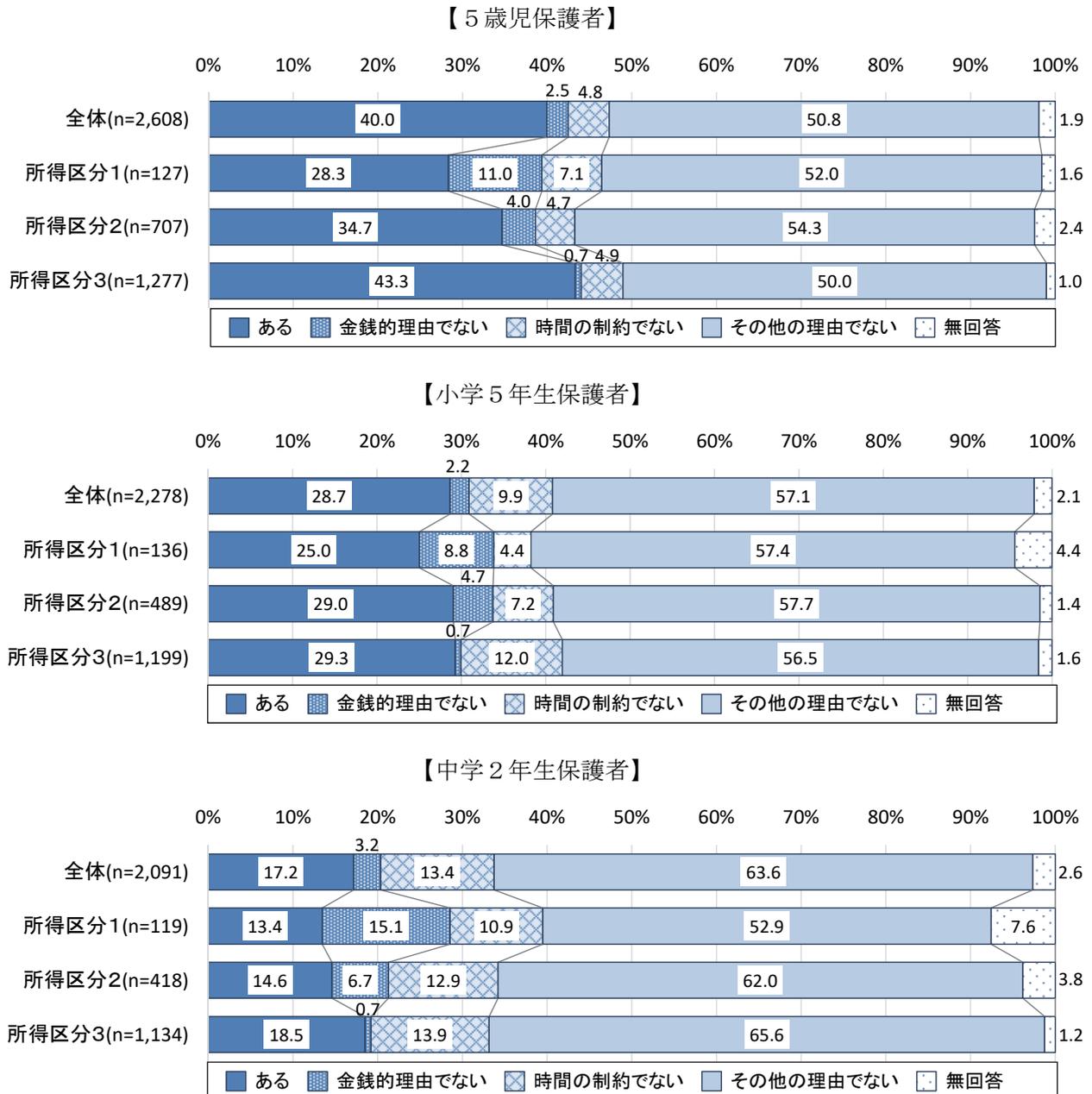
過去1年間に、宛名のお子さんと「キャンプやバーベキューに行く」ことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では2.5%、所得区別にみたら、所得区分1では11.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では2.2%、所得区別にみたら、所得区分1では8.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では3.2%、所得区別にみたら、所得区分1では15.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 17】 あなたの世帯では、過去1年間に、宛名のお子さんと次のA～Eのような体験をしましたか。  
(C キャンプやバーベキューに行く)

図表 2-5-3 キャンプやバーベキューに行く（所得区別別）



## エ スポーツ観戦や劇場に行った経験

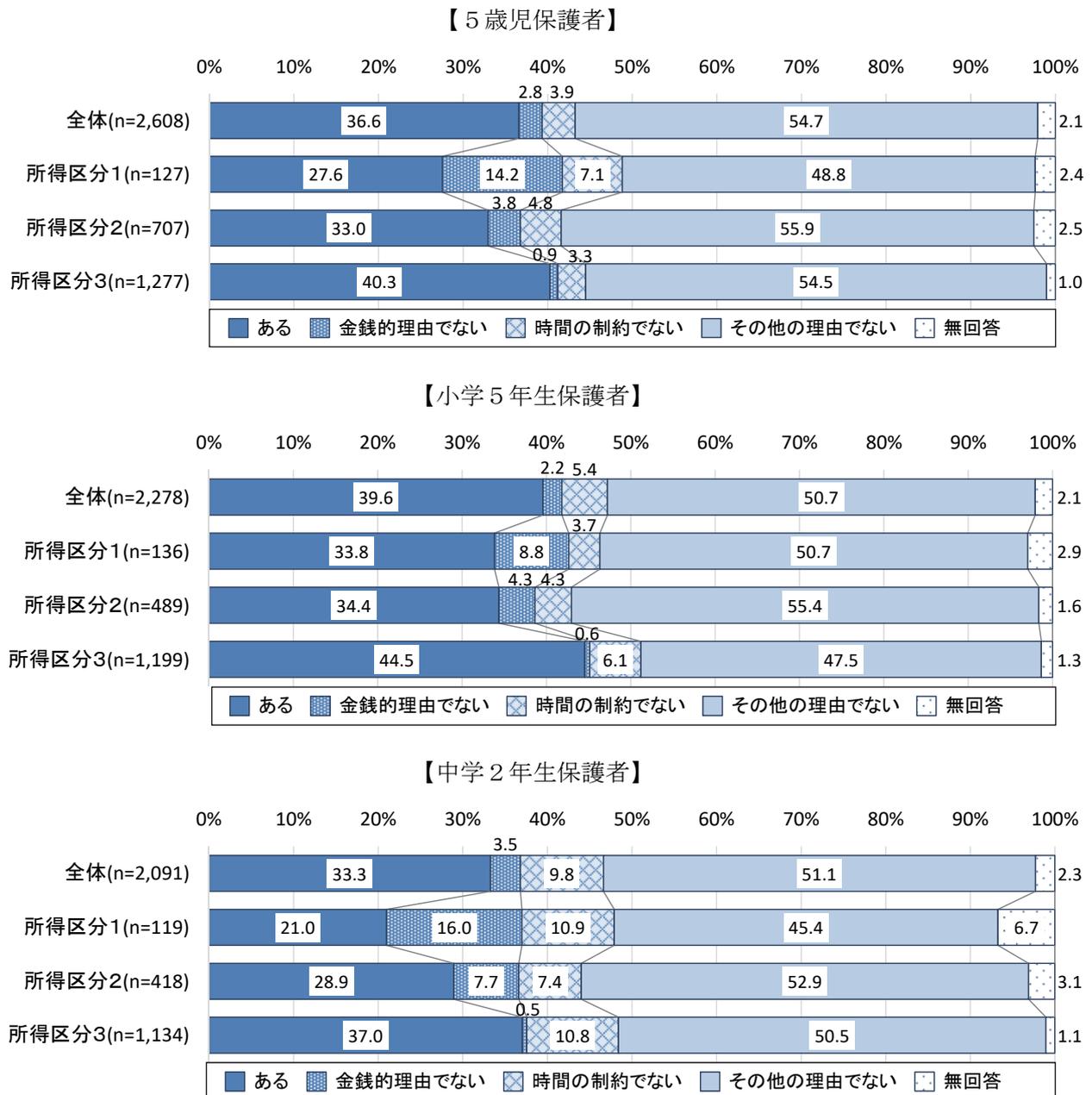
過去1年間に、宛名のお子さんと「スポーツ観戦や劇場に行く」ことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では2.8%、所得区分別にみたところ、所得区分1では14.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では2.2%、所得区分別にみたところ、所得区分1では8.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では3.5%、所得区分別にみたところ、所得区分1では16.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 17】 あなたの世帯では、過去1年間に、宛名のお子さんと次のA～Eのような体験をしましたか。  
(D スポーツ観戦や劇場に行く)

図表 2-5-4 スポーツ観戦や劇場に行く（所得区分別）



## オ 遊園地やテーマパークに行った経験

過去1年間に、宛名のお子さんと「遊園地やテーマパークに行く」ことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では3.6%、所得区分別にみたところ、所得区分1では12.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

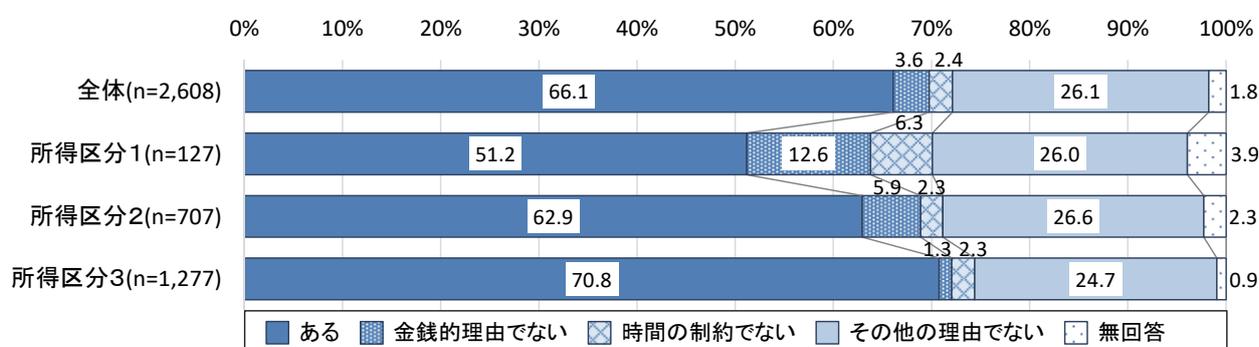
小学5年生の保護者に関して、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では3.9%、所得区分別にみたところ、所得区分1では14.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関しては、「金銭的理由でない」の回答割合は、全体では4.4%、所得区分別にみたところ、所得区分1では17.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

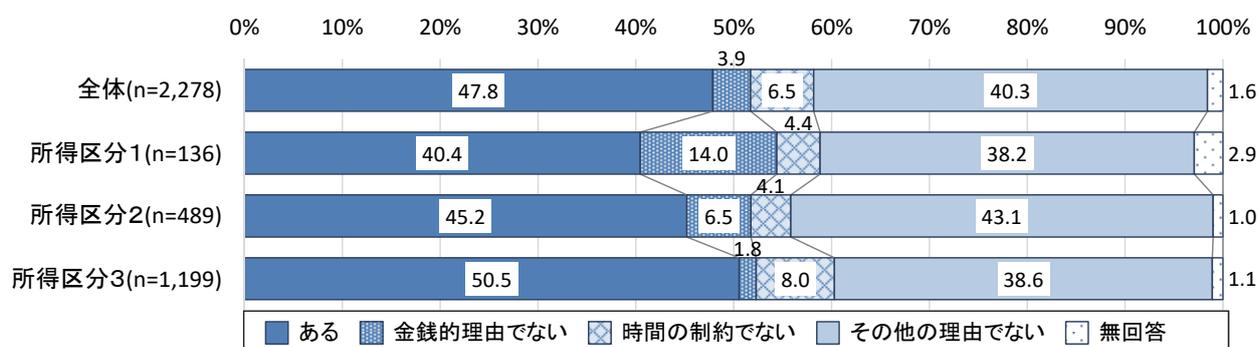
【保護者票問 17】 あなたの世帯では、過去1年間に、宛名のお子さんと次のA～Eのような体験をしましたか。  
(E 遊園地やテーマパークに行く)

図表 2-5-5 遊園地やテーマパークに行く（所得区分別）

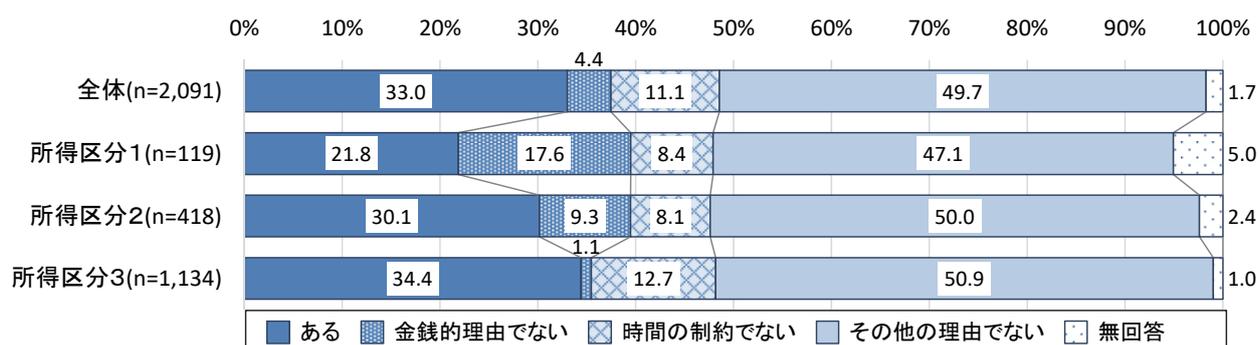
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (2) 子どもにしていること

### ア 毎月お小遣いを渡す

宛名のお子さんに「毎月お小遣いを渡す」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では3.1%、所得区別にみたところ、所得区分1では20.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では3.7%、所得区別にみたところ、所得区分1では19.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

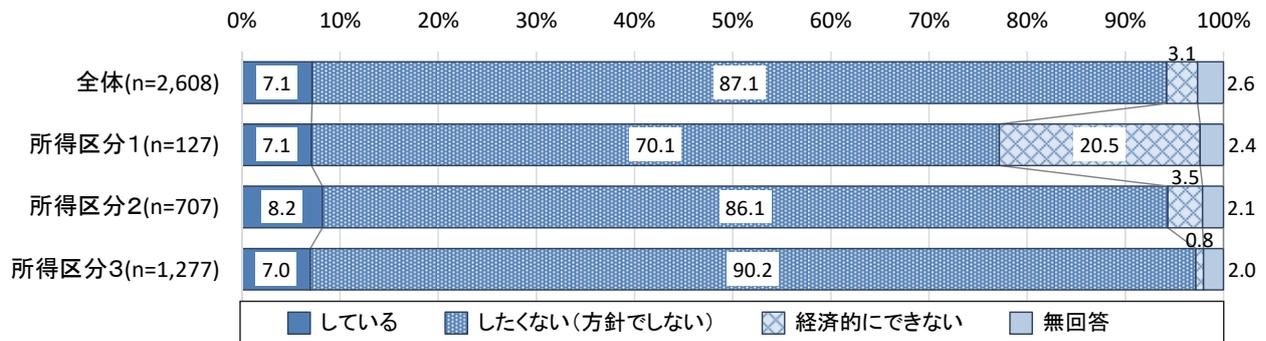
中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では4.4%、所得区別にみたところ、所得区分1では20.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。

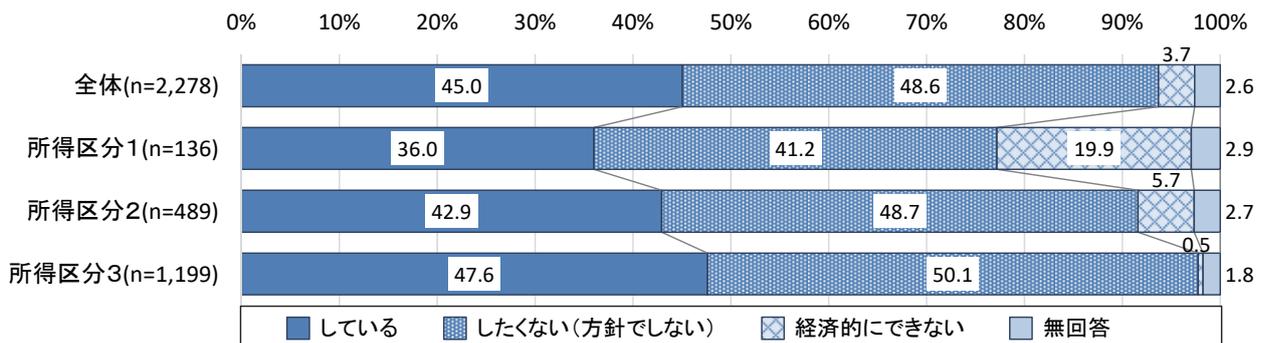
(A 毎月お小遣いを渡す)

図表 2-5-6 毎月お小遣いを渡す（所得区分別）

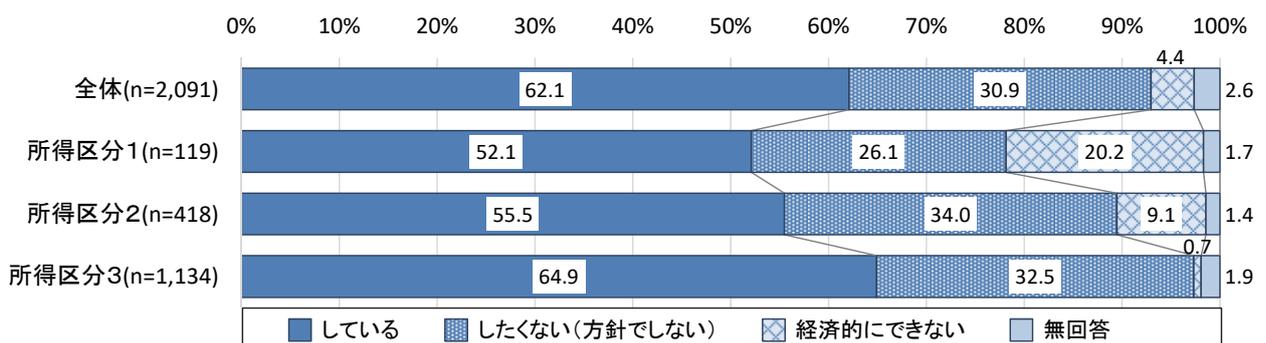
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 毎年新しい洋服・靴を買う

宛名のお子さんに「毎年新しい洋服・靴を買う」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では2.2%、所得区分別にみたところ、所得区分1では9.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では1.7%、所得区分別にみたところ、所得区分1では8.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

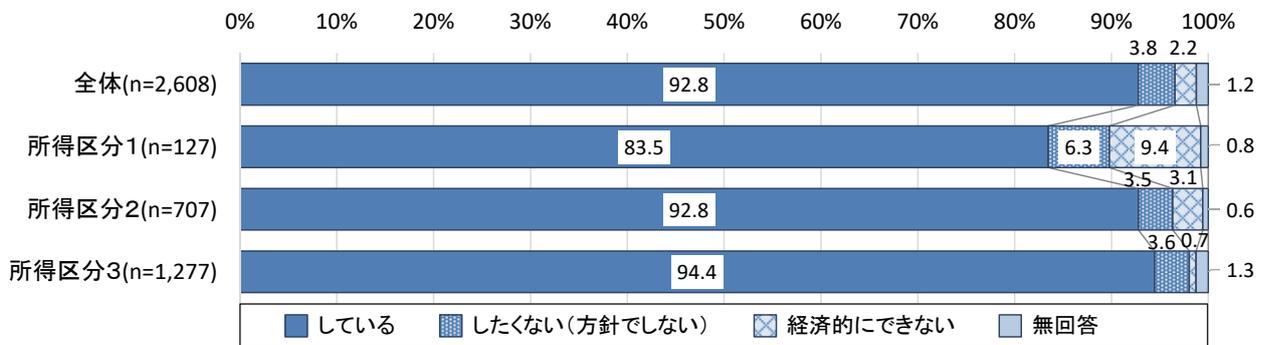
中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では2.3%、所得区分別にみたところ、所得区分1では13.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。

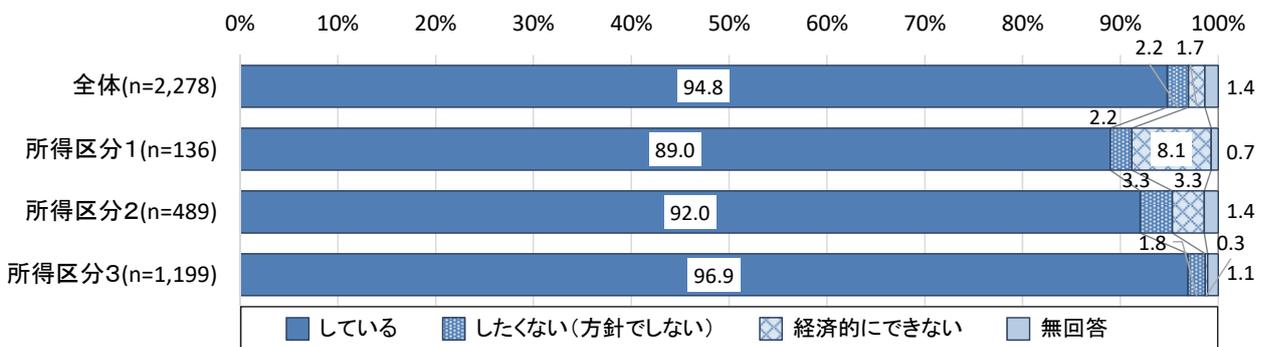
(B 毎年新しい洋服・靴を買う)

図表 2-5-7 毎年新しい洋服・靴を買う（所得区分別）

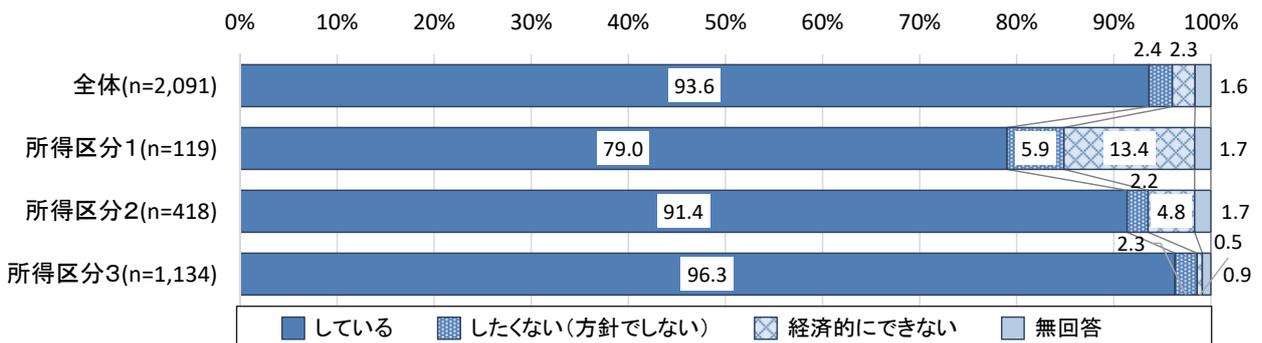
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## ウ 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる

宛名のお子さんを「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では7.0%、所得区分別にみたところ、所得区分1では31.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

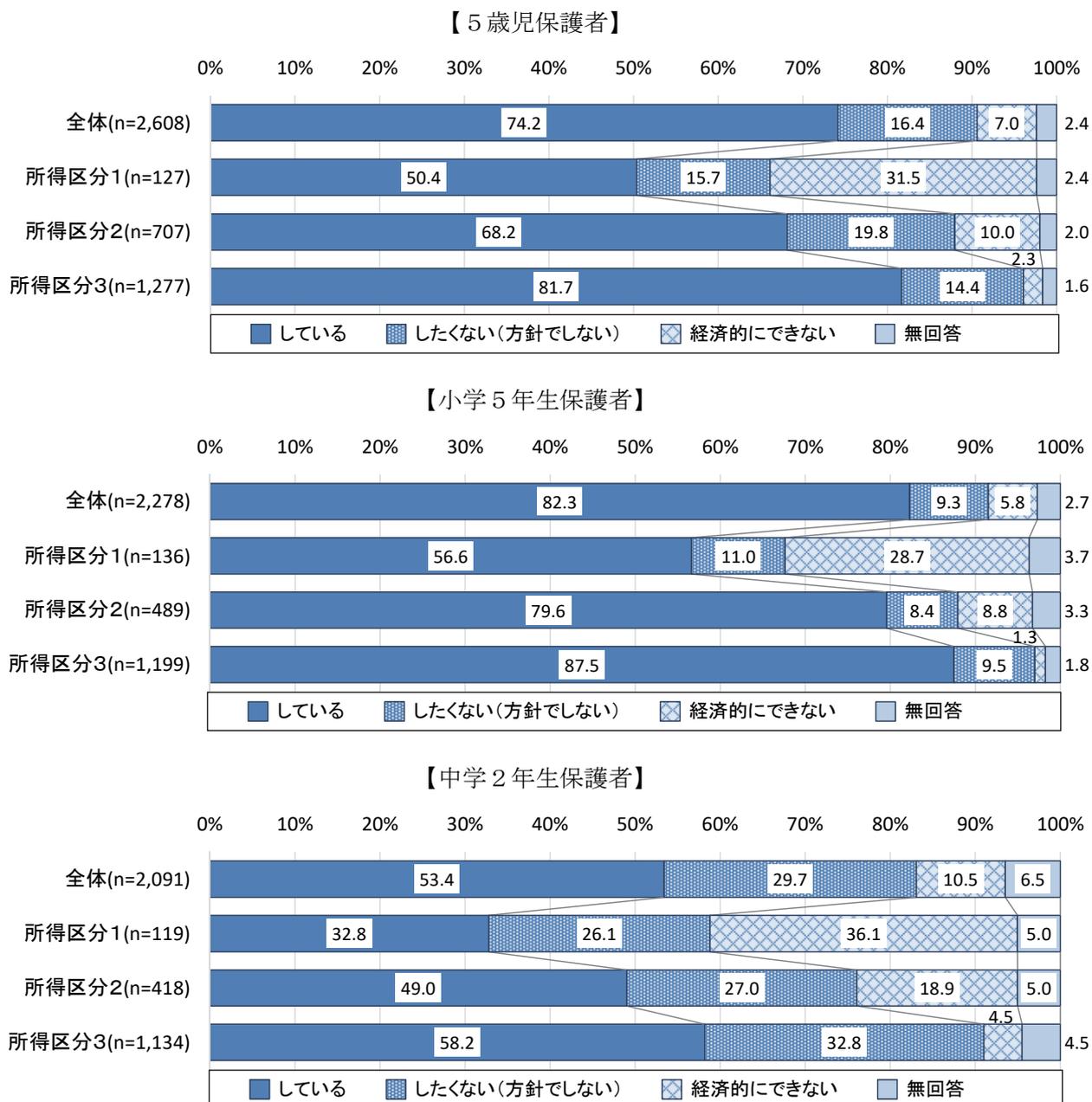
小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では5.8%、所得区分別にみたところ、所得区分1では28.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では10.5%、所得区分別にみたところ、所得区分1では36.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。

(C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)

図表 2-5-8 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる（所得区分別）



## エ 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)

宛名のお子さんを「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では12.7%、所得区分別にみたところ、所得区分1では40.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

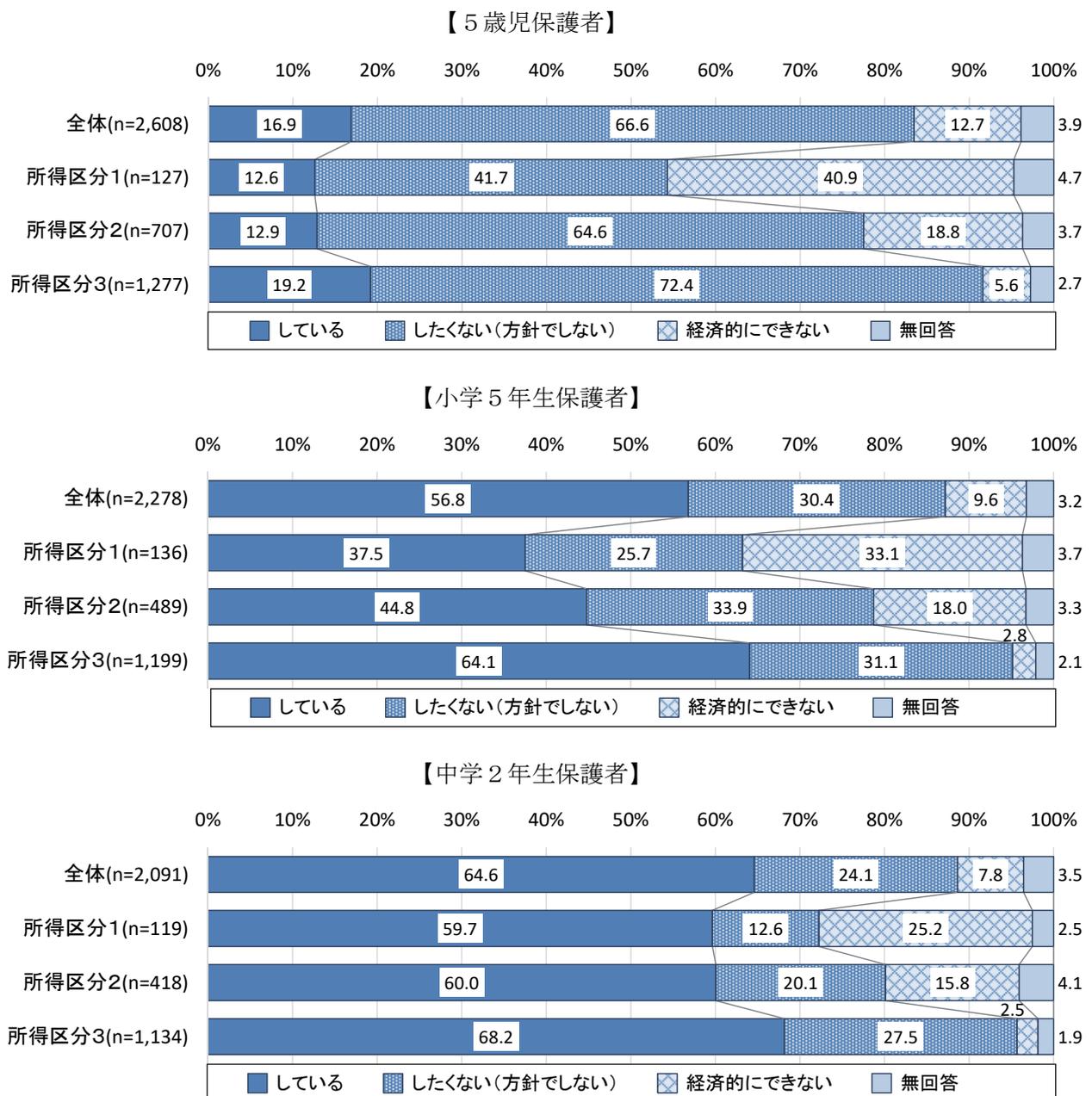
小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では9.6%、所得区分別にみたところ、所得区分1では33.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では7.8%、所得区分別にみたところ、所得区分1では25.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。

(D 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう))

図表 2-5-9 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)(所得区分別)



## オ お誕生日のお祝いをする

宛名のお子さんの「お誕生日のお祝いをする」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では0.3%、所得区別にみたら、所得区分1では3.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では0.4%、所得区別にみたら、所得区分1では2.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

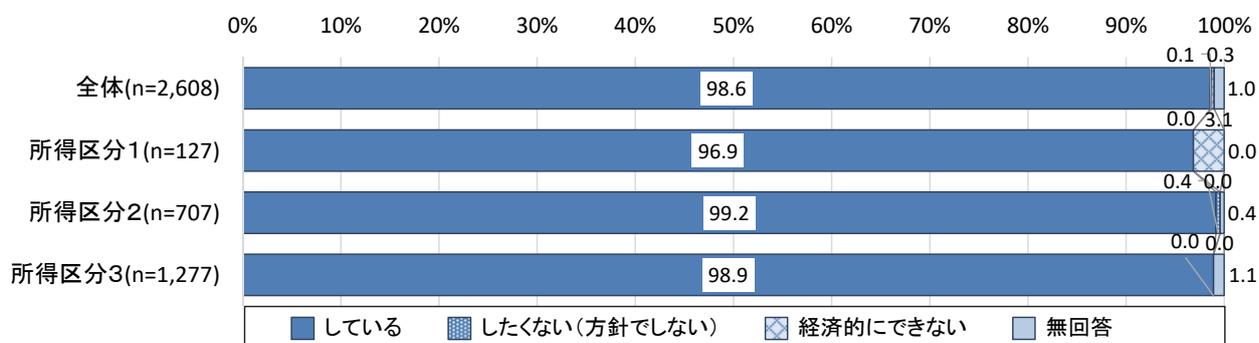
中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では0.6%、所得区別にみたら、所得区分1では3.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。

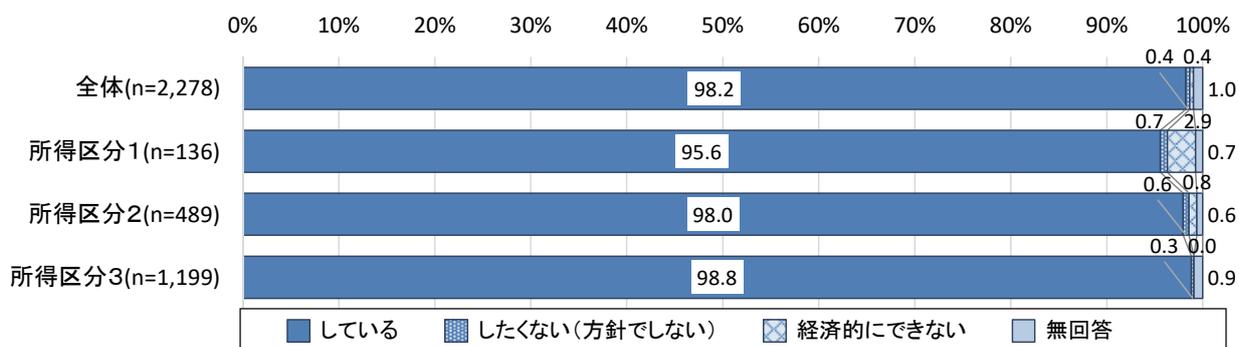
(E お誕生日のお祝いをする)

図表 2-5-10 お誕生日のお祝いをする（所得区分別）

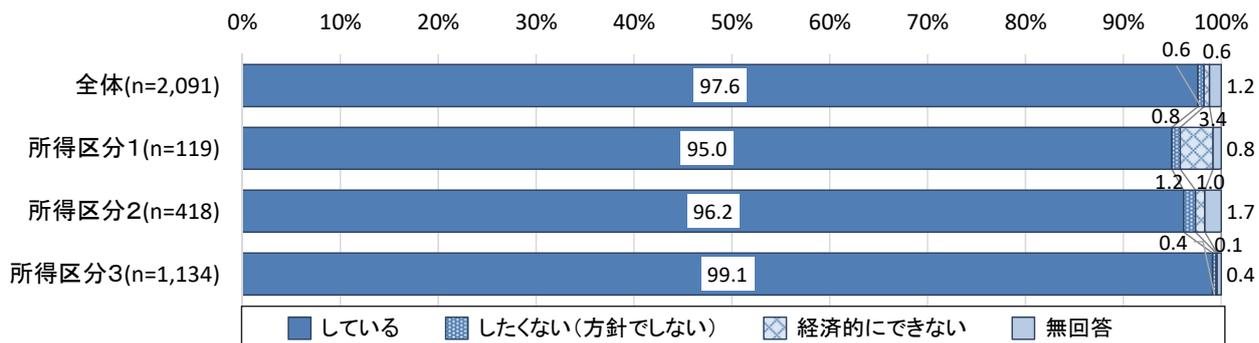
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## カ 1年に1回くらい家族旅行に行く

宛名のお子さんと「1年に1回くらい家族旅行に行く」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では11.5%、所得区分別にみたところ、所得区分1では40.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では12.3%、所得区分別にみたところ、所得区分1では41.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

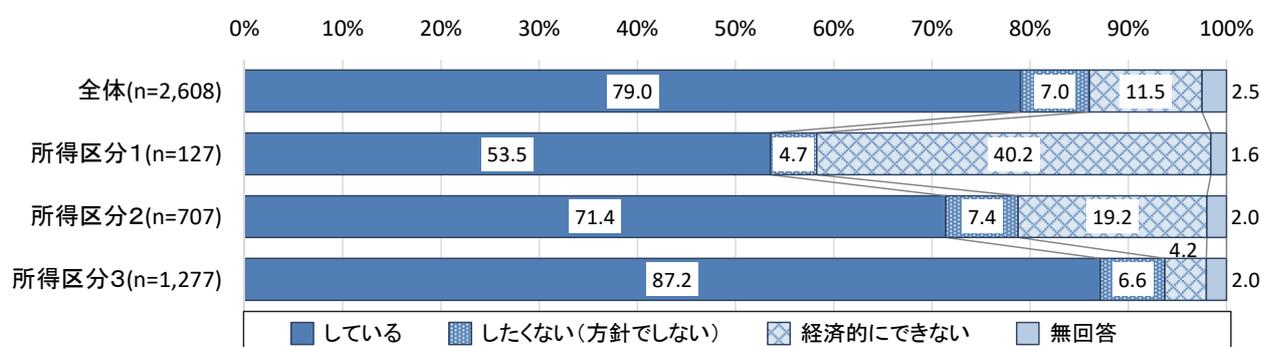
中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では16.5%、所得区分別にみたところ、所得区分1では51.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。

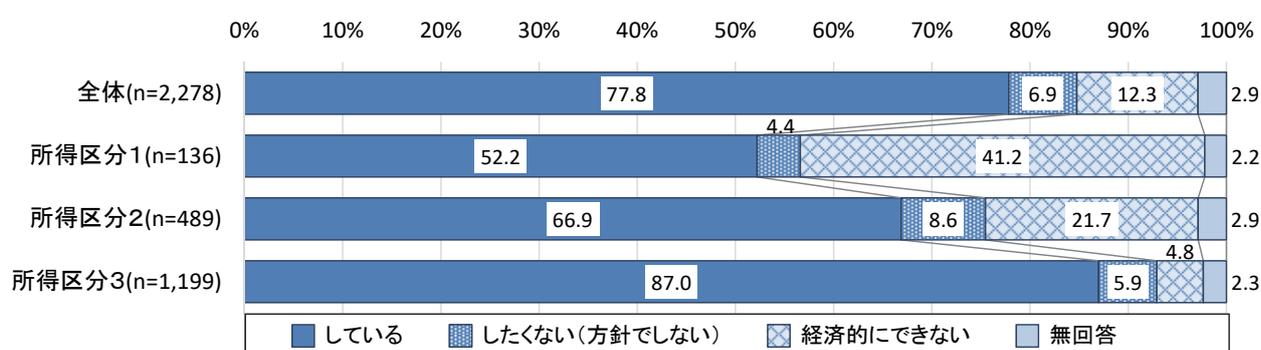
(F 1年に1回くらい家族旅行に行く)

図表 2-5-11 1年に1回くらい家族旅行に行く（所得区分別）

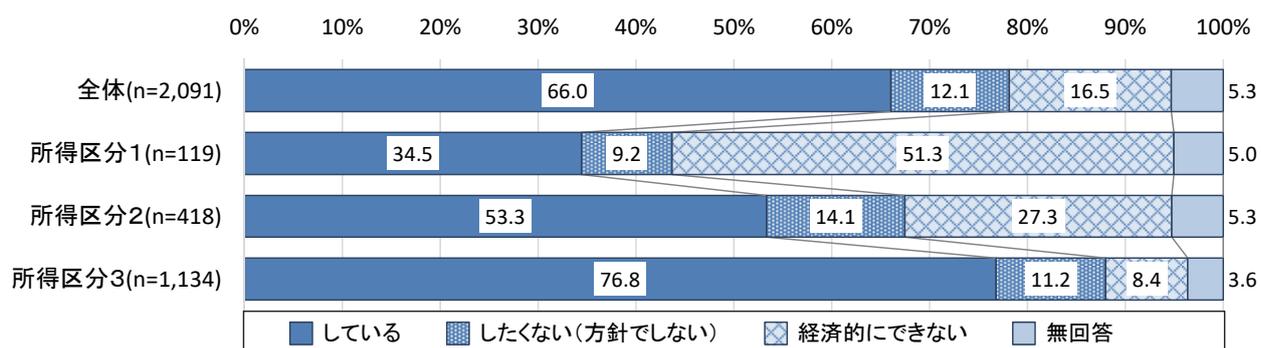
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## キ クリスマスのプレゼントやお年玉をあげる

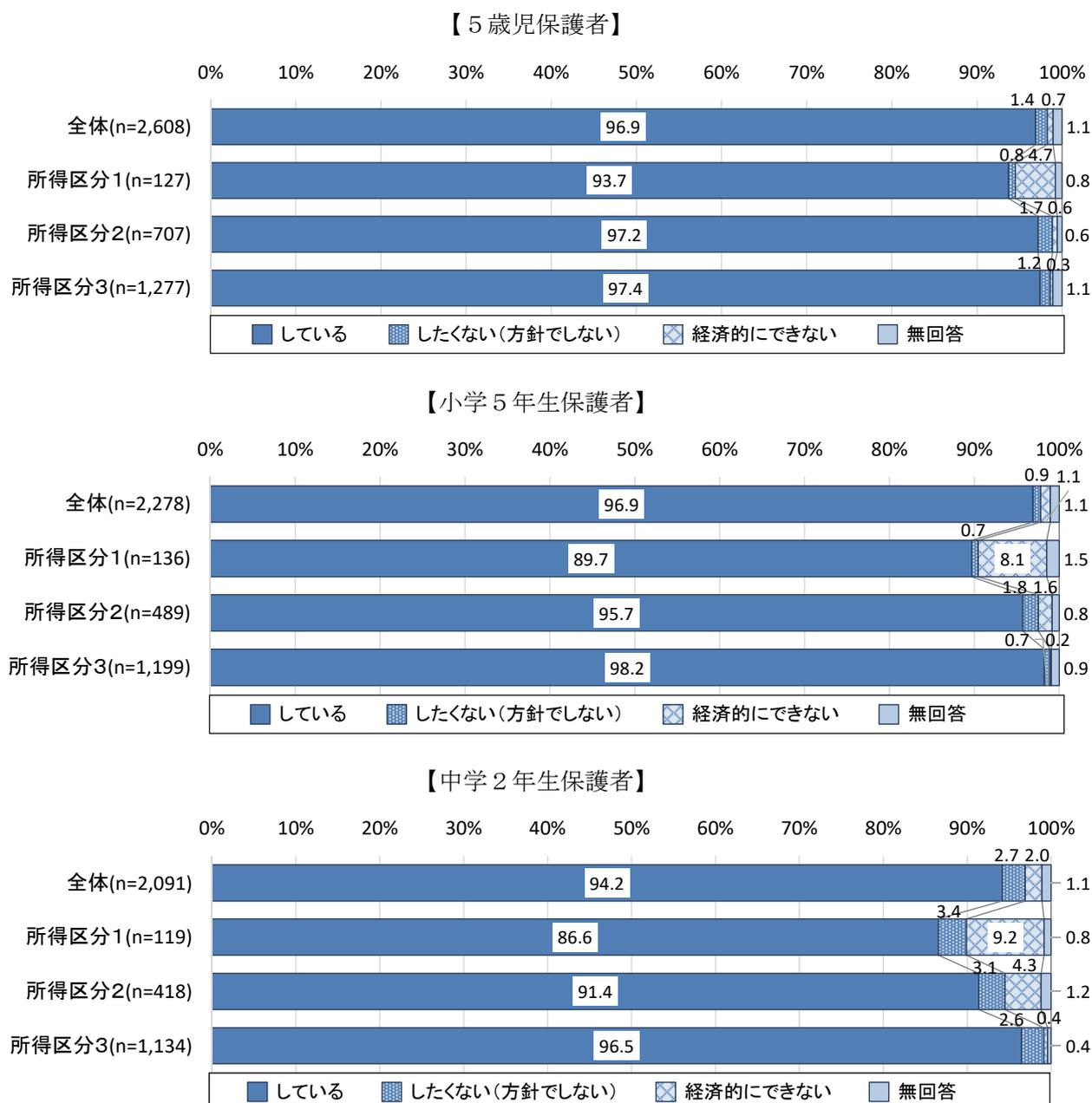
宛名のお子さんに「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では0.7%、所得区分別にみたところ、所得区分1では4.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では1.1%、所得区分別にみたところ、所得区分1では8.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では2.0%、所得区分別にみたところ、所得区分1では9.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。  
(G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる)

図表 2-5-12 クリスマスのプレゼントやお年玉をあげる（所得区分別）



## ク 子どもの学校行事などへ親が参加する

宛名のお子さんについて「子どもの学校行事などへ親が参加する」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では0.2%、所得区分別にみたところ、所得区分1では3.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

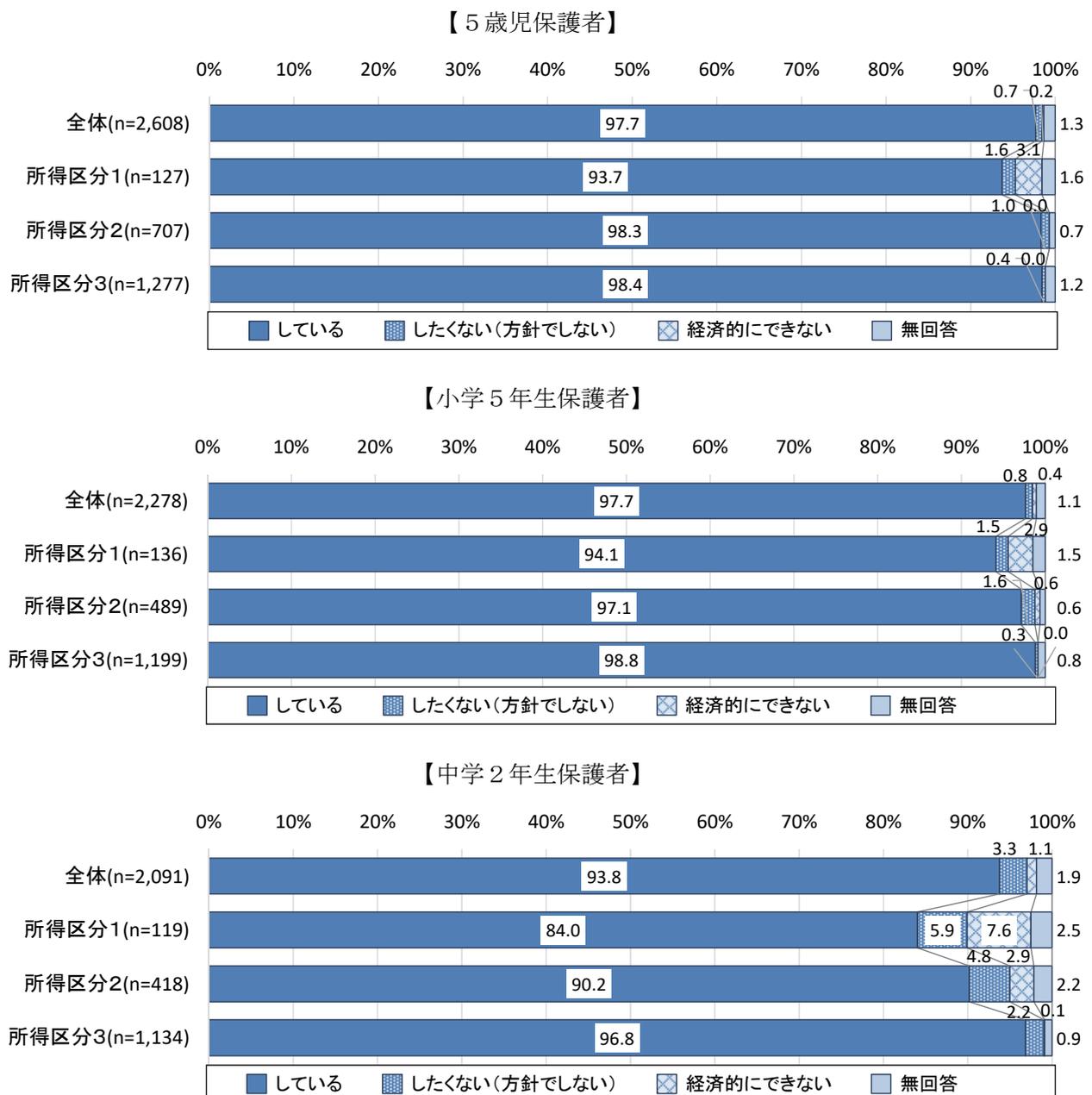
小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では0.4%、所得区分別にみたところ、所得区分1では2.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では1.1%、所得区分別にみたところ、所得区分1では7.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。

(H 子どもの学校行事などへ親が参加する)

図表 2-5-13 子どもの学校行事などへ親が参加する（所得区分別）



## ケ 親子で地域の行事に参加する

宛名のお子さんについて「親子で地域の行事に参加する」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では1.3%、所得区分別にみたところ、所得区分1では7.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

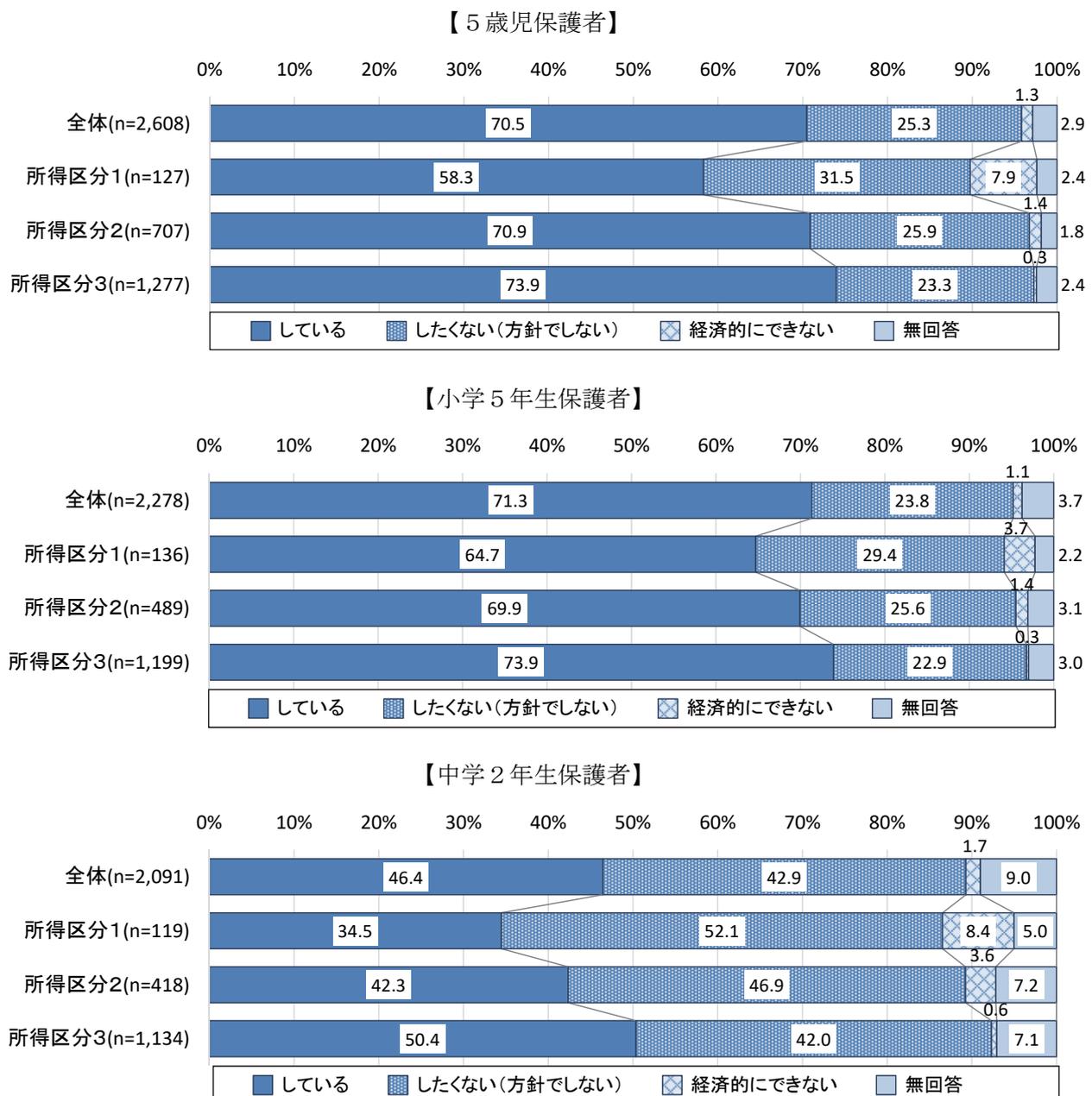
小学5年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では1.1%、所得区分別にみたところ、所得区分1では3.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「経済的にできない」の回答割合は、全体では1.7%、所得区分別にみたところ、所得区分1では8.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 18】 あなたの世帯では、宛名のお子さんに次のA～Iのようなことをしていますか。

(I 親子で地域の行事に参加する)

図表 2-5-14 親子で地域の行事に参加する（所得区分別）



### (3) 子どもの進路

#### ア 進学についての希望

宛名のお子さんについて、どの段階まで進学すると思うかの希望を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が79.8%と最も高く、次いで「まだわからない」の回答割合が8.9%、「短大・高専・専門学校まで」の回答割合が5.4%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が73.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が78.3%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の回答割合が9.4%、「まだわからない」の回答割合が6.1%となっている。所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が66.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

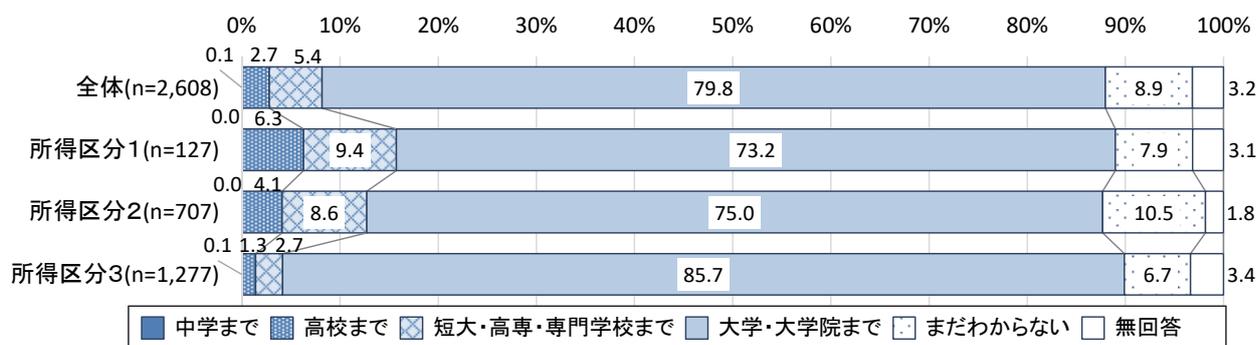
中学2年生の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が77.1%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の回答割合が10.1%、「まだわからない」の回答割合が5.0%となっている。所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が61.3%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 19】 宛名のお子さんについて、どの段階まで進学すると思いますか。あなたの希望と、現実的にみた場合、それぞれについてお教えてください。

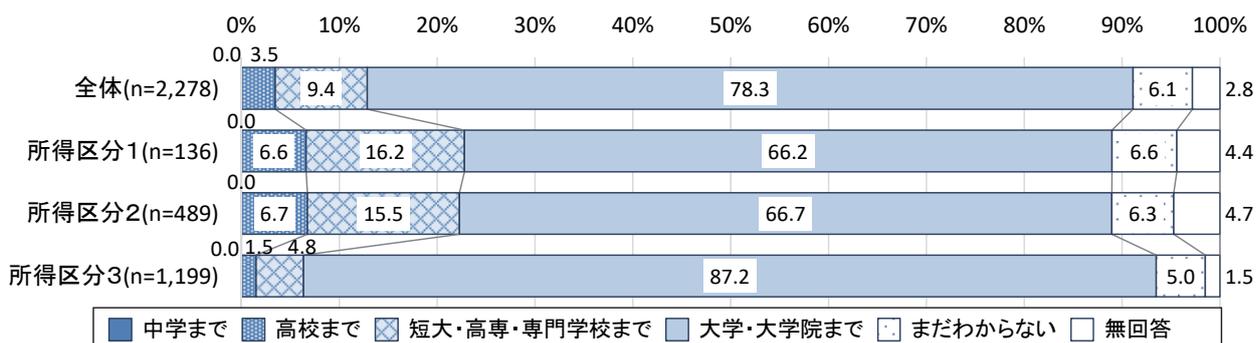
(A 希望)

図表 2-5-15 進学についての希望（所得区分別）

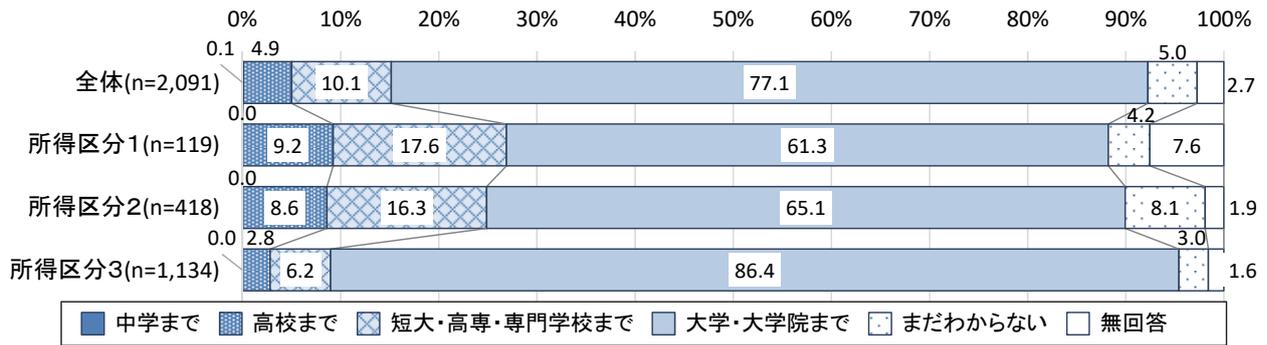
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



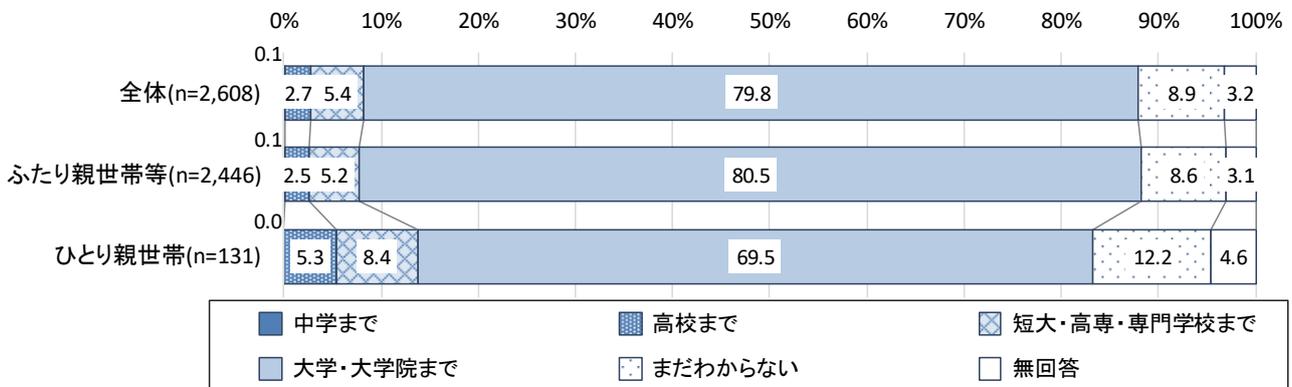
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「大学・大学院まで」の回答割合が69.5%となっており、全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「大学・大学院まで」の回答割合が61.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

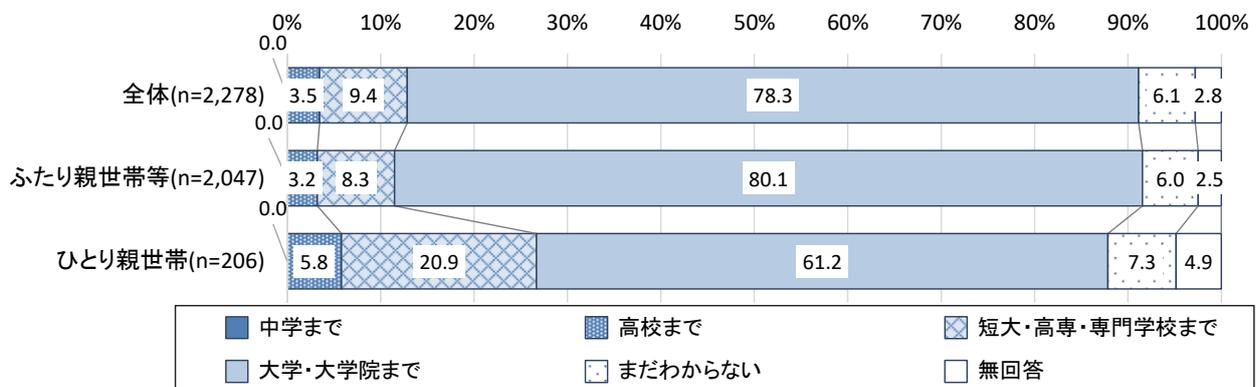
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「大学・大学院まで」の回答割合が58.1%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-16 進学についての希望（世帯類型別）

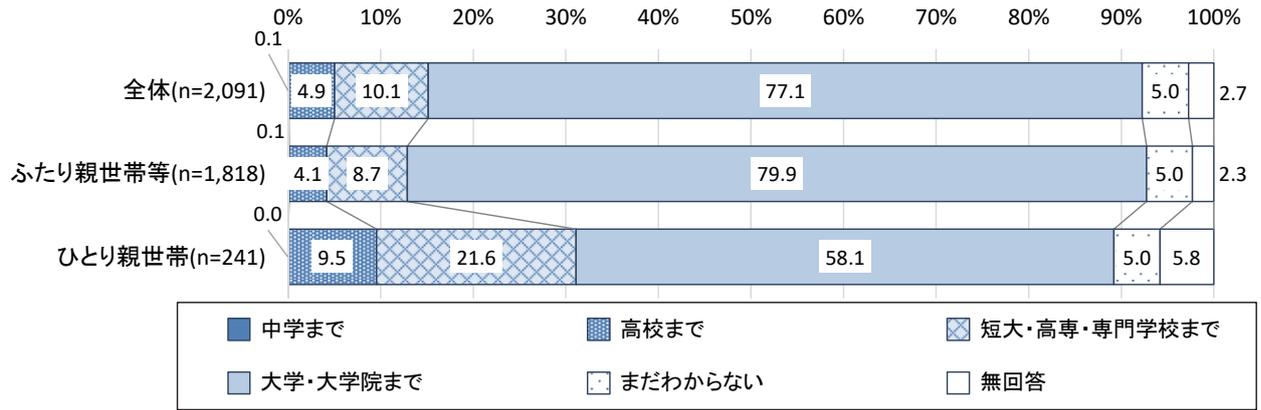
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 現実的な進学先

宛名のお子さんについて、現実的にみた場合にどの段階まで進学すると思うかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「まだわからない」の回答割合が43.3%と最も高く、次いで「大学・大学院まで」の回答割合が41.5%、「無回答」の回答割合が6.1%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が21.3%となっており、全体と比べて低くなっている。

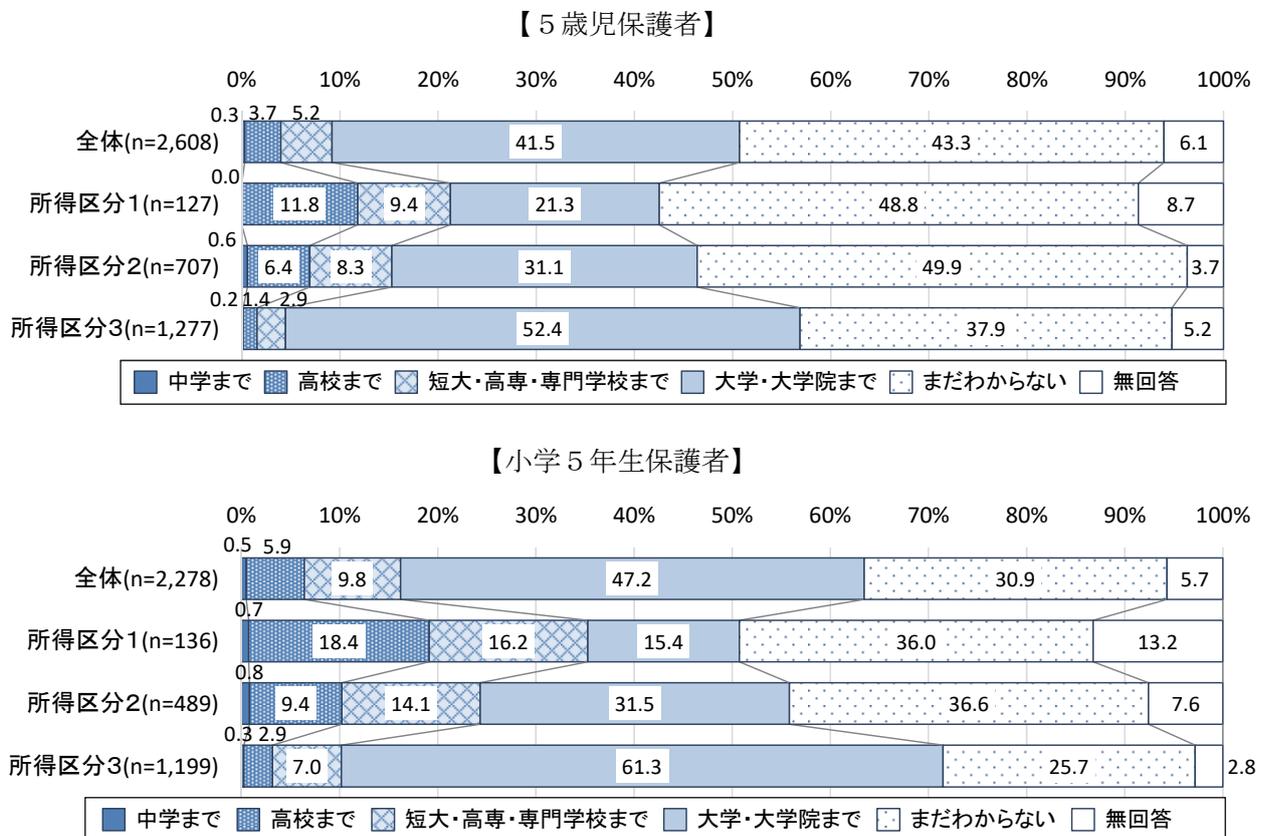
小学5年生の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が47.2%と最も高く、次いで「まだわからない」の回答割合が30.9%、「短大・高専・専門学校まで」の回答割合が9.8%となっている。所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が15.4%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「大学・大学院まで」の回答割合が48.9%と最も高く、次いで「まだわからない」の回答割合が26.8%、「短大・高専・専門学校まで」の回答割合が9.4%となっている。所得区分1では、「大学・大学院まで」の回答割合が27.7%となっており、全体と比べて低くなっている。

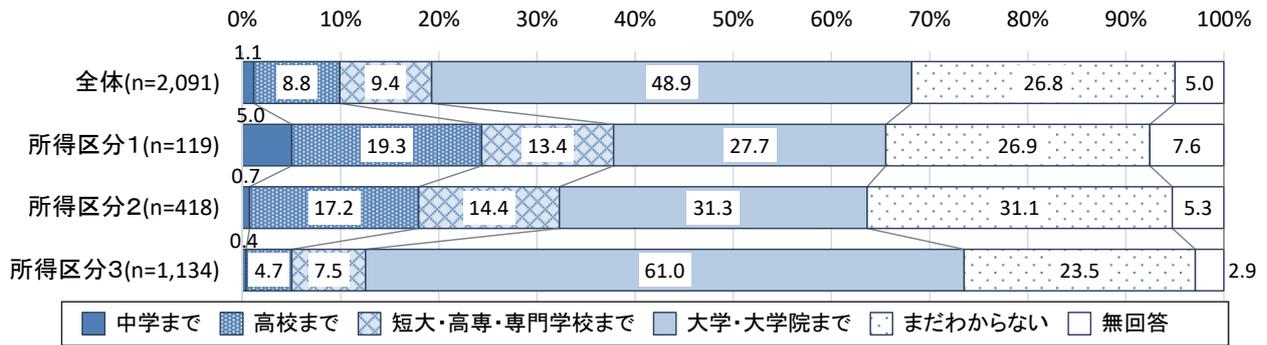
【保護者票問 19】 宛名のお子さんについて、どの段階まで進学すると思いますか。あなたの希望と、現実的にみた場合、それぞれについて教えてください。

(B 現実)

図表 2-5-17 現実的な進学先（所得区分別）



【中学2年生保護者】



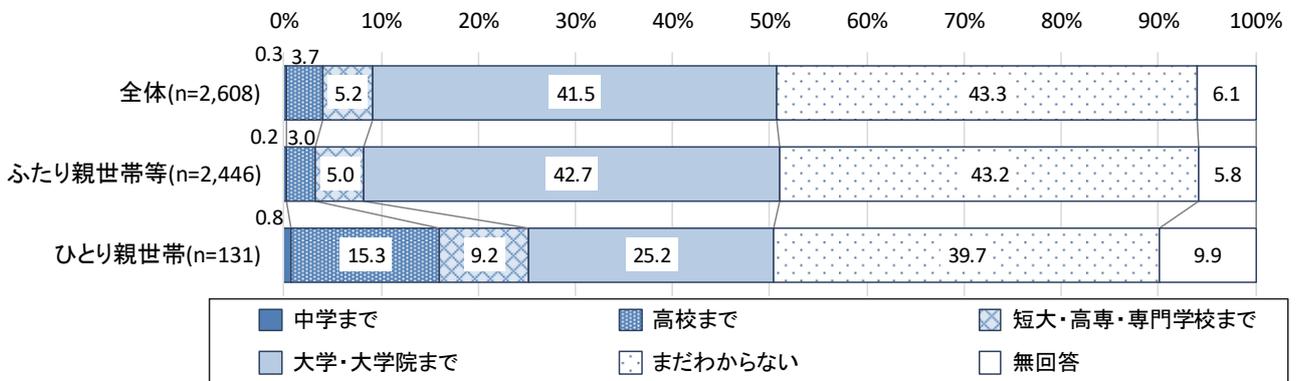
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「高校まで」の回答割合が15.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「高校まで」の回答割合が13.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

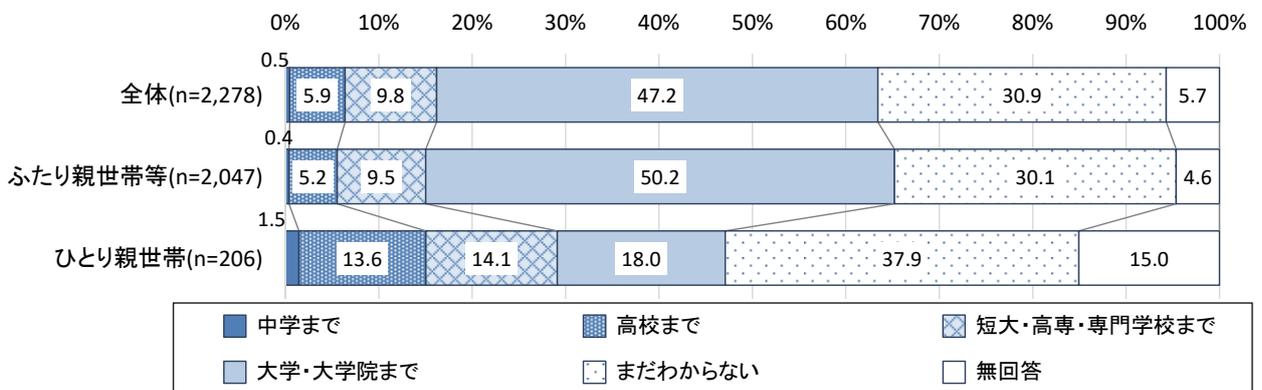
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「高校まで」の回答割合が17.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-18 現実的な進学先（世帯類型別）

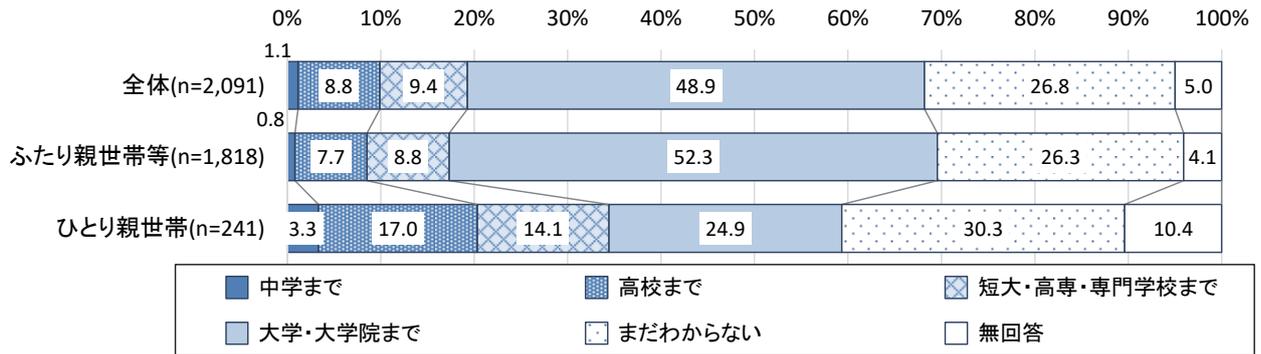
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



ウ 進学先の希望と現実が異なる理由

宛名のお子さんの進学先について「希望」と「現実」が異なると考える理由を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「まだどうなるかわからないから」の回答割合が64.0%と最も高く、次いで「無回答」の回答割合が12.7%、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が10.6%となっている。所得区別にみたところ、所得区分1では「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が17.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

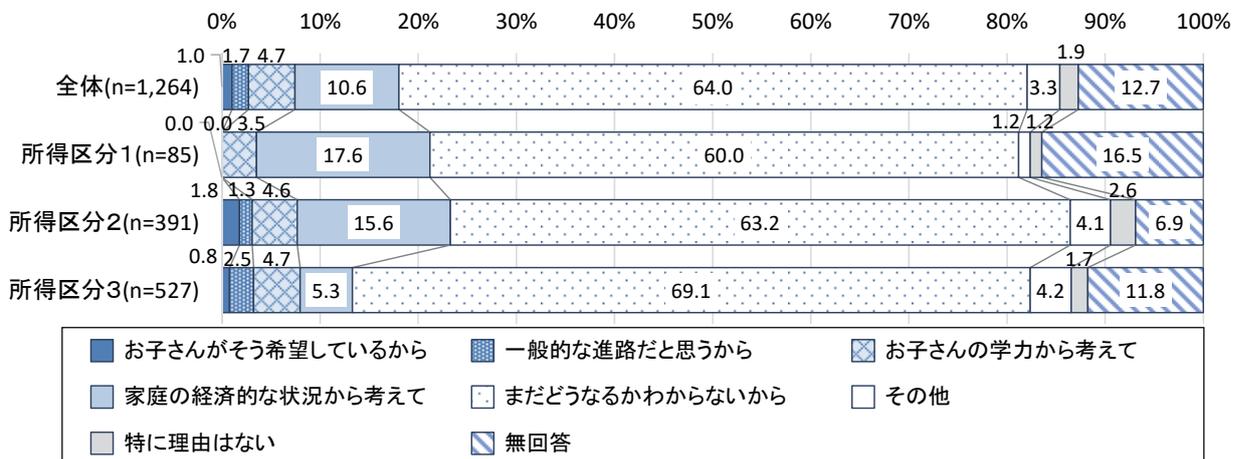
小学5年生の保護者全体では、「まだどうなるかわからないから」の回答割合が53.4%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」の回答割合が14.1%、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が11.5%となっている。所得区分1では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が26.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「まだどうなるかわからないから」の回答割合が46.9%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」の回答割合が19.8%、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が10.5%となっている。所得区分1では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が27.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

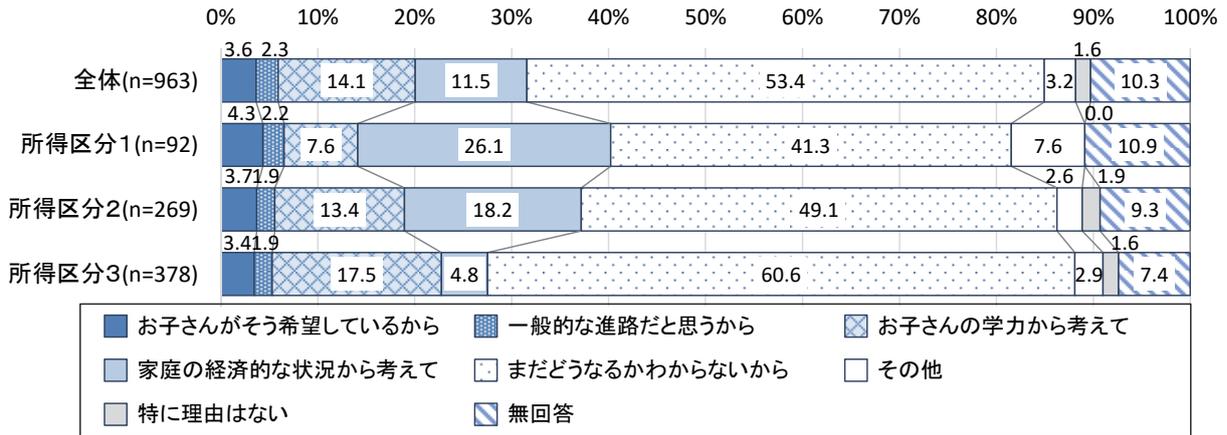
【保護者票問 19-1】「希望」と「現実」が異なると考えるのはなぜですか。

図表 2-5-19 進学先の希望と現実が異なる理由（所得区分別）

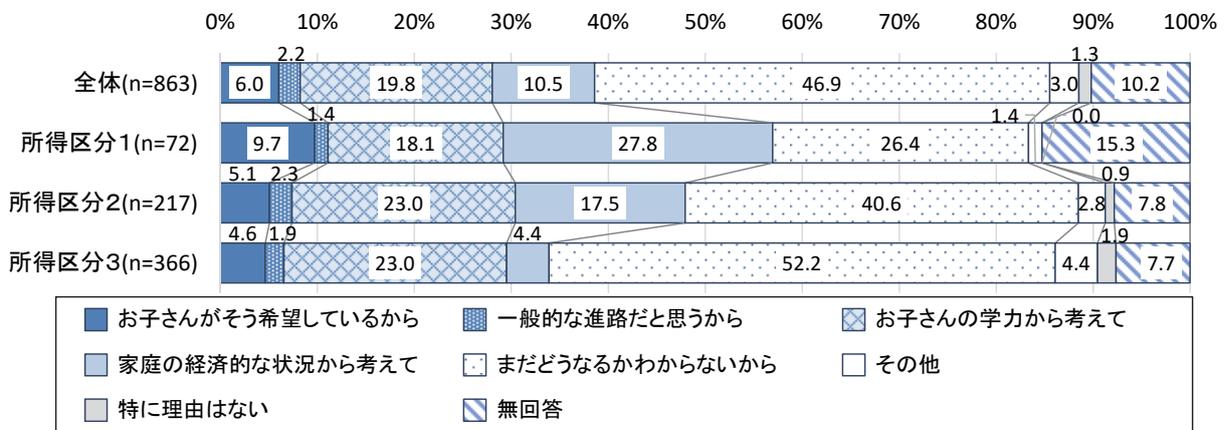
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



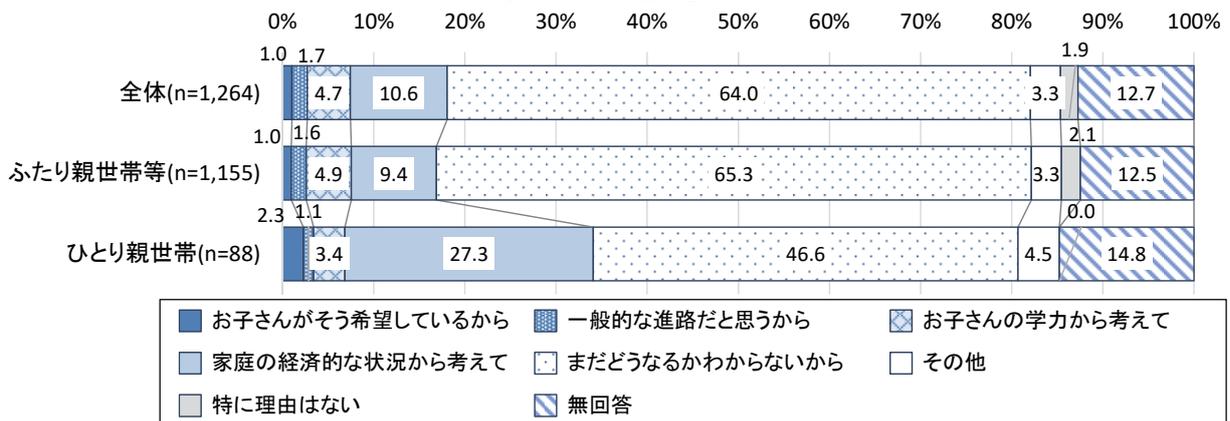
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者ひとり親世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が27.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が22.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

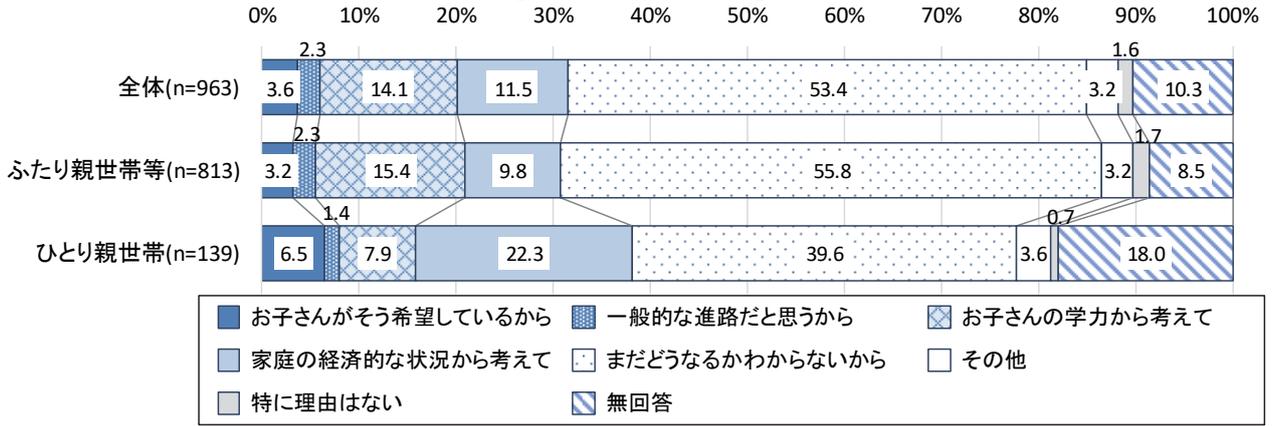
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が32.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-20 進学先の希望と現実が異なる理由（世帯類型別）

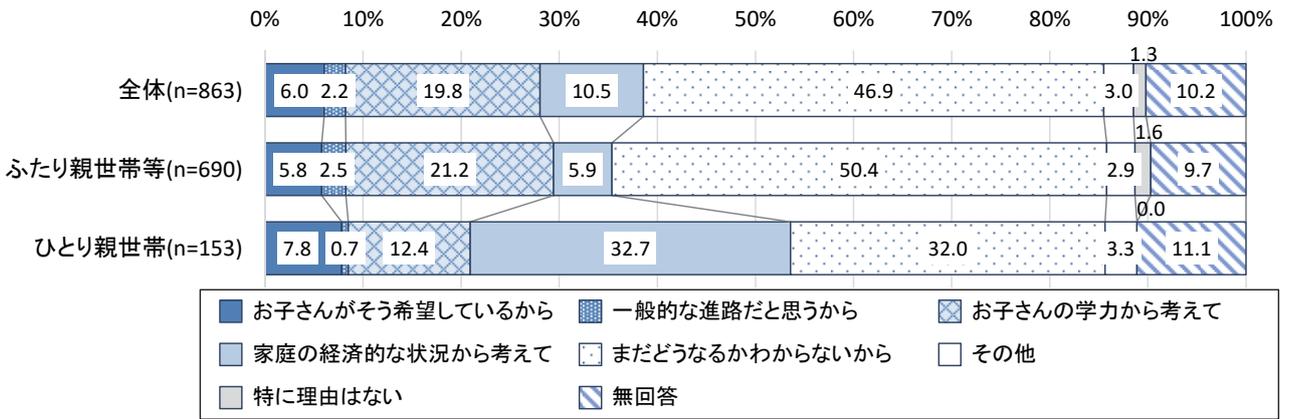
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (4) 子どもへの関わり方

### ア テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルール

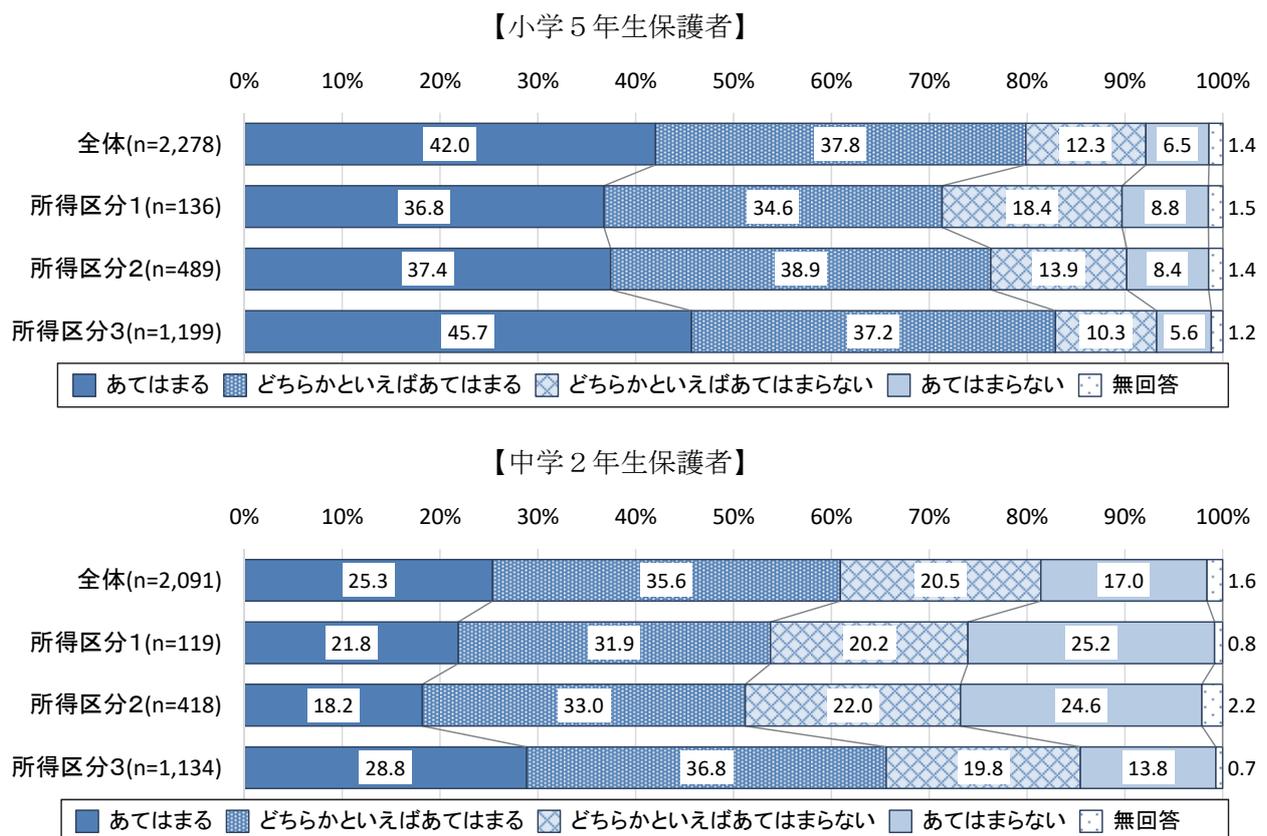
保護者の方と宛名のお子さんの関わり方として、「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」かを尋ねた設問<sup>14</sup>について、小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では79.8%であったのに対し、所得区分別にみたところ、所得区分1では71.4%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者に関しては、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では60.9%であったのに対し、所得区分2では51.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 20】 保護者の方と宛名のお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(A テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている)

図表 2-5-21 テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている（所得区分別）



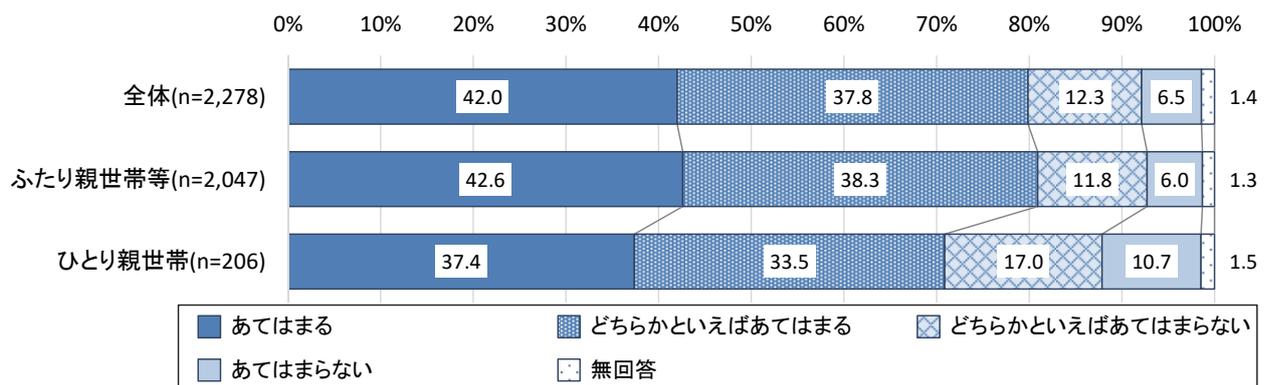
<sup>14</sup> 宛名のお子さんが「小学5年生」または「中学2年生」の場合のみ回答する設問。

世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、ひとり親世帯では70.9%となっており、全体と比べて低くなっている。

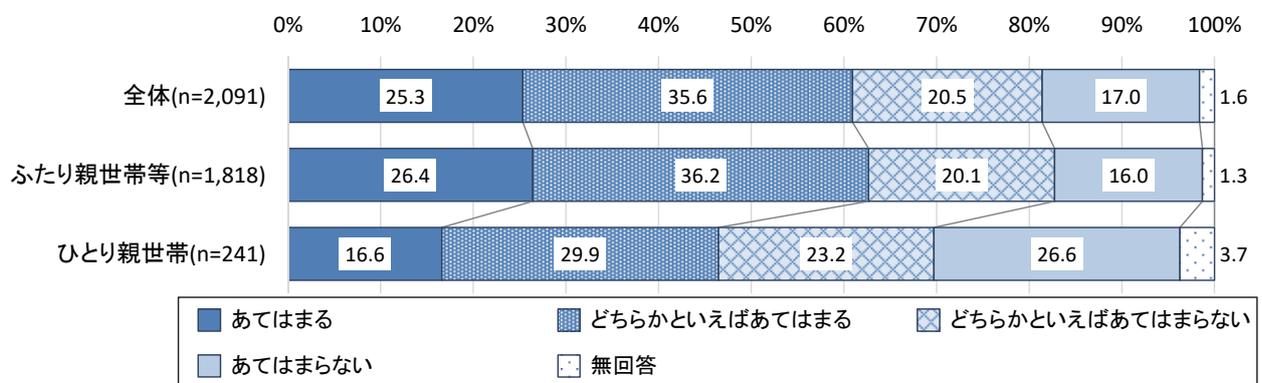
中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、ひとり親世帯では46.5%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-22 テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 本や新聞を読むように勧めている

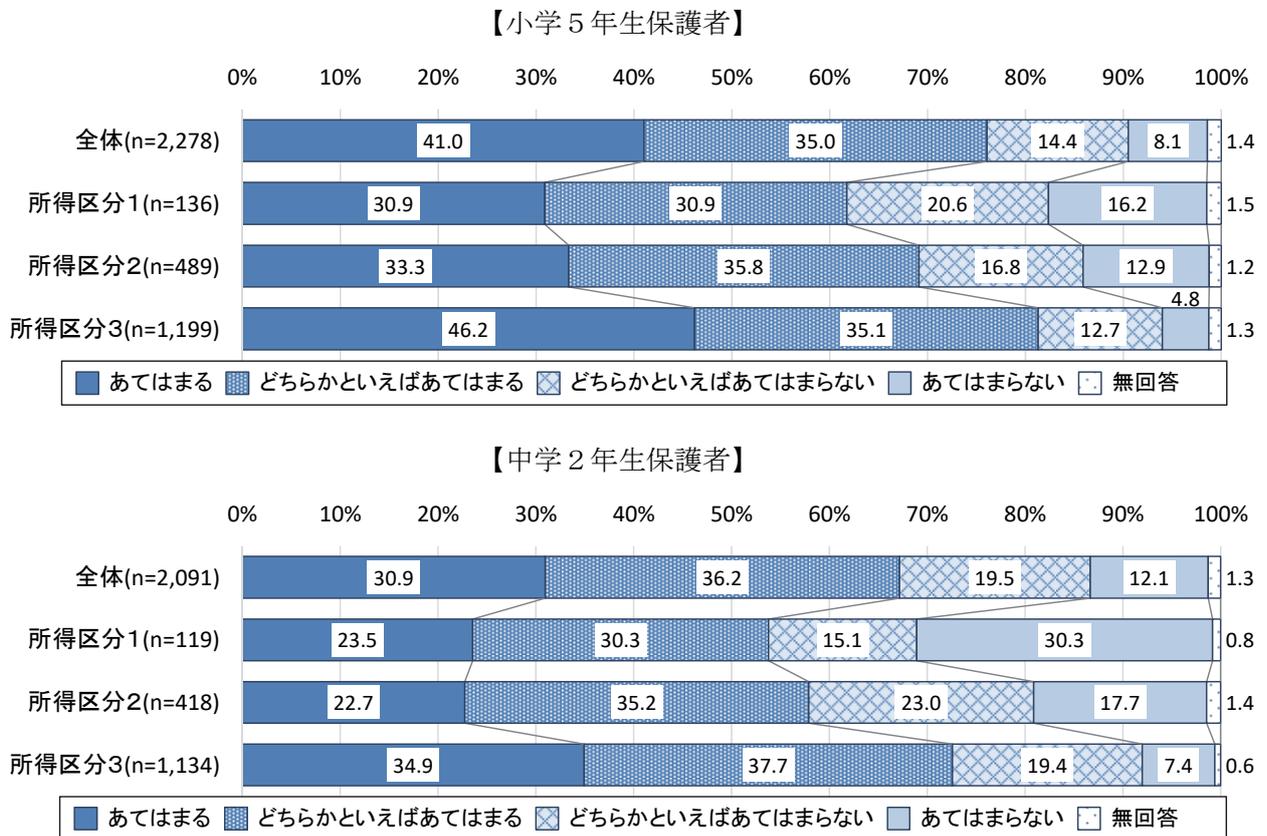
保護者の方と宛名のお子さんの関わり方として、「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」かを尋ねた設問<sup>15</sup>について、小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では76.0%、所得区分別にみたところ、所得区分1では61.8%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者に関しては、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では67.1%、所得区分1では53.8%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 20】 保護者の方と宛名のお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(B お子さんに本や新聞を読むように勧めている)

図表 2-5-23 お子さんに本や新聞を読むように勧めている（所得区分別）



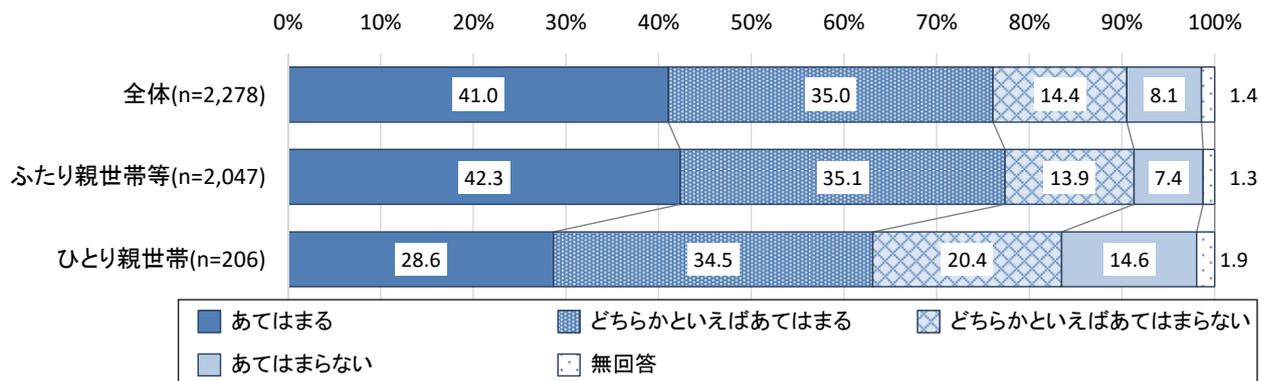
<sup>15</sup> 宛名のお子さんが「小学5年生」または「中学2年生」の場合のみ回答する設問。

世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、ひとり親世帯では63.1%となっており、全体と比べて低くなっている。

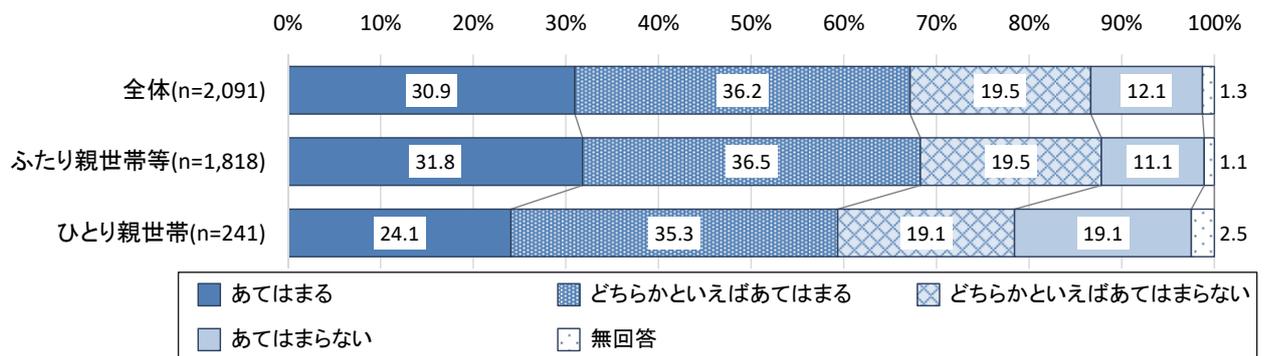
中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、ひとり親世帯では59.4%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-24 お子さんに本や新聞を読むように勧めている（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



ウ 絵本の読み聞かせ

保護者の方と宛名のお子さんの関わり方として、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」かを尋ねた設問<sup>16</sup>について、小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では82.6%、所得区分別にみたところ、所得区分1では74.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

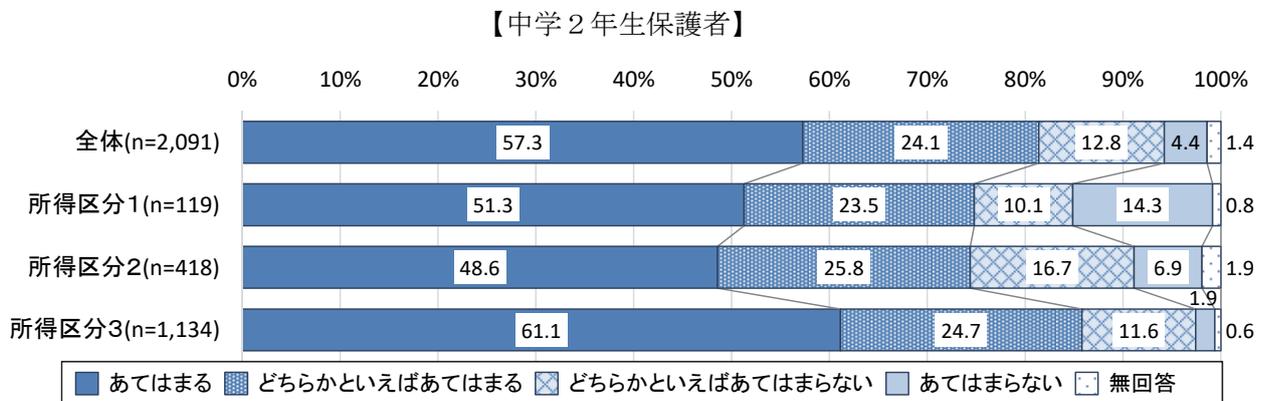
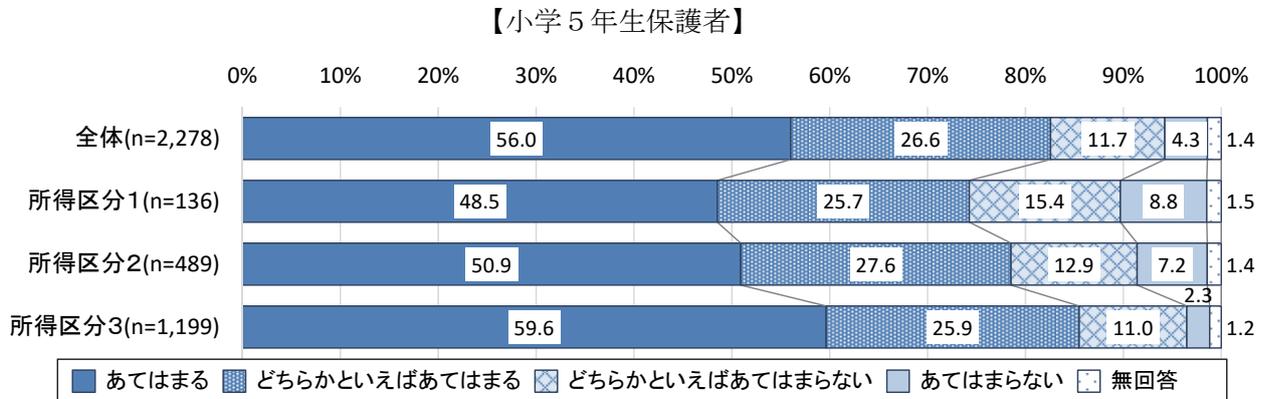
中学2年生の保護者に関しては、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では81.4%、所得区分2では74.4%となっており、全体と比べて低くなっている。

<sup>16</sup> 宛名のお子さんが「小学5年生」または「中学2年生」の場合のみ回答する設問。

【保護者票問 20】 保護者の方と宛名のお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(C お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた)

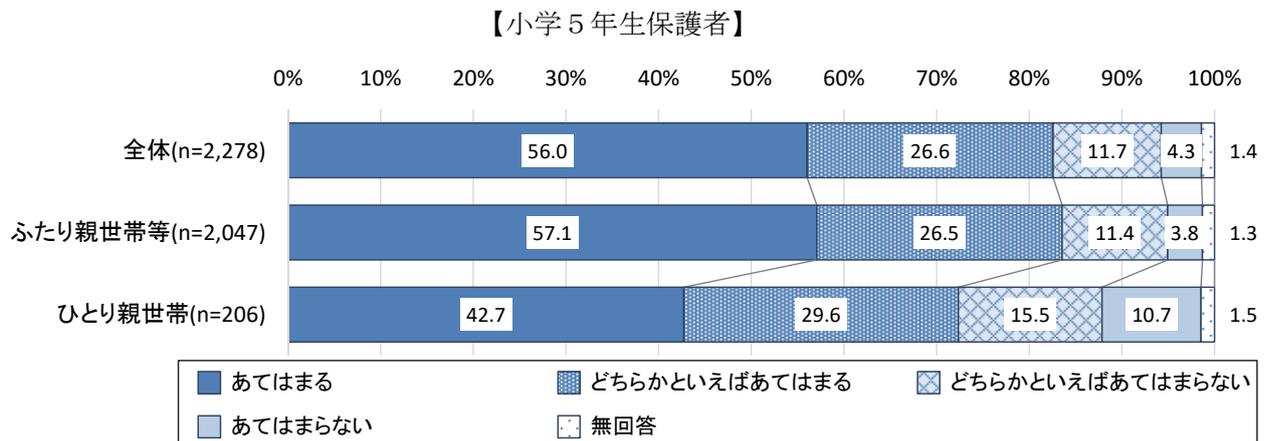
図表 2-5-25 お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた（所得区分別）



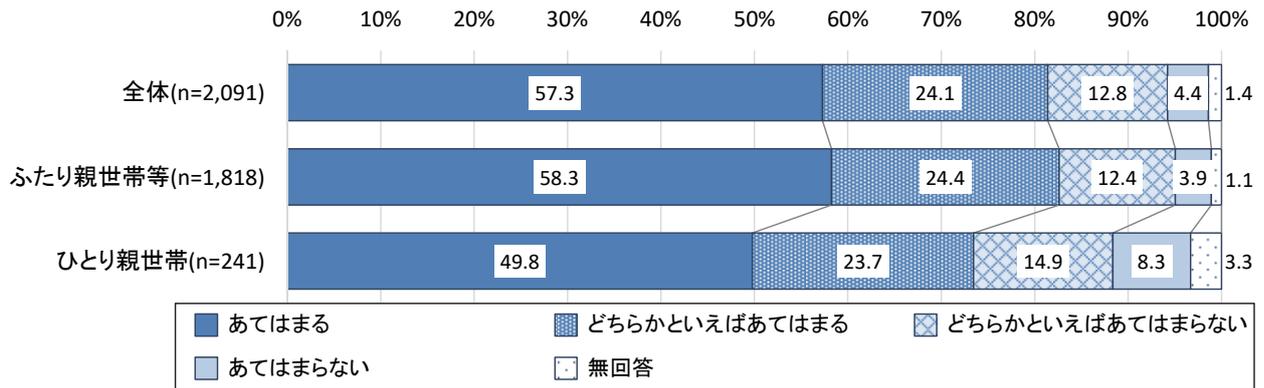
世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、ひとり親世帯では72.3%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、ひとり親世帯では73.5%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-26 お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた（世帯類型別）



【中学2年生保護者】



## エ 勉強や成績のことについての話

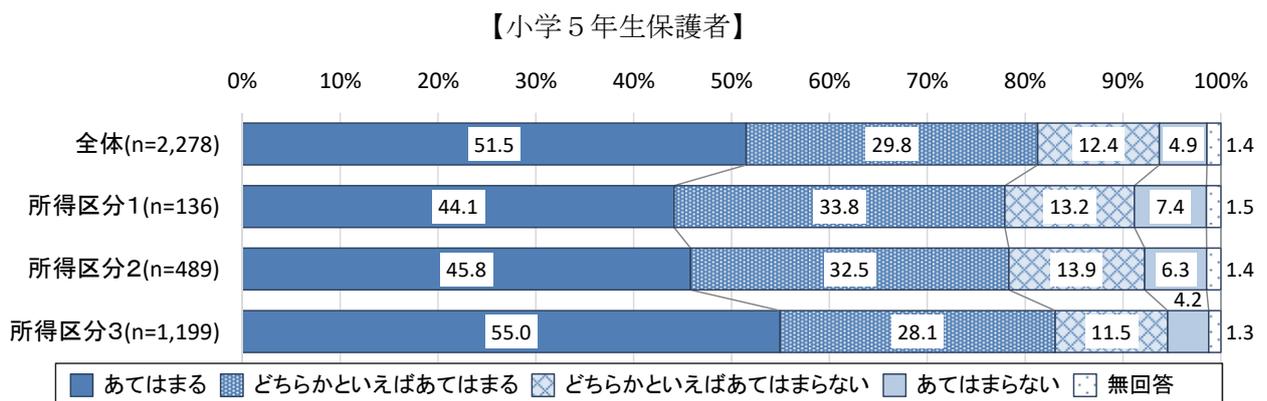
保護者の方と宛名のお子さんの関わり方として、「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」かを尋ねた設問<sup>17</sup>について、小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では81.3%、所得区分別にみたところ、所得区分1では77.9%となっており、全体と比べて低くなっている。

中学2年生の保護者に関しては、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では78.8%、所得区分1では70.6%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 20】 保護者の方と宛名のお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

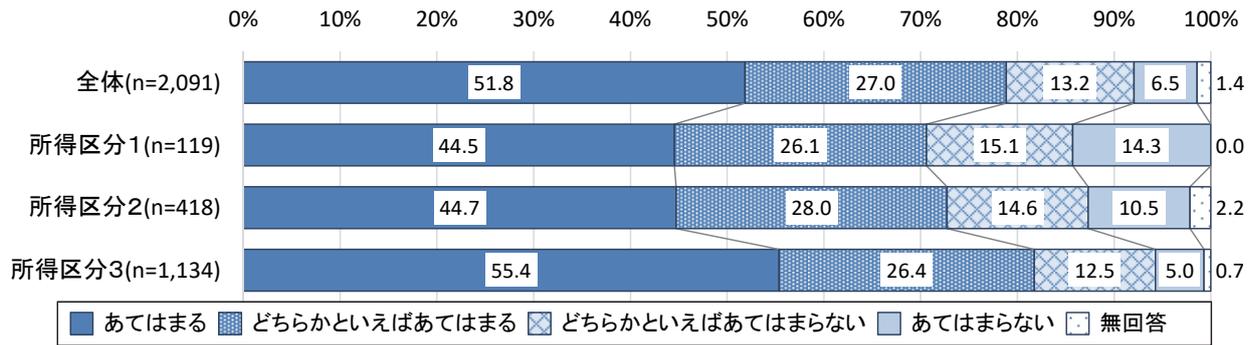
(D お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる)

図表 2-5-27 お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる (所得区分別)



<sup>17</sup> 宛名のお子さんが「小学5年生」または「中学2年生」の場合のみ回答する設問。

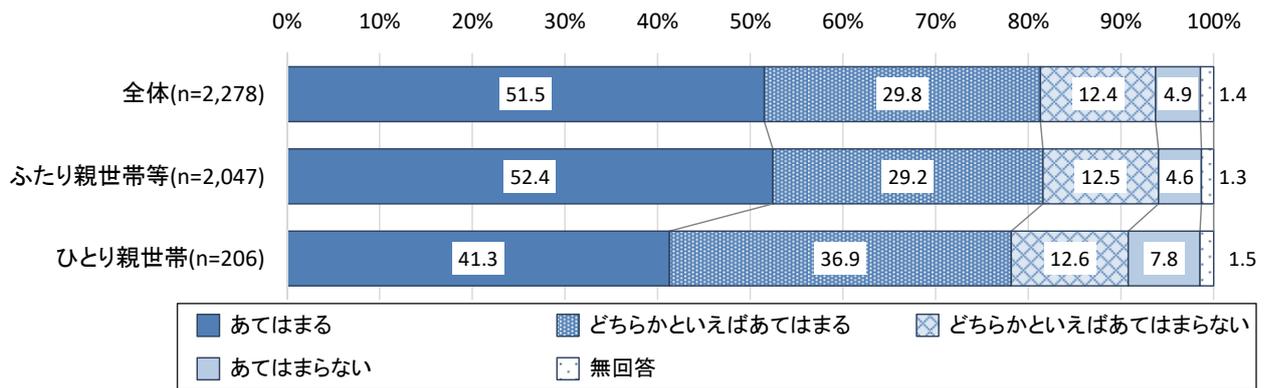
【中学2年生保護者】



世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、ひとり親世帯では78.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-28 お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



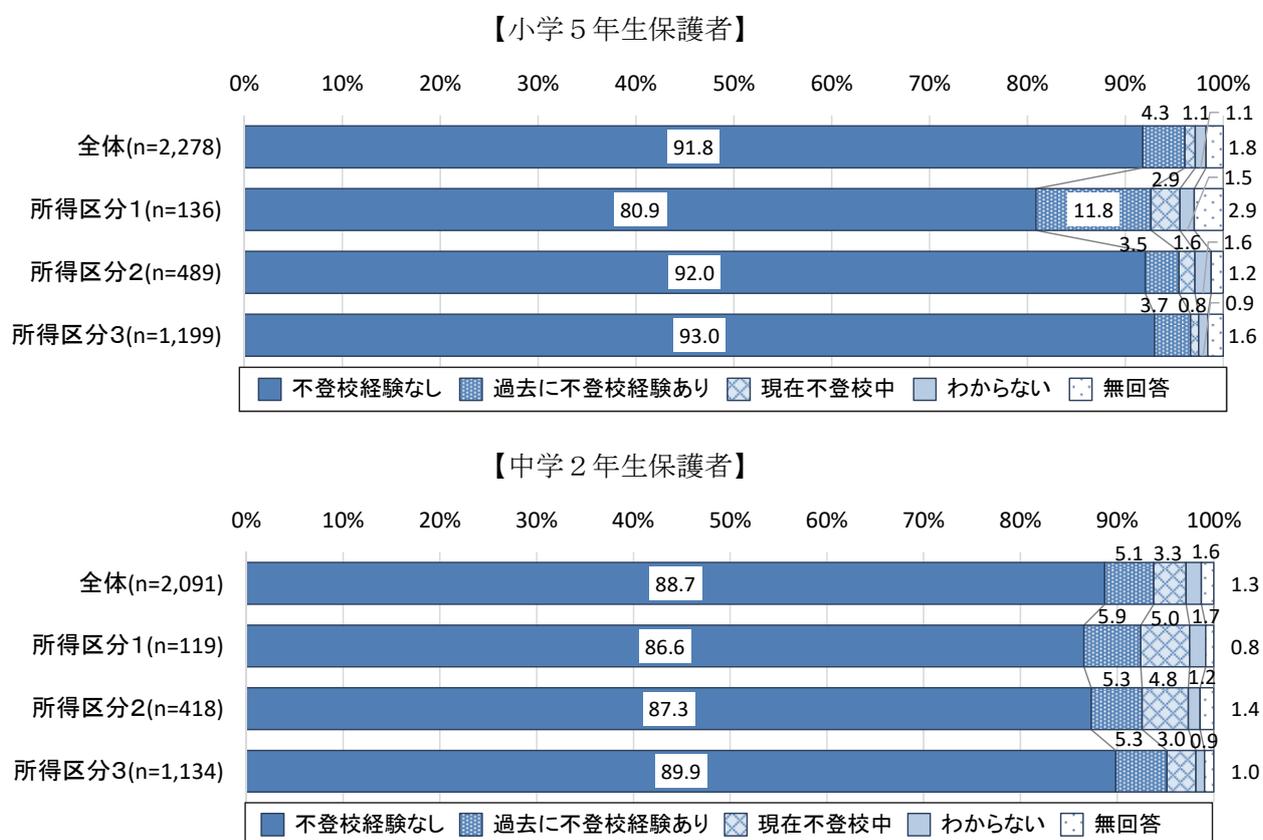
## (5) 不登校経験

宛名のお子さんについて、不登校になった経験があるかを尋ねた設問<sup>18</sup>について、小学5年生の保護者全体では、「不登校経験なし」の回答割合が91.8%と最も高く、次いで「過去に不登校経験あり」の回答割合が4.3%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では「過去に不登校経験あり」の回答割合が11.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「不登校経験なし」の回答割合が88.7%と最も高く、次いで「過去に不登校経験あり」の回答割合が5.1%、「現在不登校中」の回答割合が3.3%となっている。所得区分1では、「不登校経験なし」の回答割合が86.6%と最も高く、次いで「過去に不登校経験あり」の回答割合が5.9%、「現在不登校中」の回答割合が5.0%となっている。

【保護者票問21】 宛名のお子さんについて、不登校になった経験はありますか。

図表 2-5-29 不登校経験（所得区分別）



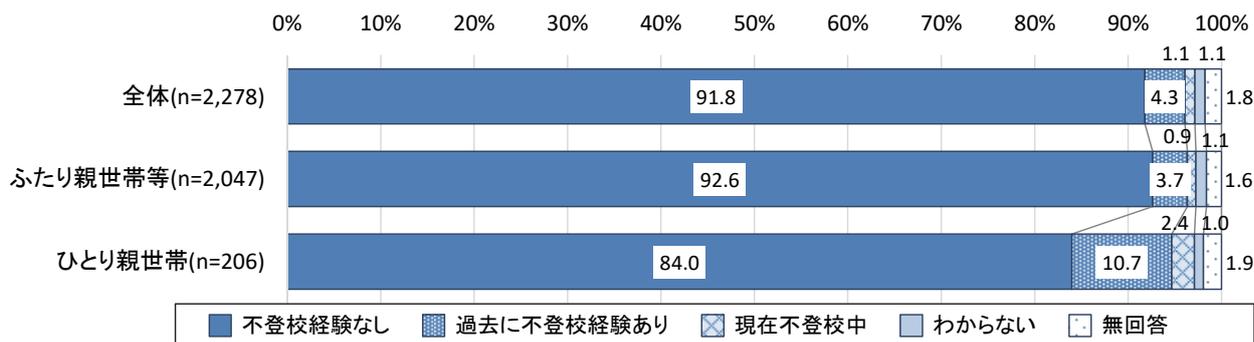
<sup>18</sup> 宛名のお子さんが「小学5年生」または「中学2年生」の場合のみ回答する設問。

世帯類型別にみたら、小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「過去に不登校経験あり」の回答割合が10.7%、「現在不登校中」の回答割合が2.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

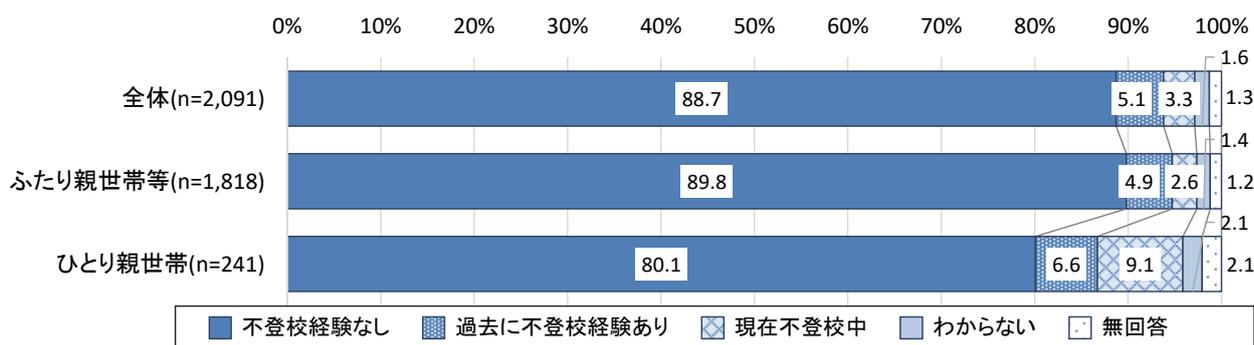
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「現在不登校中」の回答割合が9.1%、「過去に不登校経験あり」の回答割合が6.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-30 不登校経験（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (6) 影響新型コロナウイルス感染拡大による日常生活への影響

### ア お子さんが甘えたがる

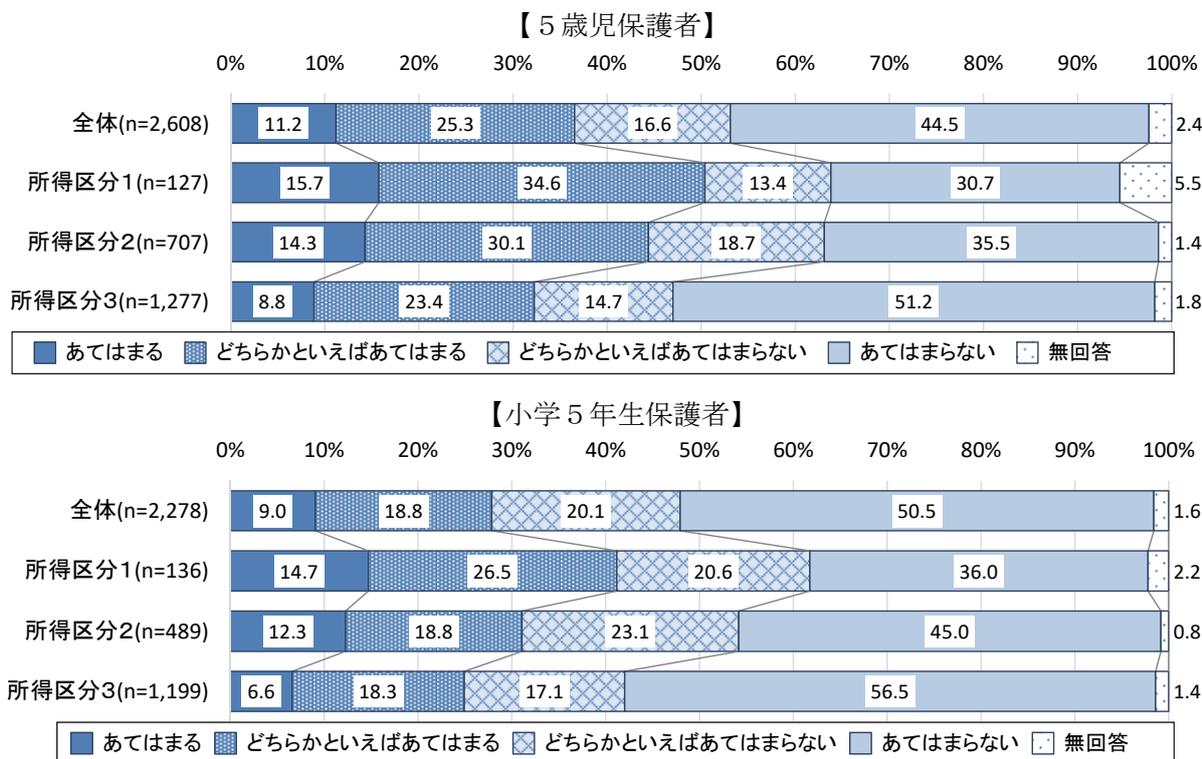
新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、「お子さんが甘えたがる」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では36.5%、所得区分別にみたところ、所得区分1では50.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では27.8%、所得区分1では41.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

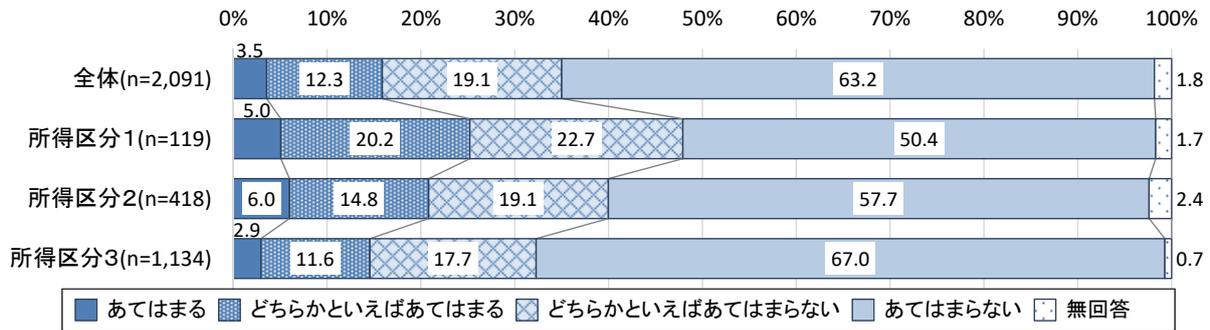
中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では15.8%、所得区分1では25.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 22】 宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
(A お子さんが甘えたがる)

図表 2-5-31 お子さんが甘えたがる（所得区分別）



【中学2年生保護者】



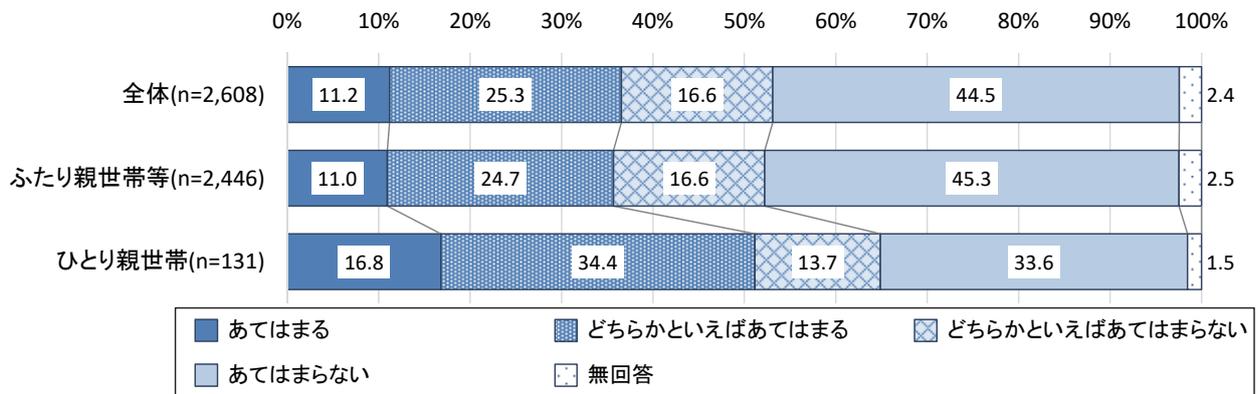
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると51.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると38.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

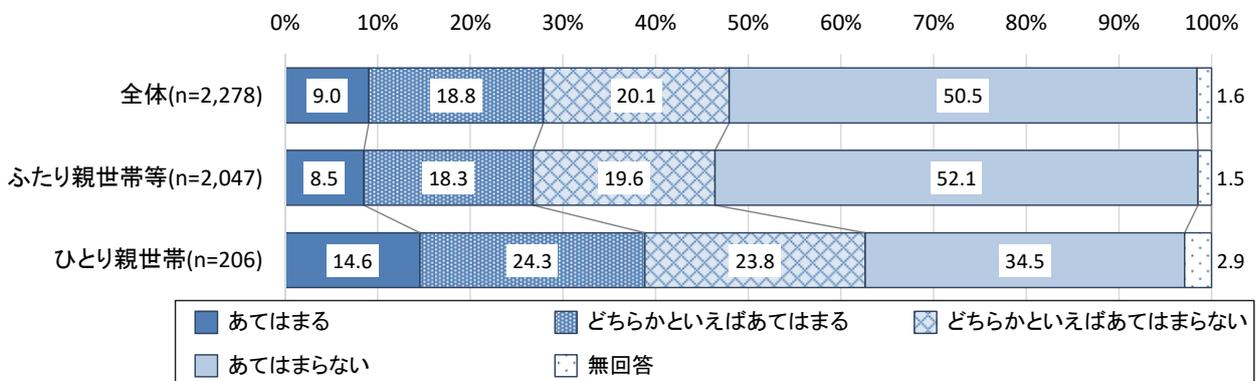
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると25.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-32 お子さんが甘えたがる（世帯類型別）

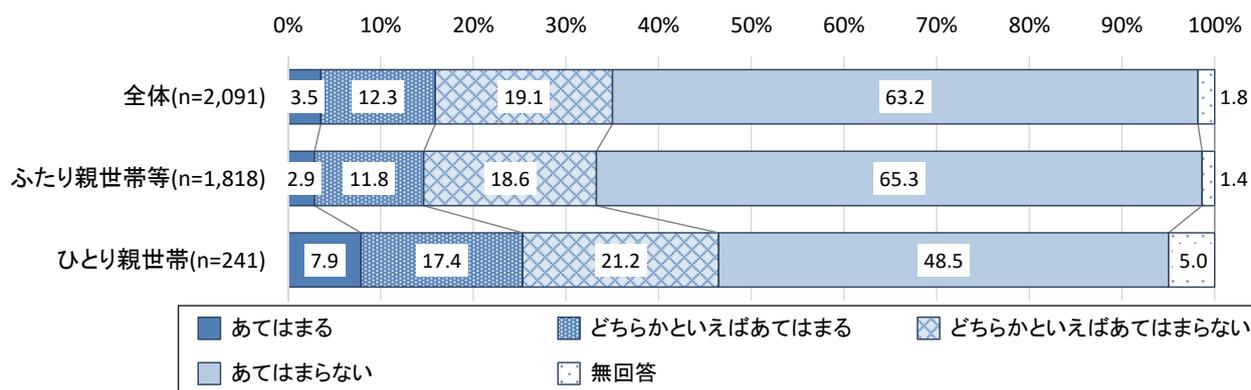
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



イ お子さんがイライラしている

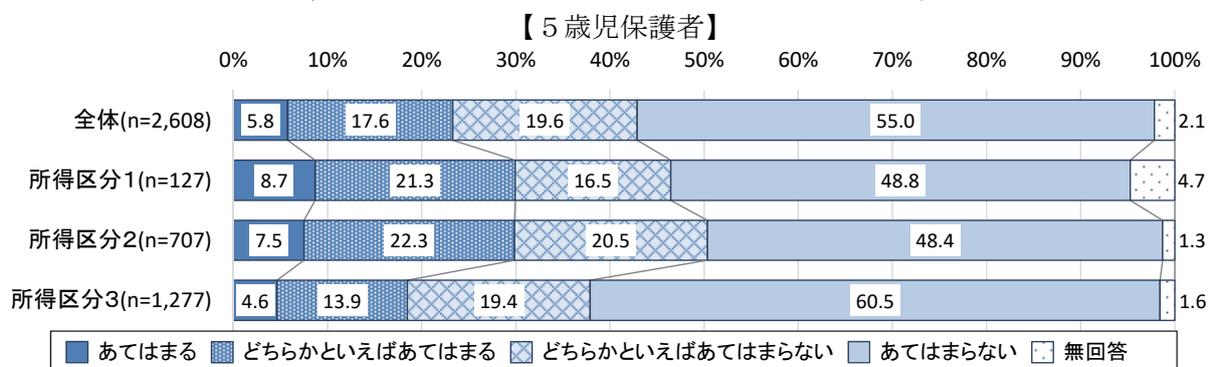
新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、「お子さんがイライラしている」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では23.4%、所得区別にみたところ、所得区分1では30.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

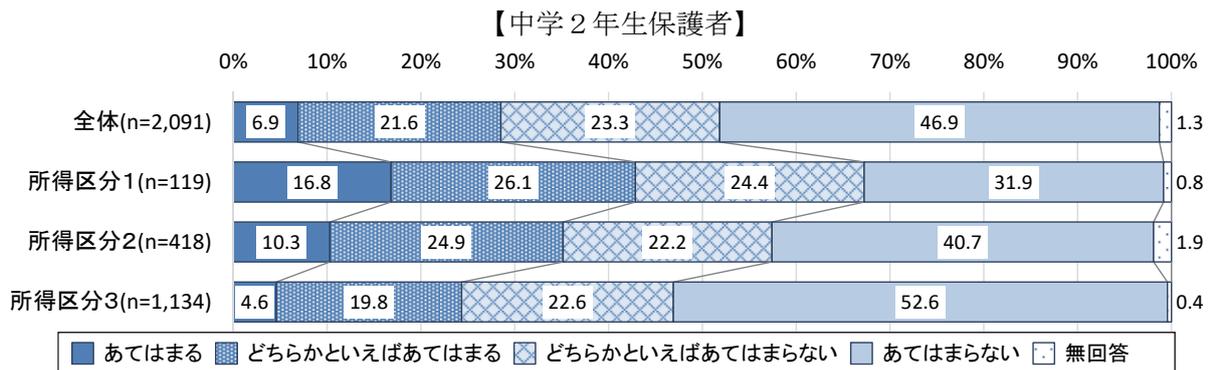
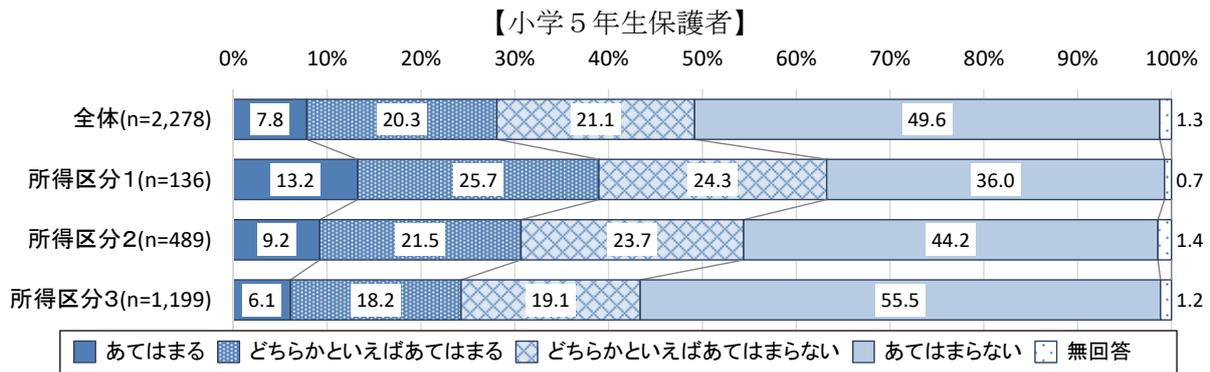
小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では28.1%、所得区分1では38.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では28.5%、所得区分1では42.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 22】 宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
(B お子さんがイライラしている)

図表 2-5-33 お子さんがイライラしている (所得区分別)

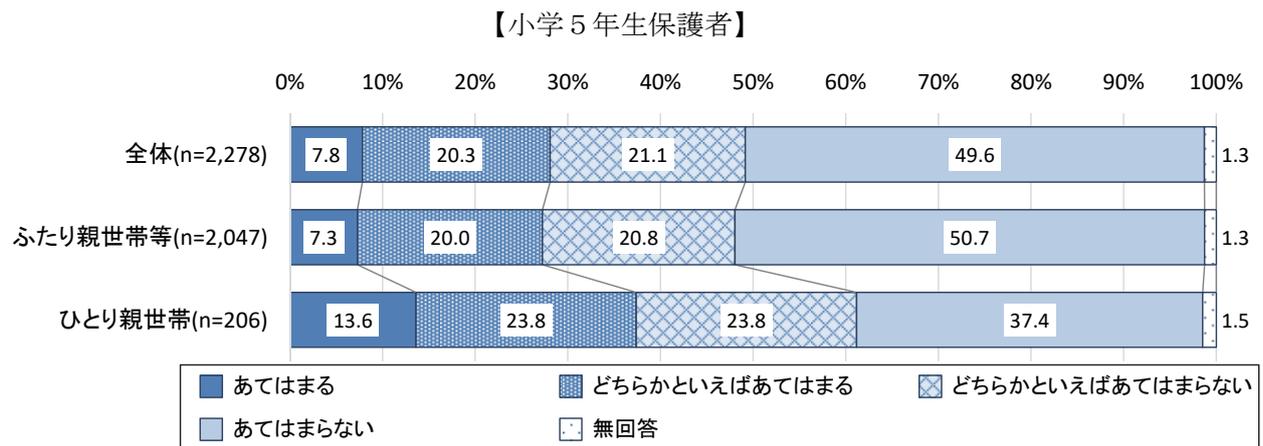




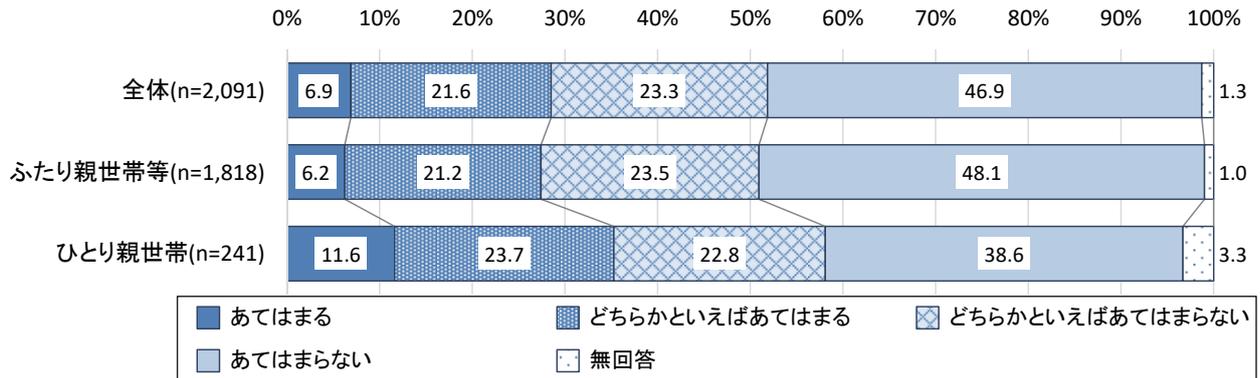
世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると37.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると35.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

**図表 2-5-34 お子さんがイライラしている（世帯類型別）**



【中学2年生保護者】



ウ お子さんが落ち込んでいる

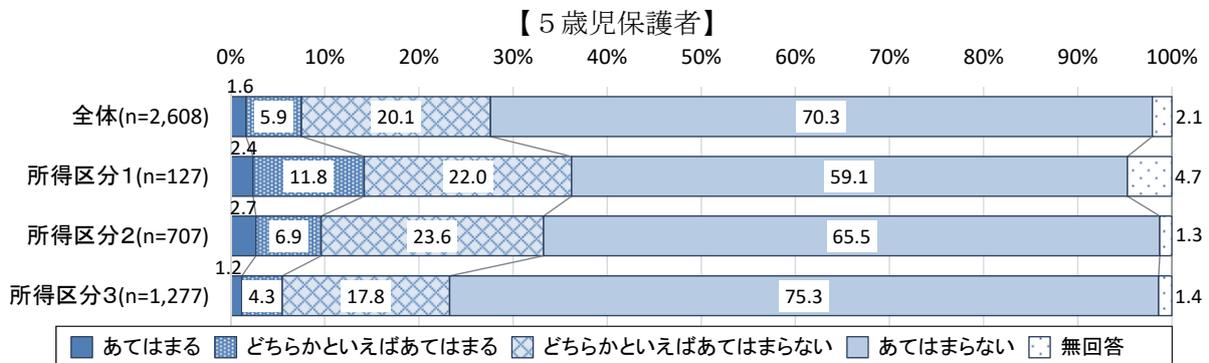
新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、「お子さんが落ち込んでいる」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では7.5%、所得区分1では14.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

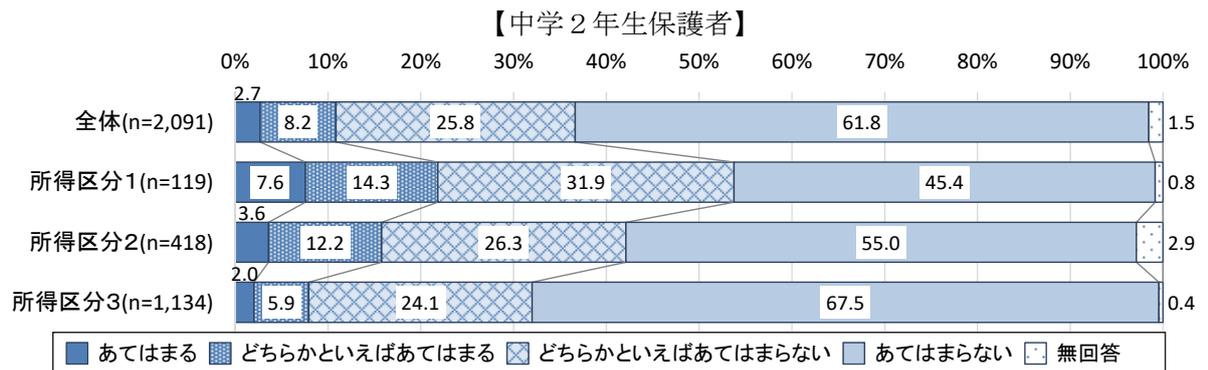
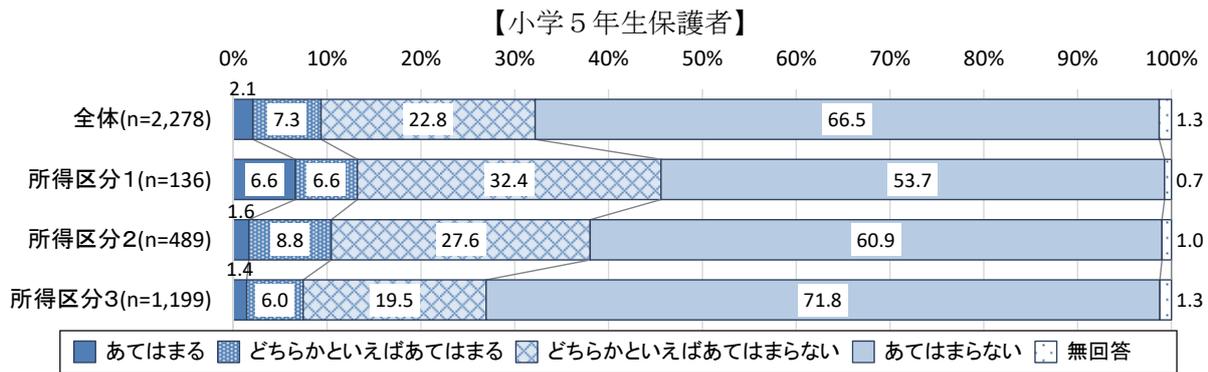
小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では9.4%、所得区分1では13.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では10.9%、所得区分1では21.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 22】 宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
(C お子さんが落ち込んでいる)

図表 2-5-35 お子さんが落ち込んでいる（所得区分別）



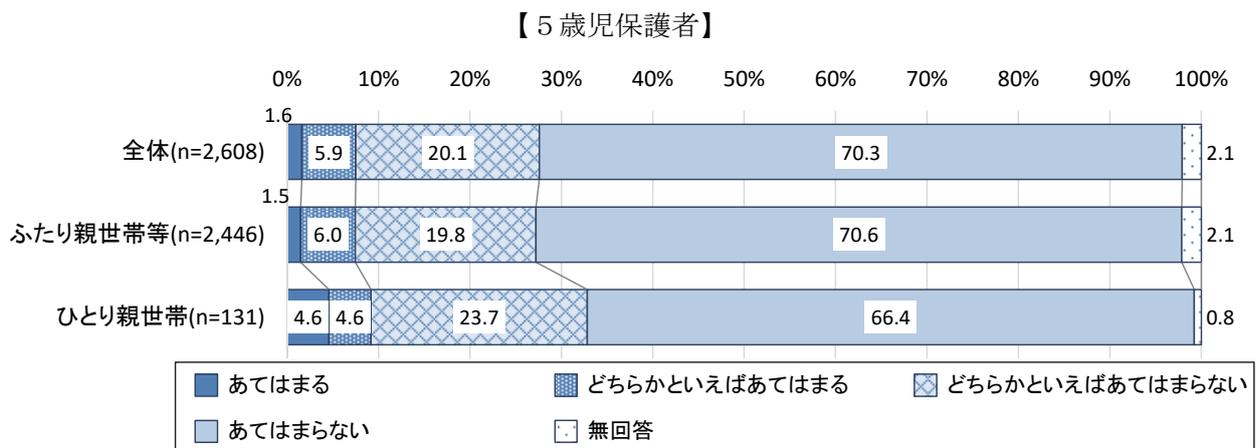


世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると9.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

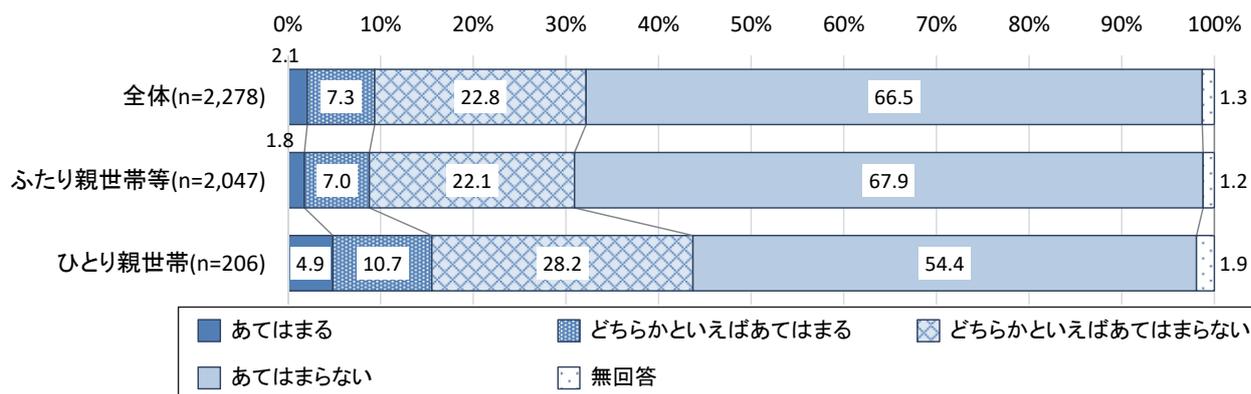
小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると15.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると19.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

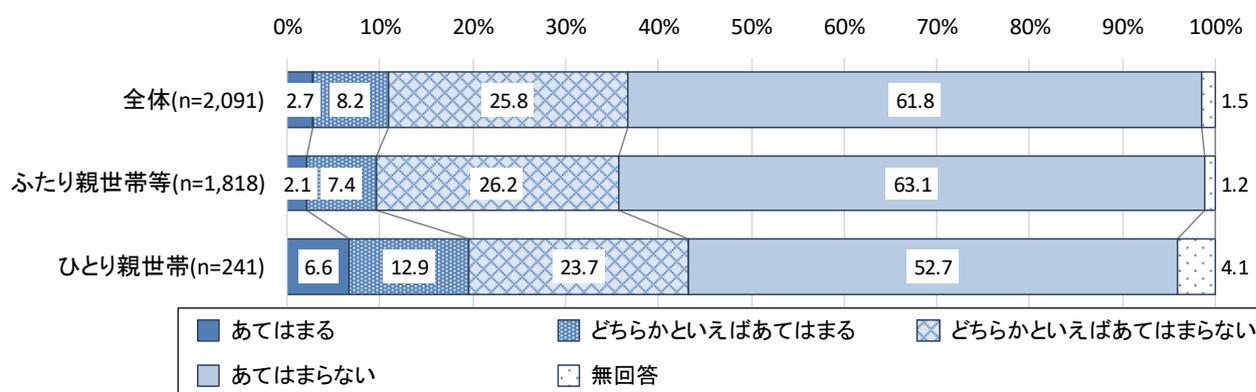
**図表 2-5-36 お子さんが落ち込んでいる（世帯類型別）**



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



## エ お子さんが一人でいる時間が増えた

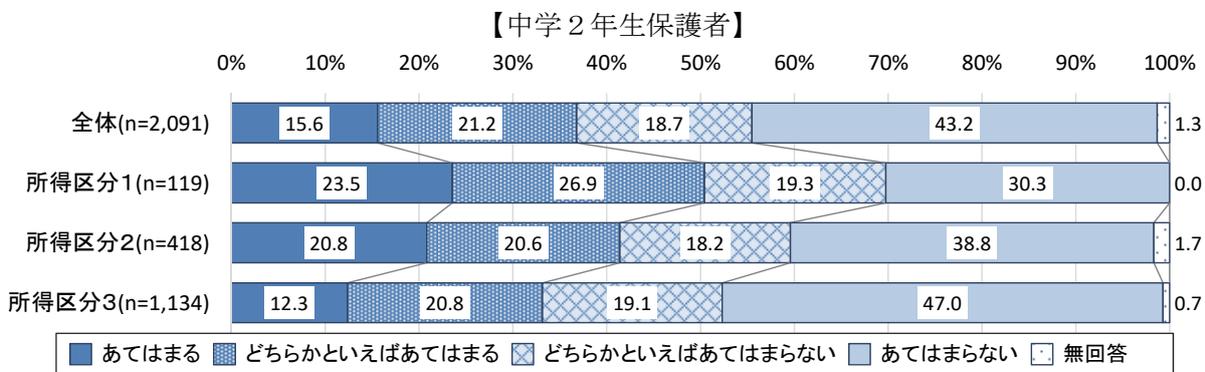
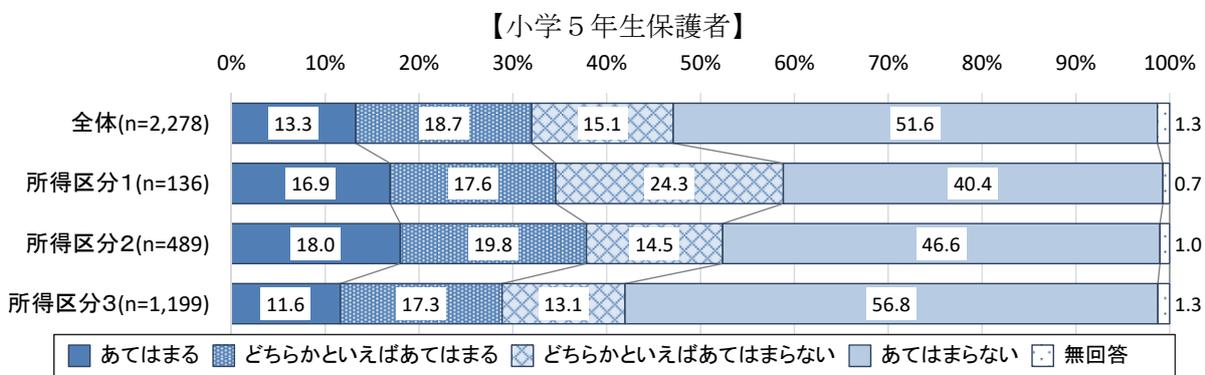
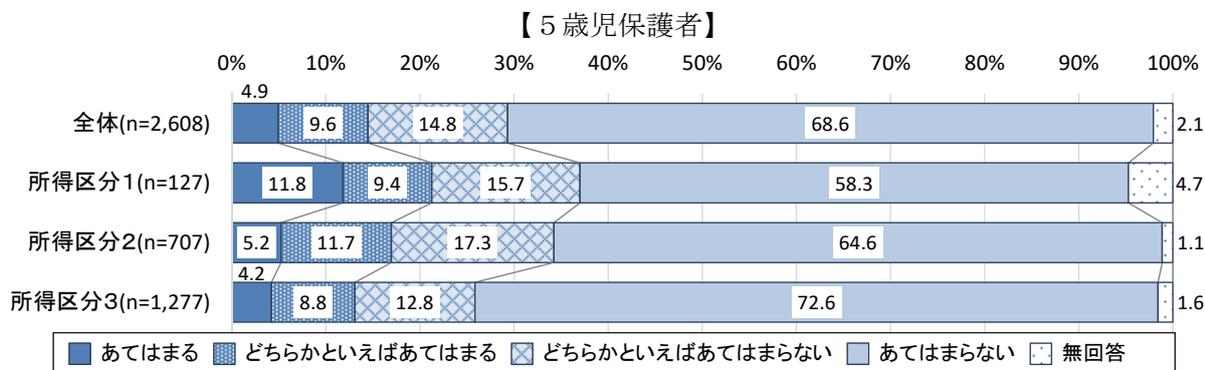
新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、「お子さんが一人でいる時間が増えた」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では14.5%、所得区別にみたら、所得区分1では21.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では32.0%、所得区分2では37.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では36.8%であったのに対し、所得区分1では50.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 22】 宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
(D お子さんが一人である時間が増えた)

図表 2-5-37 お子さんが一人である時間が増えた（所得区分別）

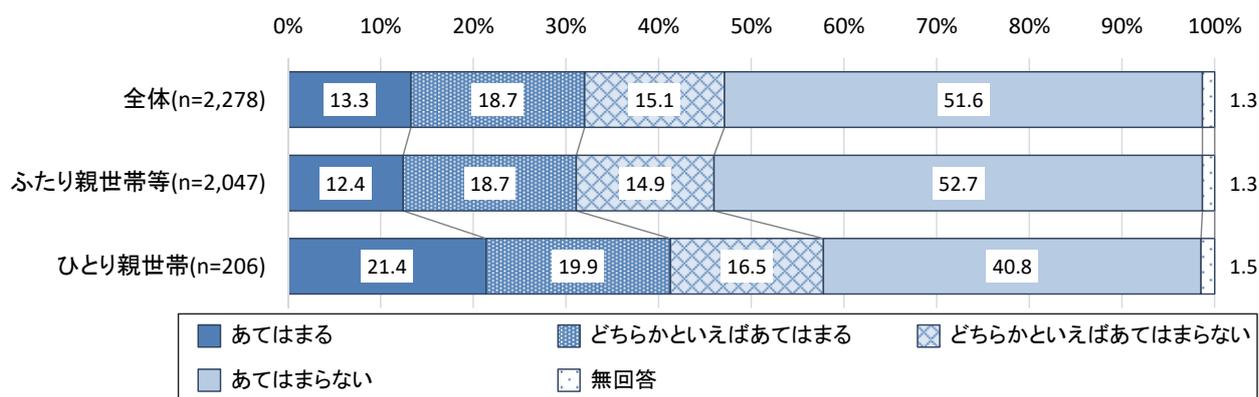


世帯類型別にみたと、小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると41.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

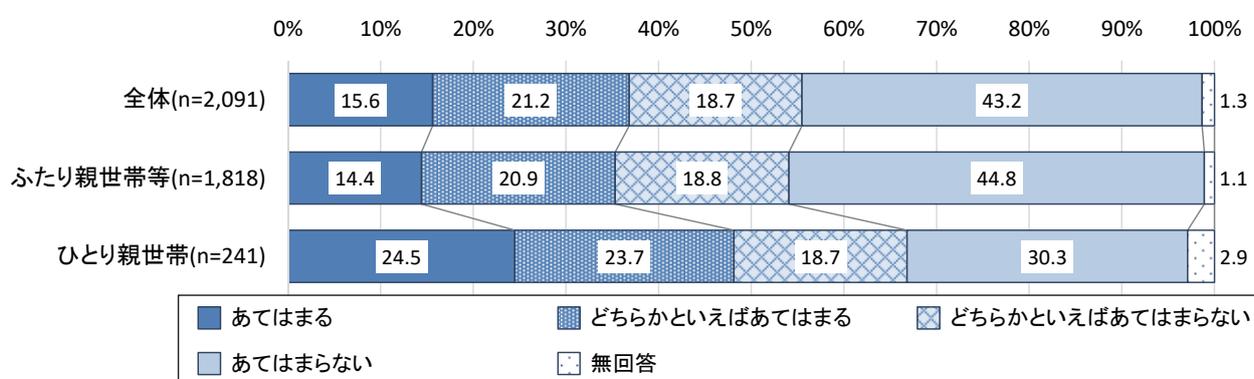
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると48.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-38 お子さんが一人である時間が増えた（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## オ お子さんが園や学校に行きたがらない

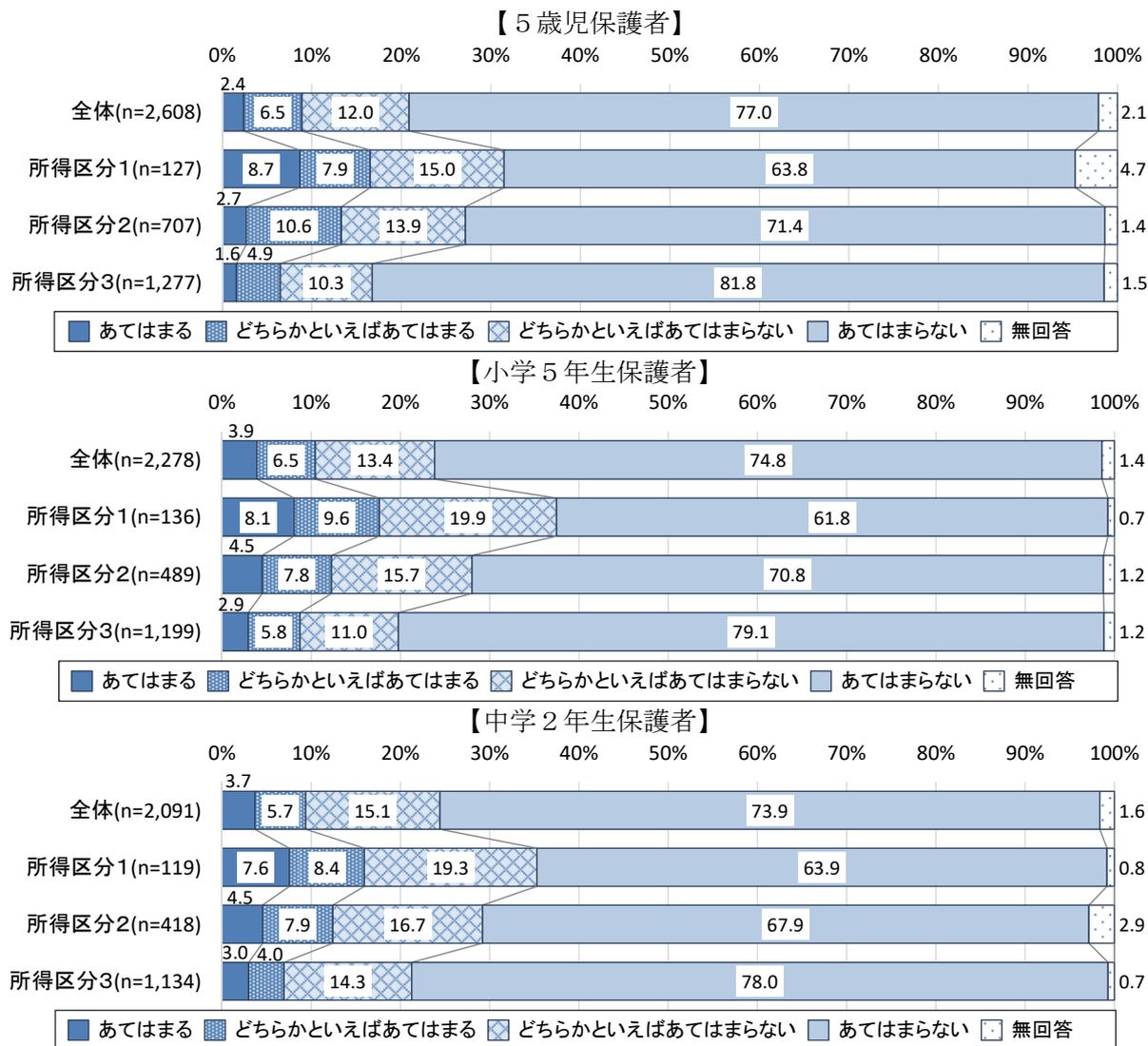
新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、「お子さんが園や学校に行きたがらない」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では8.9%、所得区分別にみたところ、所得区分1では16.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では10.4%、所得区分1では17.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では9.4%、所得区分1では16.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 22】 宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
(E お子さんが園や学校に行きたがらない)

図表 2-5-39 お子さんが園や学校に行きたがらない（所得区分別）



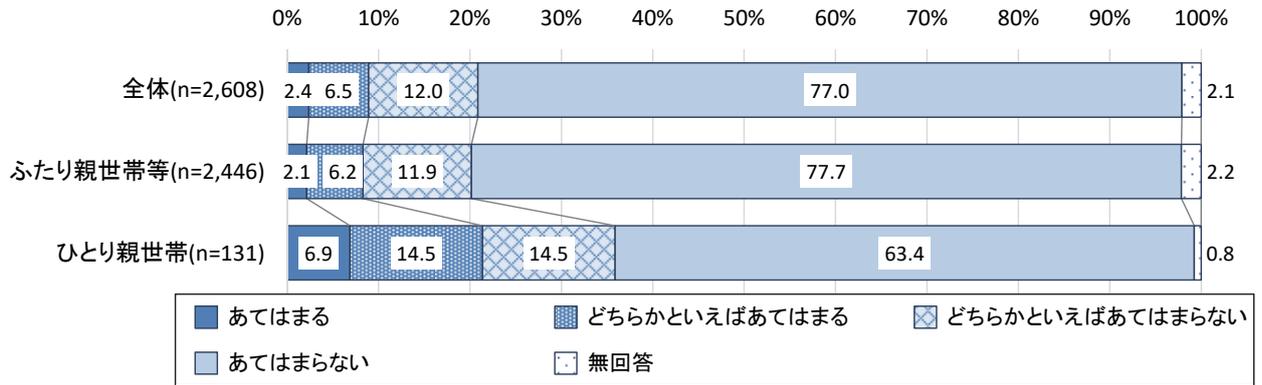
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の回答割合を合わせると21.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の回答割合を合わせると17.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

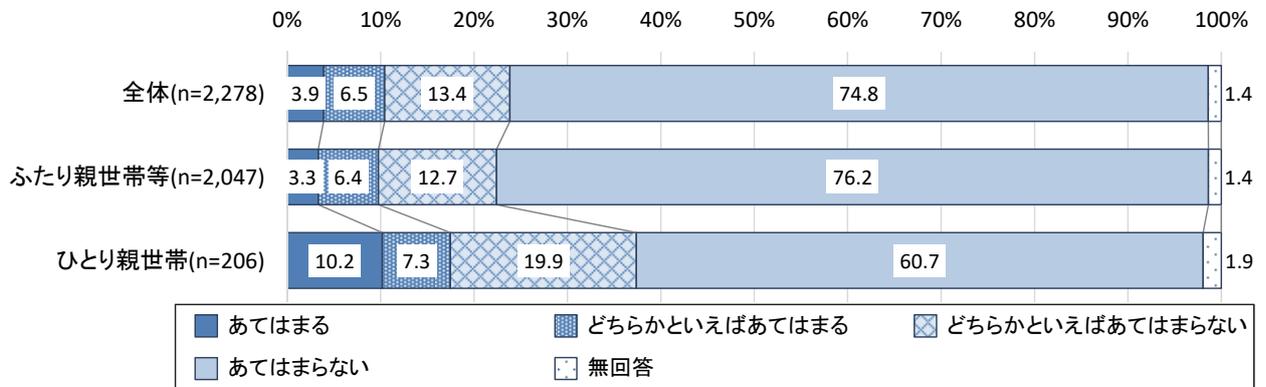
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の回答割合を合わせると15.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-40 お子さんが園や学校に行きたがらない（世帯類型別）

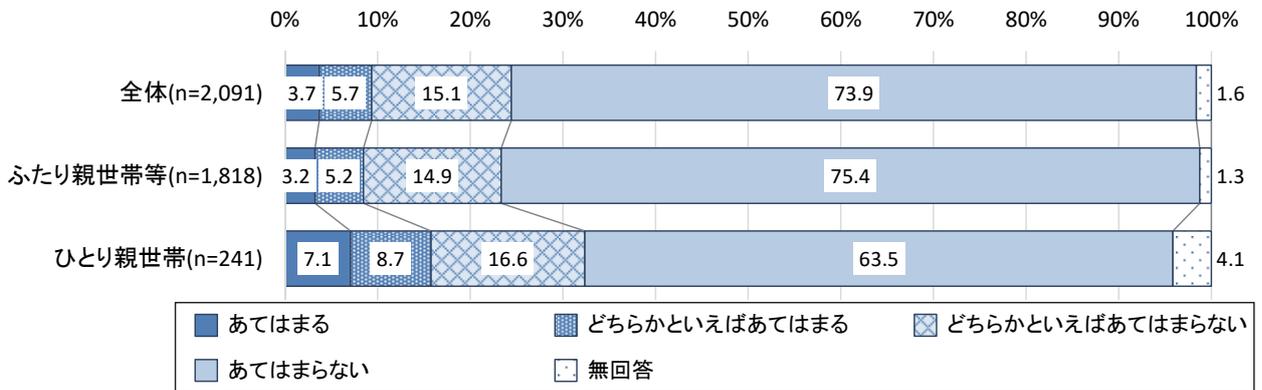
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## カ お子さんの勉強が遅れてしまうことを不安に感じている

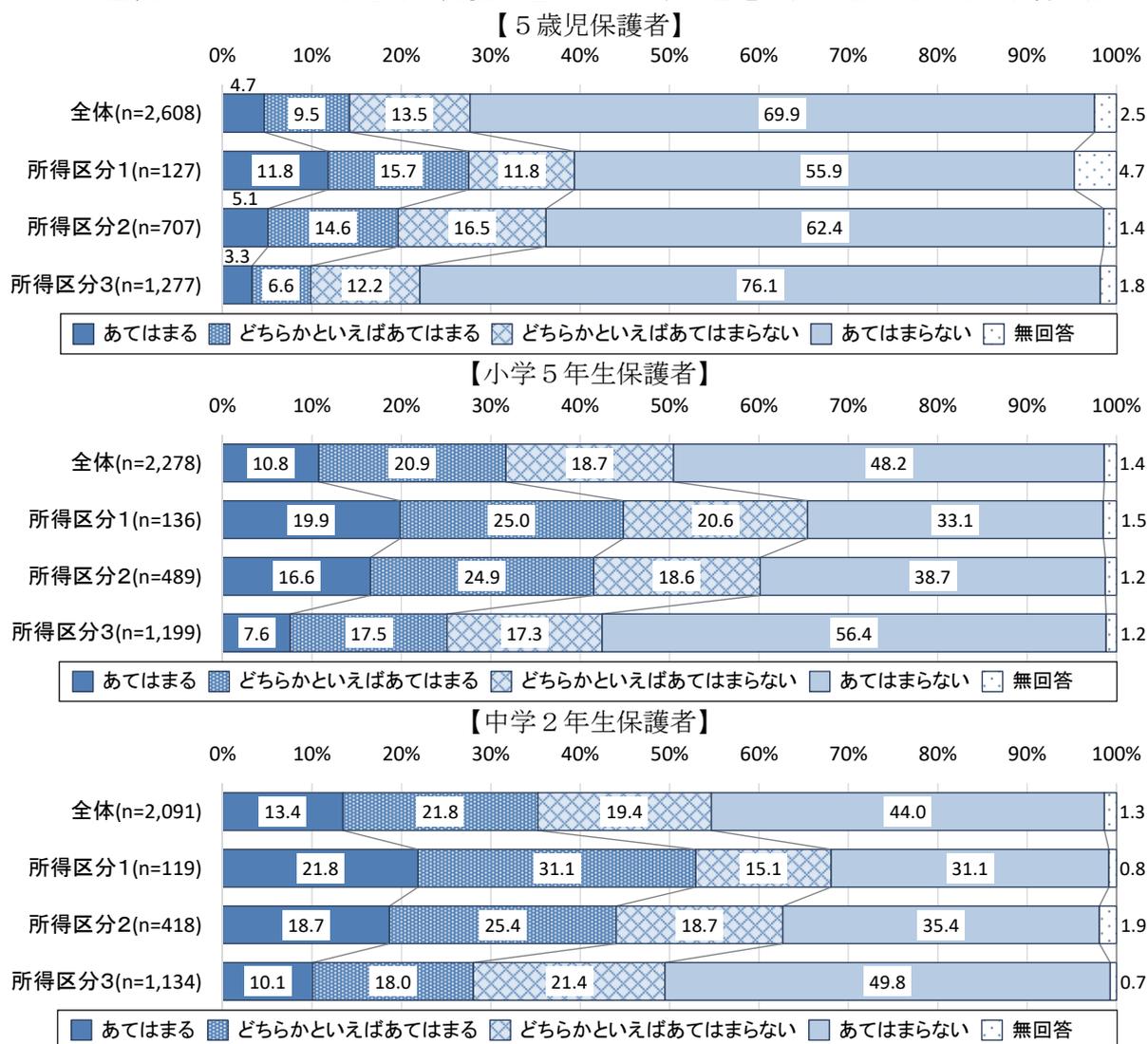
新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、「お子さんの勉強が遅れてしまうことを不安に感じている」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では14.2%、所得区分別にみたところ、所得区分1では27.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では31.7%、所得区分1では44.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では35.2%、所得区分1では52.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 22】 宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
(F お子さんの勉強が遅れてしまうことを不安に感じている)

図表 2-5-41 お子さんの勉強が遅れてしまうことを不安に感じている（所得区分別）



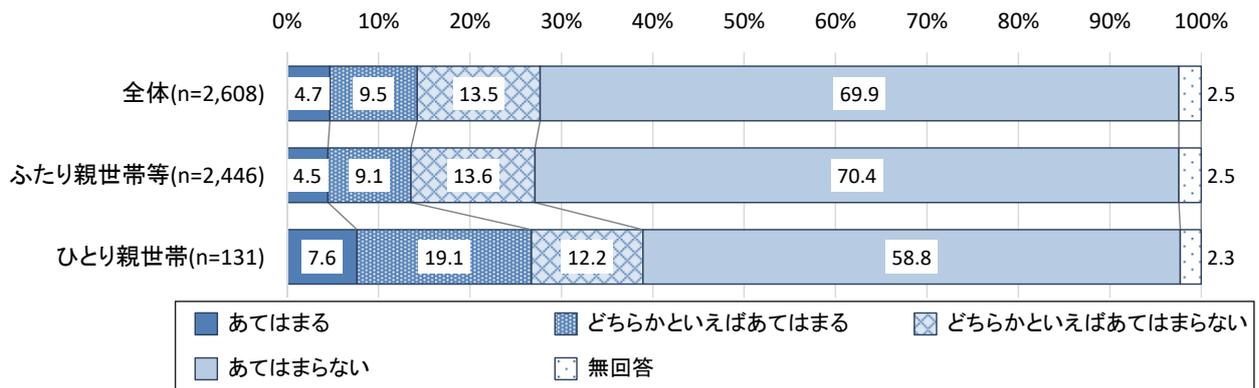
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると26.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると47.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

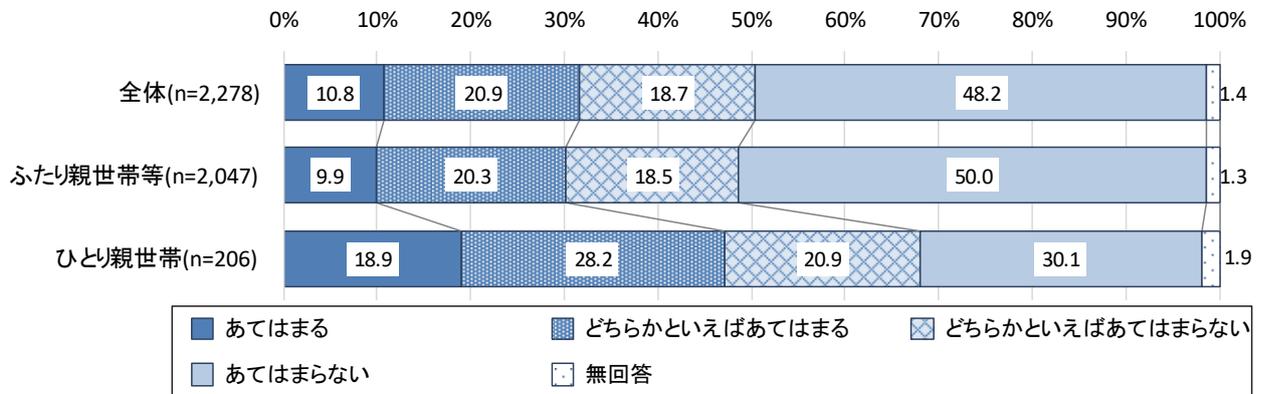
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると47.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-42 お子さんの勉強が遅れてしまうことを不安に感じている（世帯類型別）

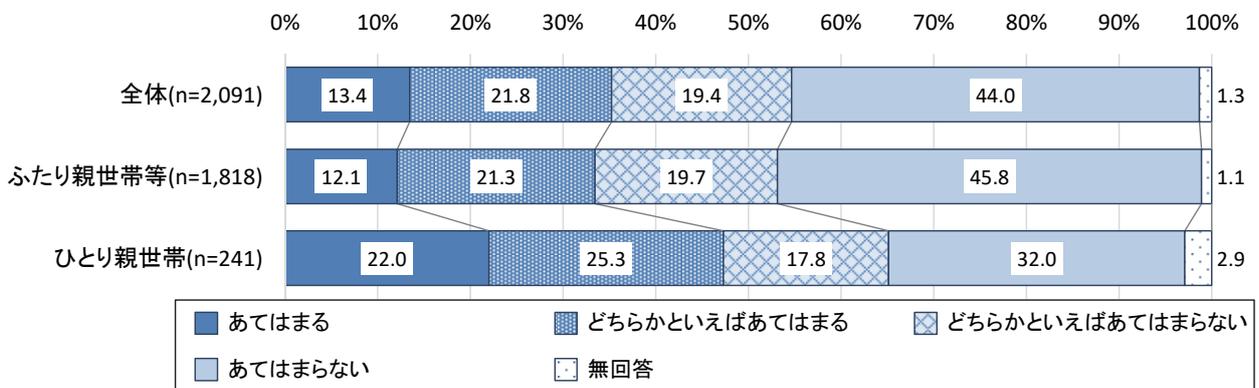
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## キ 回答者がイライラしている

新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、「あなたがイライラしている」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では44.6%、所得区分別にみたところ、所得区分1では55.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

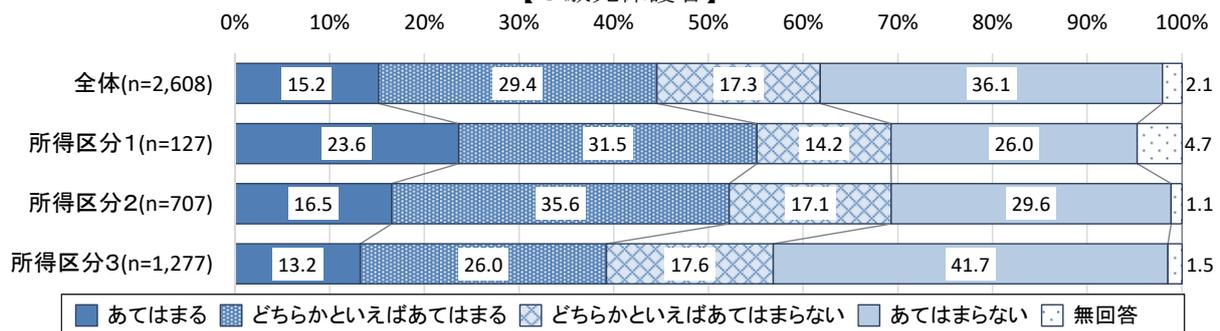
小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では36.3%、所得区分1では54.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では28.0%、所得区分1では41.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

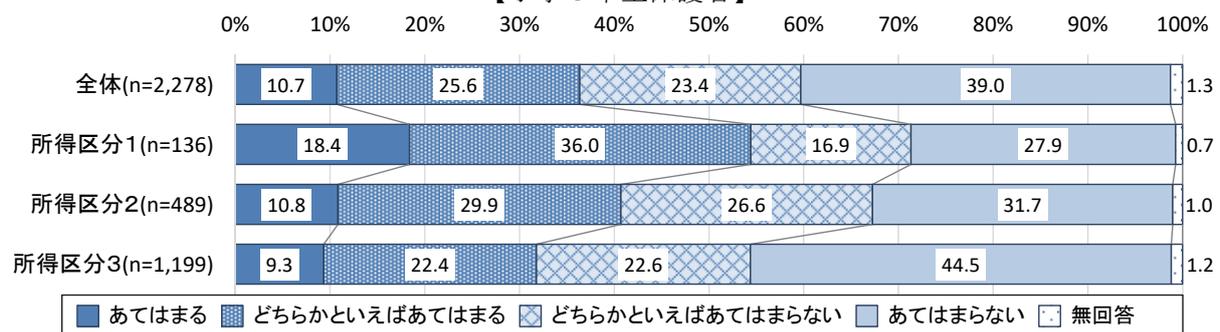
【保護者票問 22】宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
(G あなたがイライラしている)

図表 2-5-43 回答者がイライラしている（所得区分別）

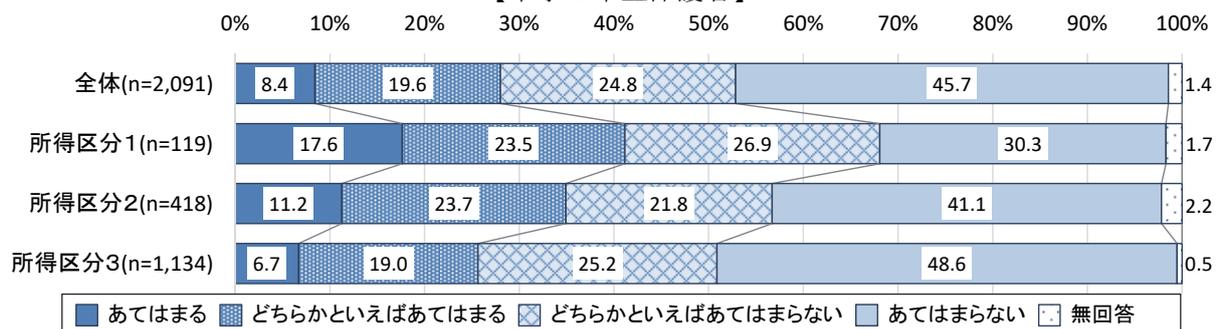
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



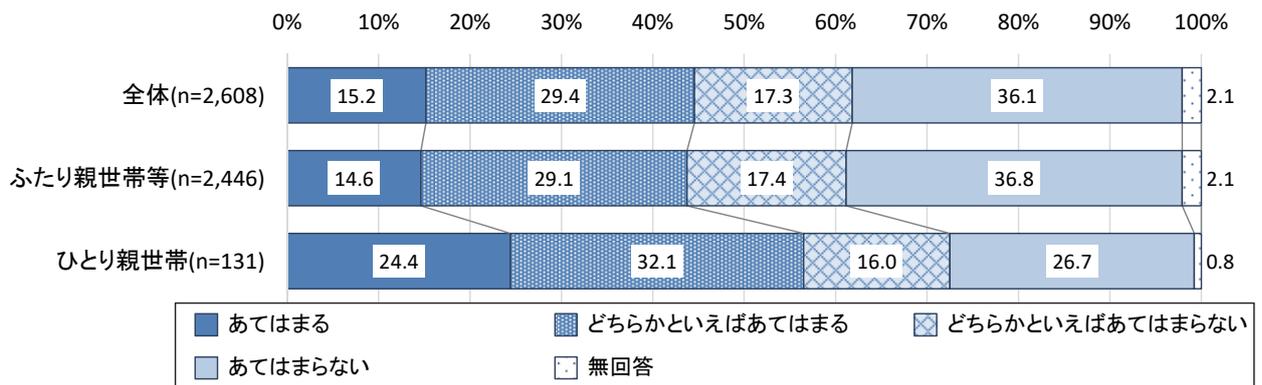
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると56.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると49.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

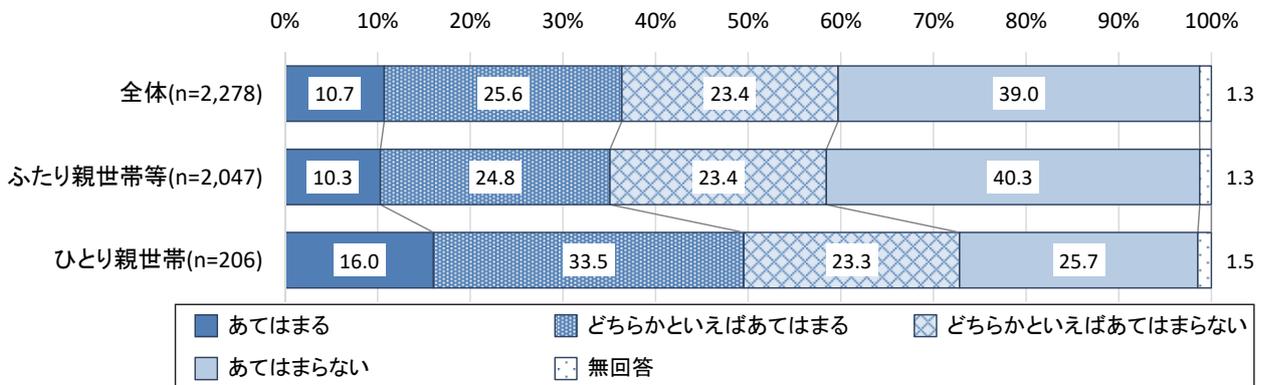
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると37.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-44 回答者がイライラしている（世帯類型別）

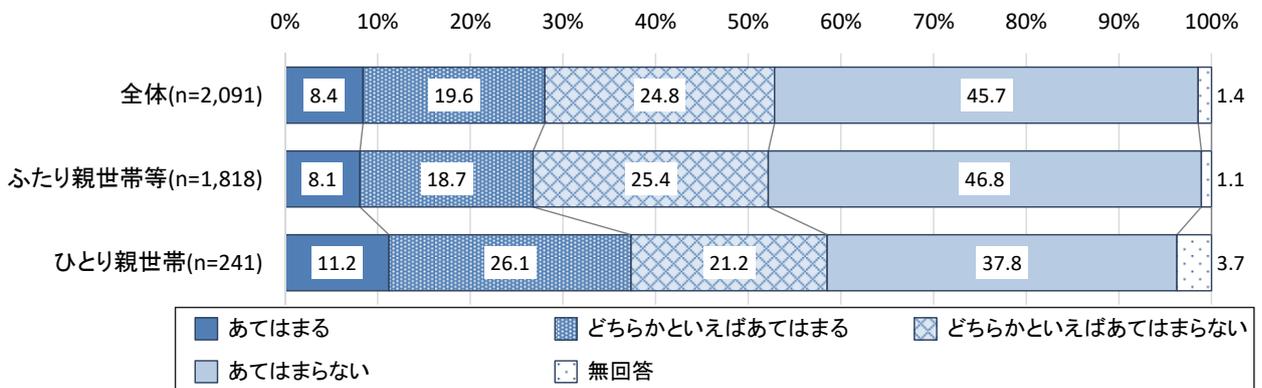
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## ク お子さんをたたいてしまうことがある

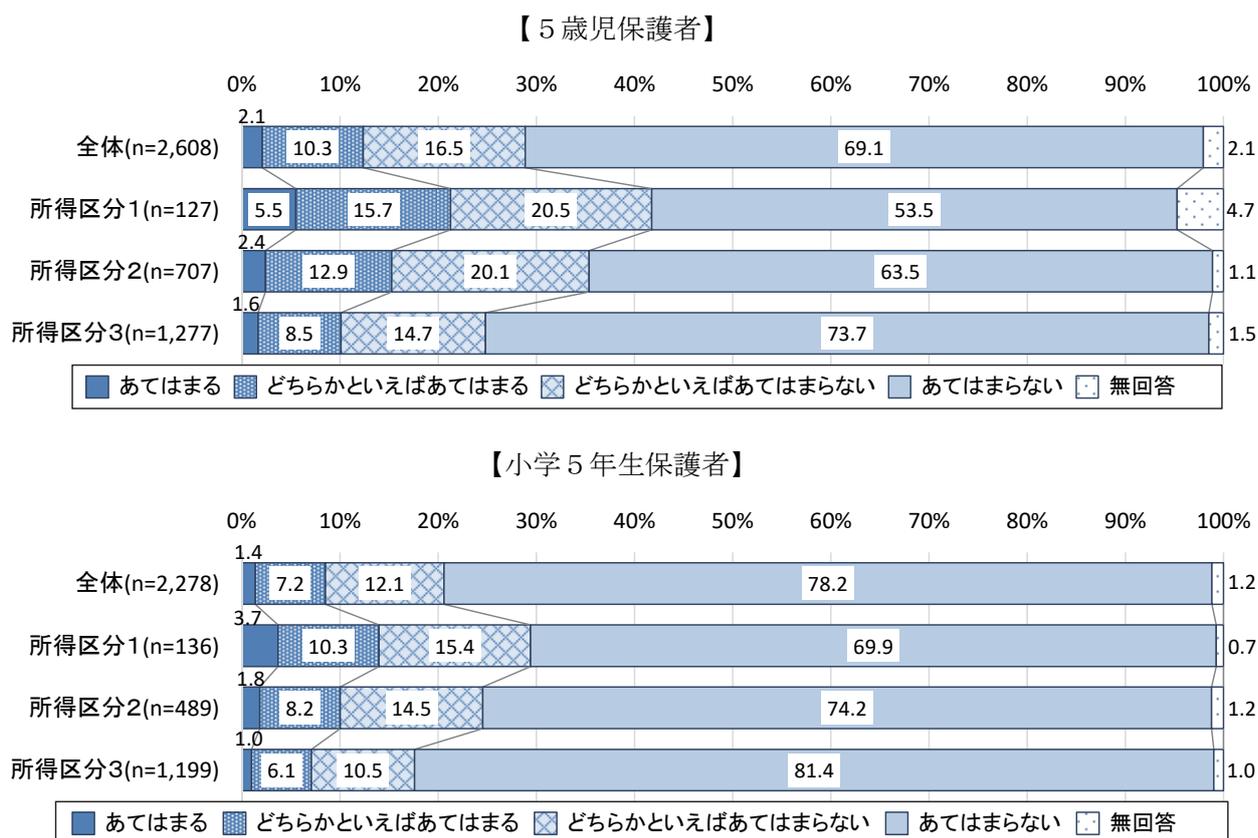
新型コロナウイルス感染症拡大前の 2020 年 1 月頃と比べて、「お子さんをたたいてしまうことがある」かを尋ねた設問について、5 歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では 12.4%、所得区分別にみたところ、所得区分 1 では 21.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学 5 年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では 8.6%、所得区分 1 では 14.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

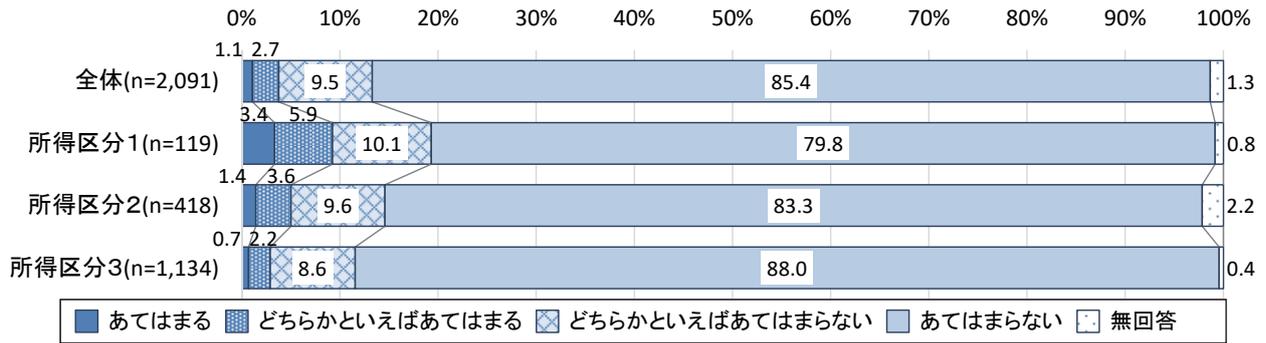
中学 2 年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では 3.8%、所得区分 1 では 9.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 22】 宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の 2020 年 1 月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
(H お子さんをたたいてしまうことがある)

図表 2-5-45 お子さんをたたいてしまうことがある（所得区分別）



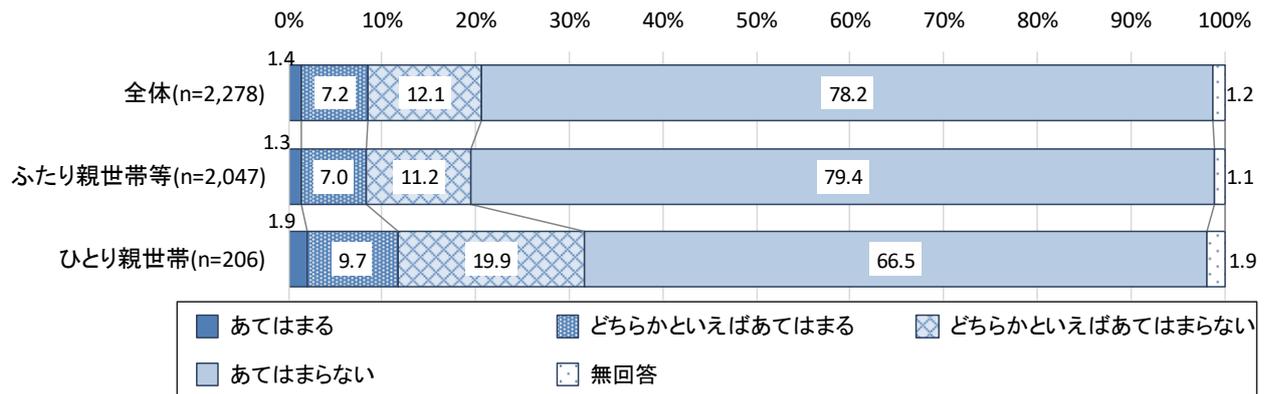
【中学2年生保護者】



世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると11.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-46 お子さんをたたいてしまうことがある（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



ケ お子さんを感情的に怒鳴ってしまうことがある

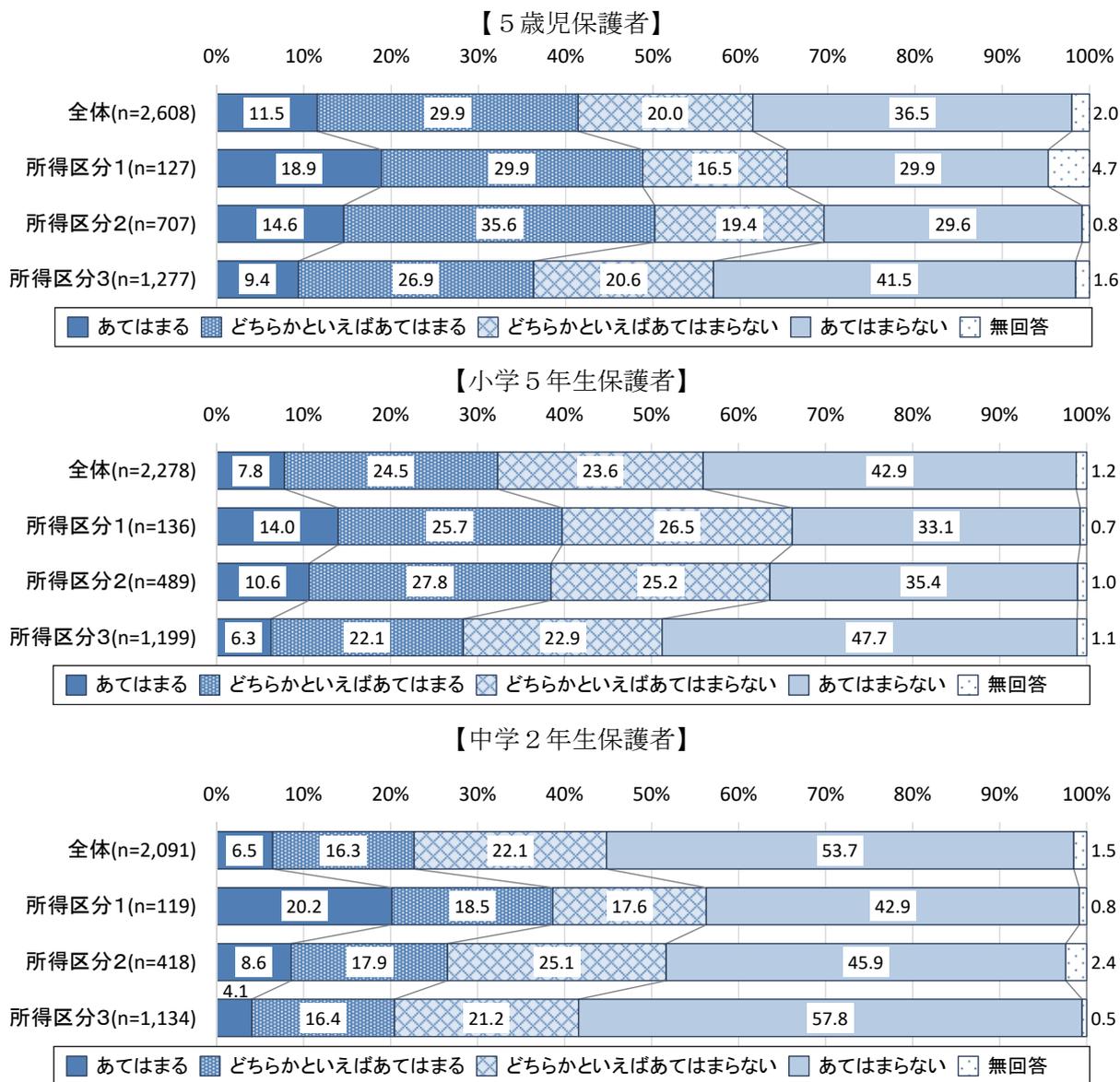
新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、「お子さんを感情的に怒鳴ってしまうことがある」かを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では41.4%、所得区分別にみたところ、所得区分1では48.8%、所得区分2では50.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では32.3%、所得区分1では39.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると、全体では22.8%、所得区分1では38.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 22】 宛名のお子さんやあなたの現在の様子について、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月頃と比べて、次のようなことはどれくらい当てはまりますか。  
 (I お子さんを感情的に怒鳴ってしまうことがある)

図表 2-5-47 お子さんを感情的に怒鳴ってしまうことがある（所得区別別）

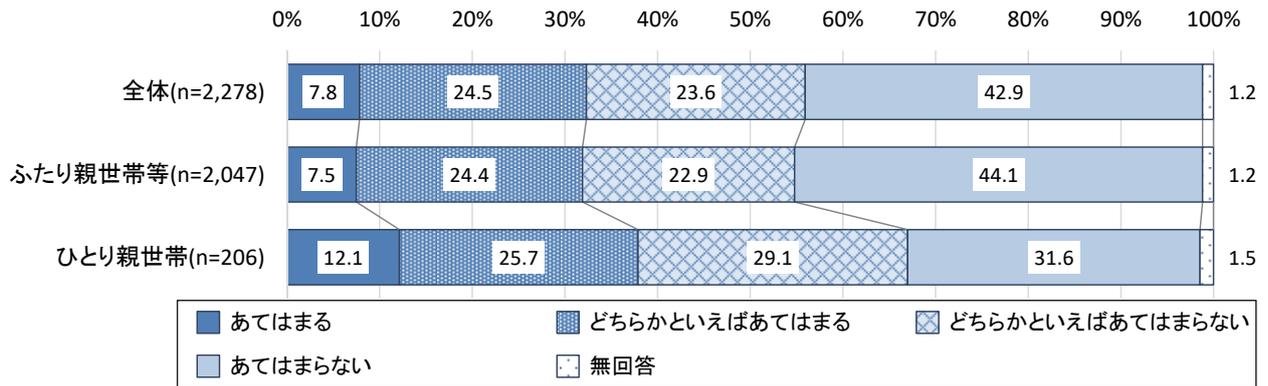


世帯類型別にみたところ、小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると37.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

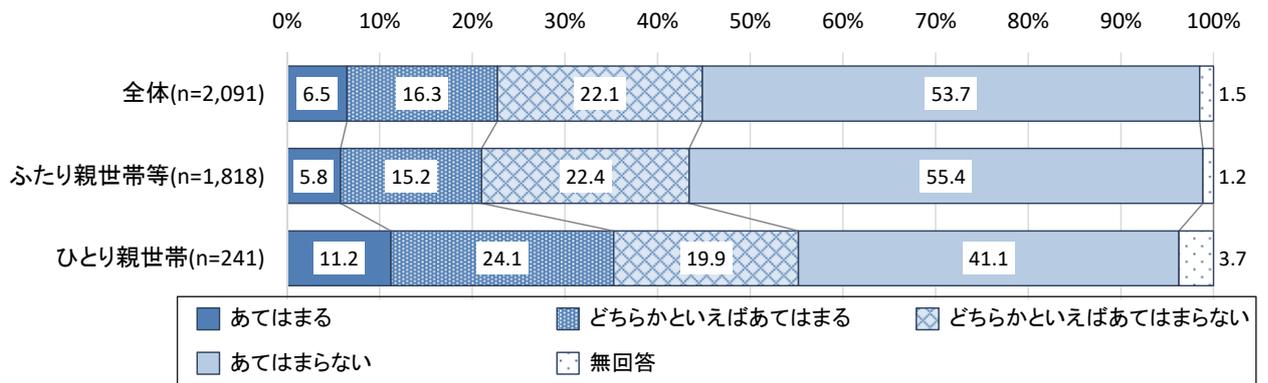
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答割合を合わせると35.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-48 お子さんを感情的に怒鳴ってしまうことがある（世帯類型別）

【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



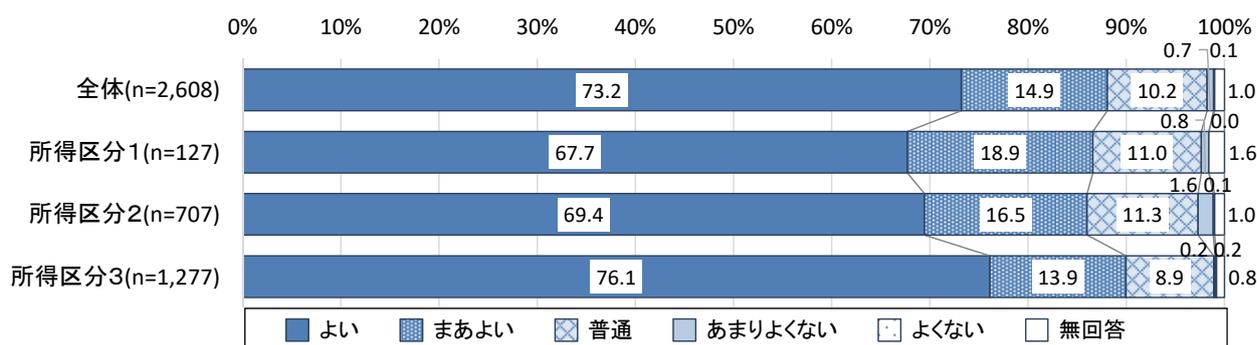
## (7) お子さんの健康状態（5歳児）

宛名のお子さんの健康状態について尋ねた設問<sup>19</sup>について、5歳児の保護者全体では、「よい」の回答割合が73.2%と最も高く、次いで「まあよい」の回答割合が14.9%、「普通」の回答割合が10.2%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「よい」の回答割合が67.7%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 23】 あなたは、宛名のお子さんの健康状態について、どのように感じていますか。

図表 2-5-49 お子さんの健康状態（5歳児）（所得区分別）

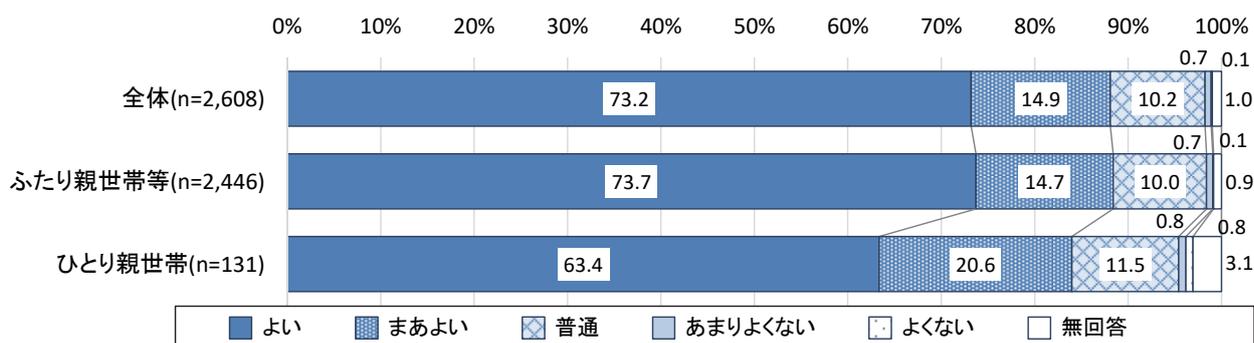
【5歳児保護者】



世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「よい」の回答割合が63.4%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-50 お子さんの健康状態（5歳児）（世帯類型別）

【5歳児保護者】



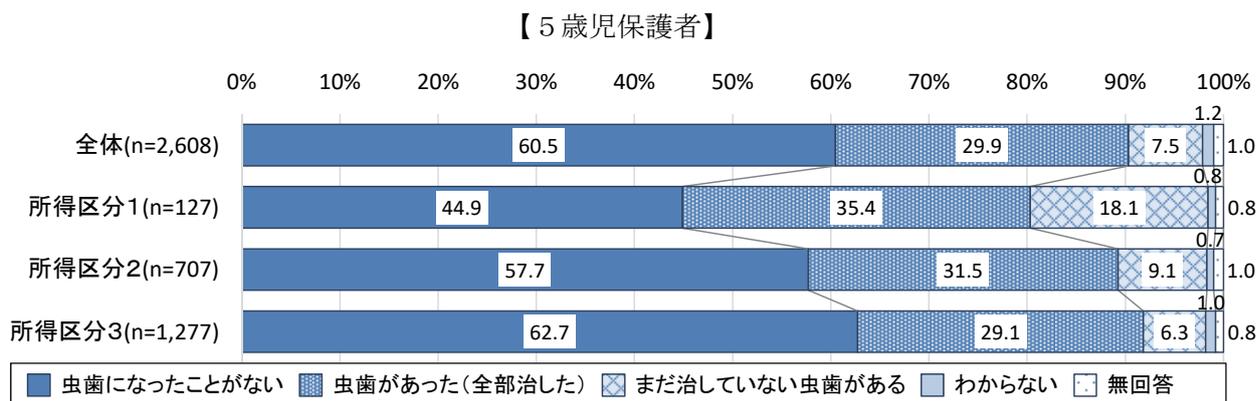
<sup>19</sup> 宛名のお子さんが「5歳児」である場合のみ回答する設問。

## (8) お子さんの虫歯の状態（5歳児）

宛名のお子さんの虫歯の状態について尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「虫歯にならなかったことがない」の回答割合が60.5%と最も高く、次いで「虫歯があった（全部治した）」の回答割合が29.9%、「まだ治していない虫歯がある」の回答割合が7.5%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「虫歯にならなかったことがない」の回答割合が44.9%となっており、全体と比べて低くなっている。

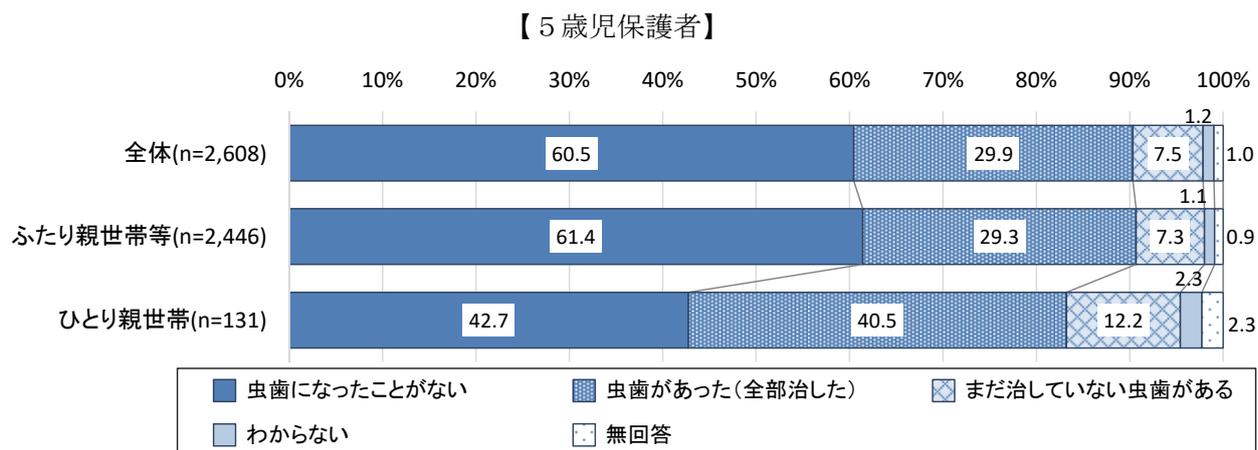
【保護者票問 24】 宛名のお子さんの虫歯の状態について、お教えてください。

図表 2-5-51 お子さんの虫歯の状態（5歳児）（所得区分別）



世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「虫歯があった（全部治した）」の回答割合が40.5%、「まだ治していない虫歯がある」の回答割合が12.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-5-52 お子さんの虫歯の状態（5歳児）（世帯類型別）



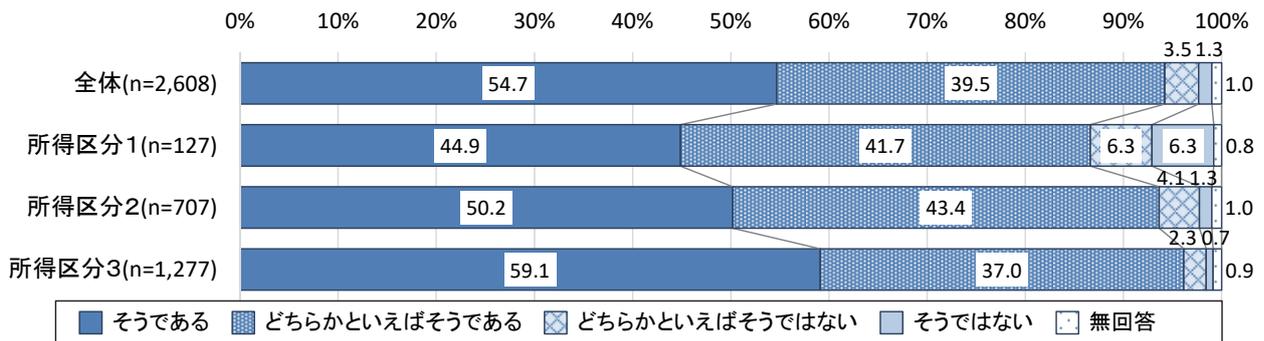
## (9) お子さんの就寝時間（5歳児）

宛名のお子さんが普段（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかを尋ねた設問について、「そうである」と「どちらかといえばそうである」の回答割合を合わせると、5歳児の保護者全体では94.2%、所得区分別にみたところ、所得区分1では86.6%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 25】 宛名のお子さんは普段（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

図表 2-5-53 お子さんの就寝時間（5歳児）（所得区分別）

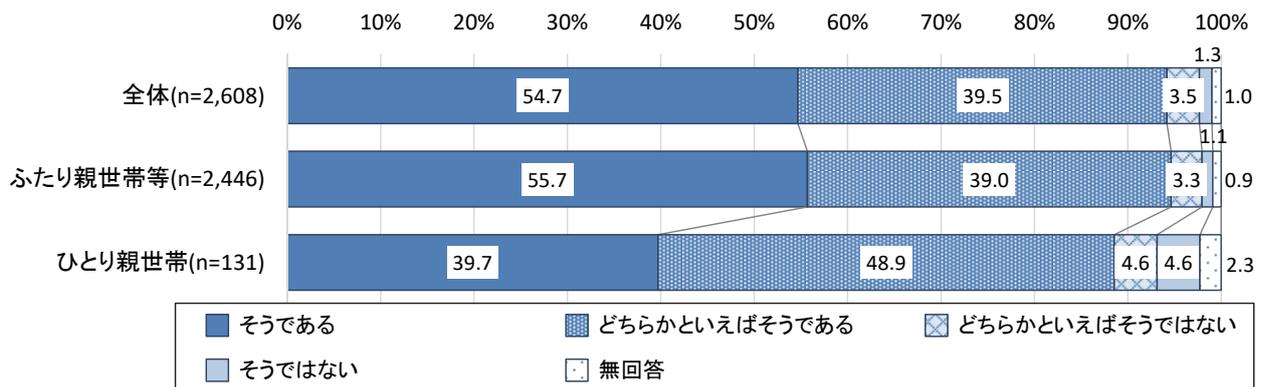
【5歳児保護者】



世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」の回答割合を合わせると88.6%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-54 お子さんの就寝時間（5歳児）（世帯類型別）

【5歳児保護者】



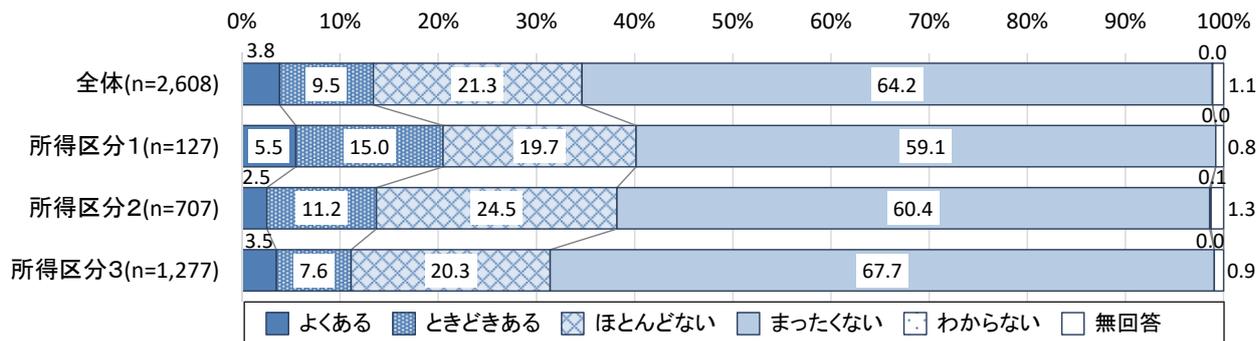
## (10) 孤食の状況（5歳児）

普段、子どもだけで食事をするかどうか尋ねた設問について、「まったくない」の回答割合は、5歳児の保護者全体では64.2%、所得区分別にみたところ、所得区分1では59.1%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 26】 普段、子どもだけで食事をすることがありますか。

図表 2-5-55 孤食の状況（5歳児）（所得区分別）

【5歳児保護者】



## (11) 食事の頻度 (5歳児)

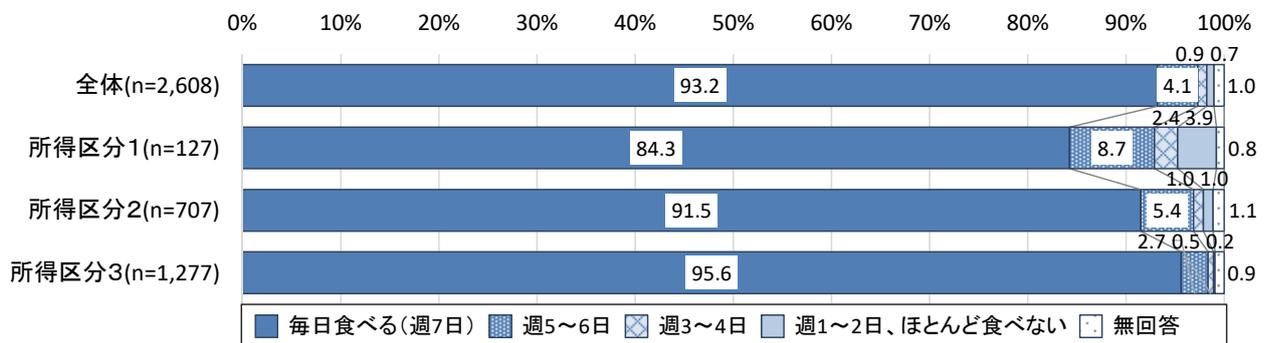
### ア 朝食の頻度(5歳児)

宛名のお子さんが週にどのくらい「朝食」を取っているかを尋ねた設問について、「毎日食べる(週7日)」の回答割合は、5歳児の保護者全体では93.2%、所得区分別にみたところ、所得区分1では84.3%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問 27】 宛名のお子さんは週にどのくらい、食事をしていますか。  
(A 朝食)

図表 2-5-56 朝食の頻度 (5歳児) (所得区分別)

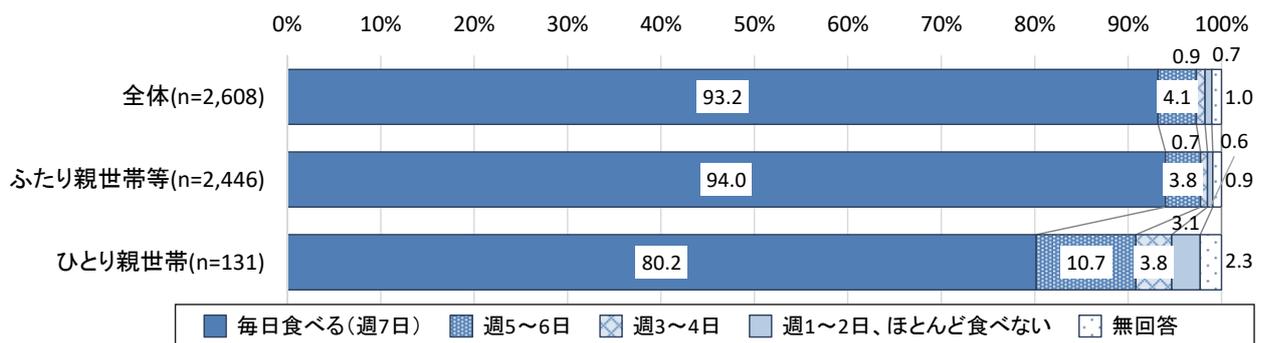
【5歳児保護者】



世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「毎日食べる(週7日)」の回答割合は80.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-57 朝食の頻度 (5歳児) (世帯類型別)

【5歳児保護者】

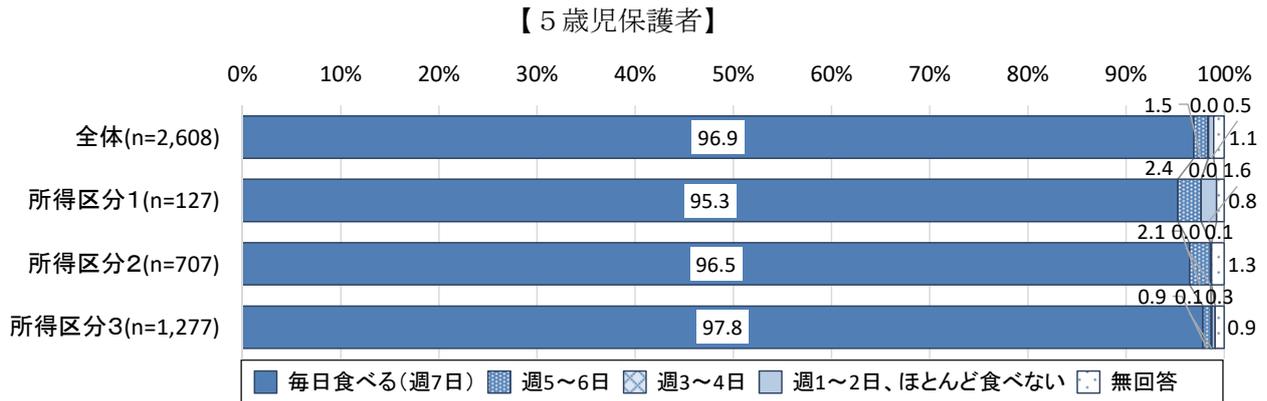


## イ 昼食の頻度（5歳児）

宛名のお子さんが週にどのくらい「昼食」を取っているかを尋ねた設問について、「毎日食べる（週7日）」の回答割合は、5歳児の保護者全体では96.9%、所得区分別にみたところ、所得区分1では95.3%となっており、全体と比べて低くなっている。

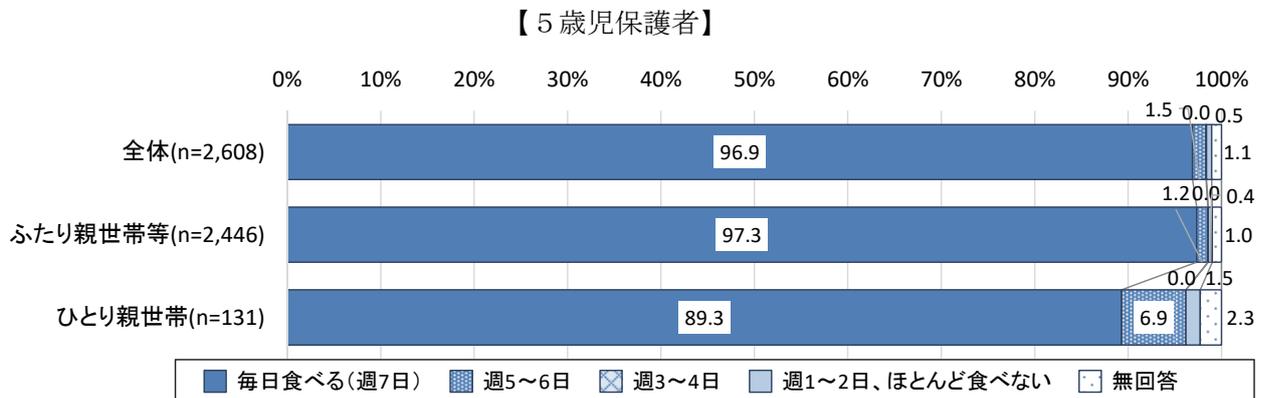
【保護者票問 27】 宛名のお子さんは週にどのくらい、食事をしていますか。  
（B 昼食）

図表 2-5-58 昼食の頻度（5歳児）（所得区分別）



世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「毎日食べる（週7日）」の回答割合は89.3%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-59 昼食の頻度（5歳児）（世帯類型別）



## ウ 夕食の頻度（5歳児）

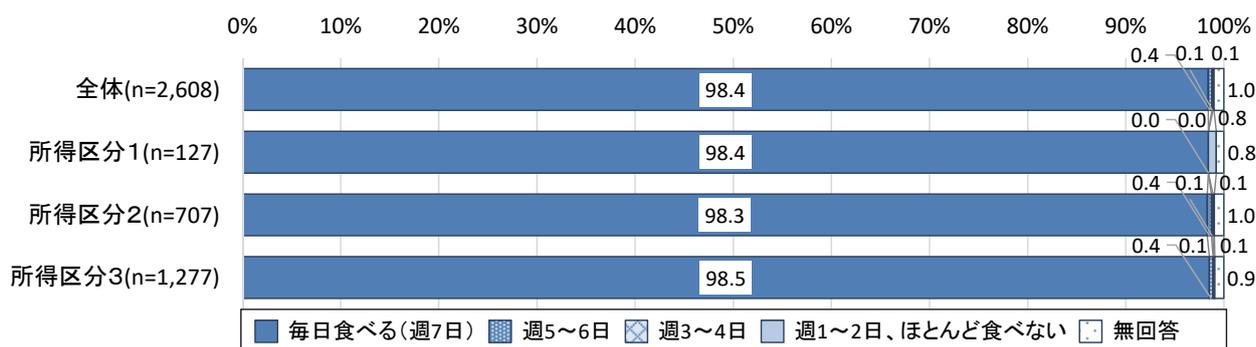
宛名のお子さんが週にどのくらい「夕食」を取っているかを尋ねた設問について、「毎日食べる（週7日）」の回答割合は、5歳児の保護者全体では98.4%、所得区分別にみたところ、所得区分1では98.4%となっている。

【保護者票問 27】 宛名のお子さんは週にどのくらい、食事をしていますか。

（C 夕食）

図表 2-5-60 夕食の頻度（5歳児）（所得区分別）

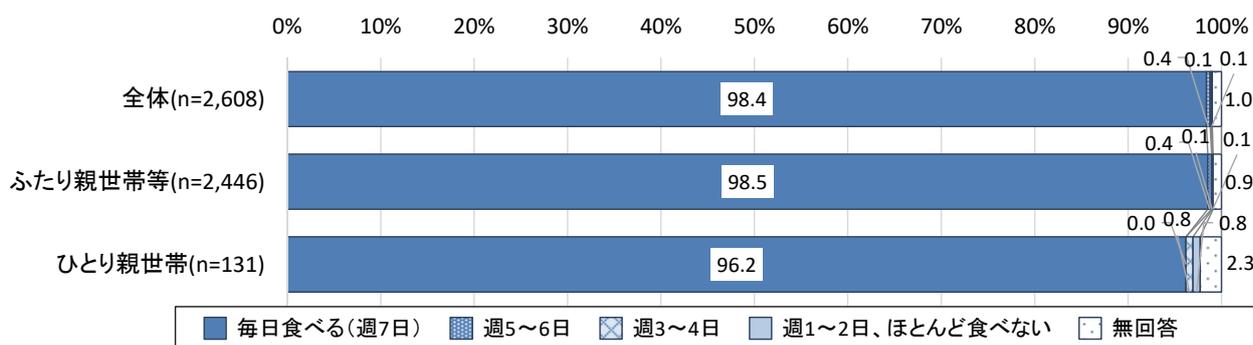
【5歳児保護者】



世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「毎日食べる（週7日）」の回答割合は96.2%となっており、全体と比べて低くなっている。

図表 2-5-61 夕食の頻度（5歳児）（世帯類型別）

【5歳児保護者】



## 6 世帯の暮らしの状況

### (1) 現在の暮らし向き

現在の暮らしの状況を尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「やや苦しい」と「大変苦しい」の回答割合を合わせると、全体では22.9%、所得区分別にみたところ、所得区分1では56.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

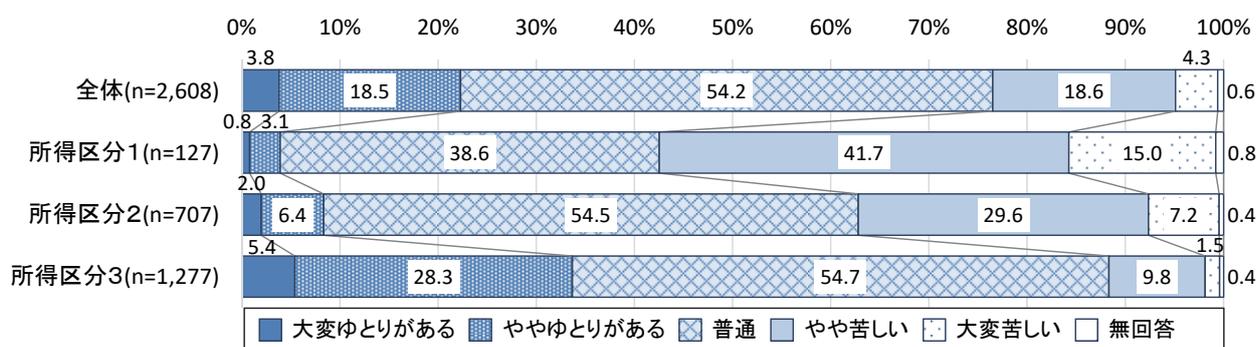
小学5年生の保護者に関して、「やや苦しい」と「大変苦しい」の回答割合を合わせると、全体では22.7%、所得区分1では67.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「やや苦しい」と「大変苦しい」の回答割合を合わせると、全体では25.6%、所得区分1では67.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

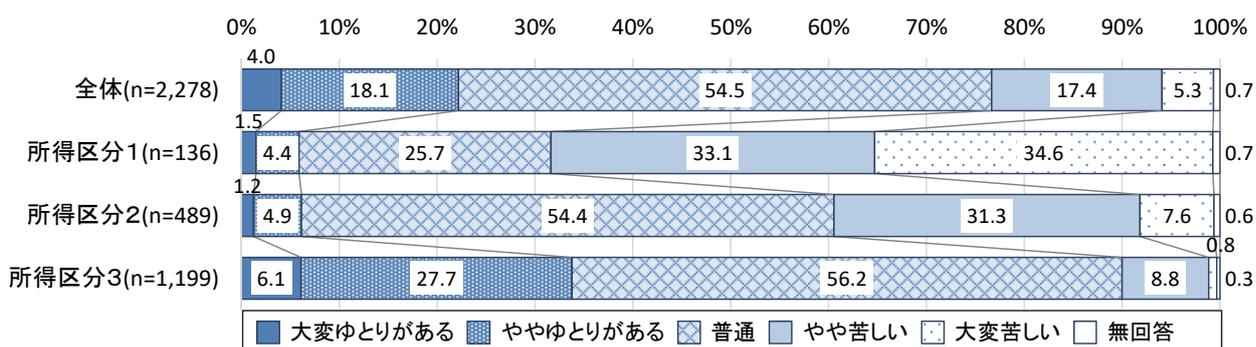
【保護者票問28】現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

図表 2-6-1 現在の暮らし向き（所得区分別）

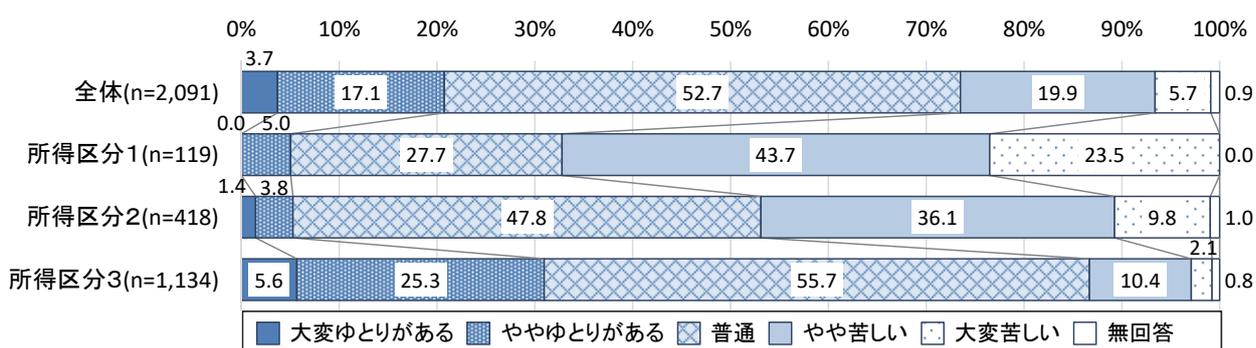
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (2) 新型コロナウイルス感染症による暮らし向きへの影響

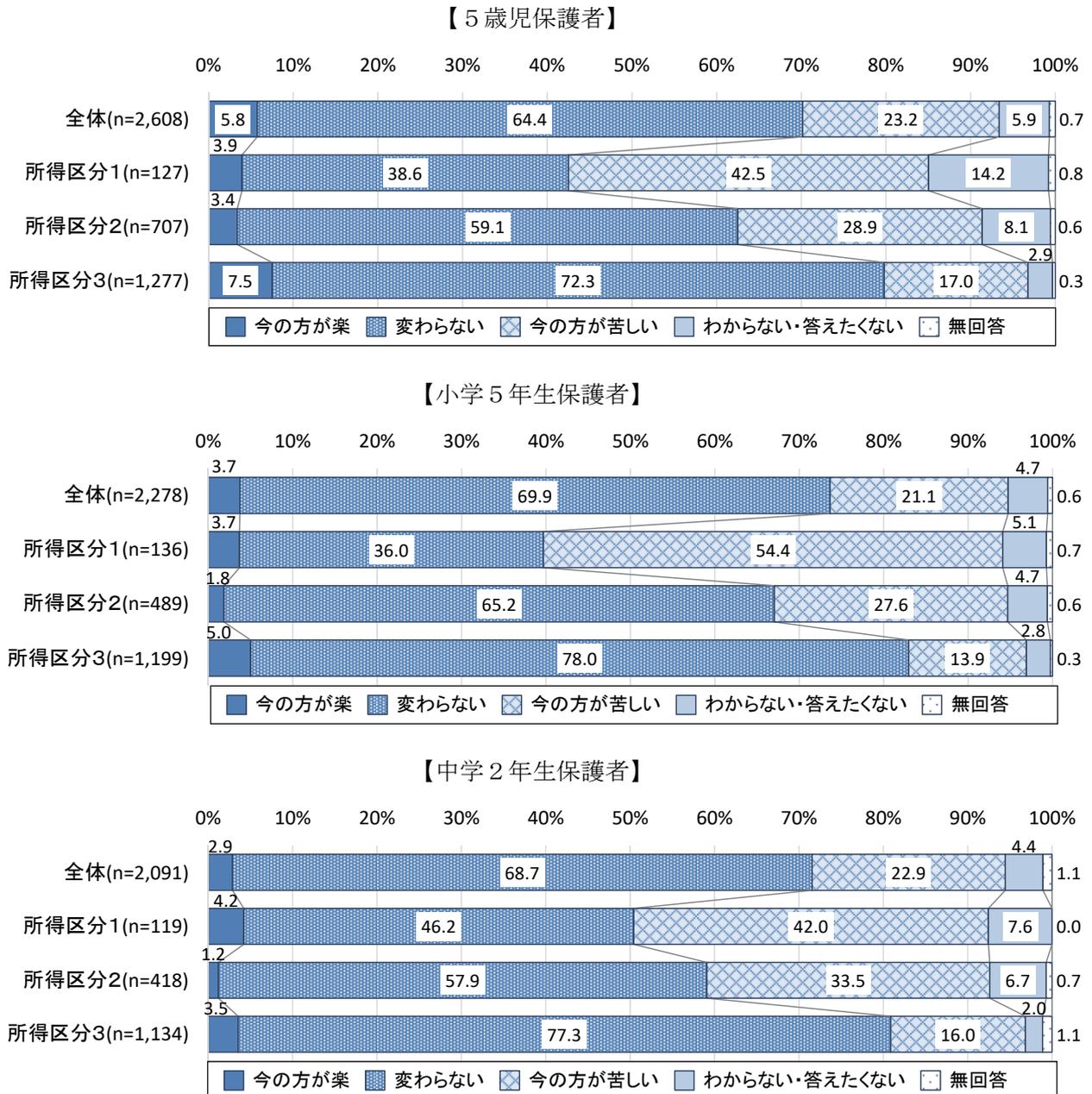
現在の暮らしの状況が新型コロナウイルス感染症拡大前の 2020 年 1 月頃と比べてどうかを尋ねた設問について、5 歳児の保護者に関して、「今の方が苦しい」の回答割合は、全体では 23.2%、所得区分 1 では 42.5%となっている。

小学 5 年生の保護者に関して、「今の方が苦しい」の回答割合は、全体では 21.1%、所得区分 1 では 54.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学 2 年生の保護者に関して、「今の方が苦しい」の回答割合は、全体では 22.9%、所得区分 1 では 42.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 29】現在の暮らしの状況は、新型コロナウイルス感染症拡大前の 2020 年 1 月頃と比べて、どうですか。

図表 2-6-2 新型コロナウイルス感染症による暮らし向きへの影響（所得区分別）



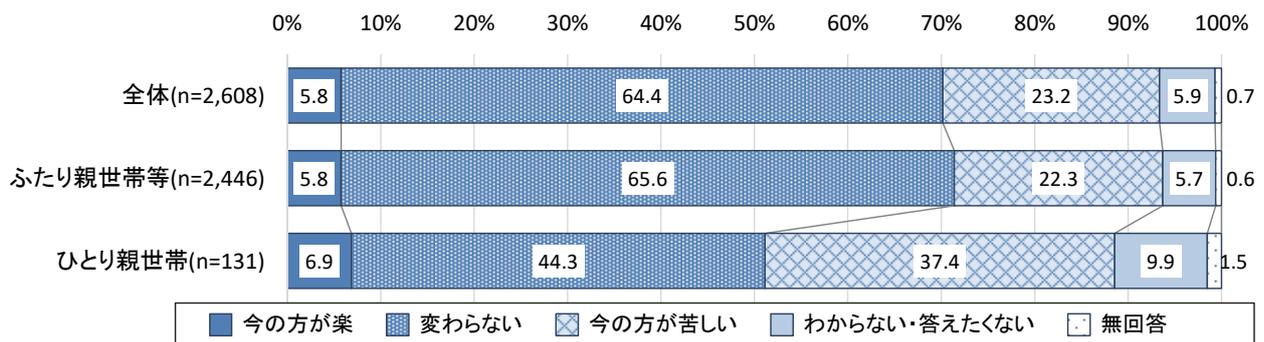
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「今の方が苦しい」の回答割合は37.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「今の方が苦しい」の回答割合は34.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

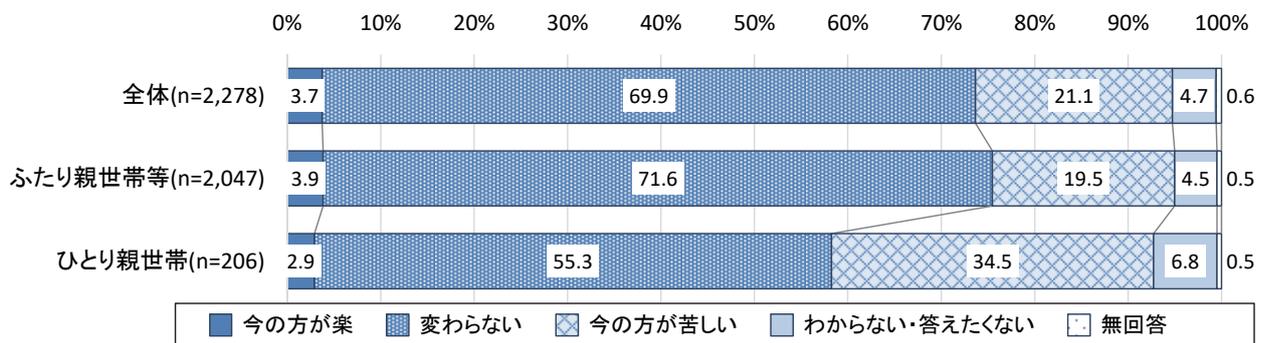
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「今の方が苦しい」の回答割合は36.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-6-3 新型コロナウイルス感染症による暮らし向きへの影響（世帯類型別）

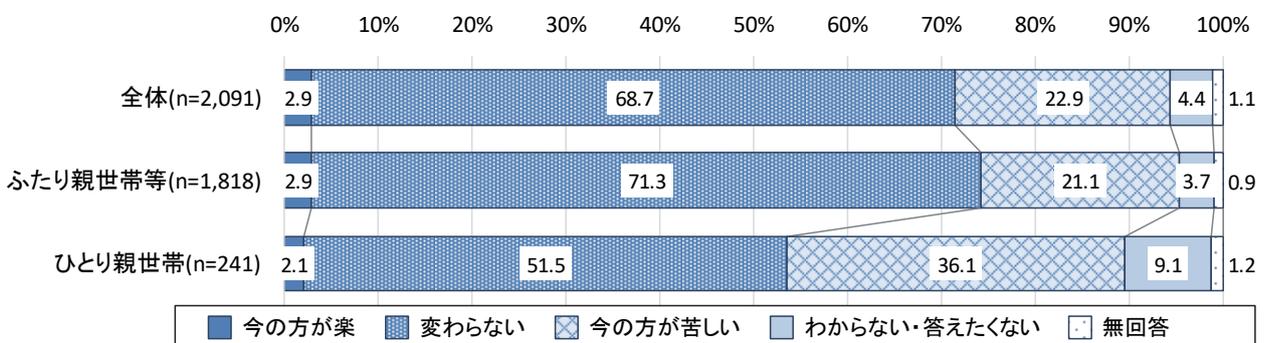
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



### (3) 回答者が15歳の頃の暮らし向き

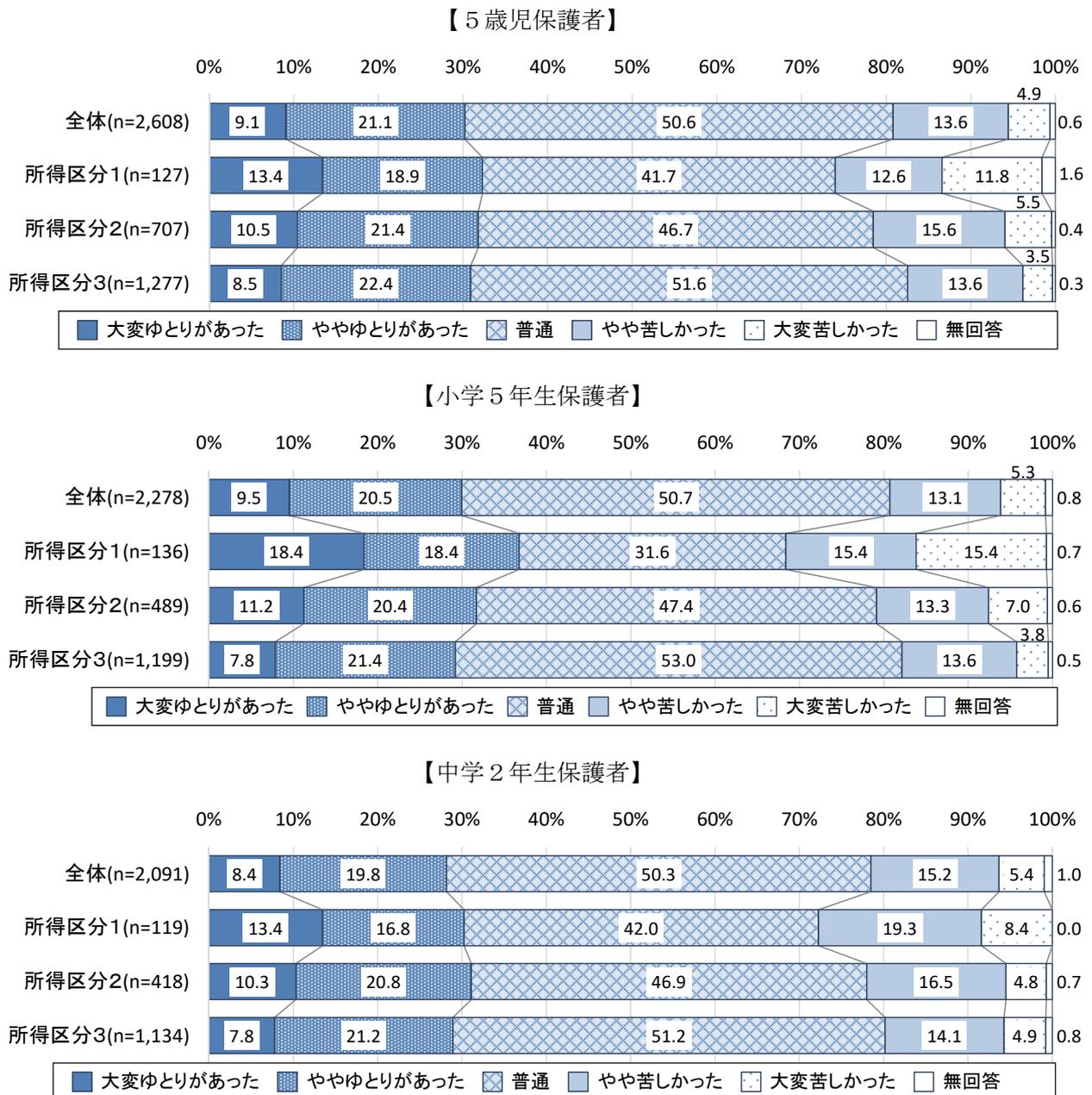
回答者が15歳の頃の暮らし向きについて尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「やや苦しかった」と「大変苦しかった」の回答割合を合わせると、全体では18.5%、所得区分別にみたところ、所得区分1では24.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「やや苦しかった」と「大変苦しかった」の回答割合を合わせると、全体では18.4%、所得区分1では30.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「やや苦しかった」と「大変苦しかった」の回答割合を合わせると、全体では20.6%、所得区分1では27.7%となっている。

【保護者票問30】あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。

図表 2-6-4 回答者が15歳の頃の暮らし向き（所得区分別）



#### (4) 文具や教材が買えない経験

過去1年間に、お金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では4.0%、所得区分別にみたところ、所得区分1では20.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

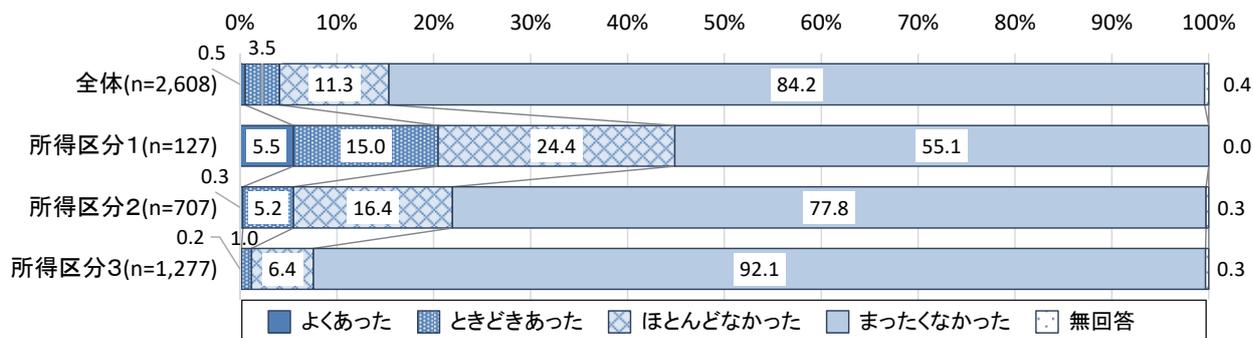
小学5年生の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では3.2%、所得区分1では11.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では4.3%、所得区分1では26.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

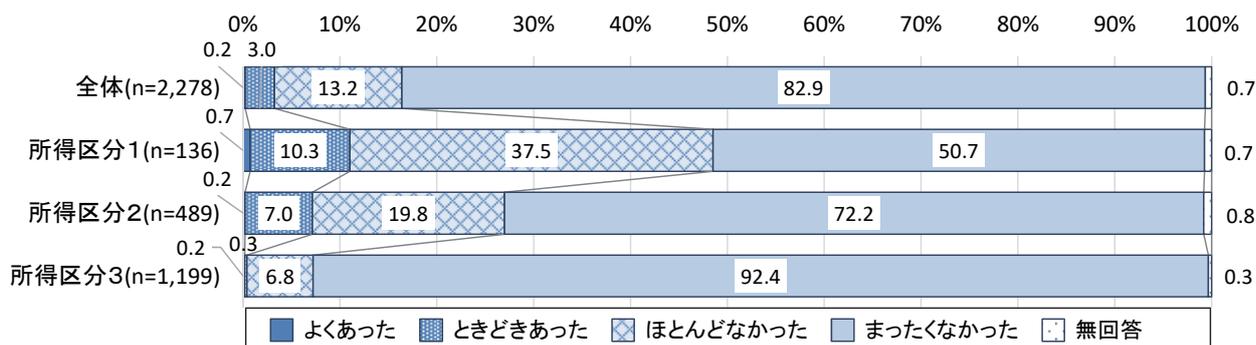
【保護者票問 31】 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがありましたか。

図表 2-6-5 文具や教材が買えない経験（所得区分別）

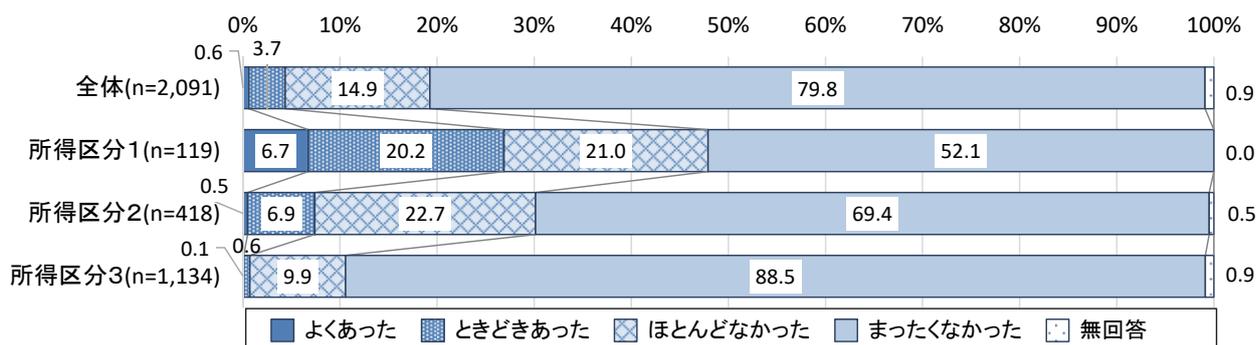
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (5) 必要な食料が買えない経験

過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では3.4%、所得区分別にみたところ、所得区分1では17.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

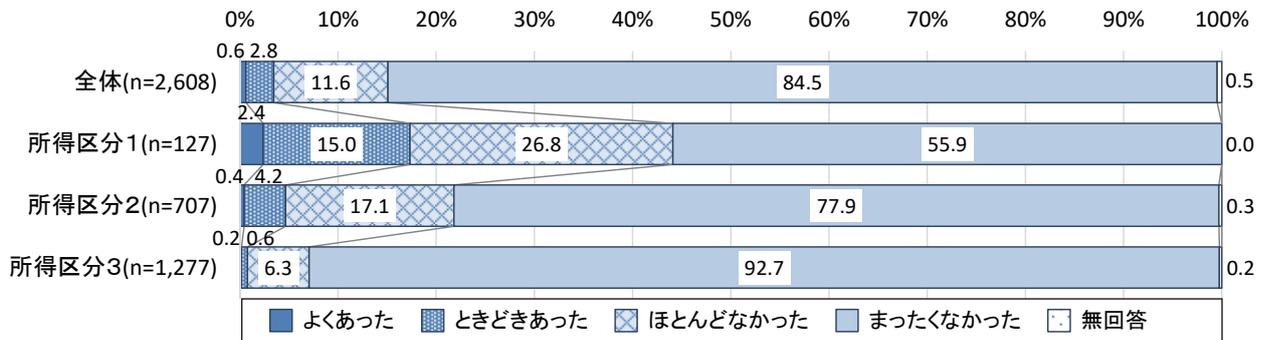
小学5年生の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では3.0%、所得区分1では12.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では3.8%、所得区分1では22.7%となっており、全体と比べて高くなっている。

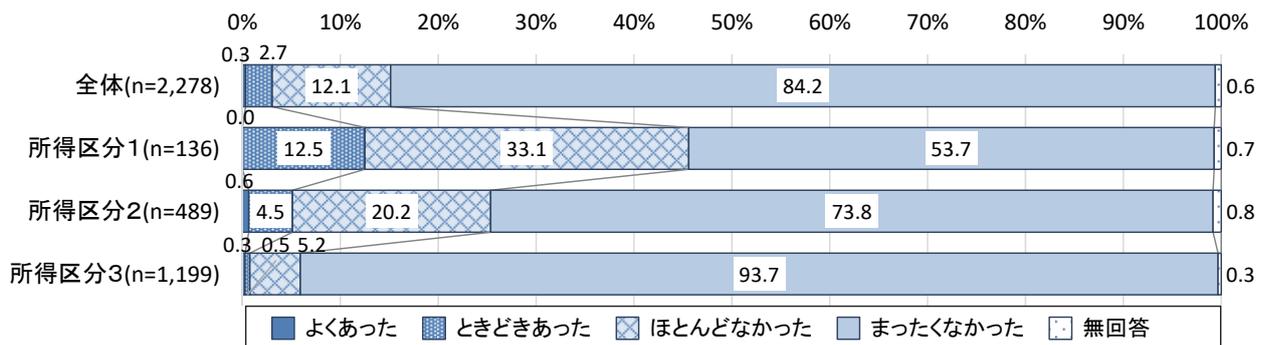
【保護者票問 32】 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

図表 2-6-6 必要な食料が買えない経験（所得区分別）

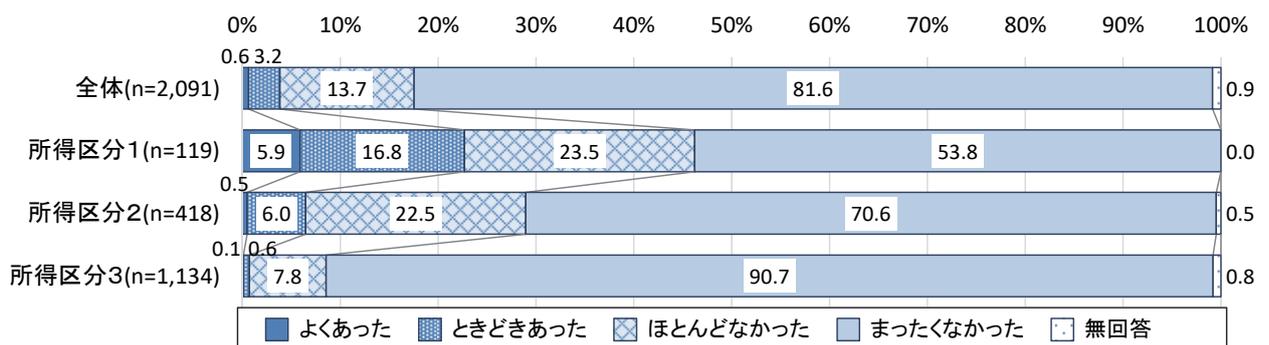
### 【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



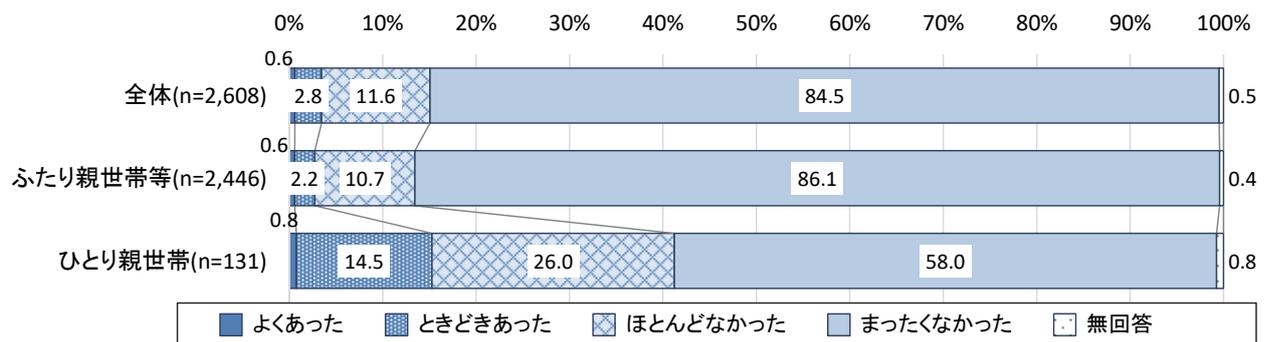
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると15.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると9.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

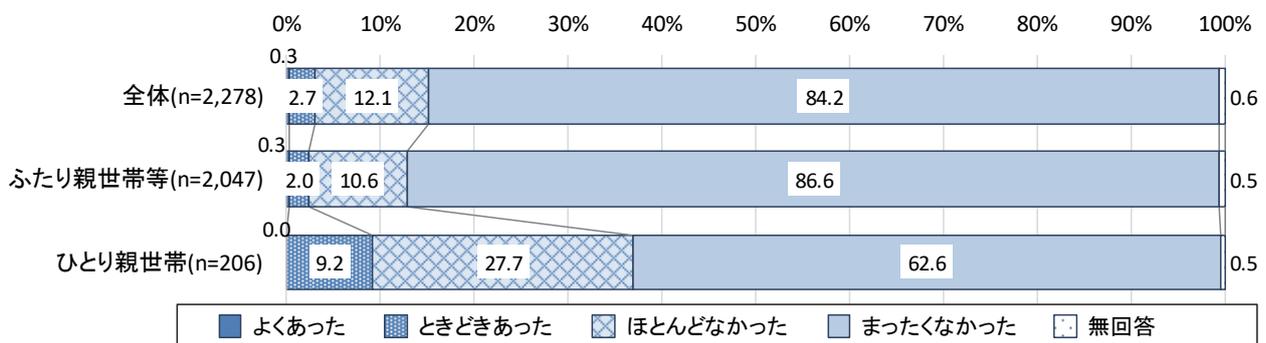
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると16.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-6-7 必要な食料が買えない経験（世帯類型別）

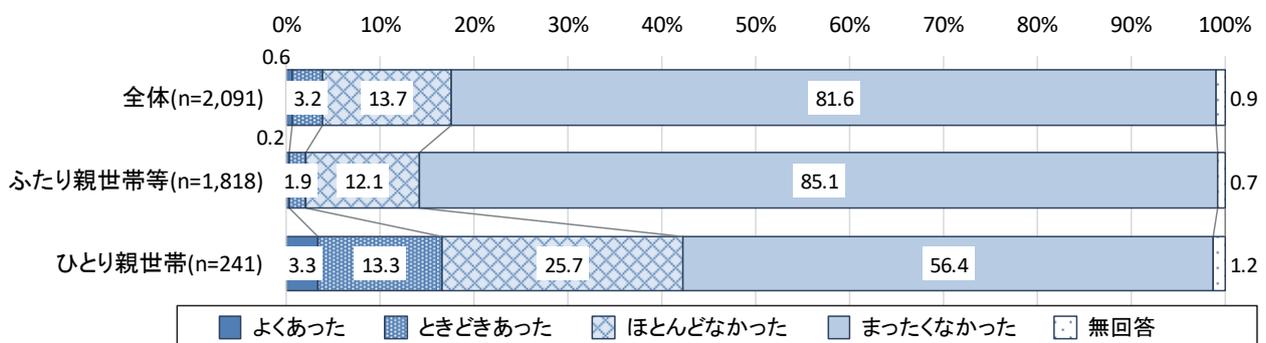
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (6) 必要な衣料が買えない経験

過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする衣料が買えないことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では5.9%、所得区分別にみたところ、所得区分1では24.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

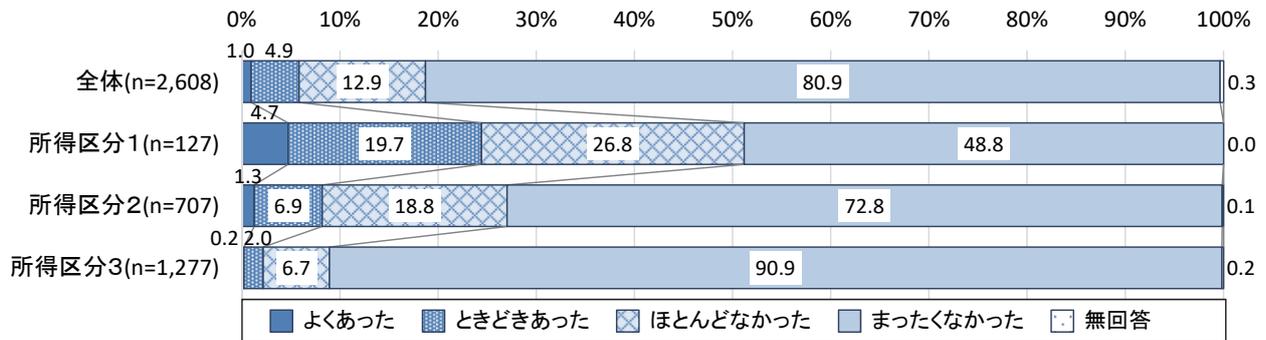
小学5年生の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では5.4%、所得区分1では23.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者に関して、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると、全体では6.0%、所得区分1では31.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

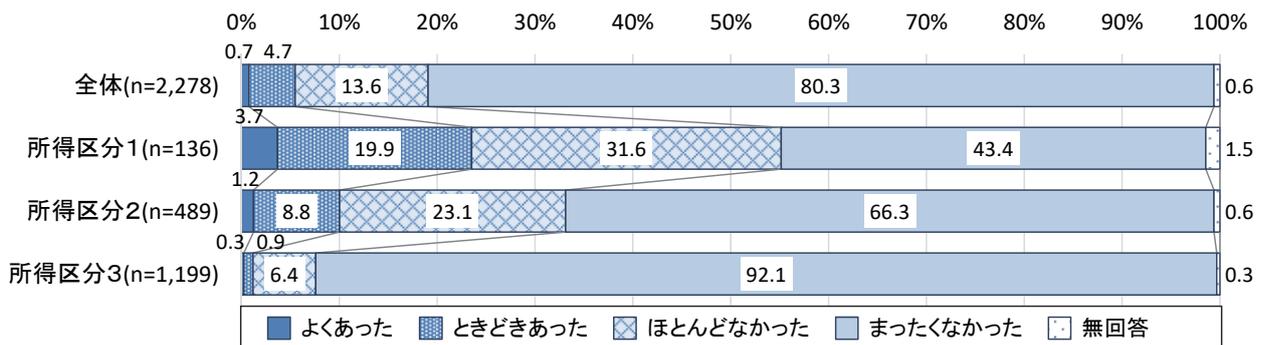
【保護者票問 33】 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする衣料が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

図表 2-6-8 必要な衣料が買えない経験（所得区分別）

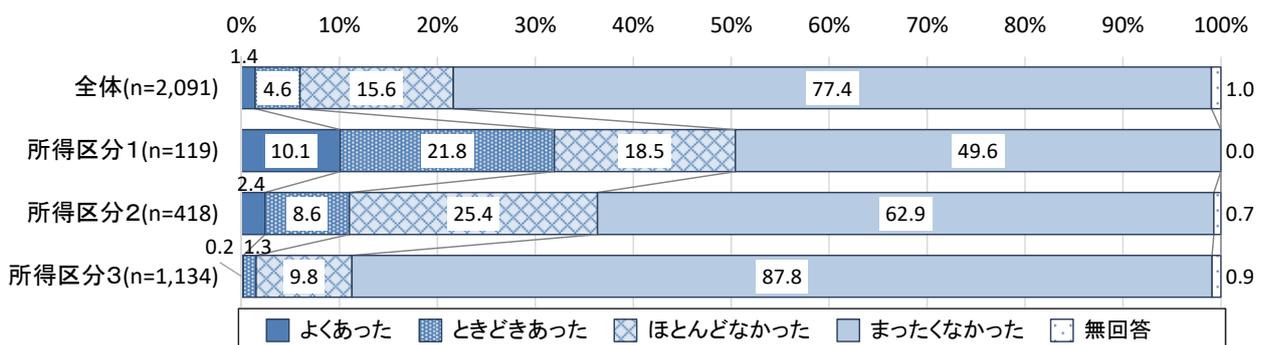
### 【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



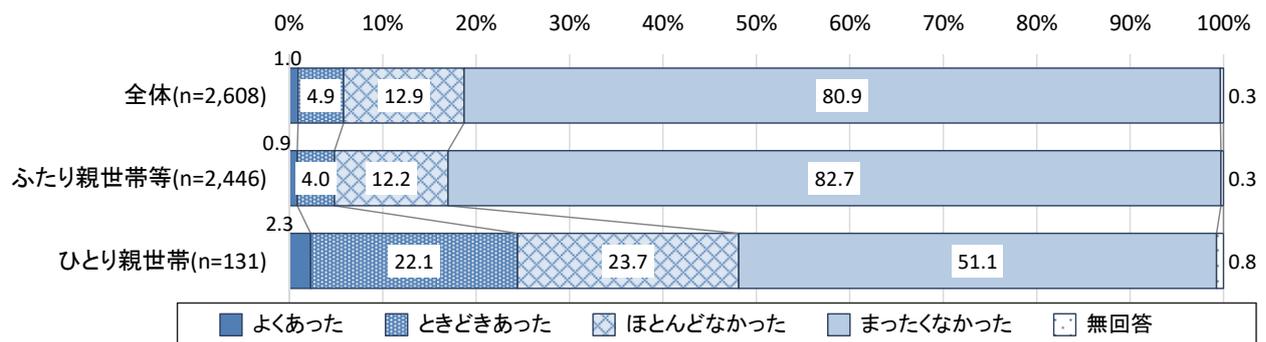
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると24.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると16.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

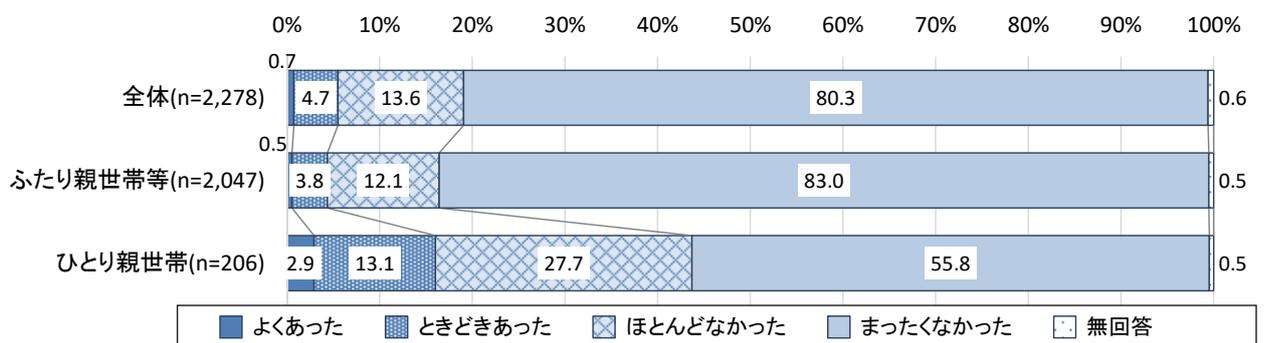
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「よくあった」と「ときどきあった」の回答割合を合わせると23.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-6-9 必要な衣料が買えない経験（世帯類型別）

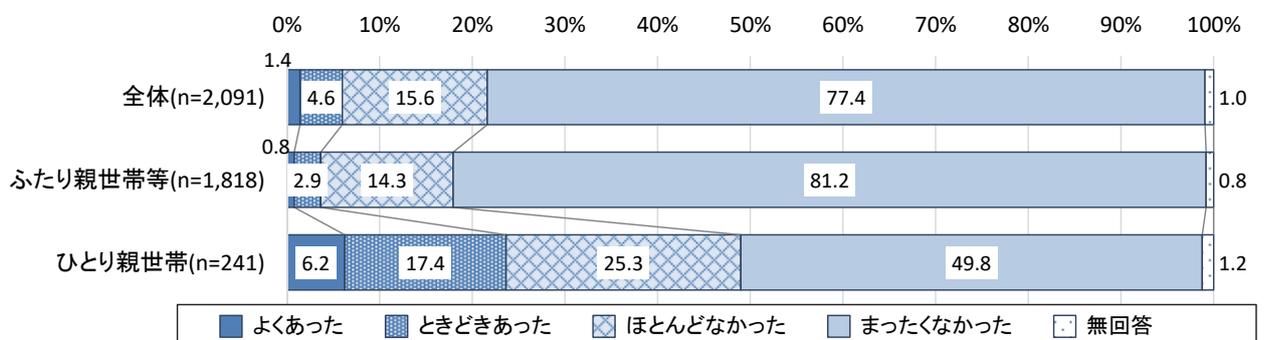
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (7) 滞納・未払い経験等の有無

### ア 家賃の滞納の経験

過去1年間に、経済的な理由で「家賃の滞納」を経験したことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.3%、所得区分1では7.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.2%、所得区分1では8.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

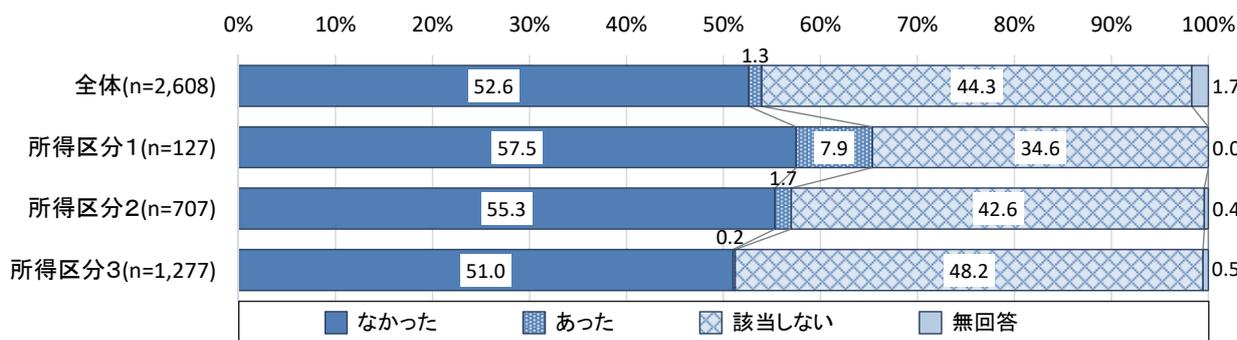
中学2年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.8%、所得区分1では5.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 34】 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。

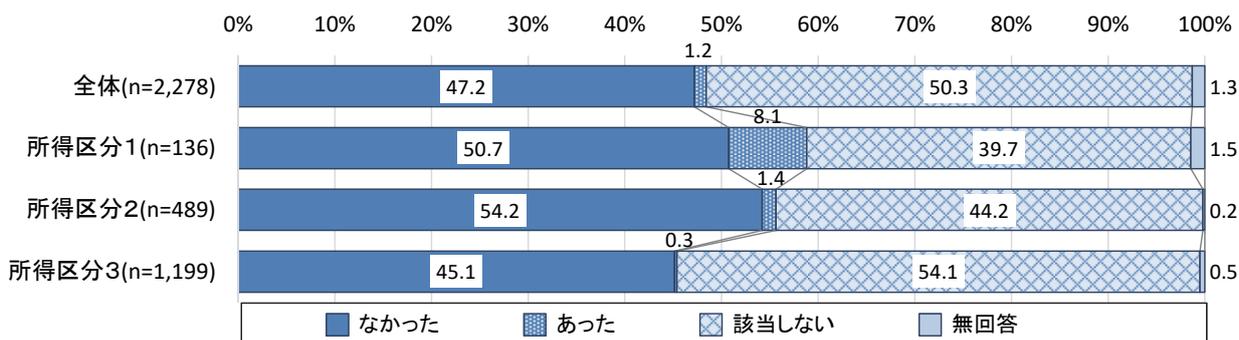
(A 家賃の滞納)

図表 2-6-10 家賃の滞納の経験（所得区分別）

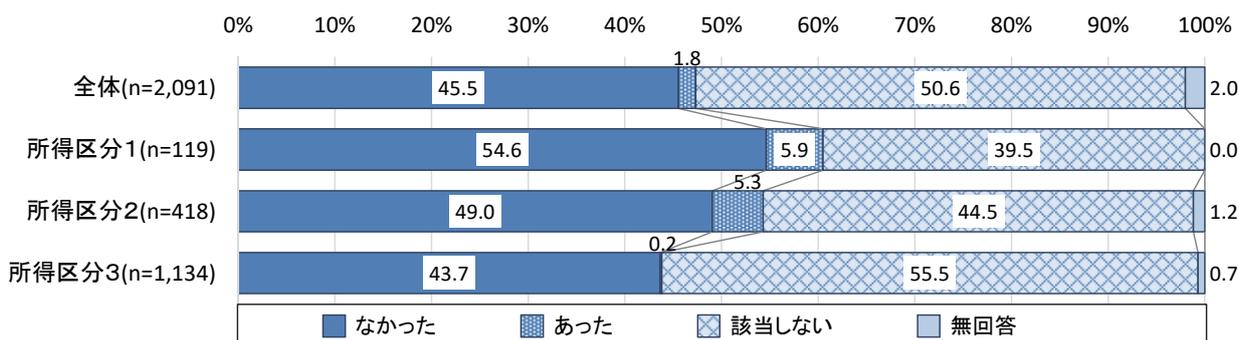
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 住宅ローンの滞納の経験

過去1年間に、経済的な理由で「住宅ローンの滞納」を経験したことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「あった」の回答割合が0.9%、「該当しない」の回答割合が32.8%となっている。所得区分別にみると、所得区分1では「あった」の回答割合が4.7%、「該当しない」の回答割合が44.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「該当しない」の回答割合は全体では35.7%、所得区分1では54.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

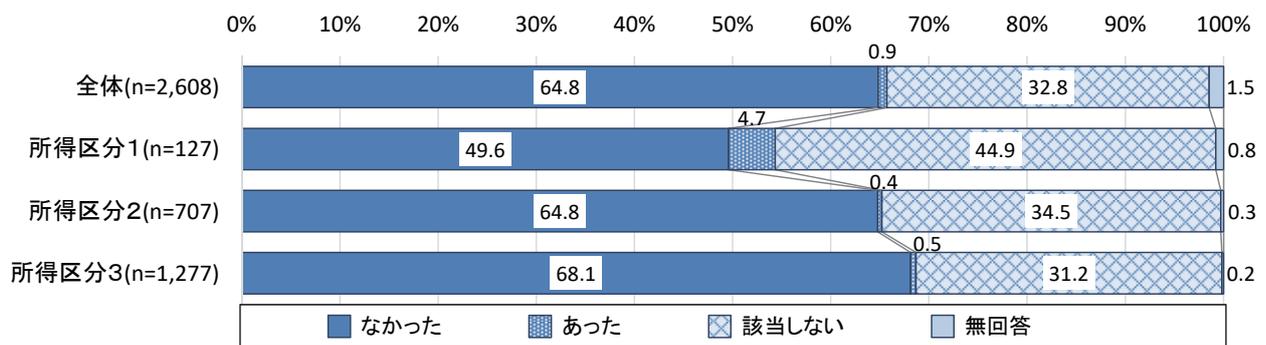
中学2年生の保護者に関して、「該当しない」の回答割合は全体では37.6%、所得区分1では42.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 34】 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。

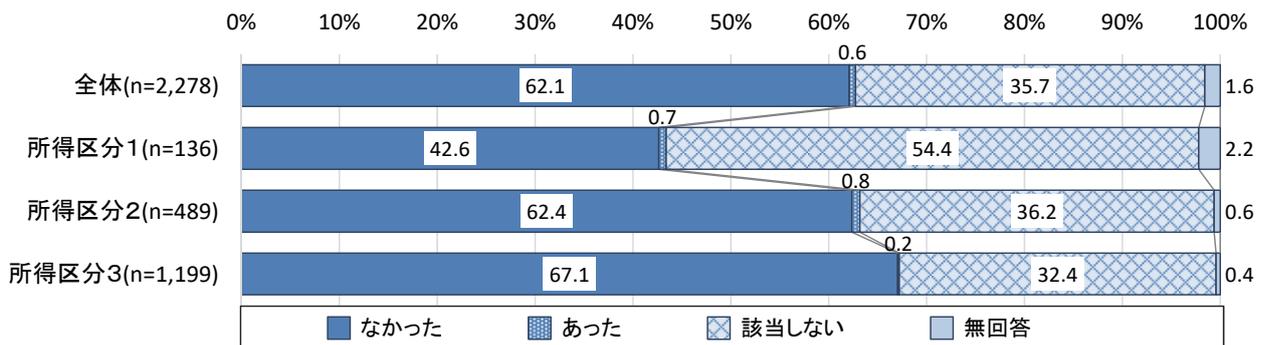
(B 住宅ローンの滞納)

図表 2-6-11 住宅ローンの滞納の経験（所得区分別）

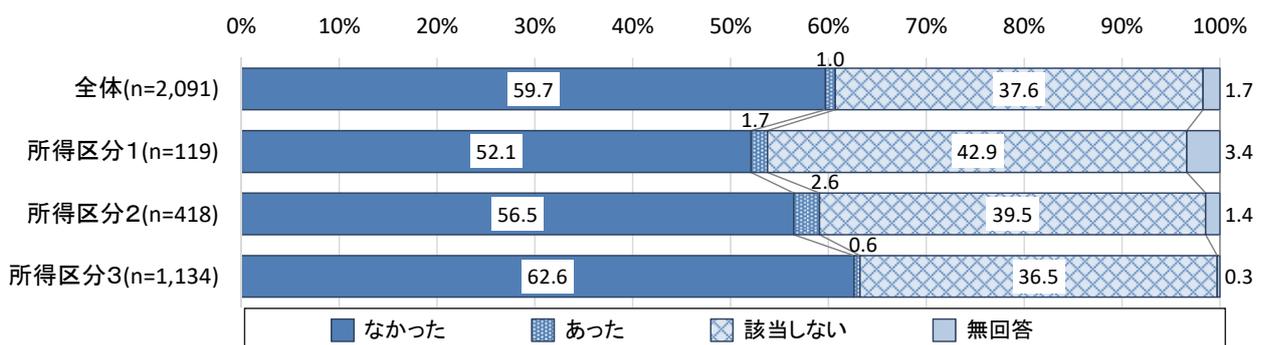
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## ウ 電気料金の未払い経験

過去1年間に、経済的な理由で「電気料金の未払い」を経験したことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.9%、所得区分別にみたところ、所得区分1では10.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.8%、所得区分1では8.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

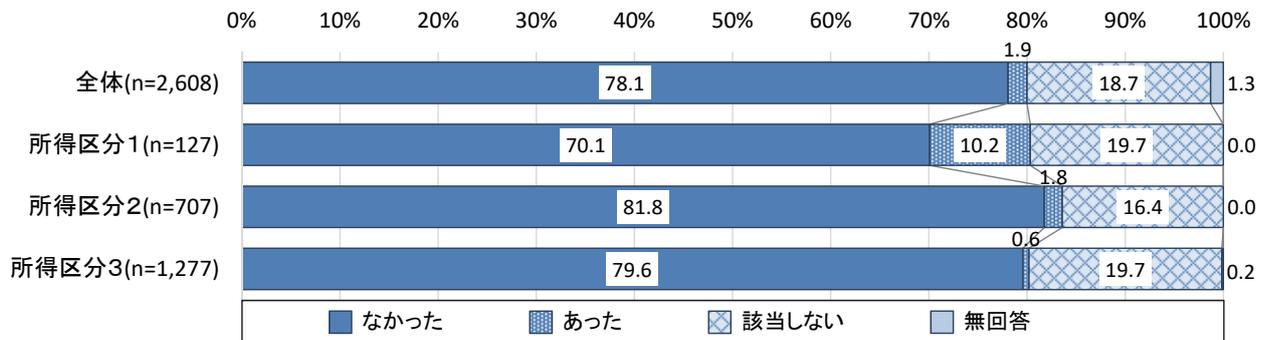
中学2年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.4%、所得区分1では10.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 34】 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。

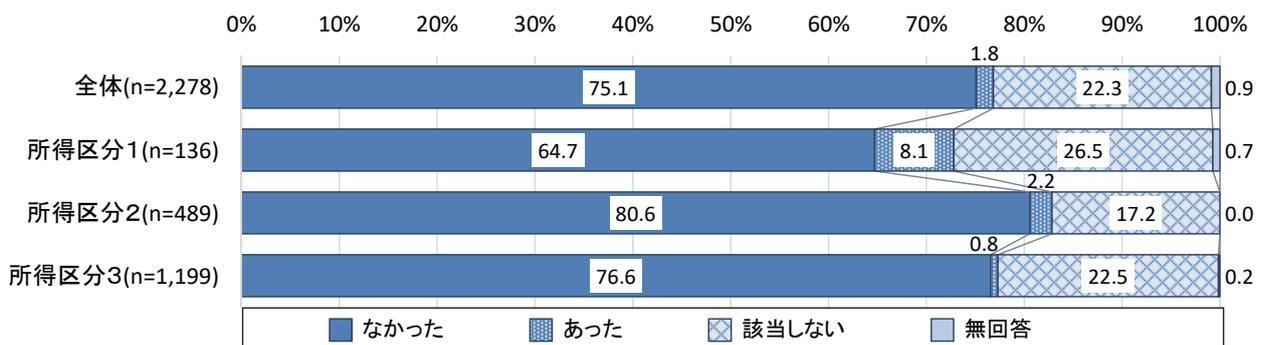
(C 電気料金の未払い)

図表 2-6-12 電気料金の未払い経験（所得区分別）

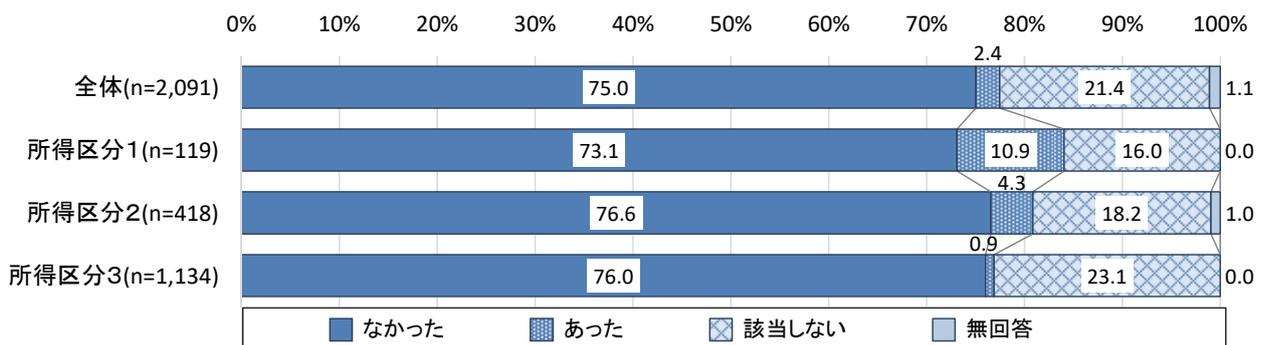
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



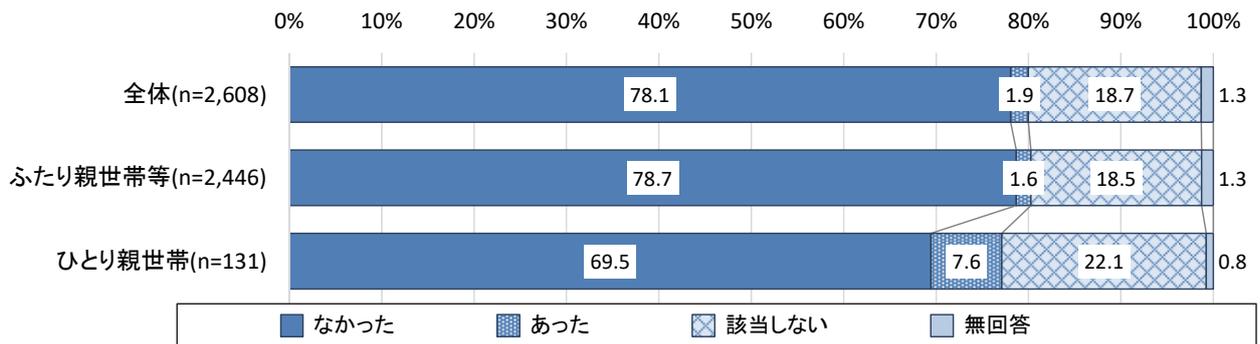
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は7.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は5.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

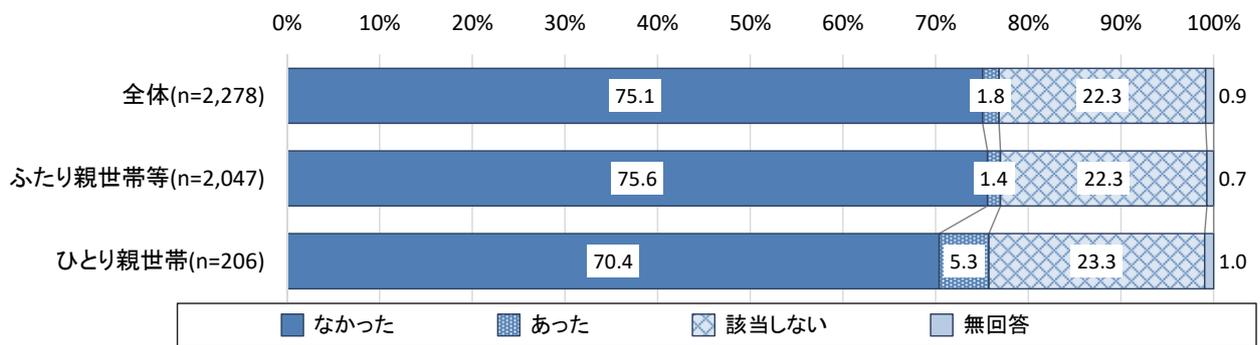
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は8.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-6-13 電気料金の未払い経験（世帯類型別）

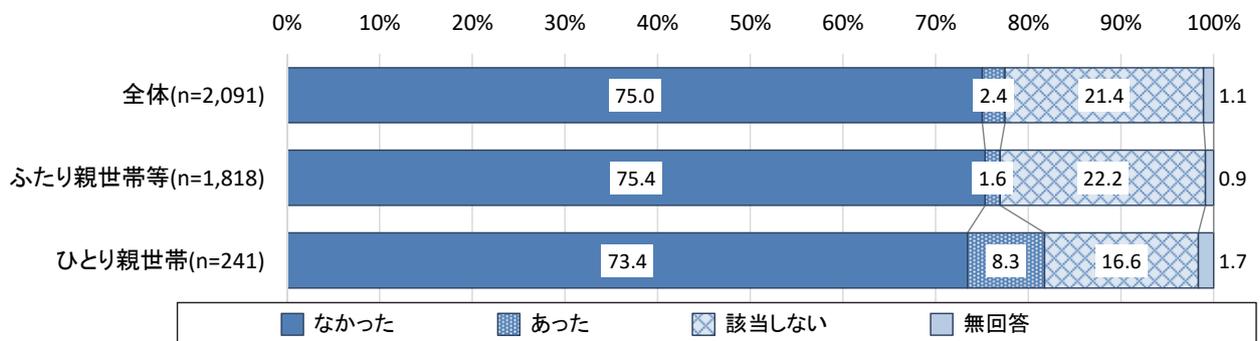
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## エ ガス料金の未払い経験

過去1年間に、経済的な理由で「ガス料金の未払い」を経験したことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.7%、所得区分別にみたところ、所得区分1では11.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.8%、所得区分1では8.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

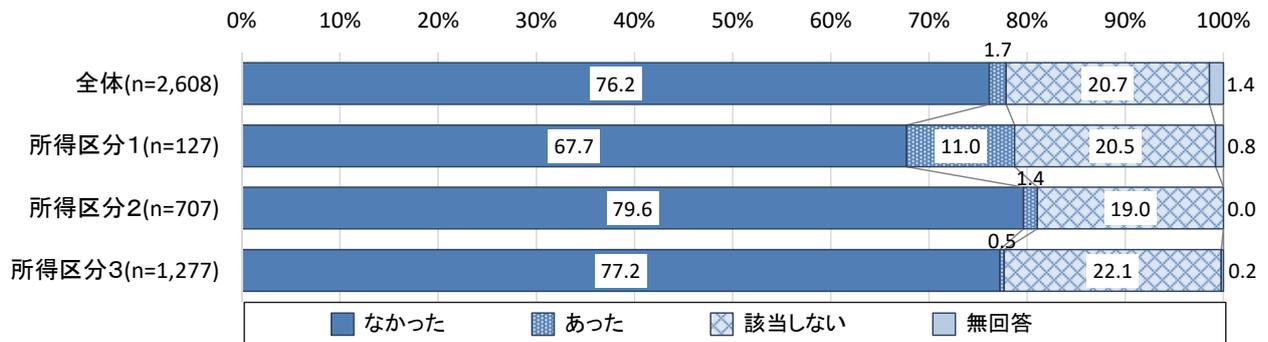
中学2年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.5%、所得区分1では9.2%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 34】 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。

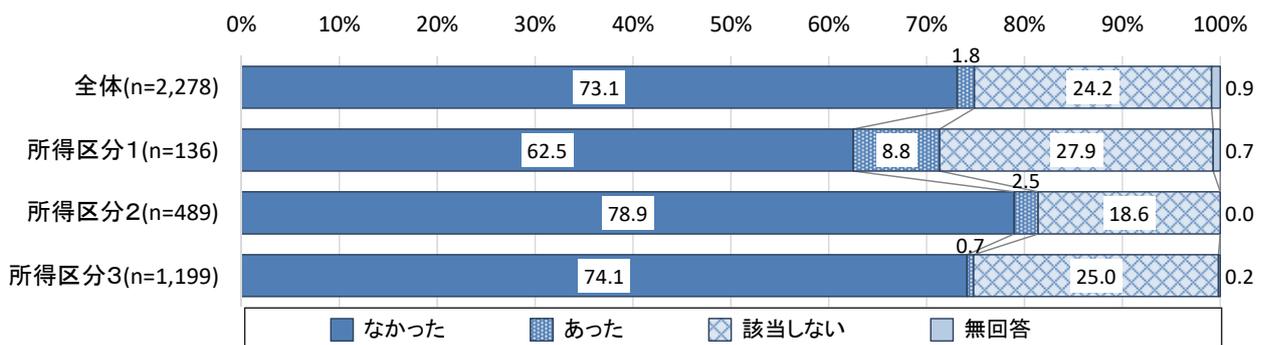
(D ガス料金の未払い)

図表 2-6-14 ガス料金の未払い経験（所得区分別）

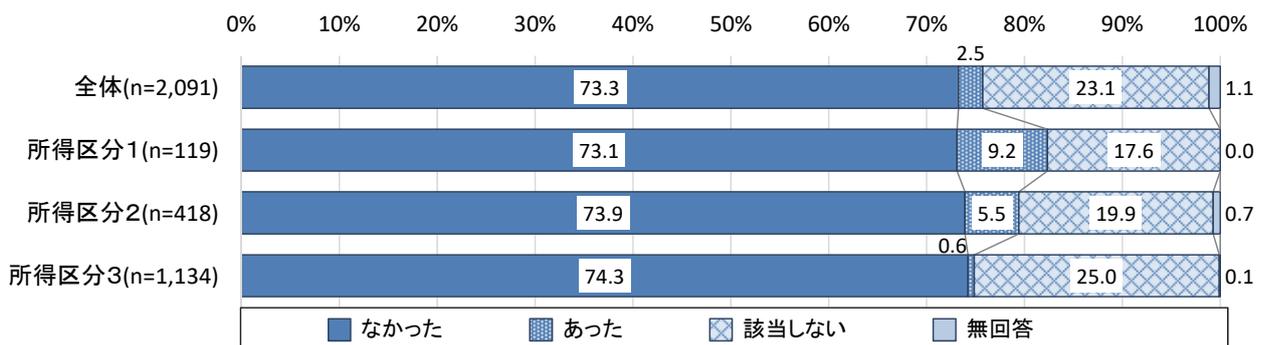
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



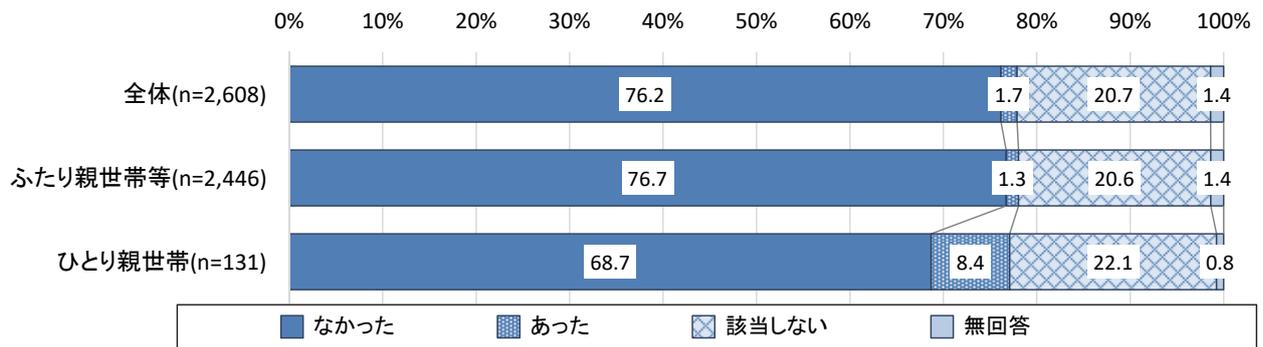
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は8.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は5.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

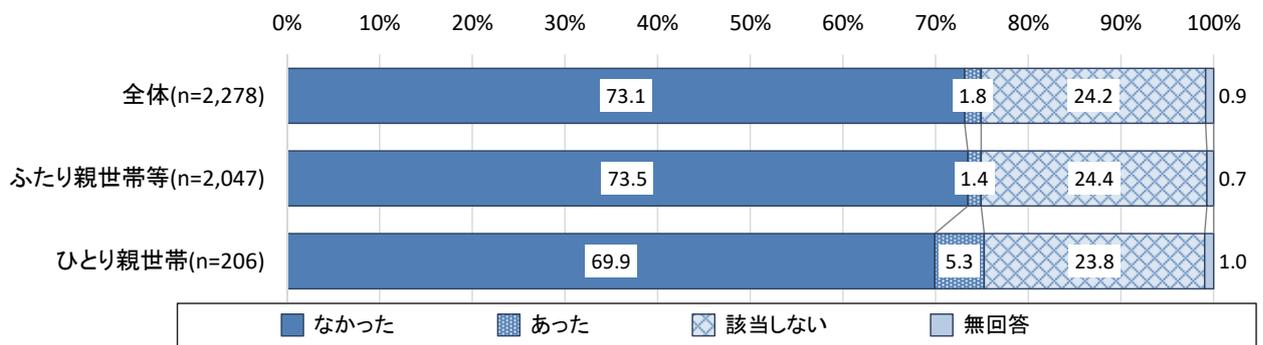
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は8.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-6-15 ガス料金の未払い経験（世帯類型別）

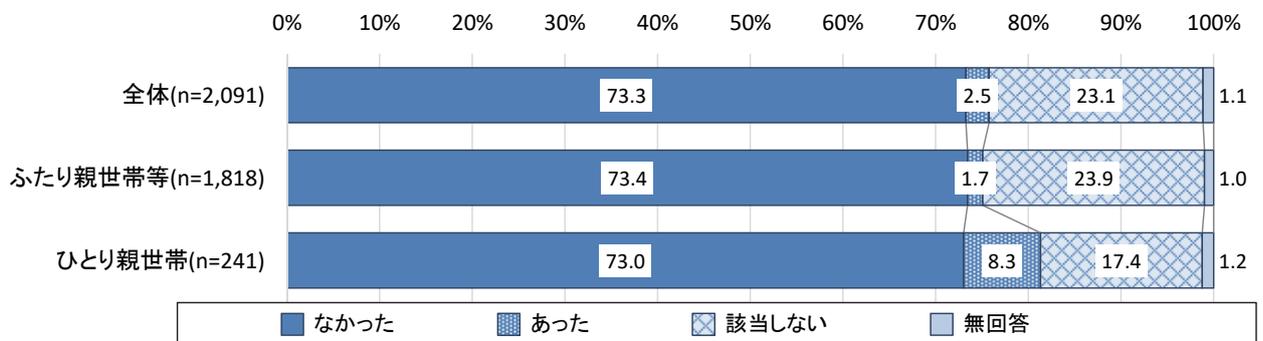
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## オ 水道料金の未払い経験

過去1年間に、経済的な理由で「水道料金の未払い」を経験したことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.1%、所得区分別にみたところ、所得区分1では9.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.1%、所得区分1では9.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

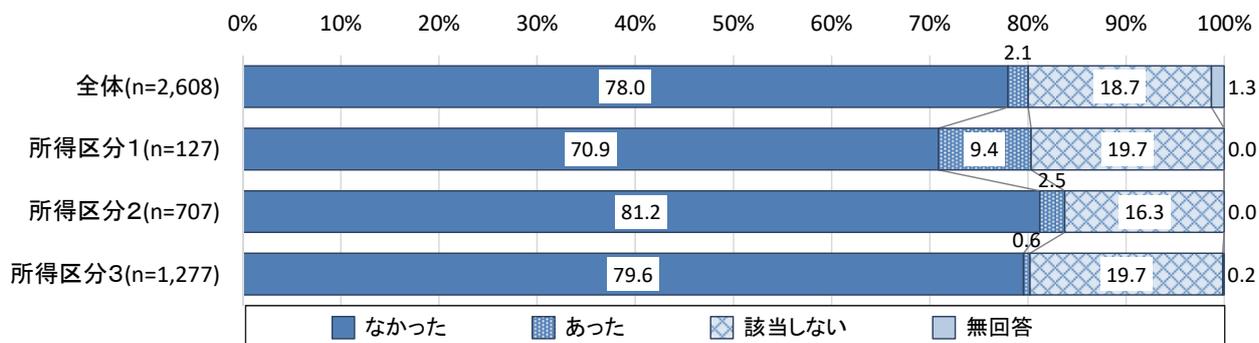
中学2年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.9%、所得区分1では10.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 34】 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。

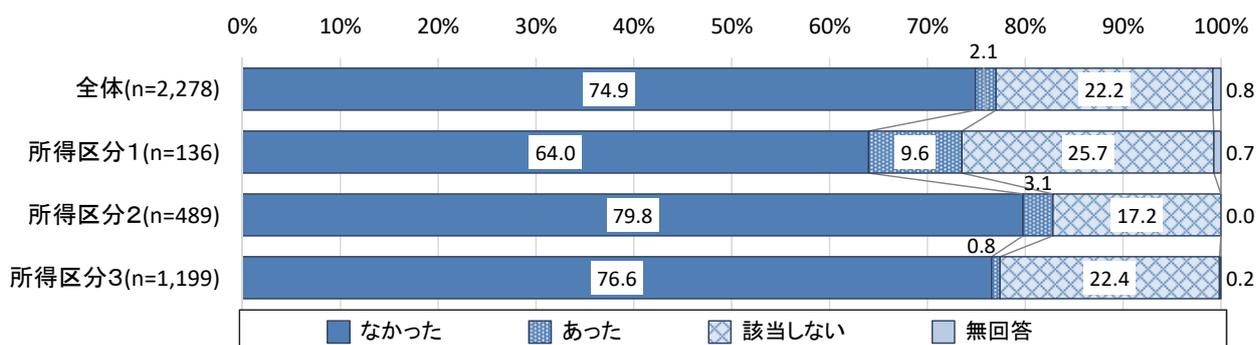
(E 水道料金の未払い)

図表 2-6-16 水道料金の未払い経験（所得区分別）

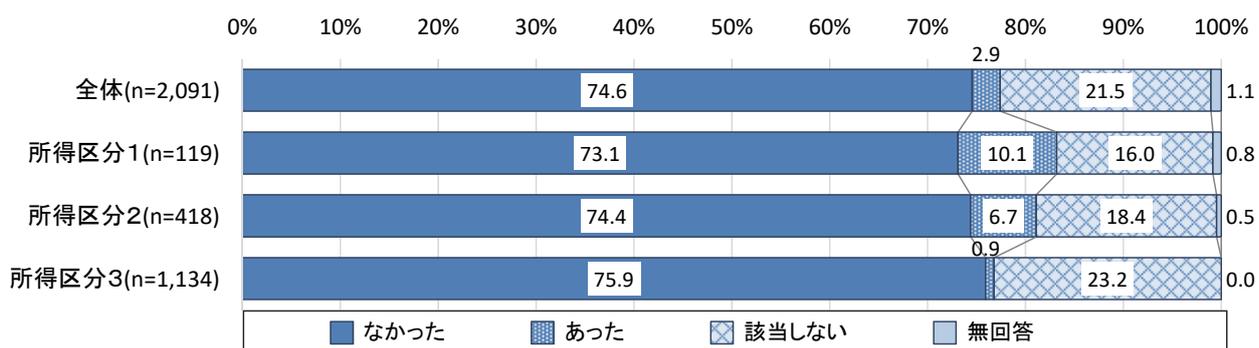
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



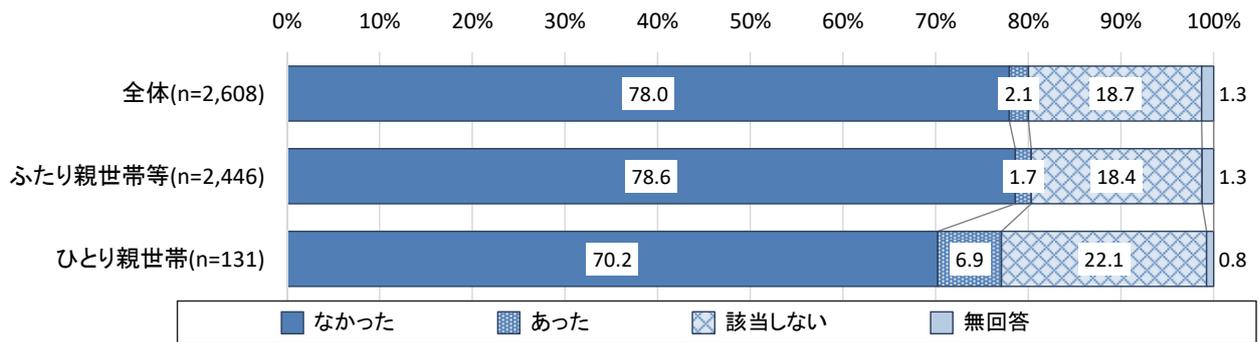
世帯類型別にみたところ、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は6.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は5.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

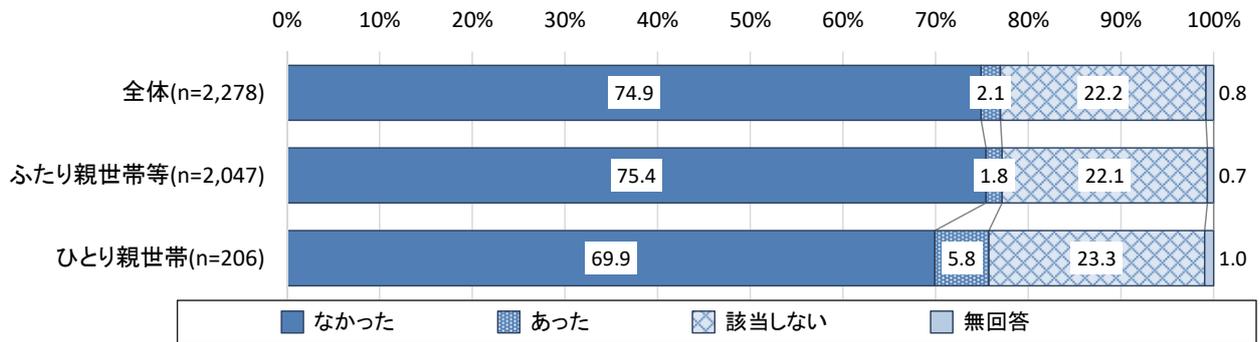
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「あった」の回答割合は10.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-6-17 水道料金の未払い経験（世帯類型別）

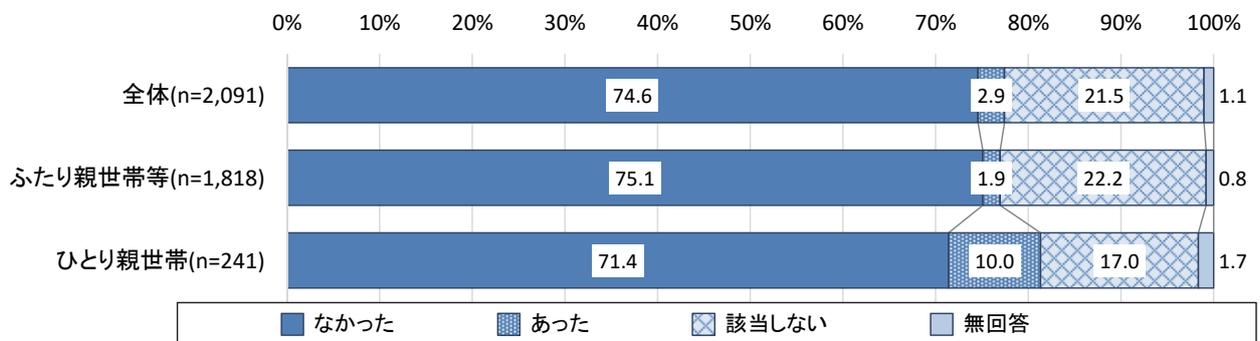
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## カ 電話料金の未払い経験

過去1年間に、経済的な理由で「電話料金の未払い」を経験したことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.6%、所得区分別にみたところ、所得区分1では7.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では1.6%、所得区分1では7.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

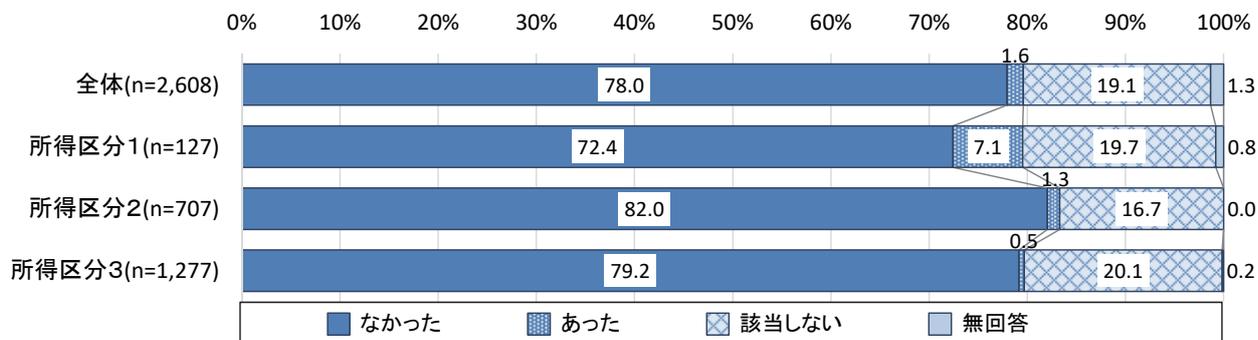
中学2年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.3%、所得区分1では10.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 34】 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。

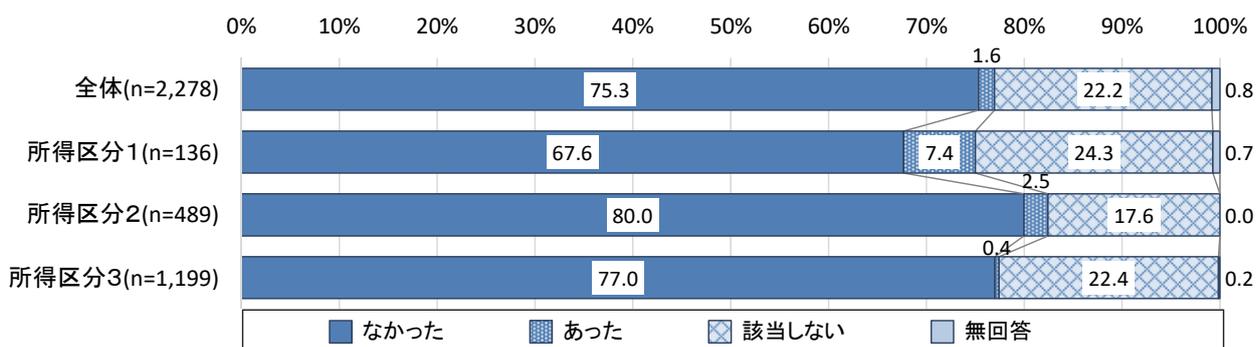
(F 電話料金の未払い)

図表 2-6-18 電話料金の未払い経験（所得区分別）

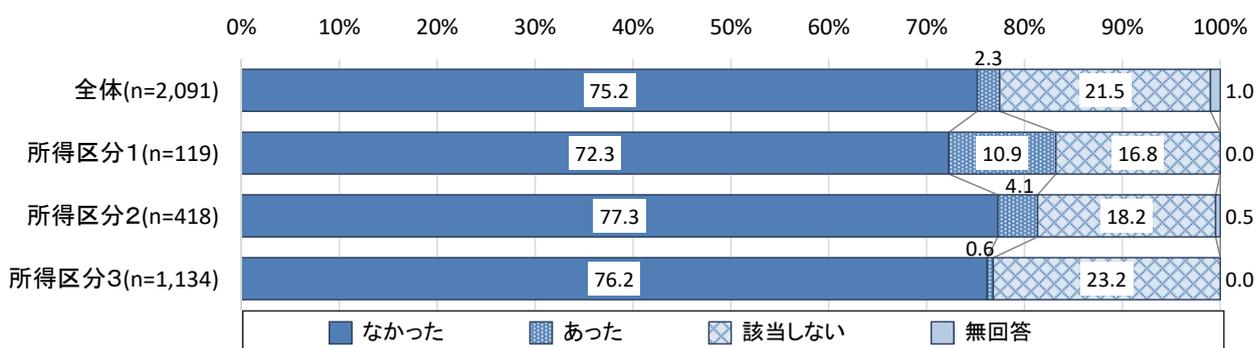
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## キ その他の債務不履行の経験

過去1年間に、経済的な理由で「その他の債務不履行」を経験したことがあったかを尋ねた設問について、5歳児の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.8%、所得区分別にみたところ、所得区分1では15.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.9%、所得区分1では12.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

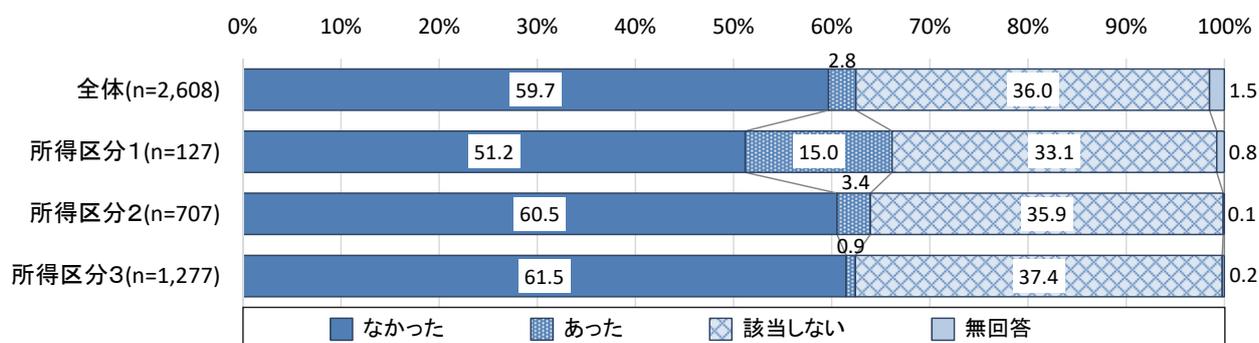
中学2年生の保護者に関して、「あった」の回答割合は全体では2.9%、所得区分1では10.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

【保護者票問 34】 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。

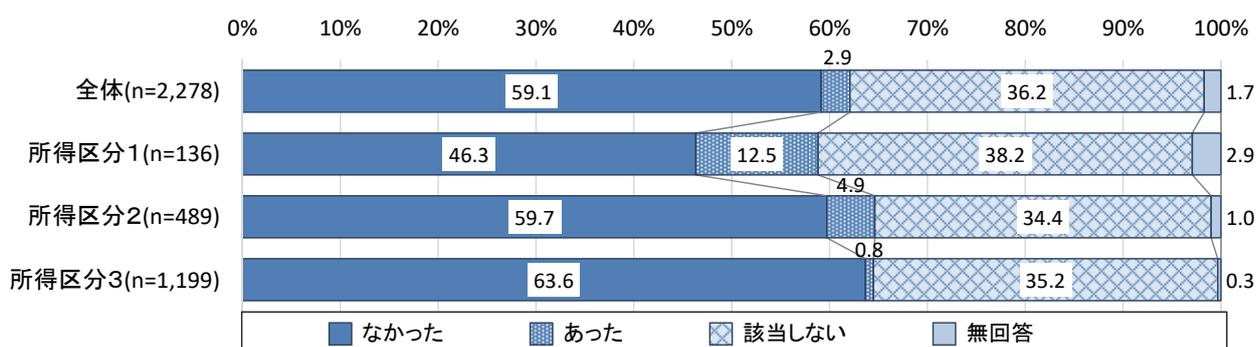
(G その他の債務不履行)

図表 2-6-19 その他の債務不履行の経験 (所得区分別)

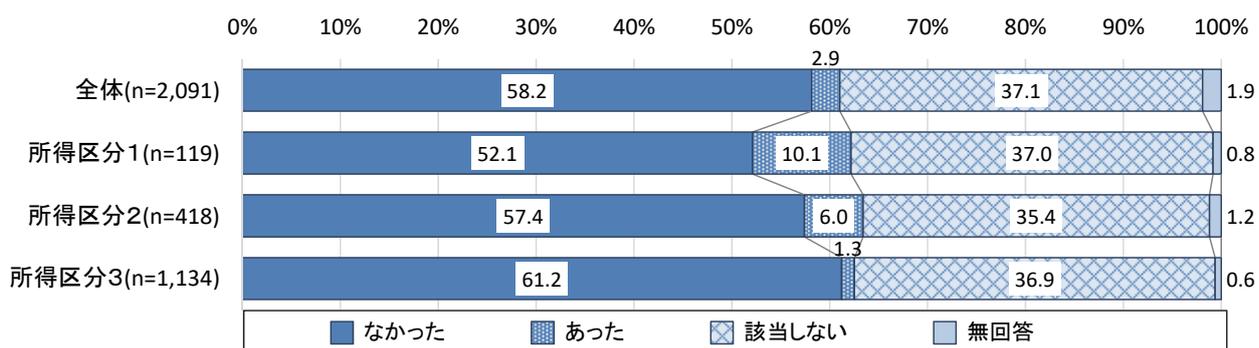
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (8) 世帯の年間収入

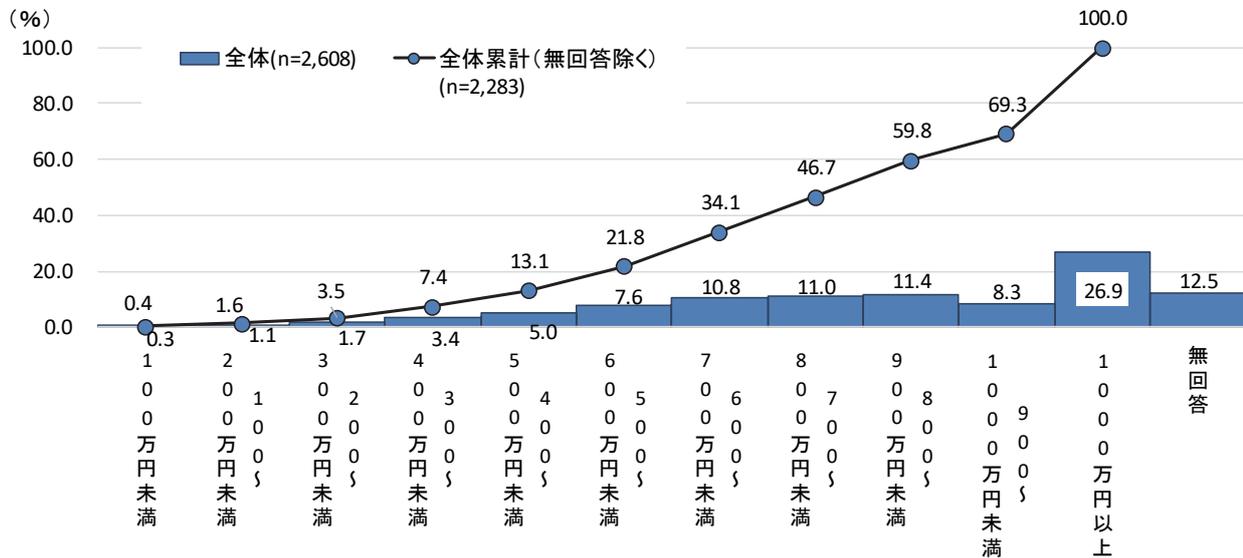
世帯全体の、昨年1年間（2019年1月1日～12月31日の期間）のおおよその税込み年間収入を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「1000万円以上」の回答割合が26.9%、「800～900万円未満」の回答割合が11.4%となっている。

小学5年生の保護者全体では、「1000万円以上」の回答割合が31.8%、「800～900万円未満」の回答割合が10.2%となっている。

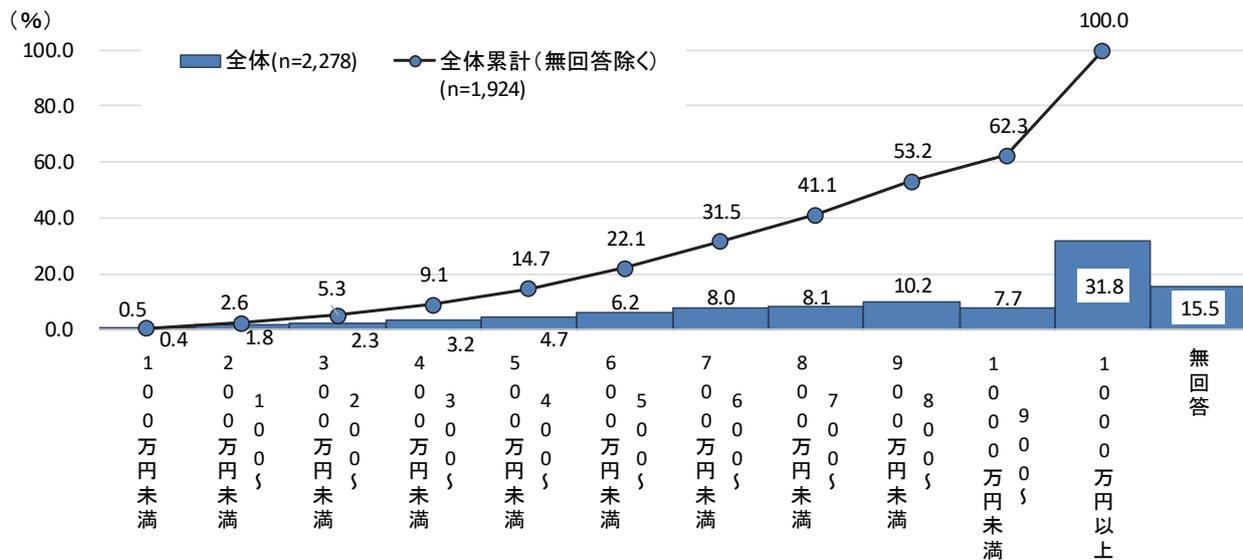
中学2年生の保護者全体では、「1000万円以上」の回答割合が34.0%、「800～900万円未満」の回答割合が8.3%となっている。

【保護者票問 35】 あなたの世帯全体の、昨年1年間（2019年1月1日～12月31日の期間）のおおよその税込み年間収入はいくらですか。

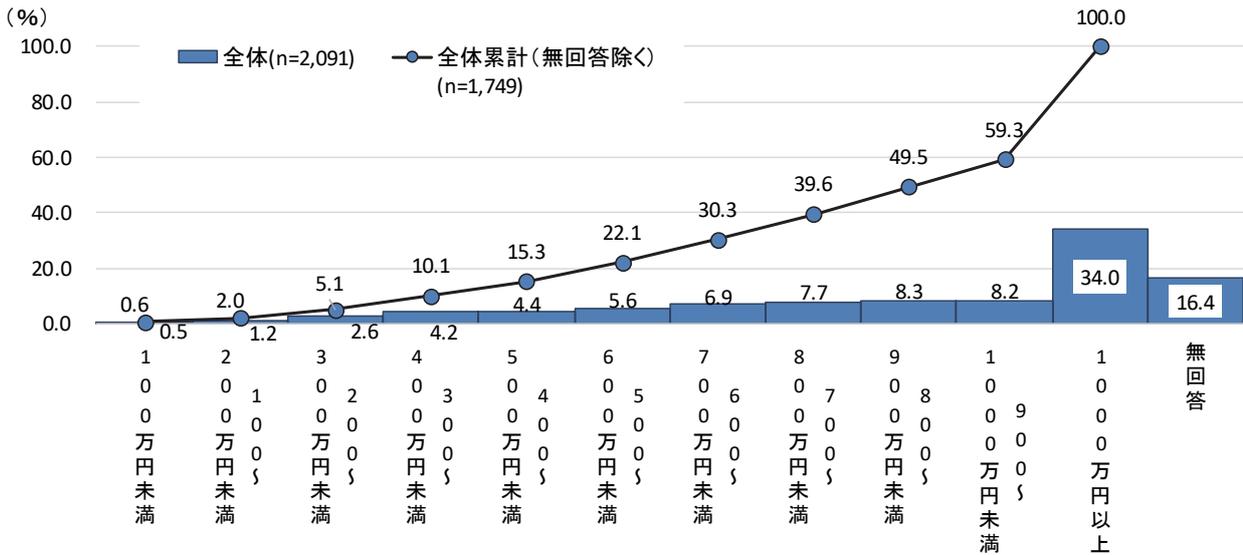
図表 2-7-1 世帯の年間収入  
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



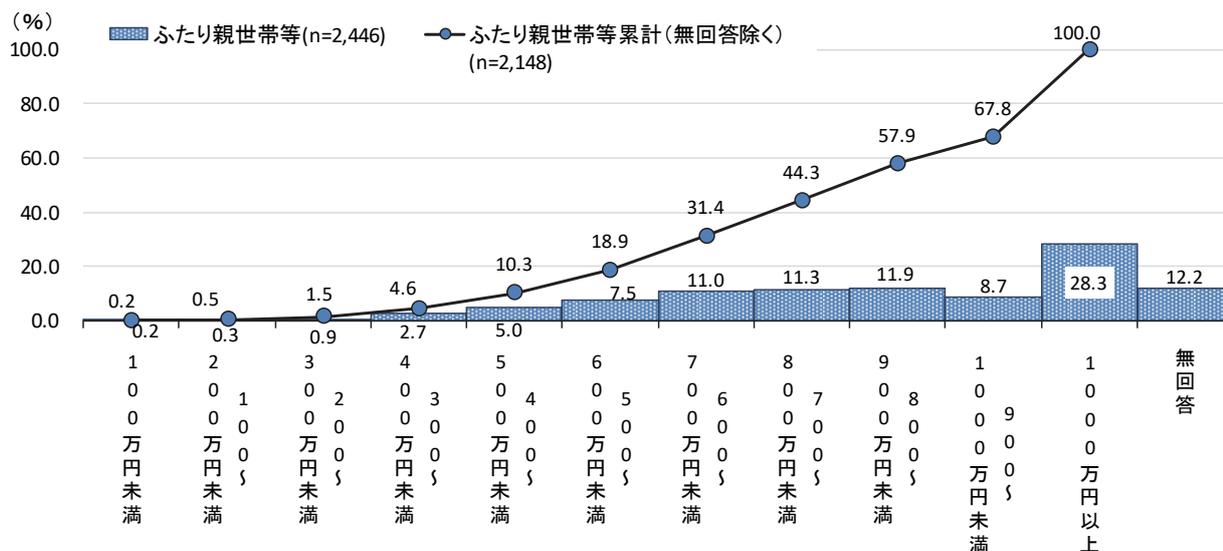
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「200～300万円未満」の回答割合が17.6%、「300～400万円未満」の回答割合が16.8%、「100～200万円未満」の回答割合が15.3%となっている。400万円未満までの回答の累積割合（無回答除く）をみると、全体では7.4%、ひとり親世帯では61.1%となっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「200～300万円未満」の回答割合が20.4%、「100～200万円未満」の回答割合が15.0%、「300～400万円未満」の回答割合が14.6%となっている。400万円未満までの回答の累積割合（無回答除く）をみると、全体では9.1%、ひとり親世帯では63.0%となっている。

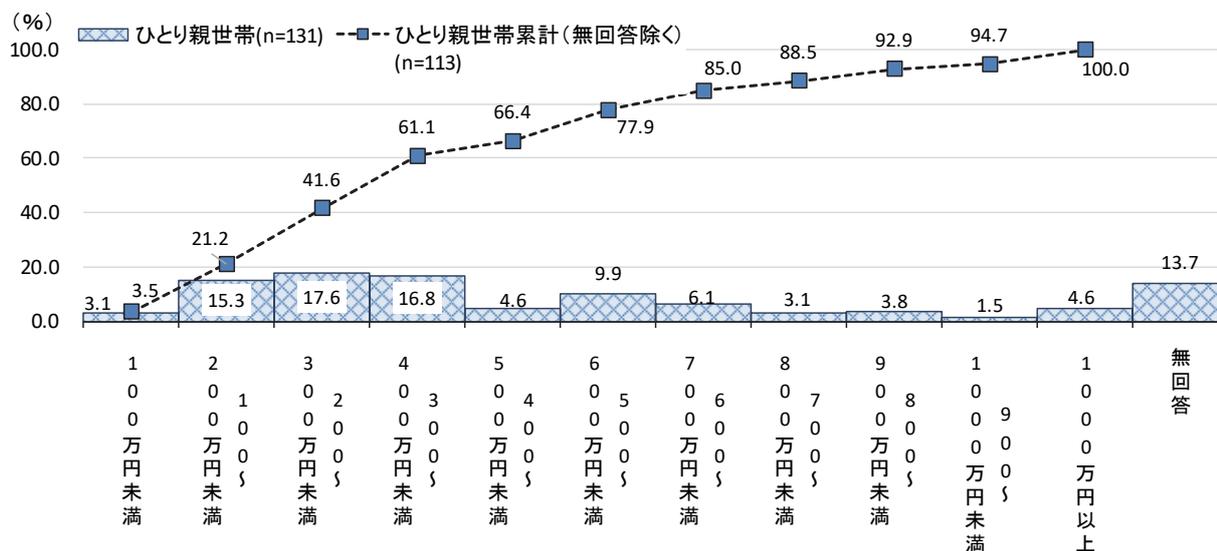
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「300～400万円未満」の回答割合が21.6%、「200～300万円未満」の回答割合が15.4%、「400～500万円未満」の回答割合が10.4%となっている。400万円未満までの回答の累積割合（無回答除く）をみると、全体では10.1%、ひとり親世帯では56.7%となっている。

図表 2-7-2 世帯の年間収入（世帯類型別）

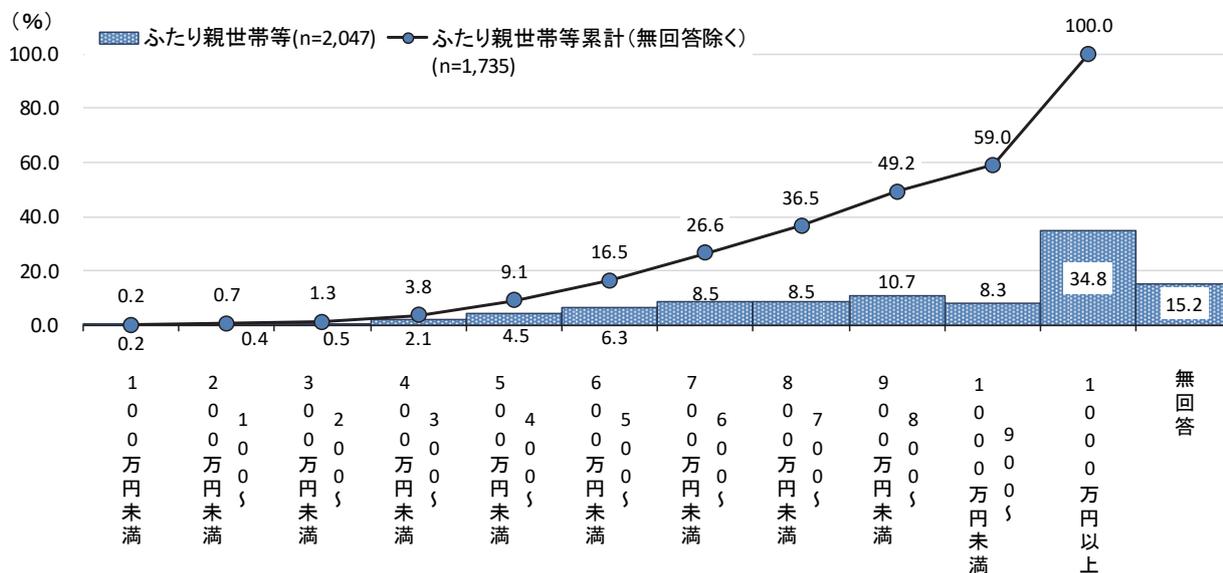
【5歳児保護者・ふたり親世帯等】



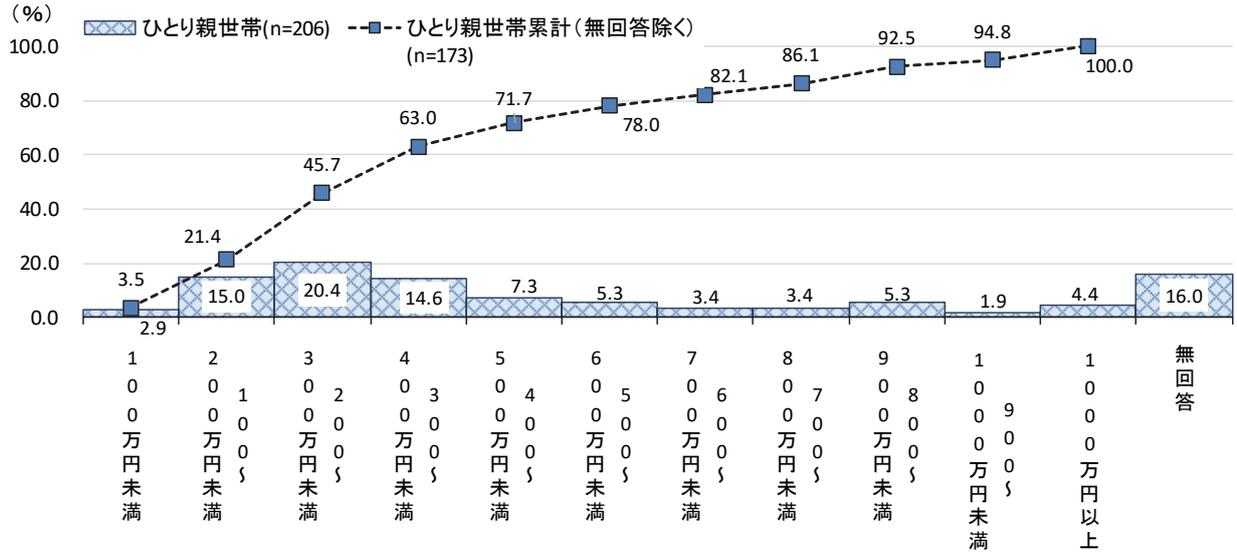
【5歳児保護者・ひとり親世帯】



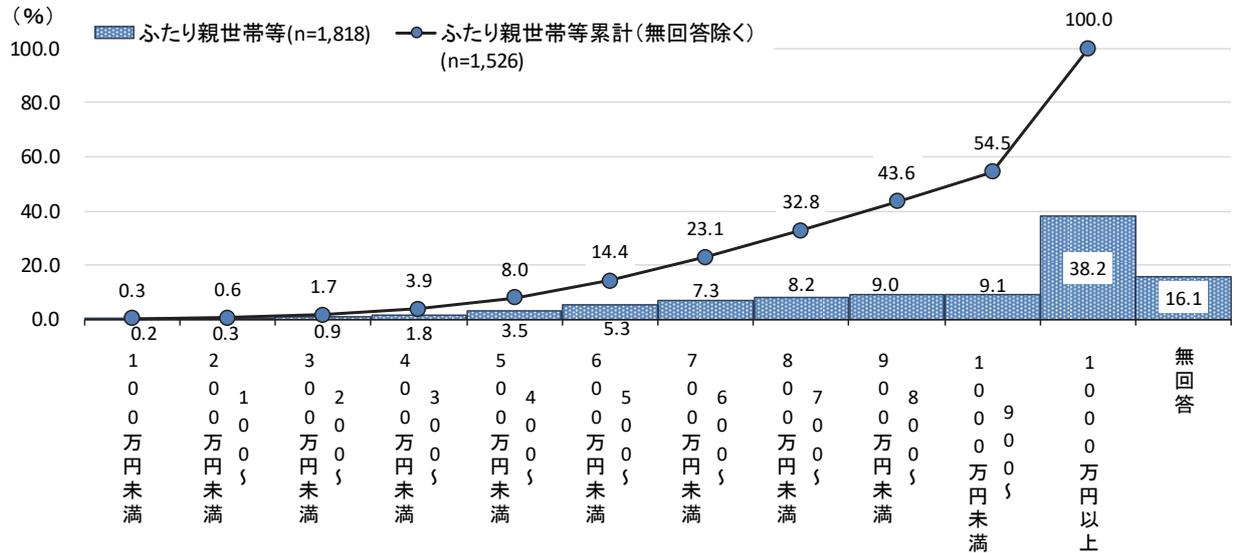
【小学5年生保護者・ふたり親世帯等】



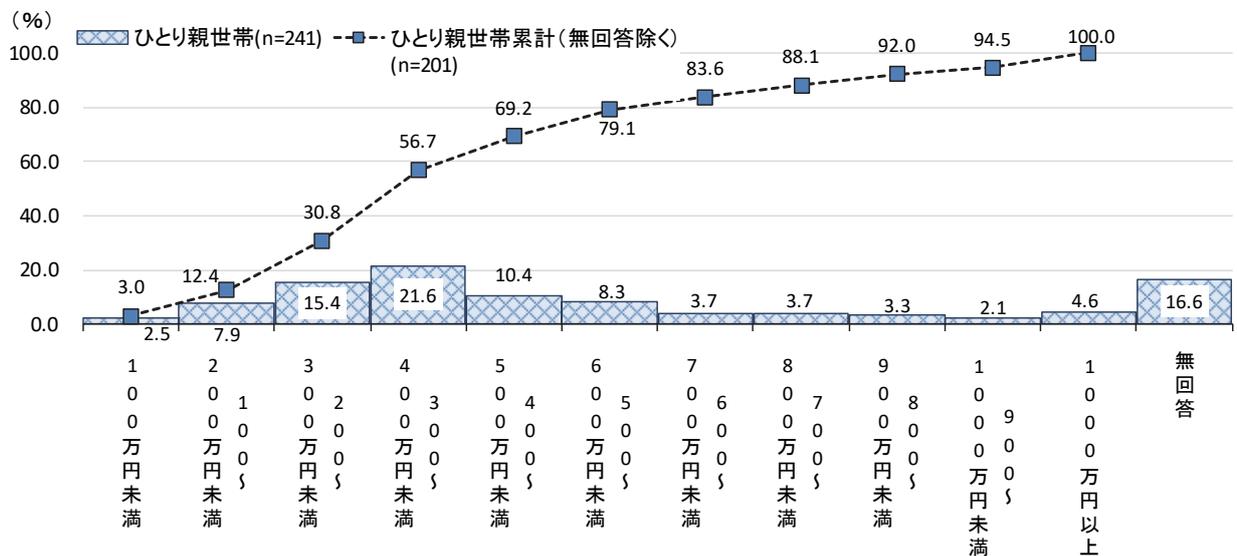
【小学5年生保護者・ひとり親世帯】



【中学2年生保護者・ふたり親世帯等】



【中学2年生保護者・ひとり親世帯】



## 7 相談相手や悩みごと、公的支援について

### (1) 各種制度の利用状況

現在の各種制度の利用状況を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「いずれも該当しない」の回答割合が86.8%と最も高く、次いで「児童扶養手当」の回答割合が5.1%、「就学援助」の回答割合が5.0%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「いずれも該当しない」の回答割合が48.8%と全体と比べて低くなっており、「就学援助」の回答割合が29.9%、「児童扶養手当」の回答割合が28.3%と全体と比べて高くなっている。

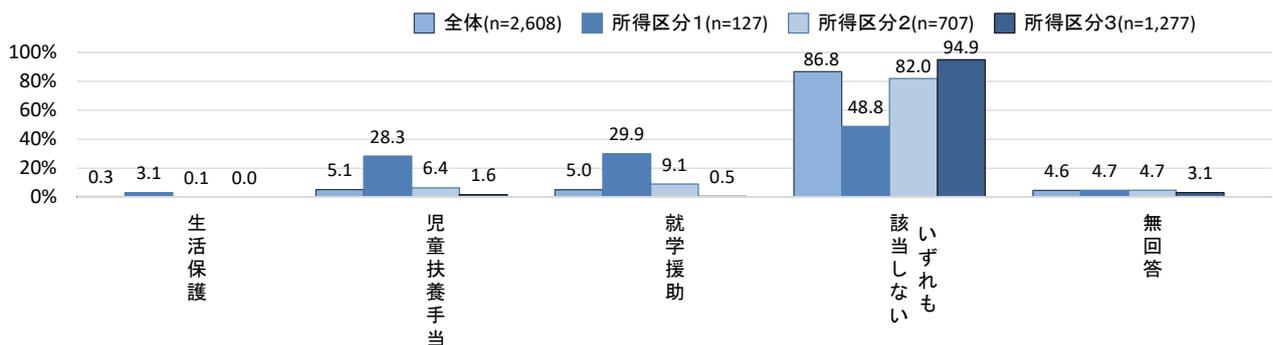
小学5年生の保護者全体では、「いずれも該当しない」の回答割合が84.2%と最も高く、次いで「児童扶養手当」の回答割合が7.8%、「就学援助」の回答割合が7.3%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「いずれも該当しない」の回答割合が35.3%と全体と比べて低くなっており、「就学援助」の回答割合が45.6%、「児童扶養手当」の回答割合が41.2%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「いずれも該当しない」の回答割合が83.3%と最も高く、次いで「児童扶養手当」の回答割合が8.3%、「就学援助」の回答割合が7.5%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「いずれも該当しない」の回答割合が44.5%と全体と比べて低くなっており、「児童扶養手当」の回答割合が36.1%、「就学援助」の回答割合が32.8%と全体と比べて高くなっている。

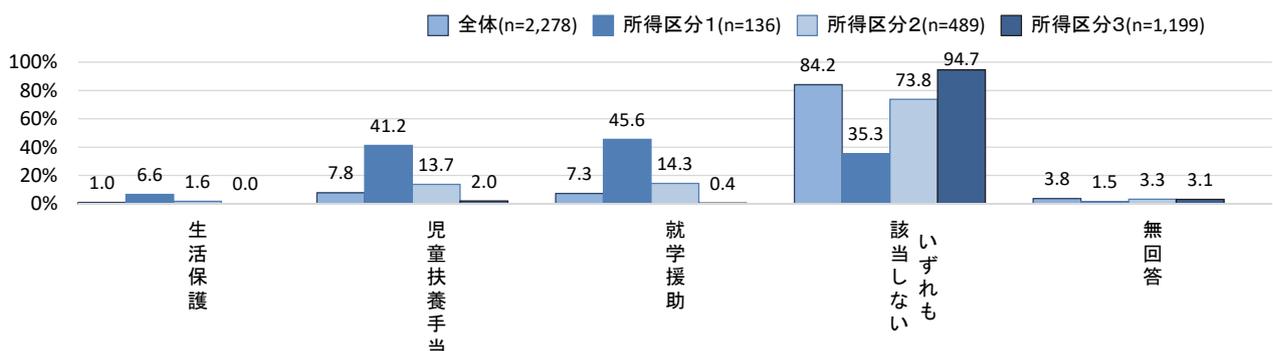
【保護者票問 37】 あなたの世帯では、現在次のような制度を利用していますか。

図表 2-8-1 各種制度の利用状況（所得区分別）

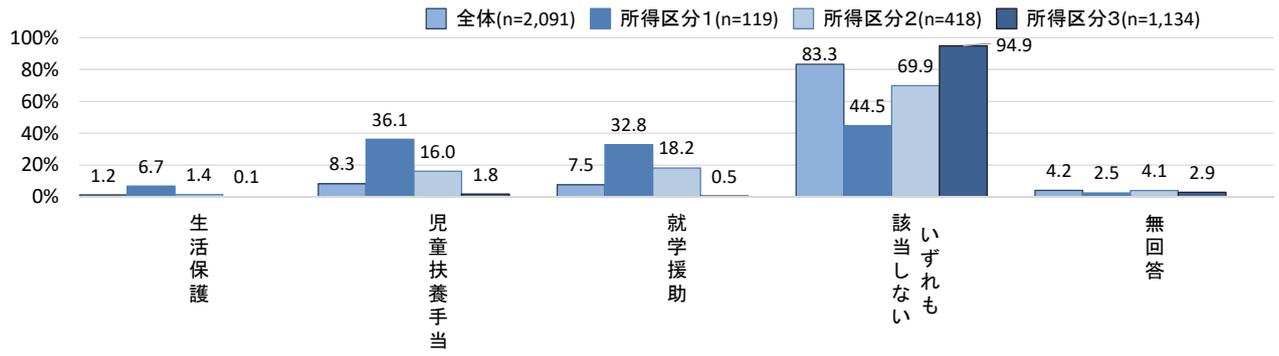
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (2) 相談相手について

### ア 相談相手の有無

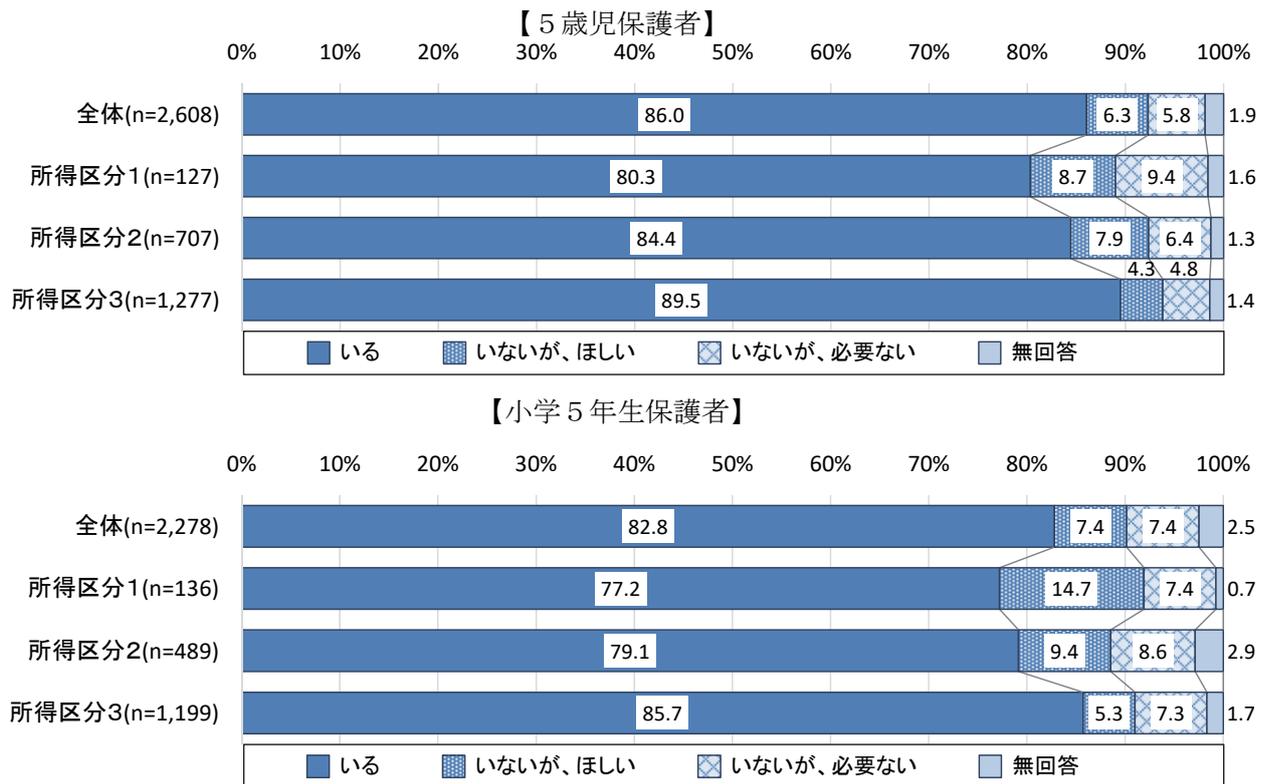
現在心おきなく相談できる相手がいるかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「いないが、ほしい」の回答割合が6.3%、「いないが、必要ない」の回答割合が5.8%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「いないが、ほしい」の回答割合が8.7%、「いないが、必要ない」の回答割合が9.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者全体では、「いないが、ほしい」「いないが、必要ない」の回答割合がそれぞれ7.4%となっている。所得区分1では、「いないが、ほしい」の回答割合が14.7%となっており、全体と比べて低くなっている。

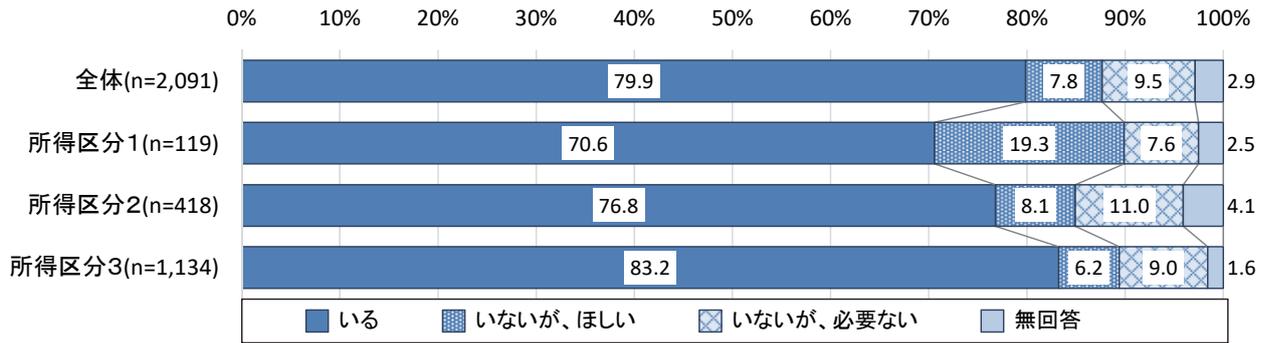
中学2年生の保護者全体では、「いないが、必要ない」の回答割合が9.5%、「いないが、ほしい」の回答割合が7.8%となっている。所得区分1では、「いないが、ほしい」の回答割合が19.3%となっており、全体と比べて低くなっている。

【保護者票問38】 あなたには、現在心おきなく相談できる相手がありますか。

図表 2-8-2 相談相手の有無（所得区分別）



【中学2年生保護者】



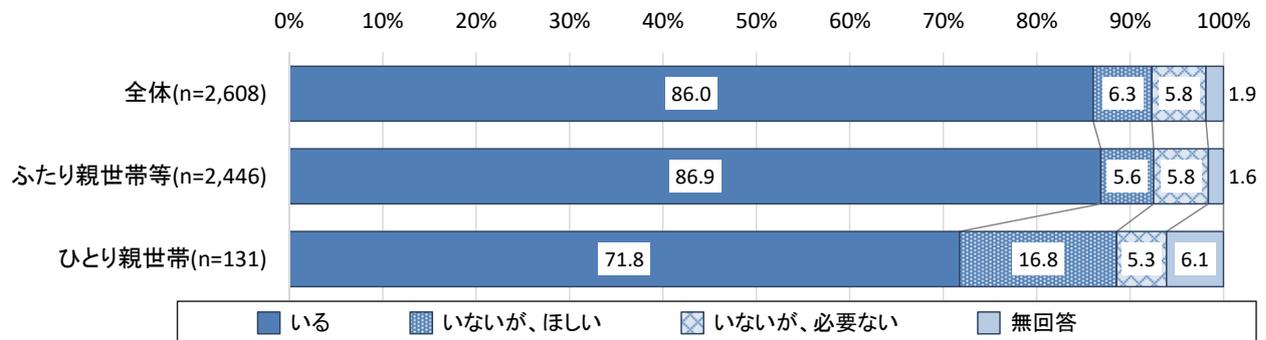
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「いないが、ほしい」の回答割合が16.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「いないが、ほしい」の回答割合が13.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

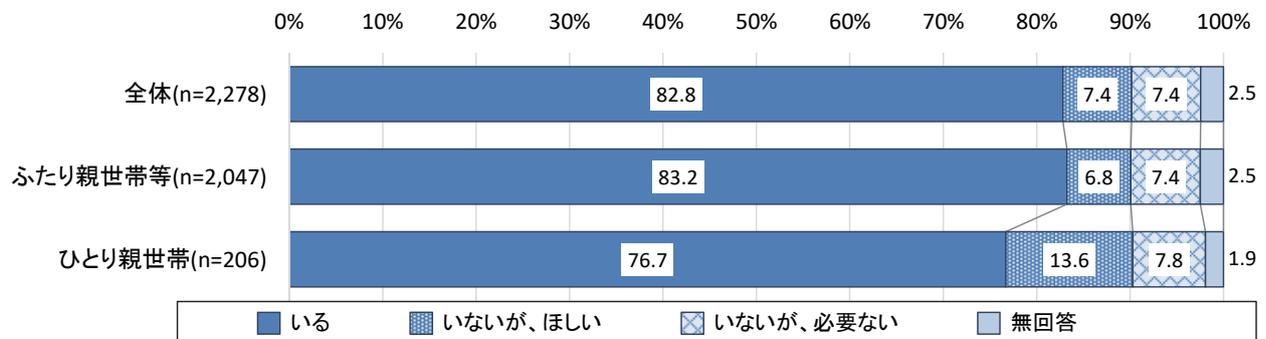
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「いないが、ほしい」の回答割合が14.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-8-3 相談相手の有無（世帯類型別）

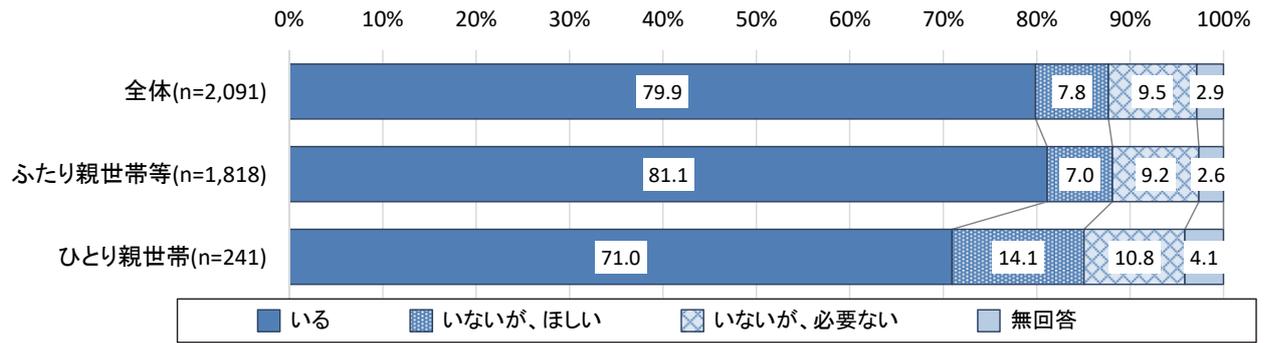
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## イ 実際の相談相手

相談相手が「いる」場合に、その相談相手は誰かを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「配偶者」の回答割合が80.7%と最も高く、次いで「親・親族」の回答割合が74.8%、「友人・知人」の回答割合が60.6%となっている。所得区別にみたところ、所得区分1では、「配偶者」の回答割合が57.8%と全体と比べて低くなっている。

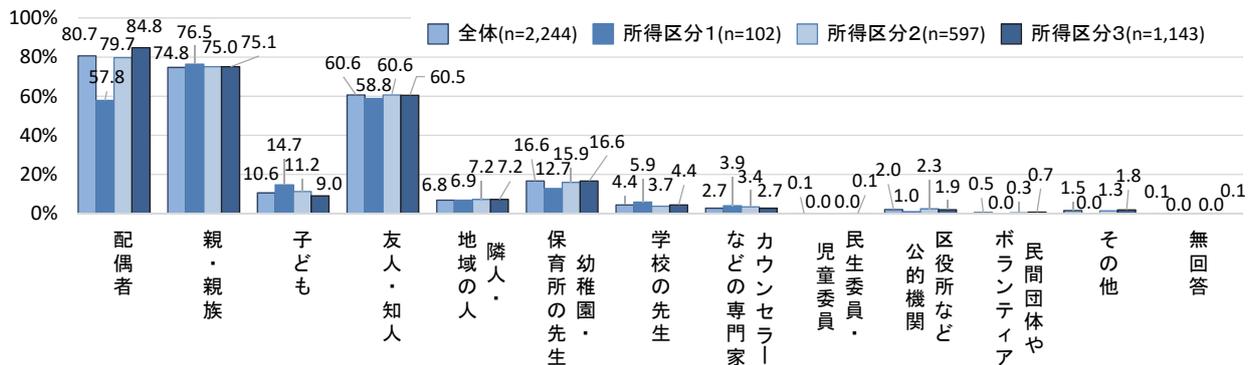
小学5年生の保護者全体では、「配偶者」の回答割合が73.9%と最も高く、次いで「親・親族」の回答割合が68.7%、「友人・知人」の回答割合が59.4%となっている。所得区分1では、「配偶者」の回答割合が35.2%と全体と比べて低くなっており、「区役所など公的機関」の回答割合が5.7%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「配偶者」の回答割合が69.4%と最も高く、次いで「親・親族」の回答割合が65.6%、「友人・知人」の回答割合が60.1%となっている。所得区分1では、「配偶者」の回答割合が38.1%と全体と比べて低くなっており、「区役所など公的機関」の回答割合が6.0%、「民間団体やボランティア」の回答割合が3.6%と全体と比べて高くなっている。

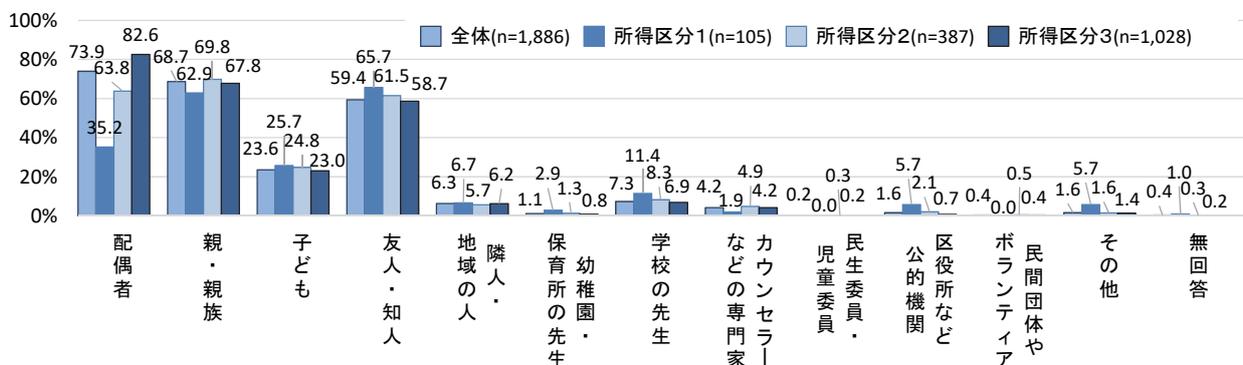
【保護者票問 38-1】 その相談相手は誰ですか。

図表 2-8-4 実際の相談相手（所得区分別）

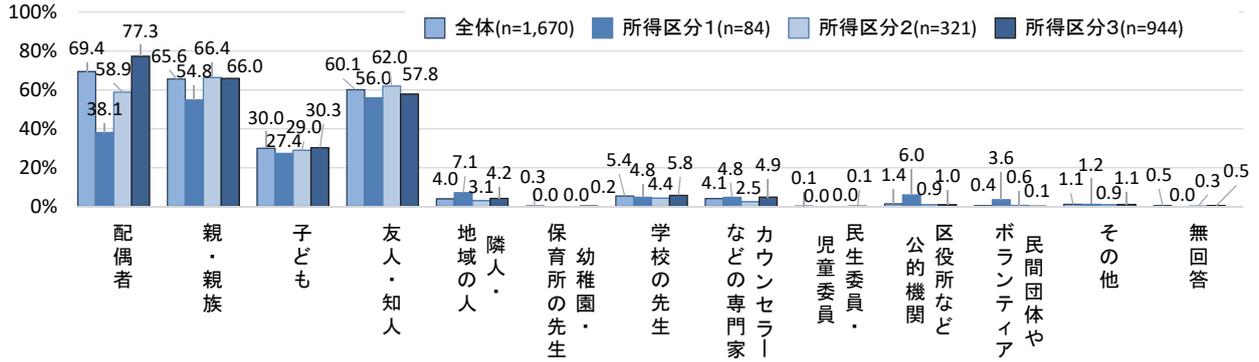
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



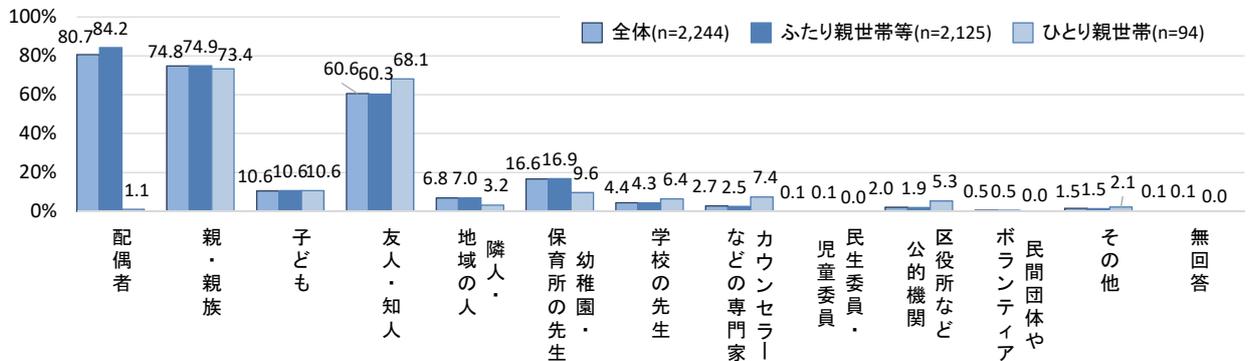
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「カウンセラーなどの専門家」の回答割合が7.4%、「区役所など公的機関」の回答割合が5.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「友人・知人」の回答割合が72.8%、「区役所など公的機関」の回答割合が3.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

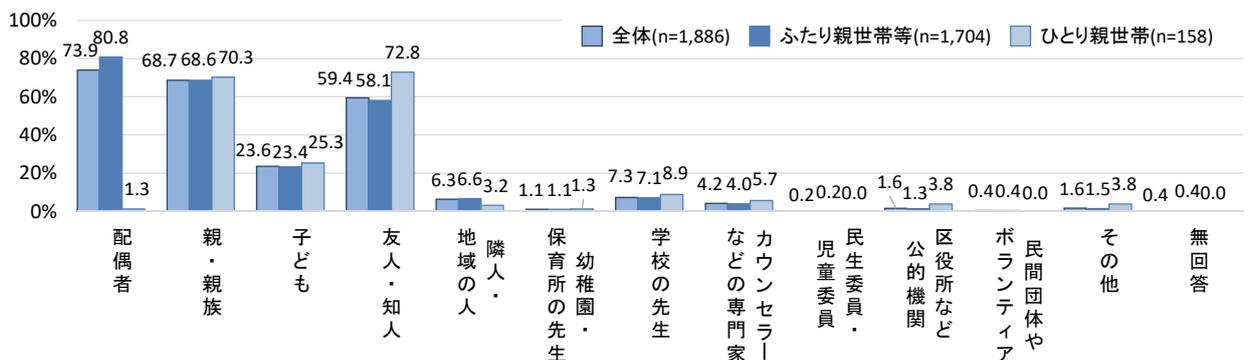
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「友人・知人」の回答割合が71.9%、「区役所など公的機関」の回答割合が4.7%、「民間団体やボランティア」の回答割合が1.8%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-8-5 実際の相談相手（世帯類型別）

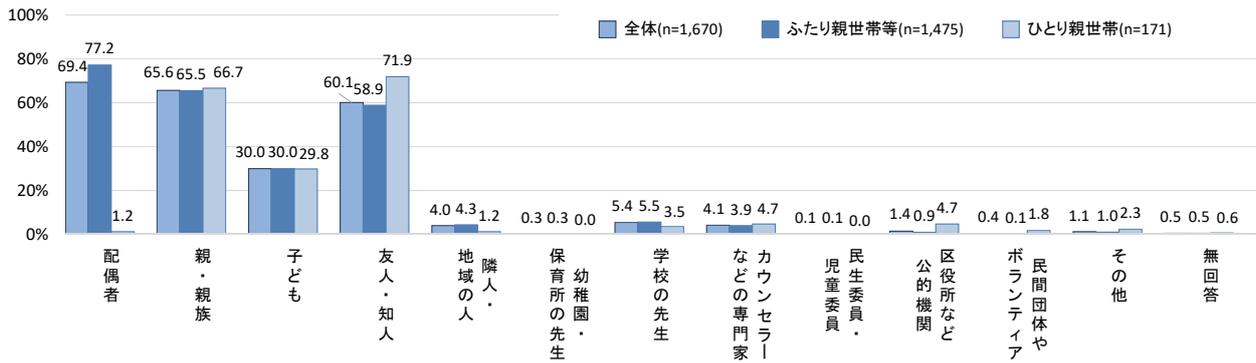
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



ウ 希望する相談相手

相談相手が「いないが、ほしい」場合に、どのような相手に相談したいと思うかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「カウンセラーなどの専門家」の回答割合が48.8%と最も高く、次いで「友人・知人」の回答割合が43.3%、「配偶者」の回答割合が28.0%となっている。所得区別にみたところ、所得区分1では、「友人・知人」「カウンセラーなどの専門家」の回答割合がそれぞれ45.5%と最も高く、次いで「区役所など公的機関」の回答割合が36.4%となっている。

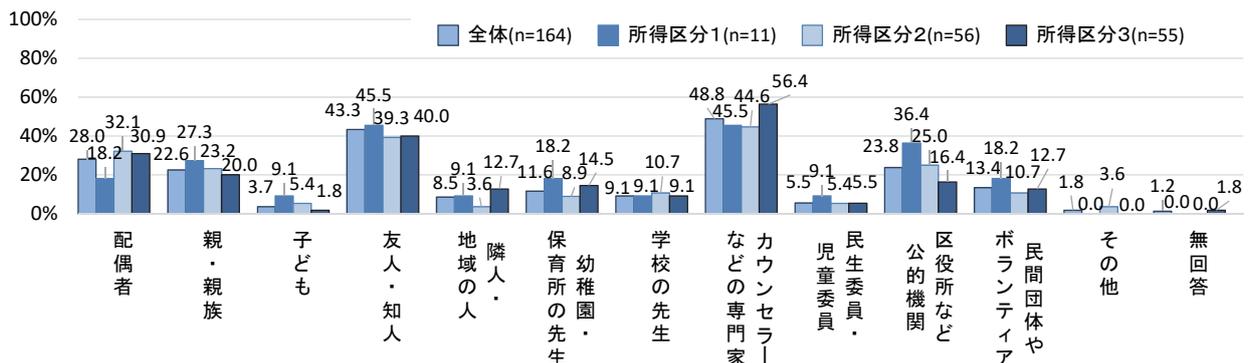
小学5年生の保護者全体では、「友人・知人」「カウンセラーなどの専門家」の回答割合がそれぞれ44.6%と最も高く、次いで「配偶者」の回答割合が23.2%となっている。所得区分1では、「友人・知人」の回答割合が55.0%と最も高く、次いで「カウンセラーなどの専門家」の回答割合が45.0%、「配偶者」の回答割合が20.0%となっている。

中学2年生の保護者全体では、「カウンセラーなどの専門家」の回答割合が49.7%と最も高く、次いで「友人・知人」の回答割合が38.0%、「配偶者」の回答割合が26.4%となっている。所得区分1では、「区役所など公的機関」の回答割合が34.8%と全体と比べて高くなっている。所得区分2では、「配偶者」の回答割合が14.7%と全体と比べて低くなっており、「カウンセラーなどの専門家」の回答割合が70.6%と全体と比べて高くなっている。

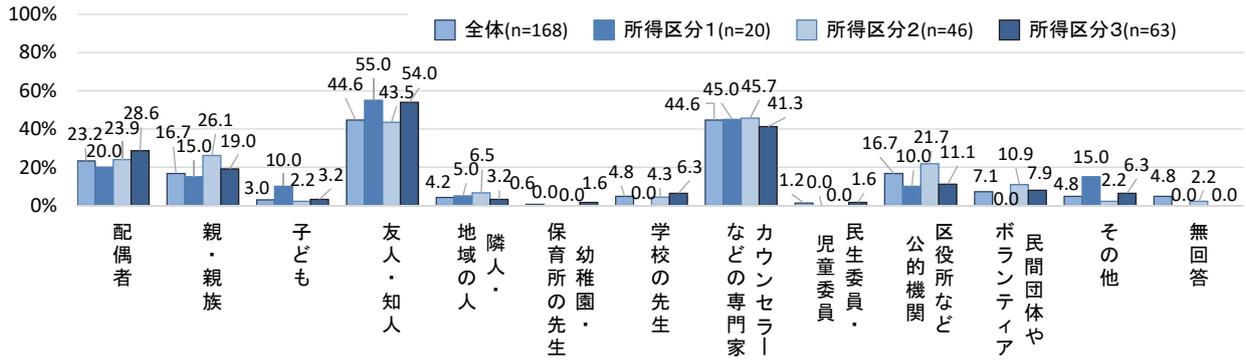
【保護者票問 38-2】 どのような相手に相談したいと思いますか。

図表 2-8-6 希望する相談相手（所得区分別）

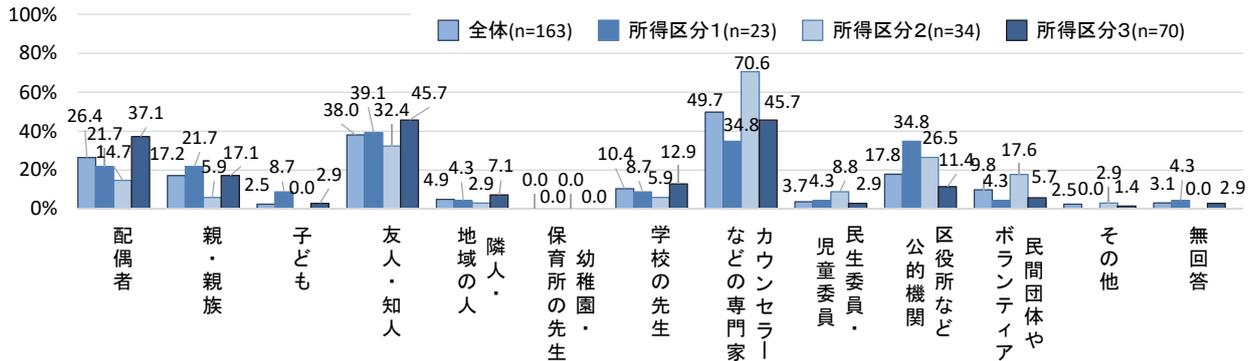
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】

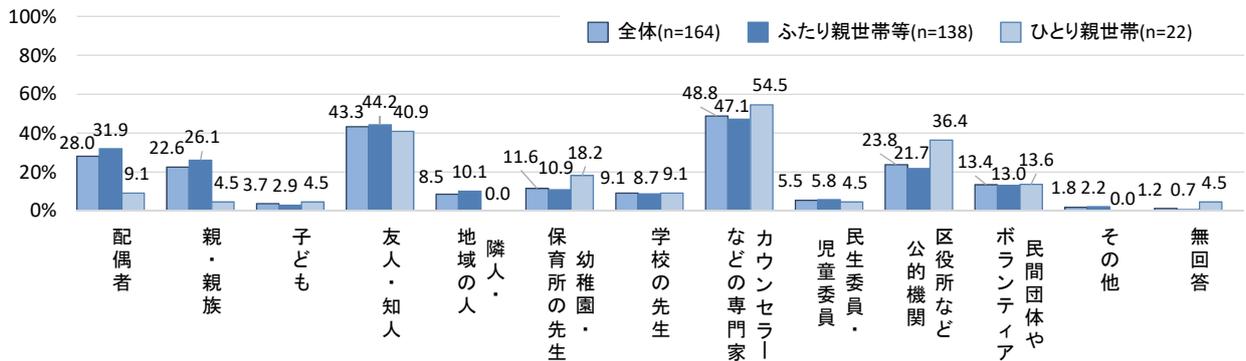


世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「親・親族」の回答割合が4.5%となっており、全体と比べて低くなっている。

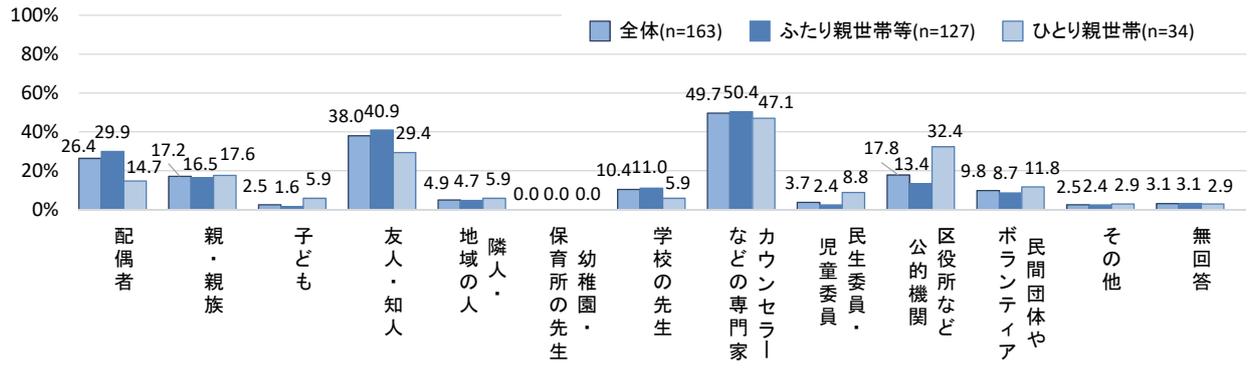
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「区役所など公的機関」の回答割合が32.4%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-8-7 希望する相談相手（世帯類型別）

【5歳児保護者】



【中学2年生保護者】



### (3) 子どもについての悩み

子どものことについての現在の悩みを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「特に悩みはない」の回答割合が32.4%と最も高く、次いで「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」の回答割合が30.1%、「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が24.0%となっている。所得区別にみたところ、所得区分1では、「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が45.7%、「子どもの進学や受験のことが心配である」の回答割合が22.0%と全体と比べて高くなっている。所得区分2では、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」の回答割合が34.7%と全体と比べて高くなっている。

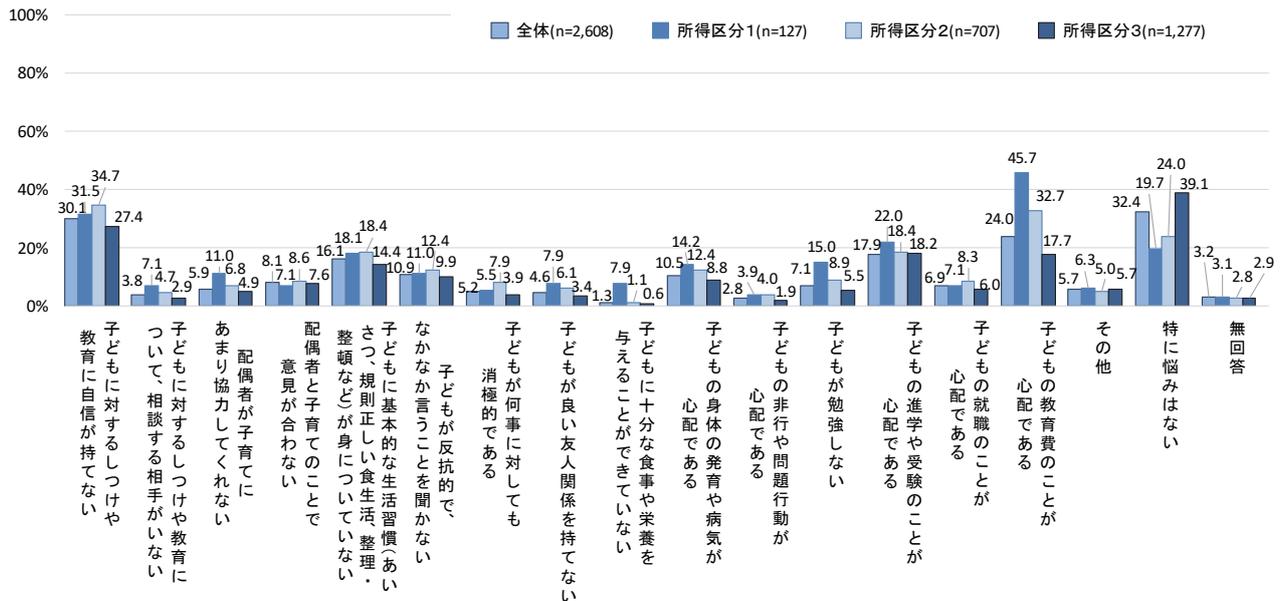
小学5年生の保護者全体では、「子どもの進学や受験のことが心配である」の回答割合が43.6%と最も高く、次いで「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が28.1%、「特に悩みはない」の回答割合が23.9%となっている。所得区分1では、「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が52.9%、「子どもが勉強しない」の回答割合が27.2%、「子どもの身体の発育や病気が心配である」の回答割合が16.9%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「子どもの進学や受験のことが心配である」の回答割合が55.6%と最も高く、次いで「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が29.9%、「特に悩みはない」の回答割合が21.6%となっている。所得区分1では、「子どもの進学や受験のことが心配である」の回答割合が65.5%、「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が51.3%、「子どもが勉強しない」の回答割合が26.1%と全体と比べて高くなっている。

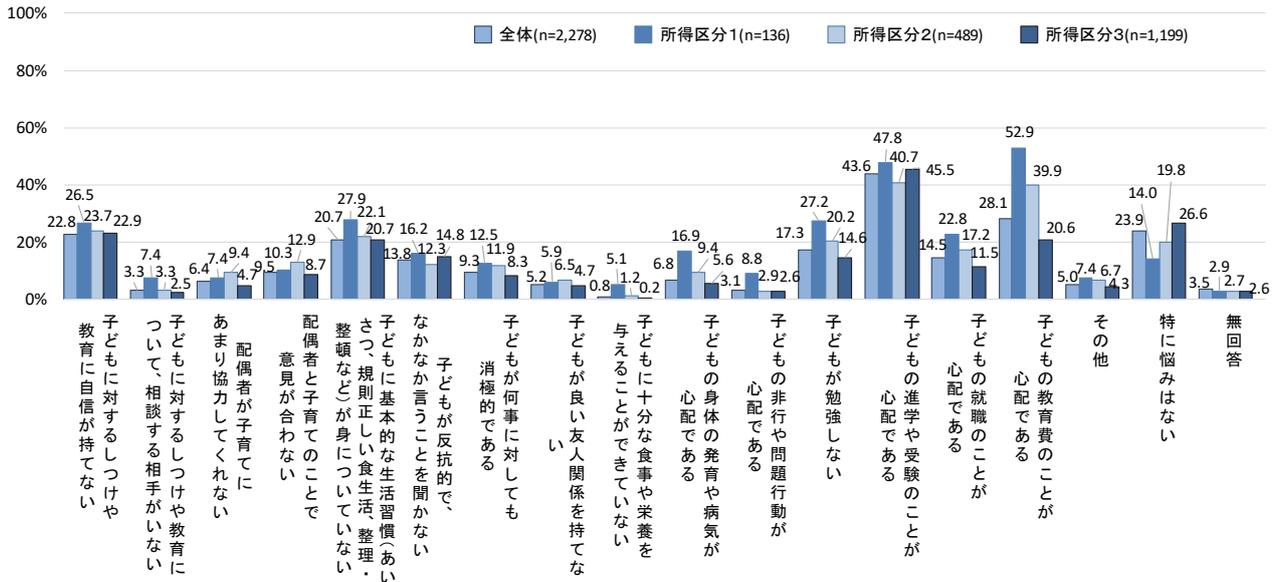
【保護者票問 39】子どものことについて、現在悩んでいることはありますか。

図表 2-8-8 子どもについての悩み（所得区分別）

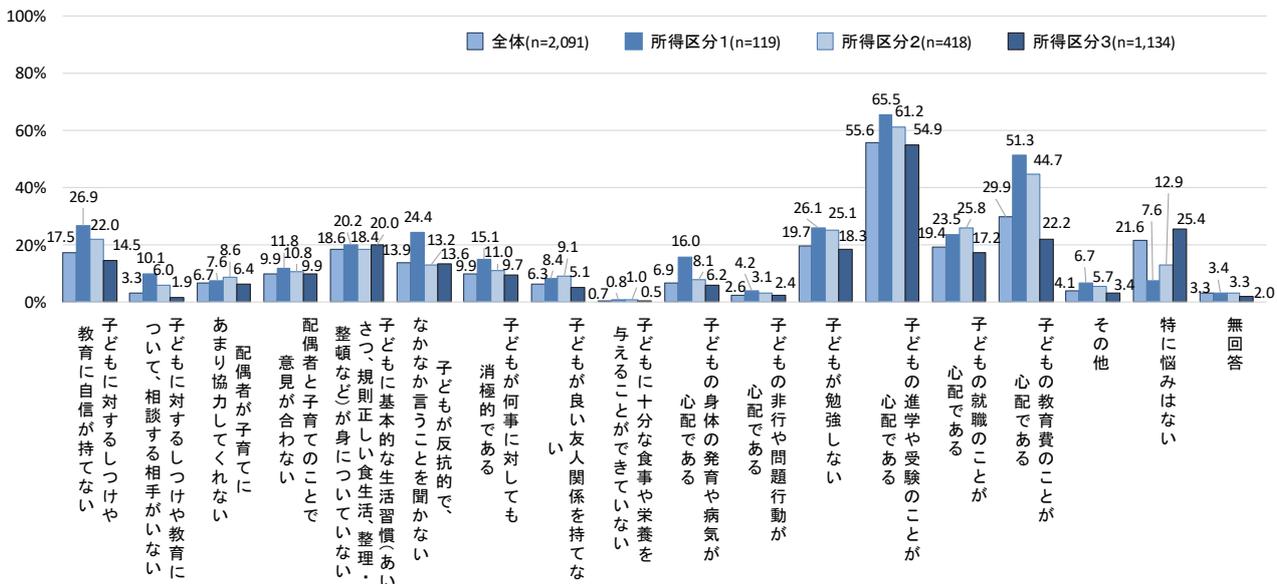
【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



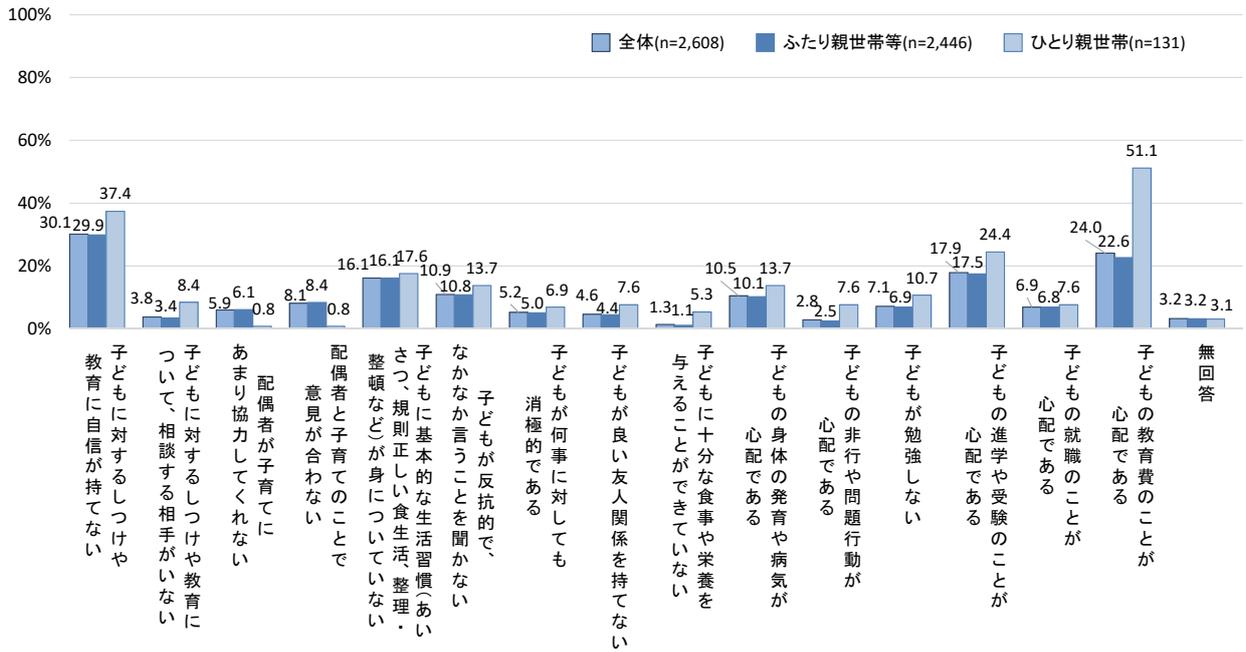
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が51.1%、「子どもの進学や受験のことが心配である」の回答割合が24.4%、「子どもの非行や問題行動が心配である」の回答割合が7.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が46.1%、「子どもが勉強しない」の回答割合が24.8%、「子どもの就職のことが心配である」の回答割合が20.9%となっており、全体と比べて高くなっている。

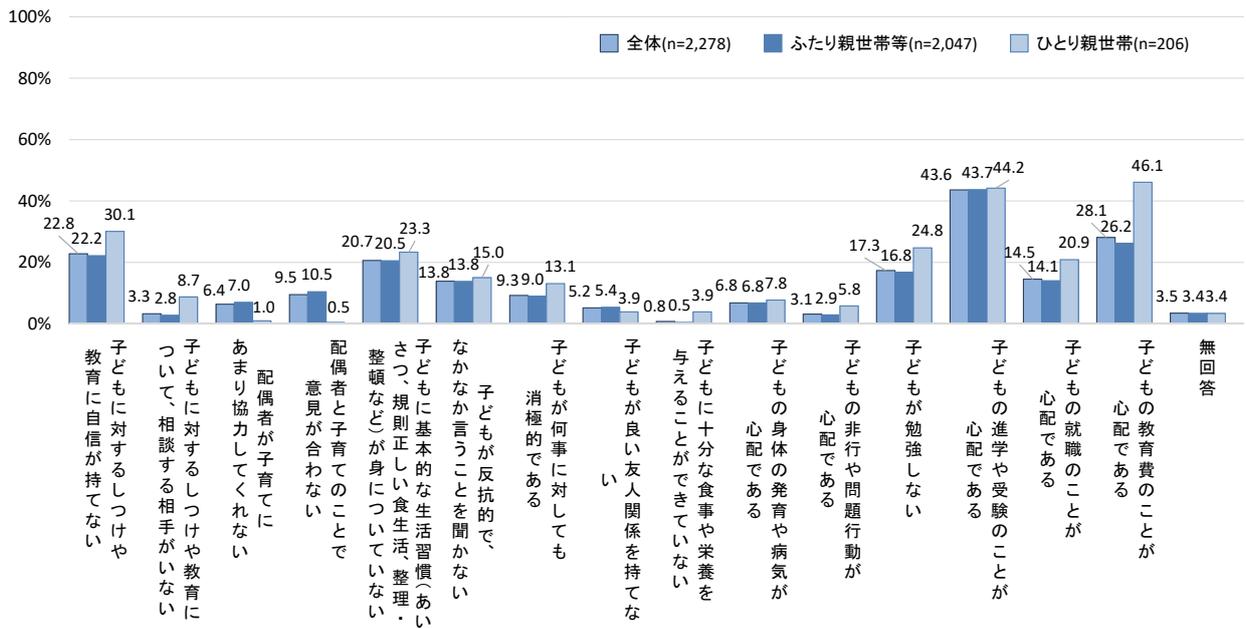
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「子どもの進学や受験のことが心配である」の回答割合が64.7%、「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が51.5%、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」の回答割合が26.1%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-8-9 子どもについての悩み（世帯類型別）

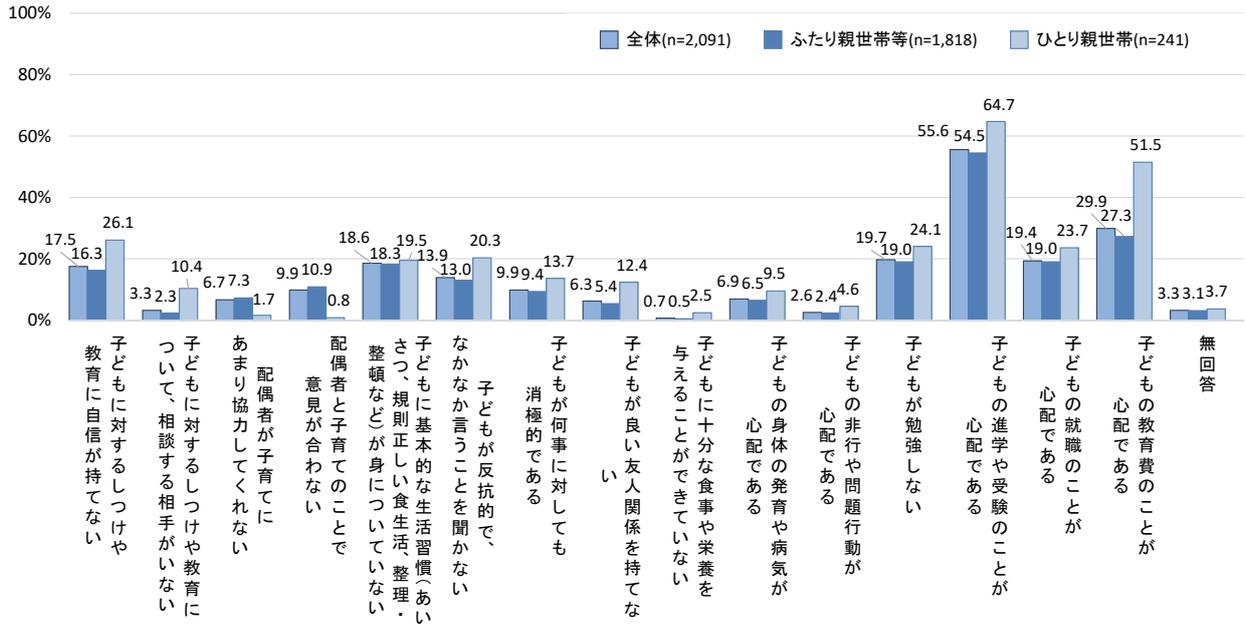
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



## 【中学2年生保護者】



#### (4) 支援ニーズ

宛名のお子さんにとって、現在、または将来的に、あるとよいと思う支援を尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」の回答割合が51.3%と最も高く、次いで「仲間と出会え、一緒に活動できる場所」の回答割合が42.5%、「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」の回答割合が42.3%となっている。所得区分別にみたところ、所得区分1では、「生活や就学のための経済的補助」の回答割合が59.8%、「読み書き計算などの基礎的な学習への支援」の回答割合が40.2%と全体と比べて高くなっており、「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」の回答割合が44.1%、「仲間と出会え、一緒に活動できる場所」の回答割合が35.4%と全体と比べて低くなっている。

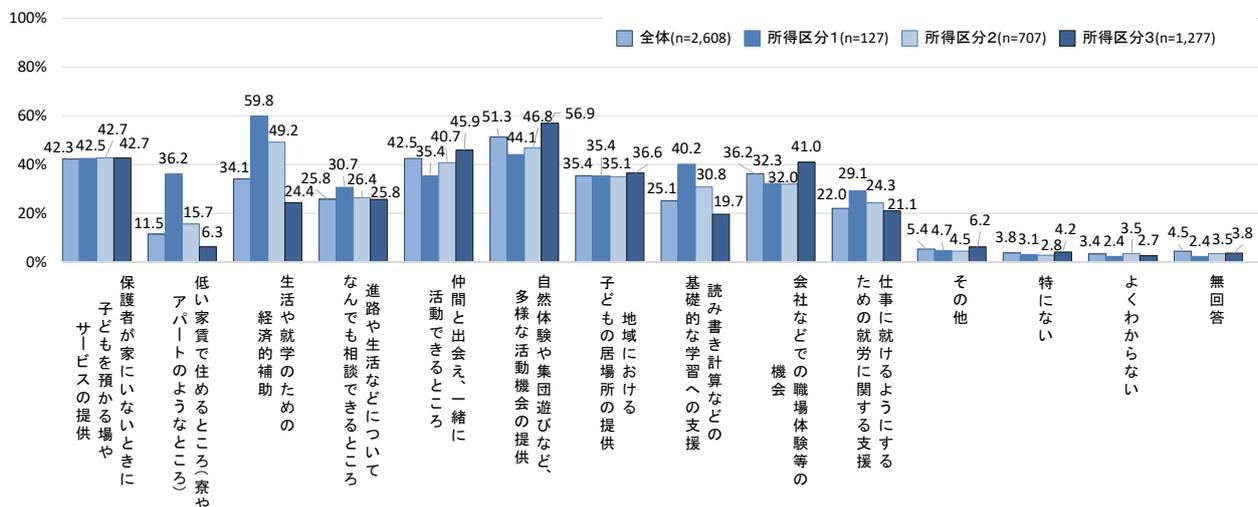
小学5年生の保護者全体では、「会社などでの職場体験等の機会」の回答割合が40.1%と最も高く、次いで「仲間と出会え、一緒に活動できる場所」の回答割合が35.0%、「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」の回答割合が32.5%となっている。所得区分1では、「生活や就学のための経済的補助」の回答割合が63.2%、「仕事に就けるようにするための就労に関する支援」の回答割合が31.6%と全体と比べて高くなっている。所得区分2では、「進路や生活などについてなんでも相談できる場所」の回答割合が31.1%、「地域における子どもの居場所の提供」の回答割合が18.2%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「会社などでの職場体験等の機会」の回答割合が38.2%と最も高く、次いで「生活や就学のための経済的補助」の回答割合が30.0%、「進路や生活などについてなんでも相談できる場所」の回答割合が25.7%となっている。所得区分1では、「生活や就学のための経済的補助」の回答割合が56.3%、「進路や生活などについてなんでも相談できる場所」の回答割合が35.3%と全体と比べて高くなっている。所得区分2では、「仕事に就けるようにするための就労に関する支援」の回答割合が30.4%と全体と比べて高くなっている。

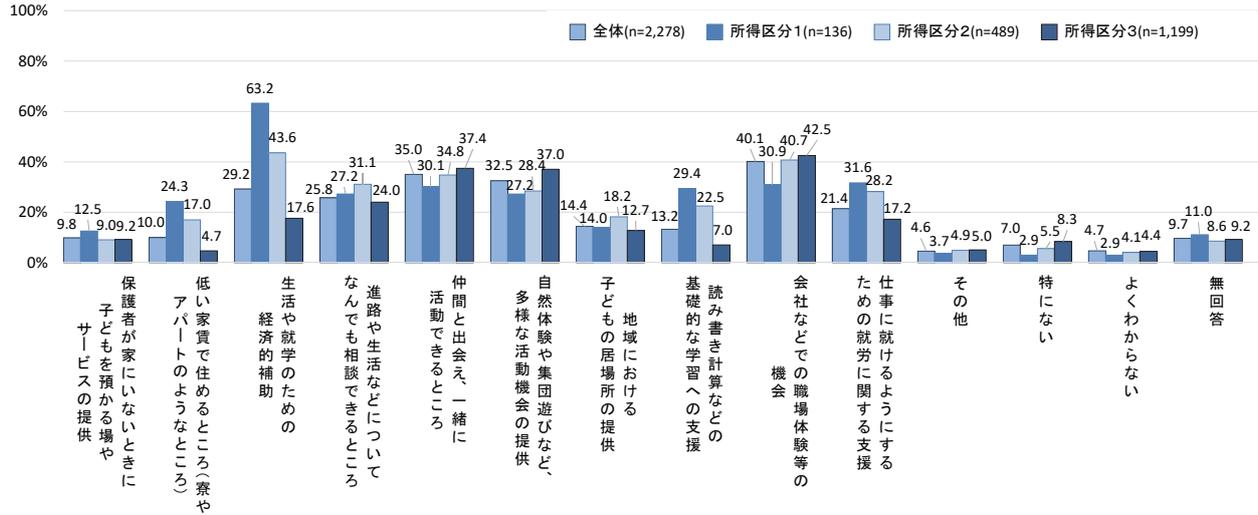
【保護者票問 40】 宛名のお子さんにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。

図表 2-8-10 支援ニーズ（所得区分別）

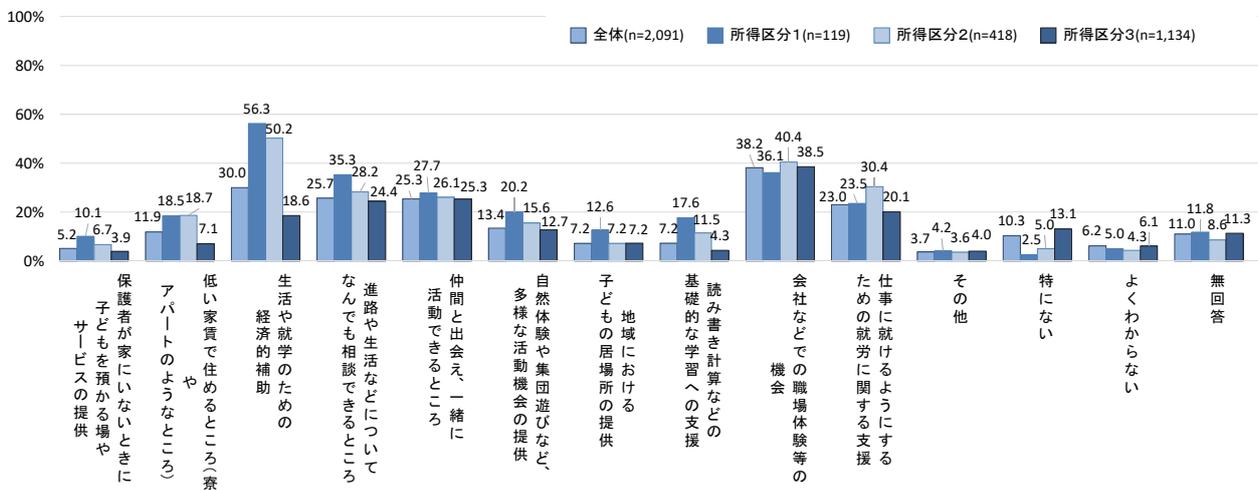
【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



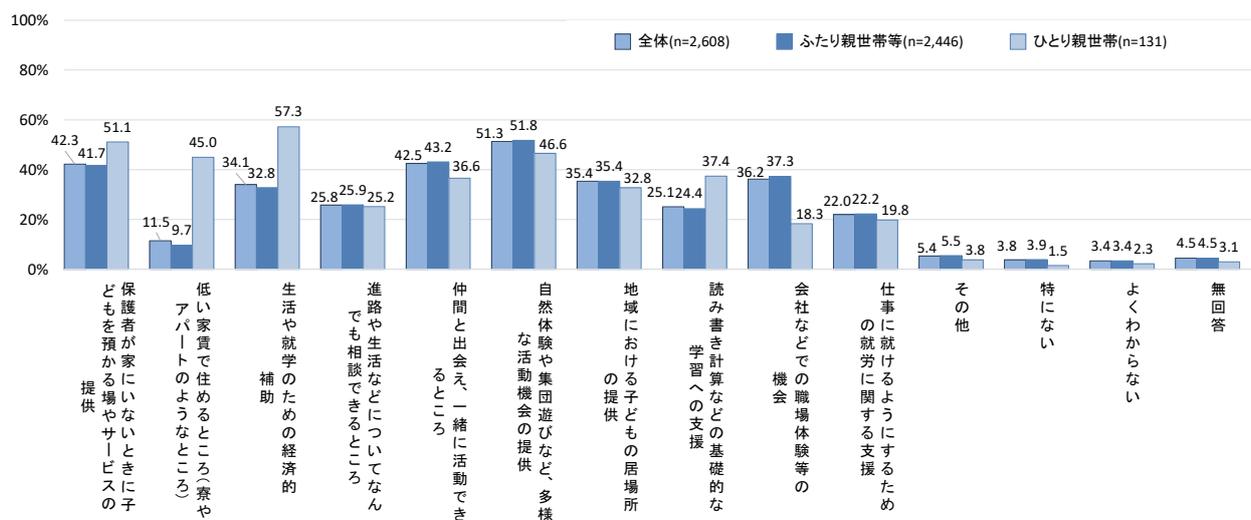
世帯類型別にみたと、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「生活や就学のための経済的補助」の回答割合が57.3%、「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」の回答割合が51.1%、「低い家賃で住めるところ(寮やアパートのようなところ)」の回答割合が45.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「生活や就学のための経済的補助」の回答割合が58.3%、「低い家賃で住めるところ(寮やアパートのようなところ)」の回答割合が29.6%、「読み書き計算などの基礎的な学習への支援」の回答割合が23.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

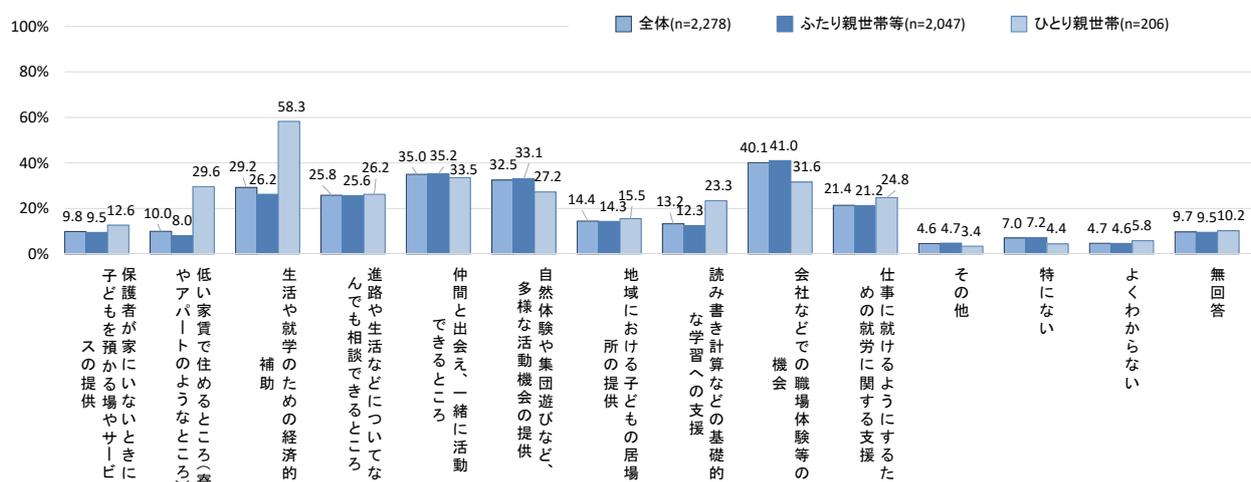
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「生活や就学のための経済的補助」の回答割合が60.2%、「進路や生活などについてなんでも相談できる場所」「仕事に就けるようにするための就労に関する支援」の回答割合がそれぞれ31.5%となっており、全体と比べて高くなっている。

図表 2-8-11 支援ニーズ（世帯類型別）

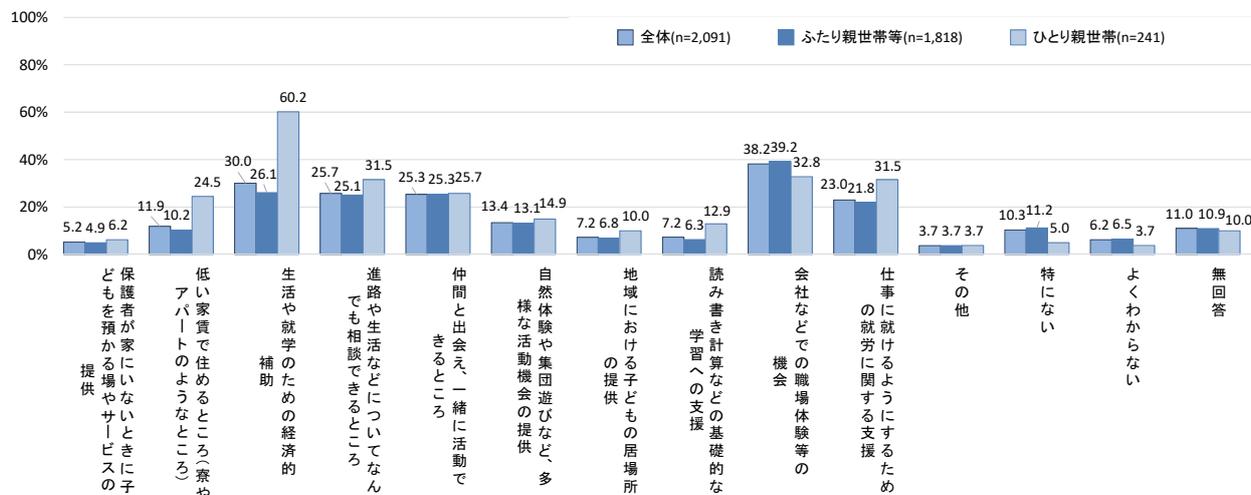
【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】



## (5) 支援を受けられるようにするために重要なこと

子どものことや仕事のことなど、悩み事や困っていることがあるときに必要な支援を受けられるようにするために、重要だと思うことはどのようなことかを尋ねた設問について、5歳児の保護者全体では、「携帯電話・スマートフォンで見られる情報サイト等を充実させる」の回答割合が52.7%と最も高く、次いで「保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に情報提供を行う」の回答割合が48.2%、「保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする」の回答割合が35.5%となっている。所得区分1では、「行政等のホームページで情報をわかりやすく掲載する」の回答割合が26.0%と全体と比べて低くなっている。所得区分2では、「携帯電話・スマートフォンで見られる情報サイト等を充実させる」の回答割合が58.4%と全体と比べて高くなっている。

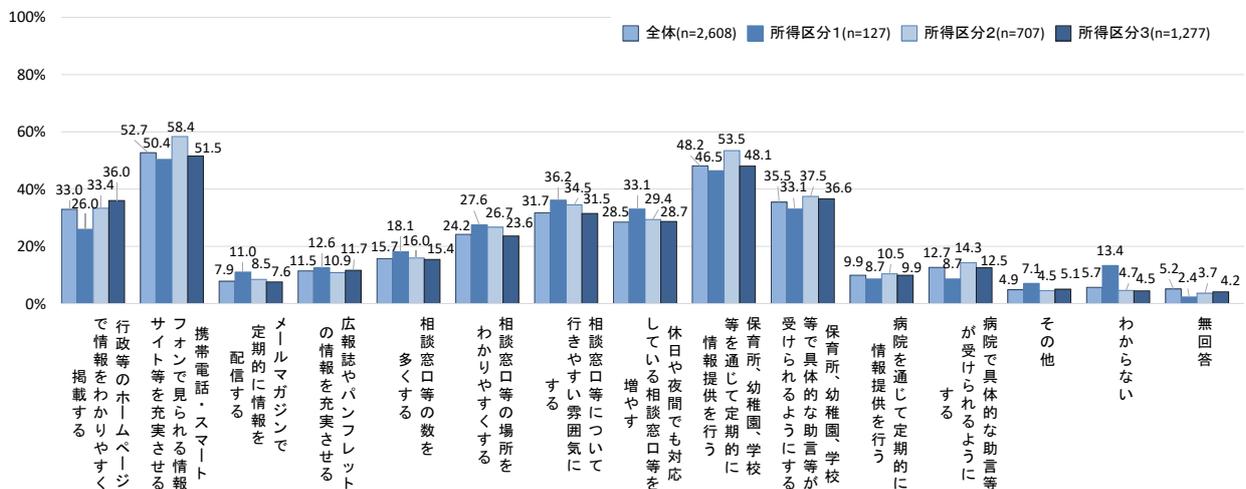
小学5年生の保護者全体では、「携帯電話・スマートフォンで見られる情報サイト等を充実させる」の回答割合が44.1%と最も高く、次いで「行政等のホームページで情報をわかりやすく掲載する」の回答割合が30.0%、「相談窓口等について行きやすい雰囲気にする」の回答割合が28.9%となっている。所得区分1では、「メールマガジンで定期的に情報を配信する」の回答割合が13.2%と全体と比べて高くなっている。

中学2年生の保護者全体では、「携帯電話・スマートフォンで見られる情報サイト等を充実させる」の回答割合が45.1%と最も高く、次いで「行政等のホームページで情報をわかりやすく掲載する」の回答割合が30.2%、「相談窓口等について行きやすい雰囲気にする」の回答割合が27.9%となっている。所得区分1では、「病院を通じて定期的に情報提供を行う」の回答割合が10.9%、「病院で具体的な助言等が受けられるようにする」の回答割合が15.1%と全体と比べて高くなっている。

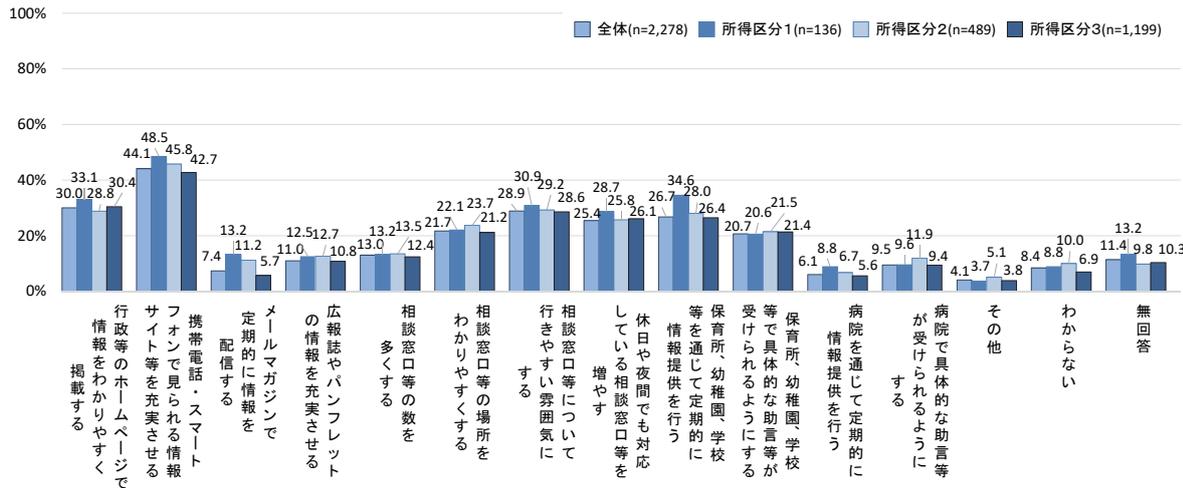
【保護者票問 41】子どものことや仕事のことなど、悩み事や困っていることがあるときに必要な支援を受けられるようにするために、重要だと思うことはどのようなことですか。

図表 2-8-12 支援を受けられるようにするために重要なこと（所得区分別）

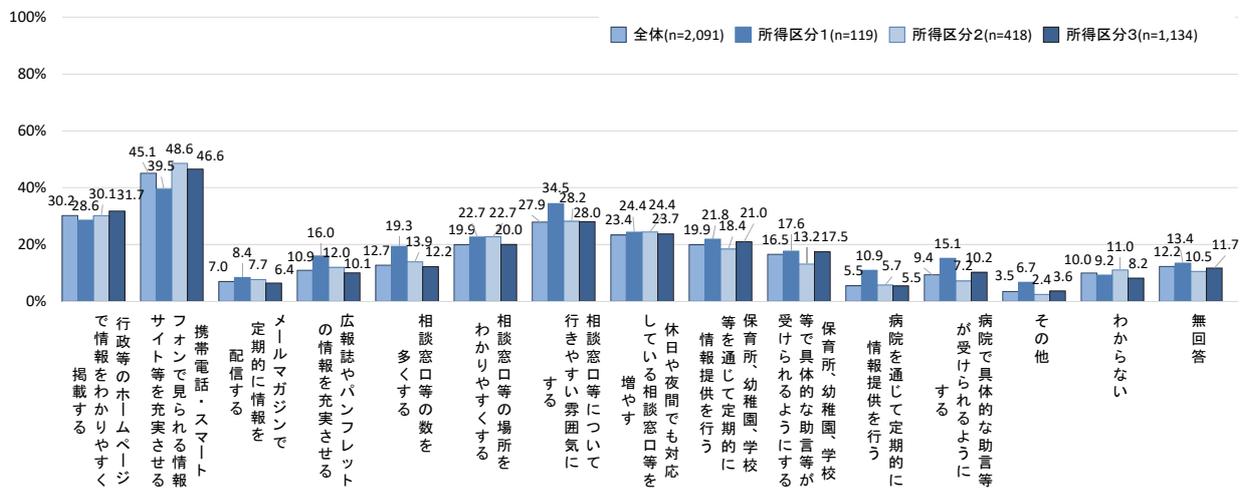
【5歳児保護者】



### 【小学5年生保護者】



### 【中学2年生保護者】



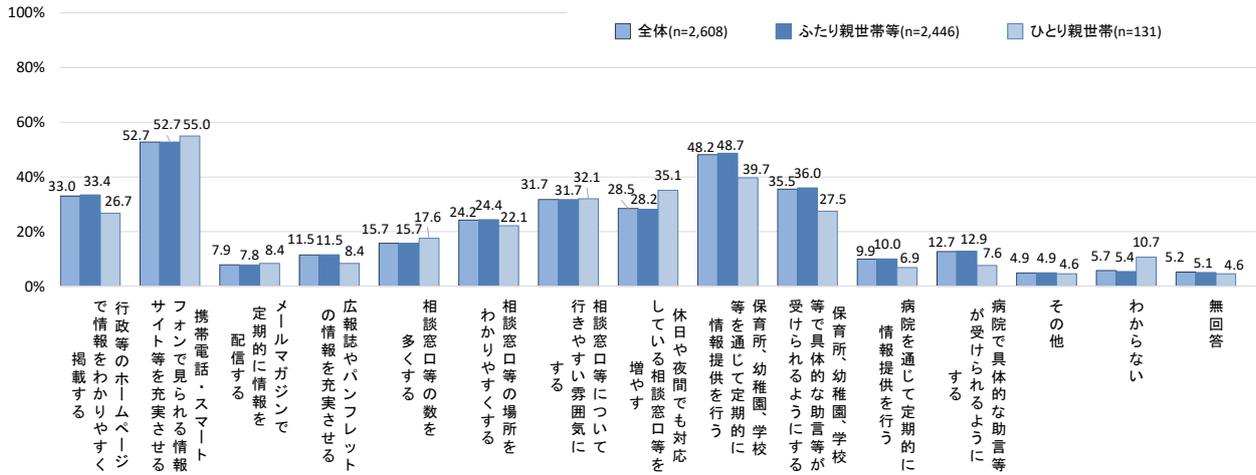
世帯類型別にみたら、5歳児の保護者のひとり親世帯では、「保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に情報提供を行う」の回答割合が39.7%、「保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等を受けられるようにする」の回答割合が27.5%となっており、全体と比べて低くなっている。

小学5年生の保護者のひとり親世帯では、「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の回答割合が30.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

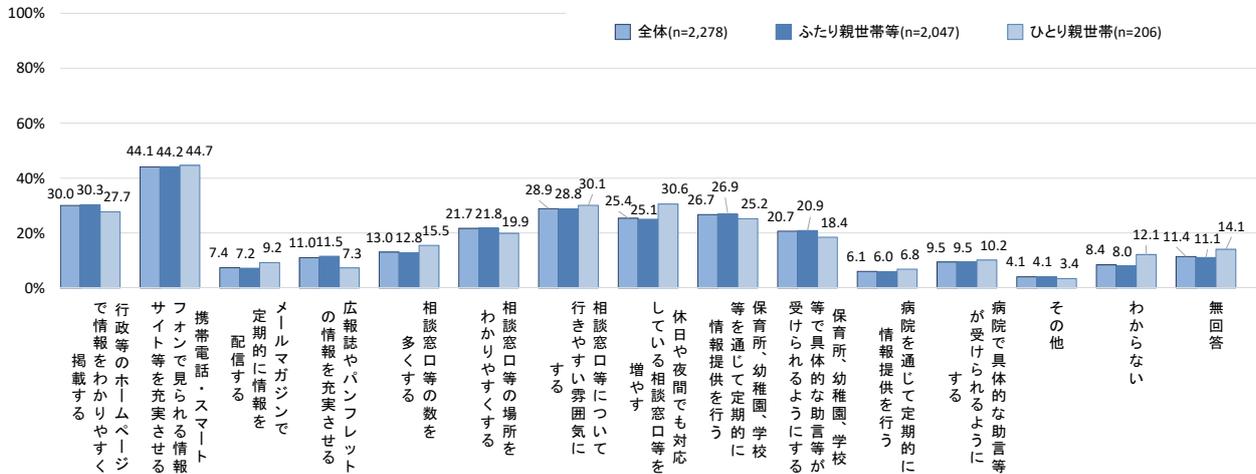
中学2年生の保護者のひとり親世帯では、「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の回答割合が34.0%、「メールマガジンで定期的な情報を配信する」の回答割合が10.4%と全体と比べて高くなっており、「行政等のホームページで情報をわかりやすく掲載する」の回答割合が22.8%と全体と比べて低くなっている。

図表 2-8-13 支援を受けられるようにするために重要なこと（世帯類型別）

【5歳児保護者】



【小学5年生保護者】



【中学2年生保護者】

